



Sun™ Mainframe Batch Manager ソフトウェア メッセージガイド

Release 10.1.0

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-2507-10
2005 年 6 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, AnswerBook2, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun™ Mainframe Batch Manager Software Message Guide
Part No: 817-7442-10
Revision A



目次

はじめに vii

1. BAM 系メッセージ 1
 - BAM0001 ~ BAM0099 1
 - BAM0100 ~ BAM0199 12
 - BAM0200 ~ BAM0399 15
 - BAM0400 ~ BAM0499 21
 - BAM0500 ~ BAM0599 31
 - BAM0600 ~ BAM0699 40
 - BAM0700 ~ BAM0799 43

2. BS 系メッセージ 47
 - BS0001 ~ BS0199 47
 - BS0200 ~ BS0399 66
 - BS0400 ~ BS0699 76
 - BS0700 ~ BS0999 91
 - BS1000 ~ BS1299 105
 - BS1700 ~ BS1799 118
 - BS1800 ~ BS1899 128
 - BS1900 ~ BS1999 139

	BS2000 ~ BS2099	146
3.	BX 系メッセージ	153
	BX0001 ~ BX0099	153
	BX0100 ~ BX0199	157
	BX0200 ~ BX0299	164
	BX0300 ~ BX0399	166
	BX0400 ~ BX0499	170
	BX0500 ~ BX0599	175
	BX0600 ~ BX0699	182
	BX0700 ~ BX0799	184
4.	CB 系メッセージ	187
	CB0200 ~ CB0299	187
	CB1000 ~ CB1299	191
	CB1900 ~ CB2499	192
5.	FM 系メッセージ	193
	FM0001 ~ FM0099	193
	FM0101 through FM0199	205
	FM0200 ~ FM0299	218
6.	IP 系メッセージ	219
	IP0001 ~ IP0299	219
	IP0900 ~ IP0999	222
	IP2000 ~ IP2299	223
	IP4000 ~ IP4199	228
	IP4200 ~ IP4399	240
	IP4400 ~ IP4599	253
7.	OW 系メッセージ	269

	OW0001 ~ OW0099	269
8.	OS 系メッセージ	273
	OS0100 ~ OS0999	273
	OS1000 ~ OS1999	274
9.	RTS 系メッセージ	283
	RTS0001 ~ RTS0099	283
10.	TP 系メッセージ	297
	TP0001 ~ TP0100	297
	TP0600 ~ TP0699	301
	TP1000 ~ TP1399	304
	TP1800 ~ TP1899	309
	TP2000 ~ TP2099	311
11.	UT系メッセージ	317
	UT0200 ~ UT0299	317
	UT0800 ~ UT0999	323
12.	マクロメッセージ	333
	MA0001 ~ MA0999	333
	MA1000 ~ MA1099	338
	MA1100 ~ MA1199	350
	MA2000 ~ MA2199	353
	MA2500 ~ MA2599	375
	MA3000 ~ MA3099	385
	IF マクロメッセージ	397
	SORT マクロメッセージ	397
	THEN マクロメッセージ	398

13.	MV 系メッセージ	401
	MV0001 ~ MV0099	401
	MV0100 ~ MV0199	419
	MV0200 ~ MV0299	435
	MV0306 ~ MV0399	454
	MV0400 ~ MV0499	470
	MV0500 ~ MV0599	484
	MV0600 ~ MV0699	498
14.	VS 系メッセージ	515
	VS0001 ~ VS0099	515
	VS0100 ~ VS0199	532
	VS0200 ~ VS0299	547
	VS0300 ~ VS0399	563
15.	KIX 系メッセージ	575
	KIX0001~KIX9999	575
	用語集	577
	索引	585

はじめに

このマニュアルでは、SunTM Mainframe Batch Manager software (Sun MBM) が生成する情報メッセージとエラーメッセージについて説明します。Sun MBM では、状態メッセージとエラー条件が生成されます。

マニュアルの構成

第1章では、Batch Administration Manager (BAM) のメッセージについて説明します。

第2章では、BS系のメッセージについて説明します。このメッセージは、バッチサブシステムに関連しています。

第3章では、BX系のメッセージについて説明します。このメッセージは、Sun MBM のメインメニューで使用可能なツールに関連しています。

第4章では、CB系のメッセージについて説明します。このメッセージは、COBOLに関連しています。

第5章では、FM系のメッセージについて説明します。このメッセージは、File_Mapに関連しています。

第6章では、IP系のメッセージについて説明します。このメッセージは、バッチシェルに関連しています。

第7章では、OW系のメッセージについて説明します。このメッセージは、出力の書き込みに関連しています。

第8章では、OS系のメッセージについて説明します。このメッセージは、起動と停止に関連しています。

第 9 章では、RTS 系のメッセージについて説明します。このメッセージは、COBOL 実行時システムに関連しています。外部 CICS インタフェース (EXCI) の使用に関連するメッセージも含まれています。

第 10 章では、TP 系のメッセージについて説明します。このメッセージは、内部プロセスに関連しています。

第 11 章では、UT 系のメッセージについて説明します。このメッセージは、sortx などのユーティリティに関連しています。

第 12 章では、Sun MBM マクロメッセージについて説明します。

第 13 章では、MV 系のメッセージについて説明します。このメッセージは、mvstrans トランスレータにより表示されます。

第 14 章では、VS 系のメッセージについて説明します。このメッセージは、dostrans トランスレータにより表示されます。

第 15 章では、KIX 系のメッセージについて説明します。通常このメッセージは、Sun MBM および Sun MTP の両方に共通するルーチンによって表示されます。

UNIX コマンド

このマニュアルには、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX[®] コマンドと操作手順に関する説明は含まれていない可能性があります。これらについては、以下を参照してください。

- 使用しているシステムに付属のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris[™] オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`

* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

Sun MBM のメッセージ表示の規則

この節では、Sun MBM がメッセージを表示する際に使用する規則について説明します。

<i>mail-box</i>	Sun MBM デーモンが、相互に通信するために使用する通信リンクの名前です。 Sun MBM mail-box 名 bqm: bqm デーモンが使用 psg_d: psg デーモンが使用 kixstrt: unikixstrt デーモンが使用 kxtrnN: unikixtranN が使用 SYSTEM: batch_start および batch_shut が使用 dbcp: psg-dbbatch デーモンが使用
<i>tp_errno</i>	エラー番号を示します。たとえば、0602 はメッセージリストのエラー番号 TP0602 を示します。
セマフォ	リソースへのアクセスを制御するために使用されるエンティティーです。ipcs コマンドで、特定のユーザーが使用しているセマフォを確認できます。
<i>shmdump</i>	Sun MBM 共有メモリーをダンプするコマンドです。Sun MBM の環境変数を設定したあと、shmdump を実行できます。

このマニュアルの説明と対処では、「エラーテーブル」と「シグナルテーブル」を参照するものがあります。次の用語は、オペレーティングシステムに付属しているインクルードファイルを指します。これらのファイルへのアクセス方法が分からない場合は、システム管理者に連絡してください。

メッセージの形式

メッセージの形式は、次のとおりです。

(α) メッセージ本文

説明

#####	エラー番号
α	エラーの重要度を示す文字 D: 保留エラー: 再び発生することはないと推定されるエラー E: 致命的ではないエラーが発生したときに表示されるメッセージ I: 情報メッセージ S: 致命的なエラーが発生したときに表示されるメッセージ W: 警告メッセージ
メッセージ本文	メッセージ

便宜上、メッセージは番号順に掲載します。メッセージ本文で使用される変数の一覧は、次のとおりです。

Variable (可変)	メッセージ内での置き換え
%c	1 文字
%d	1 桁の値
%s	文字列
%r	サブルーチンの名前
%x	16 進値

関連マニュアル

製品	タイトル	Part No.
Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』	819-2505-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア インストールガイド』	819-2506-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』	819-2508-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』	819-2360-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ユーザーズガイド』	819-2509-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』	819-2510-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	819-2511-10
Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』	819-2514-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』	819-2515-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』	819-2516-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア インストールガイド』	819-2517-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア メッセージガイド』	819-2518-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』	819-2519-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』	819-2520-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』	819-2358-10
『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』	819-2521-10	
『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	819-2522-10	
IBM MVS	『IBM MVS/ESA JCL Reference』	GC28-1479
IBM VSE	『IBM VSE/ESA System Control Statements』	SC33-6713
	『IBM VSE/POWER Administration and Operation』	SC33-6733
Server Express	Server Express のマニュアル	*

製品	タイトル	Part No.
ACUCOBOL-GT	ACUCOBOL-GT のマニュアル	*
Open PL/I	『Liant Open PL/I User's Guide』	*
	『Liant Open PL/I Language Reference Manual』	*
	『Liant CodeWatch Reference Manual』	*
C	C コンパイラのマニュアル	*

* マニュアルの注文については、ベンダーにお問い合わせください。

Sun のマニュアルの注文方法

日本語版を含め、Sun のマニュアルは次のサイトで、表示や印刷、または購入ができます。

<http://www.sun.com/documentation>

Sun の技術サポート

この製品に関して、このマニュアルでも解決しない技術的な質問がある場合は、次のサイトからお問い合わせください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア メッセージガイド』、Part No. 819-2507-10

第1章

BAM 系メッセージ

この章のメッセージは Batch Administration Manager (BAM) に関連しています。

メッセージファイル \$EBMHOME/pack/ish/globals.msg にある多くの BAM 系メッセージは、画面タイトルなど、BAM 画面表示の一部です。これらのメッセージは、ローカルの言語に翻訳できるようにメッセージファイルに含まれていますが、ドキュメントには記述されていません。

BAM0001 ~ BAM0099

BAM0001(S) Batch node admin(%d) fopen() failed, errno=%d

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0003(S) Batch node admin(%d) fgets() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0004(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0005(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0006(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0007(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0008(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0009(S) Batch node admin(%d) failed, Batch node admin already defined

説明: バッチノード更新のエラーです。

対処: 他のユーザーによって所有されたバッチノードです。ノードの所有者としてログインし、ノードを更新します。

BAM0010(S) Batch node admin(%d) creat() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0011(S) Batch node admin(%d) fdopen() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0012(S) Batch node admin(%d) getpwuid() failed, uid=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0013(S) Batch node admin(%d) stat() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0014(S) Batch node admin(%d) fopen() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0015(S) Batch node admin(%d) fgets() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0016(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0017(S) Batch node admin(%d) failed, admin not found

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0021(S) ERROR: invalid argument. Command aborted.

説明: ジョブのログを更新する際に発生するエラーです。

対処: 日数の有効な値を指定する必要があります。

BAM0022(S) ERROR: invalid argument. Command aborted.

説明: ジョブのログを更新する際に発生するエラーです。

対処: 日数の有効な値を指定する必要があります。

BAM0023(S) ERROR: invalid pathname. Command aborted.

説明: 無効なバックファイル名です。

対処: 有効な出力ファイル名を入力します。

BAM0024(S) ERROR: invalid file pathname. Command aborted.

説明: 無効なバックファイル名です。

対処: 有効な出力ファイル名を入力します。

BAM0025(S) ERROR saving Job Log file. Command aborted

説明: ジョブのログファイルを保存する際に発生するエラーです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が表示されます。

BAM0026(I) Command executed. Back-up file %s

説明: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BAM0027(I) Usage: bam

[StartBatch]
[StopBatch]
[SystemStatus]
[ActiveJobs]
[CompletedJobs]
[JobClasses]
[DiskSpace]
[BackUpJobLog=PathName]
[ClearJobLog=NumOfDays]
[InitialJobNumber=JobNumber]

説明: 使用方法メッセージは、コマンドの bam 機能リストを提供します。このメッセージは、bam ? コマンドの入力時に表示されます。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BAM0028(S) ERROR. Batch Administration Manager session already in use

説明: 一度に有効にできるのは、1つの BAM セッションだけです。

対処: 現在の有効セッションが使用中かどうかを調査します。

BAM0029(I) Debug file is ./BAM.session

説明: このメッセージは、BAM デバッグファイルの名前を識別します。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BAM0030(S) Batch environment not set. Source the batchenv file.

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0031(S) Command aborted.

説明: バッチノードの管理者特権を調査する際のエラーです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が表示されます。

BAM0032(S) Batch environment not set. You must source the batchenv file.

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0033(S) Batch environment not set properly. Source the batchenv file.

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0034(S) ERROR. Batch not installed properly. Command aborted.

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0035(S) Sorry, you must have Batch Node administrator privilege to enter BAM

説明: システム管理者のユーザー ID は、BAM を実行できません。

対処: バッチノード管理者としてログインし、再実行します。

BAM0036(S) Sorry, Batch administrator not found

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0037(S) Sorry, Batch administrator not defined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0038(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0039(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0040(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0041(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0042(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0043(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0044(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0045(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0046(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0047(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0048(S) Sorry, you must have %s privilege to enter BAM

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0049(I) は、画面表示です。

BAM0050(W) Warning.

Current user does not have %s authority to fully manage the batch node

説明: バッチノード管理者だけが、すべての BAM 機能にフルアクセスできます。

対処: その他の機能へのアクセスが必要な場合は、バッチノード管理者にお問い合わせください。

BAM0051(I) Complete BAM functionality will not be permitted

説明: バッチノード管理者だけが、すべての BAM 機能にフルアクセスできます。BAM 機能のサブセットのみを実行できます。

対処: その他の機能へのアクセスが必要な場合は、バッチノード管理者にお問い合わせください。

BAM0061(S) ERROR Updating Job Log File, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0062(S) error allocating %d bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0063(S) error allocating %d bytes, line %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0064(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0065(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0066(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0067(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0068(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0069(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0070(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0071(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0072(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0073(W) Warning entry %s %d deleted

説明: ジョブのログファイルで無効なエントリが見つかりました。このエントリは削除されます。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

BAM0074(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0075(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0076(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0077(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: ジョブのログファイルが無効か、または破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0078(S) Error opening Job Log File %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0079(S) Error locking Job Log File, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0080(S) Error unlocking Job Log File, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0081(S) ERROR. No Jobs are available

説明: ジョブのログファイルは空です。要求されたコマンドを実行できません。

対処: いくつかのジョブを実行して、ジョブのログファイルで使用可能なエントリを得る必要があります。

BAM0082(S) ERROR accessing Job Log file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0083(S) ERROR %s not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0084(S) ERROR. The parameter entered %s, is an invalid number

説明: パラメータが無効です。

対処: 有効な数字を入力します。

BAM0085(S) ERROR. The parameter entered %s, is an invalid number

説明: パラメータが無効です。

対処: 有効な数字を入力します。

BAM0086(S) ERROR on popen(ebmadmin), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0087(S) ERROR fgets(ebmadmin) failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0088(S) ERROR fgets(ebmadmin)=NULL, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0089(S) ERROR fgets(ebmadmin)=%s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0090(S) ERROR fgets(ebmadmin)=%s, invalid uid

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0091(I) Job Log successfully updated. All entries have been deleted.

説明: 情報メッセージです。

BAM0092(I) Job Log not updated. No entries have been deleted.

説明: 情報メッセージです。

BAM0093(I) Job Log successfully updated. All entries deleted.

説明: 情報メッセージです。

BAM0094(I) Job Log successfully updated. Entries deleted %d, entries saved %d.

説明: 情報メッセージです。

BAM0095(S) ERROR. %c invalid option

Usage :

```
%s [ -d dir -p percent | -f file -s size ] [ -t type ]  
[ -a action ]
```

説明: 指定したオプションが無効です。

対処: 使用方法メッセージに示されている有効なオプションのいずれかを使用して、コマンドを再実行します。

BAM0096(S) ERROR. Usage :

```
%s [ -d dir -p percent | -f file -s size ] [ -t type ]  
[ -a action ]
```

説明: 指定したコマンドが不正です。無効なオプションを使用している可能性があります。

対処: 使用方法メッセージに示されている有効なオプションのいずれかを使用して、コマンドを再実行します。

BAM0097(W) Warning !!!

```
%s %s is %d %% full.
```

```
%s
```

説明: 指定されたディレクトリは、バッチノードの推奨された範囲を超えています。

対処: 追加メッセージが表示され、対処方法が示されます。

BAM0098(W) Warning !!!

```
%s %s exceeds %d bytes, allocated bytes %d.
```

```
%s
```

説明: 指定されたファイルは、バッチノードの推奨された範囲を超えています。

対処: 追加メッセージが表示され、対処方法が示されます。

BAM0099(W) Warning !!!%s exceeds %d % disk space.

説明: 指定されたディレクトリは、バッチノードの推奨された範囲を超えています。

対処: 追加メッセージが表示され、対処方法が示されます。

BAM0100 ~ BAM0199

BAM0100(W) Warning !!!%s exceeds %d bytes.

説明: 指定されたファイルは、バッチノードの推奨されたサイズ範囲を超えています。

対処: 追加メッセージが表示され、対処方法が示されます。

BAM0107(I) ~ BAM0114(I) は、画面表示です。

BAM0115(S) ERROR: Command <%s> not understood:

説明: 入力されたオプションは無効です。

対処: 有効なオプションを入力します。

BAM0116(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0117(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0118(I) ~ BAM0129(I) は、画面表示です。

BAM0130(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0131(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0132(S) Batch System is not active. Command aborted

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0133(W) Batch Node is not active.

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0134(W) Batch Node is not active.

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0135(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0136(W) Batch Node is not active.

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0137(W) Batch Node is not active.

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0138(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0139(W) Batch Node is not active.

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0140(W) Batch Node is not active.

説明: バッチノードが停止している間には、要求された機能は実行できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BAM0141(I) ~ BAM0142(I) は、画面表示です。

BAM0143(I) Running

説明: 情報メッセージです。

BAM0144(I) ~ BAM0166(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0167(S) ERROR: Command <%s> not understood:

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用する必要があります。

BAM0168(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0169(I) ~ BAM0176(I) は、画面表示です。

BAM0177(I) Running

説明: 情報メッセージです。

BAM0178(I) ~ BAM0181(I) は、画面表示です。

BAM0191(S) ERROR allocating %d bytes at %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0192(S) ERROR allocating %d bytes at %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0193(S) ERROR allocating %d bytes at %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0194(W) Warning. Job Listing Output file %s. Invalid pathname.

説明: ジョブ一覧の出力ファイルにアクセスできません。

対処: ファイルが存在し、適切な読み取り権を持っているかどうかを調査します。

BAM0195(I) Searching Job Listing Output file in %s .

説明: 情報メッセージです。

BAM0196(I) Searching Job Listing Output file in %s .

説明: 情報メッセージです。

BAM0197(I) はプロンプトです。

BAM0198(S) ERROR no jobs are available

説明: ジョブのログファイルは空です。要求されたコマンドを実行できません。

対処: いくつかのジョブを実行して、ジョブのログファイルで使用可能なエントリを得る必要があります。

BAM0199(I) はプロンプトです。

BAM0200 ~ BAM0399

BAM0200(S) ERROR Opening Backup File, errno=%d

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0201(I) は、画面表示です。

BAM0202(S) ERROR no jobs are available

説明: ジョブのログファイルは空です。要求されたコマンドを実行できません。

対処: いくつかのジョブを実行して、ジョブのログファイルで使用可能なエントリを得る必要があります。

BAM0203(I) はプロンプトです。

BAM0204(S) ERROR Opening Output File, errno=%d

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0205(I) ~ BAM0219(I) は、画面表示です。

BAM0220(S) ERROR. Job Listing Output file %s not found.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルが存在し、適切な読み取り権を持っているかどうかを調査します。

BAM0222(S) ERROR Opening Job Listing Output file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0223(I) ~ BAM0277(I) は、画面表示です。

BAM0278(S) ERROR. Permission Denied. Unable to update configuration, status=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0280(S) ERROR. Permission Denied. Unable to update configuration, status=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0281(S) ERROR. Permission Denied. Unable to update configuration, status=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0283(S) ERROR. Permission Denied. Unable to update configuration, status=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0284(S) ERROR. Permission Denied. Unable to update configuration, status=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0285(S) ERROR. Permission Denied. Unable to update configuration, status=%d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0286(I) ~ BAM0306(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0307(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0308(I) は画面プロンプトです。

BAM0309(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0310(I) は画面プロンプトです。

BAM0311(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0312(S) ERROR <%s> invalid option

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0313(I) は画面プロンプトです。

BAM0314(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0315(I) は画面プロンプトです。

BAM0316(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0317(I) は画面プロンプトです。

BAM0318(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0319(I) は画面プロンプトです。

BAM0320(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0321(I) は画面プロンプトです。

BAM0322(S) ERROR '*' invalid character

説明: オプションが無効です。

対処: 表示されたオプションのいずれか 1 つを入力します。

BAM0323(I) ~ BAM0333(I) は、画面表示です。

BAM0334(S) error allocating %d bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0335(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0336(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0337(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0338(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0339(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0340(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0341(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0342(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0343(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0344(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0345(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0346(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0347(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0348(I) ~ BAM0382(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0383(S) %d is invalid option, command aborted

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0384(S) Error opening file %s

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0385(I) は、画面表示です。

BAM0386(S) ERROR. File not found

説明: ユーザー指定のファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0387(S) ERROR accessing file %s

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0388(S) ERROR %s not set. Command aborted

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0389(S) ERROR. Job Listing Output file %s not found. Set variable "JOBLIST_DIR" to the Job Listing back-up directory that contains the file.

説明: ジョブの履歴ファイルが見つかりませんでした。

対処: ファイルが別の位置に移動されている場合は、指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

BAM0390(S) ERROR.

Job Listing Output file %s not found

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0391(I) Usage: %s [-p patch] [-e directory] [-s]

説明: 情報メッセージです。

BAM0392(S) mkdir failed to create '%s'

説明: 指定されたディレクトリを作成できません。

対処: 親ディレクトリの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0400 ~ BAM0499

BAM0401(S) Error getting environment variable %s

説明: BAM を実行するには、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0402(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0403(S) Error opening %s for reading

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0404(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0405(S) strtok failed('%s')

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0406(S) strtok failed('%s')

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0407(S) strtok failed('%s')

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0408(S) strtok failed('%s')

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0409(S) strtok failed('%s')

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0410(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0411(I) scan_filetab(): Found...%s <-> %s

説明: 情報メッセージです。

BAM0412(S) Error writing to restore file.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0413(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BAM0414(I) ~ BAM0416(I) は、画面表示です。

BAM0417(S) Error opening %s for reading

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り権を調査します。

BAM0418(S) Error reading sum line (%s)

説明: 復元ファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り権を調査します。

BAM0419(S) Error finding '%s' in linked list.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0420(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0421(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0422(S) ebm_hist is possibly corrupt, no sum information for '%s'

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0423(S) ebm_hist is possibly corrupt, no sum information for '%s'

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0424(S) ebm_hist is possibly corrupt, no sum information for '%s'

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0425(S) ebm_hist is possibly corrupt, no sum information for '%s'

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0426(S) Error opening directory %s

説明: 指定されたディレクトリにアクセスできません。

対処: 指定したディレクトリの適切なアクセス権を調査します。

BAM0427(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0428(S) Error stat(%s)

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0429(I) は、画面表示です。

BAM0430(W) Warning!File (%s) not found in ebm_hist.

説明: 指定されたファイルのエントリが、パッケージ履歴ファイルに見つかりません。

対処: パッチをアンインストールする前に、ファイルのバックアップを作成します。

BAM0431(I) は、画面表示です。

BAM0432(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0433(S) Error executing command ('%s')

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0434(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0435(S) Error opening %s for reading

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0436(S) Error patch platform (%s) does not match actual platform (%s).

説明: プラットフォームに適したパッチを適用する必要があります。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0437(S) Error getting sum information for '%s' from patch file

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0438(S) Error getting sum information for '%s' from patch file

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0439(S) Error, patch file (%s) failed checksum.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0440(S) %s(readbuf1) != %s(tmpptr)

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0441(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0442(S) Error patch platform (%s) does not match actual platform (%s).

説明: プラットフォームに適したパッチを適用する必要があります。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0443(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0444(S) Error %s is not a directory

説明: 指定されたパス名は、無効なバックアップディレクトリです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0445(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0446(S) Error %s is not a directory

説明: 指定されたパス名は、無効なディレクトリです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0447(S) Error creating file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0448(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0449(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0450(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0451(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0452(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0453(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0454(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0455(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0456(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0457(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0458(S) Error could not find file %s in filetab

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0459(S) Error allocating memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0460(S) Error can't file %s in file table list!

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0461(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0462(I) ~ BAM0463(I) は、画面表示です。

BAM0464(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0465(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0466(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0467(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0468(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0469(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0470(S) Error changing owner on file %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0471(S) Error changing permissions on file %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0472(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0473(S) Error writing to file %s.

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0474(S) Error opening %s!

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0475(S) Error opening %s!

**** All changes will be backed out! ****

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0476(S) Error %d reading from %s!

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0477(S) Error %d writing to file %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0478(I) は、画面表示です。

BAM0479(S) Error changing time stamp on '%s'

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0480(S) This patch already applied, or not for this version.

説明: パッチが無効です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0481(S) File %s checksum information missing from ebm_hist.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0482(W) Warning detected modified file %s

説明: 指定したファイルは、ユーザーにより修正されています。

対処: パッチをインストールしたあとで、もう一度修正されたファイルを更新する必要があります。

BAM0483(I) は、画面表示です。

BAM0484(S) Error, this patch is only valid for the following versions:

説明: パッチが無効です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0485(S) Error opening %s for writing

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0486(S) Error getting current time

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0487(S) Error getting current time

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0488(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0489(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0490(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0491(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0492(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0493(S) Error opening %s for writing

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0494(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0495(S) Error locating file '%s(.exe)'

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0496(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0497(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0498(S) Error writing to %s!

説明: 指定されたファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0499(S) Error exit(%d).

説明: コマンドを強制的に中止しました。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が表示されます。

BAM0500 ~ BAM0599

BAM0501(S) Exiting with signal %d.

説明: コマンドを強制的に中止しました。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを調査します。

BAM0502(I) ~ BAM0503(I) は、画面表示です。

BAM0504(S) ERROR. Please specify full pathname of patch directory.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パス名を使用する必要があります。

BAM0505(S) ERROR. Please specify full pathname of patch directory.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パス名を使用する必要があります。

BAM0506(S) Error getting current time.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0507(S) Error getting current time.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0508(S) Error, must supply valid patchfile directory with -p option.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パスによるパッチファイル名を使用する必要があります。

BAM0509(S) Error, must supply valid patchfile with -p option.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パスによるパッチファイル名を使用する必要があります。

BAM0510(S) Error, must supply valid patchfile with -p option.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パスによるパッチファイル名を使用する必要があります。

BAM0511(S) Error allocating memory.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0512(S) Error, must supply patchfile directory with -p option.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パスによるパッチファイル名を使用する必要があります。

BAM0513(S) Error, must supply patchfile with -p option.

説明: 無効なパス名です。

対処: 絶対パスによるパッチファイル名を使用する必要があります。

BAM0514(S) ERROR. EBMHOME must be set to the batch node directory to be patched.

説明: コマンドを実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0515(S) Error opening debug file for appending.

説明: デバッグファイルを更新できません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0516(S) Error, batch node is running or was not shutdown properly.

説明: パッチをインストールするには、バッチノードを停止する必要があります。

対処: バッチノードを停止します。

BAM0517(S) installpatch: mkdir(%s) error, errno=%d.

説明: 指定されたディレクトリの作成時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0518(S) installpatch: chdir(%s) error, errno=%d.

説明: 指定されたディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0519(S) installpatch: system() failed, status=%d, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0520(S) installpatch: system() failed, status=%d, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0521(S) installpatch: system('%s') failed, status=%d, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0522(S) installpatch: system() failed, status=%d, errno=%d.
説明: 内部エラーです。
対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0523(S) Error allocating memory.
説明: 内部エラーです。
対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0524(S) Read error on ebm_hist
説明: パッケージ履歴ファイルへのアクセス時のエラーです。
対処: 適切なアクセス権を調査します。

BAM0525(S) Invalid Batch Node Home directory (%s).
説明: コマンドを実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。
対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0526(I) ~ BAM0530(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0531(S) Invalid choice.
説明: オプションが無効です。
対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0532(I) ~ BAM0533(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0534(S) installpatch: list_unpatches(): opendir() failed
説明: 内部エラーです。
対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0535(S) installpatch: list_unpatches(): calloc() failed
説明: 内部エラーです。
対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0536(I) ~ BAM0537(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0538(S) Invalid choice.
説明: オプションが無効です。
対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0539(I) は、画面表示です。

BAM0540(S) installpatch: system(%s) failed, status=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0541(S) installpatch: list_patches(): opendir failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0542(I) ~ BAM0543(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0544(S) installpatch: calloc() failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0545(I) ~ BAM0546(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0547(S) invalid choice.

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0049(I) は、画面表示です。

BAM0549(S) getpwuid(%d) returns NULL pw_name.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0550(S) getpwuid(%d) returns empty pw_name.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0551(S) set user-id on execution failed.
set permissions and retry.

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: バッチノードを再インストールします。

BAM0552(S) setuid(%d) failed.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0553(S) set user-id on execution failed.
set permissions and retry.

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: バッチノードを再インストールします。

BAM0554(S) Error allocating memory.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0555(S) installpatch: next_patch(): opendir failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0556(S) find_start_patch(): calloc() failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0557(S) Error opening %s for reading.

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 適切なアクセス権を調査します。

BAM0558(S) You must be the batch node owner to run patchex.

説明: ユーザー ID が無効です。

対処: バッチノードの所有者としてログインし、もう一度コマンドを開始します。

BAM0559(S) You must be the batch node owner to run patchex.

説明: ユーザー ID が無効です。

対処: バッチノードの所有者としてログインし、もう一度コマンドを開始します。

BAM0561(S) Error, \$EBMHOME must be set or '-e' option needed.

説明: コマンドを実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0562(S) Error opening %s!

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0563(S) Error opening %s!

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0564(S) Error %d reading from %s!

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0565(S) Error %d writing to file %s!

説明: 指定されたファイルの更新時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0566(S) Error changing time stamp on '%s'

説明: 指定されたファイルの更新時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0571(S) error PUBLIC environment variable not set

説明: コマンドを実行するには、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード設定ファイル batchenv を使用します。

BAM0572(S) ERROR: PARAMETERS WRONG

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0573(S) PARAMETER WRONG

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0574(S) ERROR :PARAMETERS WRONG

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0575(S) ERROR the level may have values between 0 and 9

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なログレベル番号を使用します。

BAM0576(S) me_open error tp_errno %d

説明: バッチメッセージデーモンに接続できません。

対処: バッチノードを起動します。

BAM0577(S) WRONG parameter

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0578(S) ERROR the level may have values between 0 and 9

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なログレベル番号を使用します。

BAM0579(S) Cannot open %s file

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0580(S) me_open error tp_errno %d

説明: バッチメッセージデーモンに接続できません。

対処: バッチノードが起動し、正常に動作していることを確認します。

BAM0581(S) Cannot open %s file

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0582(S) Cannot open %s file

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0583(S) failed send %s :%d ->%d

説明: 指定されたデーモンに接続できません。

対処: バッチノードが起動し、正常に動作していることを確認します。

BAM0584(I) send level to %s

説明: 情報メッセージです。

BAM0591(S) Wrong parameters

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0592(S) Admlog open error er %d eler %d

説明: バッチロガーデーモンに接続できません。

対処: バッチノードが起動し、正常に動作していることを確認します。

BAM0593(S) Admlog close error er %d eler %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0594(S) Admlog put inform error er %d eler %d

説明: バッチロガーデーモンに接続できません。

対処: バッチノードが起動し、正常に動作していることを確認します。

BAM0595(S) Admlog get inform error er %d eler %d

説明: バッチロガーデーモンに接続できません。

対処: バッチノードが起動し、正常に動作していることを確認します。

BAM0596(S) Admlog put exit error er %d eler %d

説明: バッチロガーデーモンに接続できません。

対処: バッチノードが起動し、正常に動作していることを確認します。

BAM0597(S) Admlog lgdem reply error %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0598(S) Wrong value

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0600 ~ BAM0699

BAM0600(S)

Wrong value

説明: オプションが無効です。

対処: 使用可能なオプションのいずれか 1 つを使用します。

BAM0601(I) ~ BAM0629(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0630(S) Error, log level range : 0 <-> 9

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なログレベル番号を使用します。

BAM0631(I) ~ BAM0634(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0641(S) Component %s doesn't exist

説明: 無効なコンポーネント名です。

対処: 有効なコンポーネント名を使用します。

BAM0642(S) Error in date

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0643(S) File %s can't be opened

説明: 指定されたファイルの更新時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0644(S) Output file can't be opened

説明: ユーザー指定ファイルの更新時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0645(S)

Component %x unknown on input file

説明: 無効なコンポーネント名です。

対処: 有効なコンポーネント名を選択します。

BAM0646(S) Input file can't be created

説明: 循環ログファイルの作成時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BAM0647(S) Illegal logging level request

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なログレベル番号を使用します。

BAM0648(S) Illegal pid

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なプロセス ID 番号を使用します。

BAM0649(S) Error: '-l' must be selected after '-n'

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0650(S) Error: option %s already selected

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0651(S) Error: '-r' option valid only if '-s' already selected

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0652(S) Wrong input file %s - header missing

説明: 指定されたログファイルは、無効なファイルです。

対処: 有効なログファイルを選択します。

BAM0653(S) Illegal '-s' if requested file is current

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0654(S) Error: '-x' option valid only if '-n X400'

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0655(S) Wrong sublayer of X400

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0656(S) Stat error: errno = %d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0657(S) Lgprint:log driver open error (errno=%d;el_errno=%d)

説明: ロガーデーモンへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0658(S) Lgprint:No valid record presents in log file

説明: 指定した検索に一致するレコードが、ログファイルにありません。

対処: 検索オプションを変更します。

BAM0659(S) Lgprint:putcmd to daemon failed (errno=%d;el_errno=%d)

説明: ロガーデーモンへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0660(S) Lgprint:close driver failed (errno=%d;el_errno=%d)

説明: ロガー機能へのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0661(S) Lgprint:getcmd from daemon answer failed (errno=%d;el_errno=%d)

説明: ロガー機能へのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BAM0662(S) Try again using '-f' or '-r' parameters

説明: オプションが無効です。

対処: 有効なオプションを使用します。

BAM0663(S) Error in record length or log file corrupted

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0664(S) Error in memory allocation

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0665(I) Lgprint working on file : %s

説明: 情報メッセージです。

BAM0666(S) Lgprint already running

説明: 一度に実行できるのは、1つのlgprint コマンドだけです。

対処: 他のlgprint コマンドの終了を待ちます。

BAM0667(S) Component %x : Unknown record type.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0668(S) ERROR. File %s already exists. Using Default

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BAM0669(I) USAGE :

```
lgprint [-s] [-r root_file_name] [-f file_name]
        [-n component] [-d mmddhhmmYYYY[/mmddhhmmYYYY]]
        [-l x[/y]] [-p pid]
```

説明: 使用方法メッセージは、lgprint コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。構文情報を使用して、コマンドを正しく入力します。

BAM0670(I) ~ BAM0675(I) は、画面表示またはプロンプトです。

BAM0700 ~ BAM0799

BAM0700(I) Batch node directory

説明: 情報メッセージです。

BAM0701(I) Contact your System Administrator

説明: 情報メッセージです。

BAM0702(I) Default Temp directory

説明: 情報メッセージです。

BAM0703(I) BAM Log file

説明: 情報メッセージです。

BAM0704(I) Contact your batch node administrator

説明: 情報メッセージです。

BAM0705(I) Batch Job Accounting file

説明: 情報メッセージです。

BAM0706(I) To reconfigure Job Accounting File: start BAM,
select System Environments, Job Accounting

説明: 情報メッセージです。

BAM0707(I) Batch Console file

説明: 情報メッセージです。

BAM0708(I) To suspend batch console file: start BAM, select
System Environments, Assign the Console

説明: 情報メッセージです。

BAM0709(I) Batch Circular file

説明: 情報メッセージです。

BAM0710(I) To reconfigure batch circular file: start BAM,
select System Environments, Assign the Console

説明: 情報メッセージです。

BAM0711(I) Batch Job Log file

説明: 情報メッセージです。

BAM0712(I) To erase the Job Log file use the bam ClearJobLog
option.

説明: このメッセージは、bam ClearJobLog コマンドを使用して、ジョブのログ
ファイルを消去することを指示しています。

対処: 情報メッセージです。指定したコマンドを使用して、ジョブのログファイル
を消去する場合を除き、ユーザーのアクションは必要ありません。

BAM0713(I) Batch Log Error file

説明: 情報メッセージです。

BAM0714(I) To reconfigure batch log error file: start BAM, select Problem Determination, Admlog

説明: 情報メッセージです。

BAM0715(I) Batch AutoSub Log file

説明: 情報メッセージです。

BAM0716(I) PPF Server Log file

説明: 情報メッセージです。

BAM0717(I) Default Job Listing Output Directory

説明: 情報メッセージです。

BAM0718(I) To reconfigure Default Job Listing Output Directory: start BAM, select System Environments, Redirect Job Output

説明: 情報メッセージです。

BAM0719(I) Job Listing Output Directory

説明: 情報メッセージです。

BAM0720(I) To reconfigure Job Listing Output Directory: start BAM, select Applications and Subsystems, Update a Subsystem

説明: 情報メッセージです。

BAM0721(I) User Work Directory

説明: 情報メッセージです。

BAM0722(I) To configure User Work Directory: start BAM, select Security and Users

説明: 情報メッセージです。

BAM0723(W) No batch job classes are defined

説明: バッチノードが有効ですが、バッチジョブクラスが定義されていません。バッチノードは、ジョブを受け入れますが、実行することはできません。

対処: 1つまたは複数のバッチジョブクラスを作成します。ジョブクラスの作成についての詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。

BAM0724(I) Batch job class activities: %d

説明: バッチノードが有効で、割り当てられたジョブクラスアクティビティの指定数で設定されています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

第2章

BS 系メッセージ

BS 系メッセージは、バッチサブシステムに関連しています。

BS0001 ~ BS0199

BS0001(I) `tp_list message`

説明: `tp_list` 関数の情報メッセージです。

BS0002(I) `tp_list message`

説明: `tp_list` 関数の情報メッセージです。

BS0004(W) `Command not allowed`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0005(W) `Target does not exist`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0006(W) `Empty list`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0007(S) ERROR: invalid arguments

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0008(S) ERROR: invalid sysindir directory

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0009(S) ERROR: invalid jbatch file

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0010(S) ERROR: %d invalid user id

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0011(S) ERROR: %s jbatch file already exists

説明: 指定されたファイルの作成時のエラーです。

対処: 指定されたファイルを削除して、再実行します。

BS0012(S) Error on tp_getinst pid=%d unexpected key=%s errno=%d

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0013(S) Error : batch node environment not set

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0014(S) Pid=%d tp_getinst() Error : <%s> not found errno=%d

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0015(S) Error on %s process, pid=%s

説明: 指定されたプロセスからの予期しない出力です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0016(S) Cannot inspect %s process

説明: 指定されたコマンドで popen に失敗しました。

対処: 指定したコマンドの実行権を調査します。

BS0017(I) Usage: lststs [-j jon [-t] [-c]] [-u user]
[-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、lststs コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS0021(S) Command %s aborted: rc = %d

説明: lstutl コマンドのメッセージです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0022(I) End of %s command

説明: lstutl コマンドの情報メッセージです。

BS0024(I) Command %s executed

説明: lstutl コマンドの情報メッセージです。

BS0025(S) lstutl - tp_getinst error - errno=%d

説明: .install ファイル処理エラーです。

対処: install ファイルのエントリが有効かどうか調査します。

BS0026(S) lstutl - lst_table fopen error - errno=%d

説明: lst_table ファイルへのアクセス時に発生したエラーです。

対処: \$PACK/da/lst_table が存在し、有効であることを確認します。

BS0027(S) lstutl - command not found or entry mistake in
lst_table file

説明: lst_table ファイルのコマンドエントリの検索時のエラーです。

対処: \$PACK/da/lst_table が存在し、有効であることを確認します。

BS0028(S) Can not get %s environment

説明: 指定された環境変数が設定されていません。バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0029(S) Can not open message catalog

説明: 各国語メッセージカタログが見つかりませんでした。

対処: カタログの存在を調査し、適切な読み取り権を確認します。

BS0030(I) Job %d: Reply Sent

説明: メッセージは正常に、指定されたジョブに受信されました。

対処: 情報メッセージです。

BS0031(I) Usage: rpljob jon string [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、rpljob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS0036(W) Invalid options

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0037(W) Printer not existent or not in accepting status

説明: 指定された出力デバイスが無効または使用不可能です。

対処: lpstat -t コマンドの結果を調べ、必要に応じてプリンタを使用可能にします。

BS0038(W) Only digit field

説明: パラメータに構文エラーが含まれています。

対処: パラメータを数字に訂正して再実行します。

BS0039(S) Pid=%d tp_getuidname() Failed: uid=%d uid_aut=%d
getpwuid errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS0042(S) tp_lstfun: %s output, error %04d

説明: データ収集ルーチンによって呼び出された tp_lstfun 関数が、強制的に中止されました。

対処: _drc コマンドが、シンボリックリンクを介してlstut1 にリンクしていることを確認します。

BS0043 (W) Paper type does not exist

説明: rp_open のエラーです。用紙のタイプが無効です。

対処: 用紙タイプを訂正して再実行します。

BS0044 (S) tp_lstfun: %x output, error %04d

説明: 内部の関数によって呼び出された tp_lstfun 関数が、強制的に中止されました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0050 (W) Value not allowed

説明: 枚数パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを有効な数字に訂正して再実行します。

BS0051 (W) Formal error in name

説明: レポート名のチェック時のエラーです。

対処: 有効な名前に訂正して再実行します。

BS0100 (S) Cannot obtain the %s entry

説明: このエントリは、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されていません。

対処: \$EBMHOME/.install ファイルを調査し、環境変数が正確に定義されていることを確認します。

BS0101 (S) Cannot open message catalog: %s

説明: \$PACK ディレクトリに、メッセージカタログ nlsmsg がありません。

対処: ファイルを再び作成するには、Sun MBM 管理者としてログインして次のコマンドを入力します。

```
$ gencat $PACK/nlsmsg $PACK/ish/globals.msg
```

BS0102 (S) The %s Batch Subsystem name is not defined in the .install file

説明: \$EBMHOME/.install ファイルに、指定されたサブシステムがありません。

対処: エディタを使用して、サブシステム名が .install ファイルで定義されていることを確認します。ノードを起動または停止する必要はありません。

BS0103(S) The stat command failed when accessing the %s setup file: errno %d

説明: 指定されたファイルで stat 呼び出しに失敗しました。

対処: 指定したファイルが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno の状態を調査します。エラーコードの意味は、
/usr/include/sys/errno.h ファイルを参照してください。

BS0104(S) The %s Batch Subsystem name is not defined in the .install file

説明: \$EBMHOME/.install ファイルに、指定されたサブシステムがありません。

対処: エディタを使用して、サブシステム名が .install ファイルで定義されていることを確認します。ノードを起動または停止する必要はありません。

BS0105(S) The %s setup-file failed on open: errno=%d

説明: 指定されたファイルを開こうとしているときに発生したエラーです。

対処: 指定したファイルが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno の状態を調査します。エラーコードの意味は、
/usr/include/sys/errno.h ファイルを参照してください。

BS0106(S) The "\$" character cannot be interpreted for the KIXSYS=%s variable

説明: 指定された文字が、KIXSYS 環境変数の設定ファイルで許可されていません。

対処: BAM を使用して KIXSYS 環境変数のパス名を訂正し、コマンドを再実行します。

BS0107(S) The "`" character cannot be interpreted for the KIXSYS=%s variable

説明: 指定された文字が、KIXSYS 環境変数の設定ファイルで許可されていません。

対処: BAM を使用して KIXSYS 環境変数のパス名を変更し、コマンドを再実行します。

BS0108(S) Ftok failed on %s, command aborted: errno=%d

説明: KIXSYS の指定された値で、ftok 呼び出しに失敗しました。

対処: 指定したファイルが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno の状態を調査します。エラーコードの意味は、
/usr/include/sys/errno.h ファイルを参照してください。

BS0109(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、STREAMS ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

BS0110(S) Unable to connect to BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: BAM を使用して、ノードが起動していることを確認します。

BS0111(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0112(I) Batch Subsystem list is empty

説明: デフォルトのサブシステムが存在しません。または、サブシステムが定義されていません。

対処: BAM を使用して、デフォルトのサブシステムを定義します。

BS0113(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: 内部エラーです。EbmsysTable ファイルが破壊されています。

対処: ノードを停止し、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されている sysindir ディレクトリ内の EbmsysTable ファイルを削除します。

BS0114(I) No default Batch Subsystem is defined

説明: 情報メッセージです。デフォルトのサブシステムとして、サブシステムが定義されていません。

対処: BAM を使用して、デフォルトのサブシステムを定義します。

BS0115(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0116(S) Error opening a mailbox: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0117(S) Unable to connect BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: BAM を使用して、ノードが起動していることを確認します。

BS0118(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0119(I) Batch Subsystem list is empty

説明: サブシステムが定義されていません。

対処: 情報メッセージです。BAM を使用して、サブシステムを定義します。

BS0120(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: 内部エラーです。EbmsysTable が破壊されています。

対処: ノードを停止し、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されている sysindir ディレクトリ内の EbmsysTable ファイルを削除します。

BS0121(I) No Batch Subsystems are currently defined

説明: サブシステムが定義されていません。

対処: 情報メッセージです。BAM を使用して、サブシステムを定義します。

BS0122(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0123(S) Error on the %s sysin file

説明: \$EBMHOME/.install ファイルに sysindir エントリが存在しないか、エントリが破壊されています。

対処: sysindir が \$EBMHOME/.install ファイルで定義されていて、パス名が有効であることを確認します。

BS0124(S) Error opening the %s sysin file: errno=%d

説明: sysin ファイルを開こうとしているときに発生したエラーです。

対処: sysin ファイルが存在し、適切なアクセス権をもっていることを確認します。問題が解消しない場合は、ノードを停止し、sysin ファイルを削除してからノードを再起動します。

BS0125(S) The Batch Subsystem name is null

説明: サブシステム名が指定されていません。

対処: サブシステム名を指定します。

BS0126(S) Unable to obtain information about the user login name

説明: パスワードファイルからユーザー名情報を取得しようとして失敗しました。

対処: システム管理者に問い合わせ、ユーザー名が適切なファイルに定義されていることを確認します。

BS0127(S) Error reading the %s sysin file: errno=%d

説明: 指定された sysin ファイルを読み込めませんでした。

対処: 指定したファイルが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno の状態を調査します。エラーコードの意味は、`/usr/include/sys/errno.h` ファイルを参照してください。

BS0128(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0129(S) Unable to connect BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: BAM を使用して、ノードが起動していることを確認します。

BS0130(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0131(S) Batch Subsystem list is empty

説明: サブシステムが定義されていません。

対処: 情報メッセージです。BAM を使用して、サブシステムを定義します。

BS0132(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: 内部エラーです。EbmsysTable ファイルが破壊されています。

対処: ノードを停止し、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されている sysindir ディレクトリ内の EbmsysTable ファイルを削除します。

BS0133(S) Unexpected message type %d from BQM, command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0134(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0135(S) Unable to connect BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: BAM を使用して、ノードが起動していることを確認します。

BS0136(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0137(S) Batch Subsystem list is empty

説明: サブシステムが定義されていません。

対処: 情報メッセージです。BAM を使用して、サブシステムを定義します。

BS0138(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: 内部エラーです。EbmsysTable ファイルが破壊されています。

対処: ノードを停止し、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されている sysindir ディレクトリ内の EbmsysTable ファイルを削除します。

BS0139(S) Batch Subsystem %s not found

説明: 指定されたサブシステム名が EbmsysTable に定義されていません。

対処: BAM を使用して、定義済みのサブシステムを一覧表示します。指定したサブシステム名がない場合は、サブシステムを定義します。

BS0140(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: ソフトウェア (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0141(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0142(S) Unable to connect BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: BAM を使用して、ノードが起動していることを確認します。

BS0143(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、BAM を使用してノードが動作していることを確認します。

BS0144(I) Batch Subsystem %s deleted

説明: 情報メッセージです。指定されたサブシステムが削除されています。

対処: ebmsys コマンドを実行して、指定したサブシステムに関する情報を取得します。

BS0145(S) Unable to delete Batch Subsystem %s: permission denied

説明: 指定されたバッチサブシステムを削除できません。他のユーザーによって作成されたサブシステムです。

対処: ebmsys コマンドを使用して、サブシステムの作成者を確認します。

BS0146(S) Unable to delete Batch Subsystem %s: permission denied

説明: 指定されたサブシステムを削除できません。他のユーザーによって作成されたサブシステムです。

対処: ebmsys コマンドを実行して、サブシステムの作成者を確認します。

BS0147(S) Batch Subsystem %s contains submitted jobs: command aborted

説明: サブシステムに有効なジョブがあるので、指定されたサブシステムを削除できません。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。
「Report System Status」メニュー、または Sun MBMメインメニューの「Active Jobs」アイコンをクリックして有効なジョブを一覧表示します。有効なジョブをすべて取り消してから、サブシステムを削除します。

BS0148(W) Batch Subsystem %s deleted, KIXSYS value was not correct

説明: サブシステムが削除されています。コマンドを実行する前に、サブシステム設定ファイルの KIXSYS 環境変数を変更されています。

対処: BAM を使用してサブシステムを定義し、KIXSYS 環境変数が正しく設定されていることを確認します。Sun MTP 領域は、適切なサブシステムに自動的に再接続されます。

BS0149(W) The default Batch Subsystem %s is deleted

説明: デフォルトのサブシステムが存在しません。ebmsys -k オプションなしでサブミットされるすべてのジョブでエラーが発生します。

対処: BAM を使用して、デフォルトのサブシステムを定義します。

BS0150(W) The default Batch Subsystem %s is deleted: KIXSYS was not correct

説明: デフォルトのサブシステムが削除され、KIXSYS 環境変数がリセットされました。

対処: BAM を使用して、デフォルトのサブシステムを定義します。KIXSYS 環境変数に指定される Sun MTP 領域は、サブシステムに自動的に接続されます。

BS0151(W) The Batch Subsystem %s is already deleted: command rejected

説明: 指定されたサブシステムは、すでに削除されています。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、サブシステムに関するすべての情報を表示するか、ebmsys コマンドを実行します。

BS0152(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: 内部エラーです。EbmsysTable ファイルが破壊されています。

対処: ノードを停止し、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されている sysindir ディレクトリ内の EbmsysTable ファイルを削除します。

BS0153(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0154(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0155(S) %s invalid user name

説明: パスワードファイルからユーザー名情報を取得しようとして失敗しました。

対処: ユーザー名がパスワードファイルで正しく定義されていることを確認します。

BS0156(S) %s invalid group name

説明: グループファイルからグループ名情報を取得しようとして失敗しました。

対処: グループファイルでグループ名が正しく定義されていることを確認します。

BS0157(S) Unable to connect to BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: ノードが起動していることを確認します。

BS0158(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0159(I) Batch Subsystem %s created: with KIXSYS null, no MTP region will be available

説明: 指定されたサブシステムは、unikixjob コマンドでサブミットされたジョブを実行できません。KIXSYS 環境変数が無効です。

対処: BAM を使用して、KIXSYS 環境変数を訂正します。

BS0160(I) Batch Subsystem %s created
KIXSYS=%s

説明: 指定されたサブシステムは、unikixjob コマンドでサブミットされたジョブを受け入れます。サブシステムは、\$KIXSYS で指定される Sun MTP 領域に接続されます。

対処: 情報メッセージです。

BS0161(S) Batch Subsystem %s already created: command aborted

説明: 指定されたサブシステムは、すでに作成されています。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、定義済みのすべてのサブシステムの状態を確認します。

BS0162(S) Batch Subsystem table full: command aborted

説明: サブシステムを定義できません。EbmsysTable の容量が不足しています。

対処: BAM を使用して、既存のサブシステムを削除してから、別のサブシステムを定義します。

BS0163(S) Batch Subsystem table corrupted: command aborted

説明: 内部エラーです。EbmsysTable ファイルが破壊されています。

対処: ノードを停止し、\$EBMHOME/.install ファイルで指定されている sysindir ディレクトリ内の EbmsysTable ファイルを削除します。

BS0164(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0165(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0166(S) Unable to connect BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: ノードが起動していることを確認します。

BS0167(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0168(I) %s is not the default Batch Subsystem

説明: 情報メッセージです。指定されたサブシステムは、デフォルトのサブシステムではありません。

対処: -k オプションを指定しないで、subjob コマンドおよび unikixjob コマンドでサブミットされたすべてのジョブで、エラーが発生します。これを修正するには、BAM を使用して、デフォルトのサブシステムを定義します。

BS0169(W) %s is not defined as the default Batch Subsystem

説明: 指定されたサブシステムは、デフォルトのサブシステムではありません。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、定義済みのサブシステムを一覧表示し、デフォルトのサブシステムを決定します。

BS0170(S) The Batch Subsystem table empty: command aborted

説明: サブシステムが定義されていないので、デフォルトのサブシステムをリセットできません。

対処: BAM を使用してサブシステムを作成し、デフォルトのサブシステムとして定義します。

BS0171(S) Batch Subsystem %s not found: command aborted

説明: 指定されたサブシステムが定義されていないので、リセットできません。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、すべてのサブシステムの状態を確認し、どれがデフォルトのサブシステムか決定します。

BS0172(S) %s is not the default Batch Subsystem: command aborted

説明: 指定されたサブシステムがデフォルトのサブシステムでないので、リセットできません。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、すべてのサブシステムの状態を確認し、どれがデフォルトのサブシステムか決定します。

BS0173(S) The %s Batch Subsystem could not be updated: permission denied

説明: 指定されたサブシステムをリセットできません。他のユーザーによって作成されたサブシステムです。Sun MBM 管理者権限で指定できます。

対処: ebmsys コマンドを実行して、サブシステムの状態および作成者を確認します。

BS0174(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: Sun MBM の内部エラーのため、指定されたデフォルトのサブシステムをリセットできません。

対処: ノードを停止し、サブシステムテーブル (\$PACK/sysindir 下の EbmsysTable) を削除して、ノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0175(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: BQM の内部エラーのため、指定されたデフォルトのサブシステムをリセットできません。

対処: ノードを停止し、サブシステムテーブル (\$PACK/sysindir 下の EbmsysTable) を削除して、ノードを再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0176(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0177(S) Unable to connect to BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: ノードが起動していることを確認します。

BS0178(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、STREAMS ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

BS0179(I) Command executed

説明: 指定されたコマンドは正しく実行されました。

対処: 情報メッセージです。

BS0180(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0181(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0182(S) Unable to connect to BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: ノードが起動していることを確認します。

BS0183(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0184(I) Command executed

説明: ebmsys ユーティリティーのメッセージです。指定されたコマンドは正しく実行されました。

対処: 情報メッセージです。

BS0185(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: Sun MBM (BQM) の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0186(S) Error opening a mail-box: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0187(S) Unable to connect to BQM: errno=%d tp_errno=%d

説明: コマンドが Sun MBM への接続を試みましたが、失敗しました。

対処: ノードが起動していることを確認します。

BS0188(S) Me_getmsg failed: errno=%d tp_errno=%d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: errno を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS0189(I) %s defined as default Batch Subsystem

説明: 情報メッセージです。指定されたサブシステムは、デフォルトのサブシステムとして正常に定義されています。

対処: -k オプションを指定せずに subjob コマンドおよび unikixjob コマンドでサブミットされたすべてのジョブは、デフォルトのサブシステムで実行されません。

BS0190(I) %s already defined as default Batch Subsystem

説明: 情報メッセージです。指定されたサブシステムは、デフォルトのサブシステムとしてすでに定義されています。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、定義済みのすべてのサブシステムの状態を一覧表示します。

BS0191(S) The Batch Subsystem table is empty: command aborted

説明: サブシステムが定義されていないので、デフォルトのサブシステムを設定できません。

対処: BAM を使用して、サブシステムを定義します。

BS0192(S) Batch Subsystem %s not found: command aborted

説明: 指定されたサブシステムが定義されていないので、デフォルトのサブシステムとして設定できません。

対処: BAM を使用してサブシステムを定義してから、デフォルトとして設定します。

BS0193(S) Default Batch Subsystem already defined: command aborted

説明: 他のサブシステムがすでにデフォルトのサブシステムとして定義されているので、指定されたサブシステムをデフォルトのサブシステムとして設定できません。

対処: BAM を使用して定義済みのすべてのサブシステムを表示し、デフォルトとして定義されているサブシステムをリセットしてから、目的のサブシステムをデフォルトのサブシステムとして設定します。

BS0194(S) The %s Batch Subsystem could not be updated: permission denied

説明: 指定されたサブシステムは他のユーザーが作成したので、デフォルトのサブシステムに設定できません。

対処: BAM を使用して、すべてのサブシステムおよび関連情報を表示します。Sun MBM 管理者権限で指定できます。

BS0195(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: Sun MBM の内部エラーのため、指定されたデフォルトのサブシステムを設定できません。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0196(S) Unexpected message type %d from BQM: command aborted

説明: 指定されたサブシステムをデフォルトのサブシステムとして設定できません。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0197(S) The system name %s is larger than %d characters

説明: 指定されたサブシステムの名前の長さが、Sun MBM の範囲を超えています。

対処: エディタを使用して、\$EBMHOME/.install ファイル内の名前の長さを変更してコマンドを再実行します。

BS0198(S) Only Batch administrator can use this option: command aborted

説明: ユーザーが Sun MBM 管理者でないので、指定されたコマンドは実行できません。

対処: Sun MBM 管理者またはスーパーユーザーだけが指定されたオプションを実行できます。

BS0199(S) Only Batch administrator can use this option: command aborted

説明: ユーザーが Sun MBM 管理者でないので、指定されたコマンドは実行できません。

対処: Sun MBM 管理者またはスーパーユーザーだけが指定されたオプションを実行できます。

BS0200 ~ BS0399

BS0200(S) The system name %s is larger than %d characters

説明: サブシステム名が、Sun MBM の文字数を超えています。

対処: BAM を使用して、サブシステム名の文字数を減らします。

BS0201(S) Cannot get information about user uid=%d

説明: パスワードファイルにユーザーエントリがありません。

対処: パスワードファイルを調査し、指定したエントリが存在するか確認します。存在しない場合は、システム管理者に連絡してください。

BS0202(S) Internal error on authority permission, command aborted

説明: 許可ファイルへのアクセス時の内部エラーです。

対処: 許可ファイルが正しく定義されていることを確認します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0203(S) Internal error on authority permission, command aborted

説明: 許可ファイルへのアクセス時の内部エラーです。

対処: 許可ファイルが正しく定義されていることを確認します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0204(S) The stat command failed accessing the %s authority file, errno %d

説明: 許可ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: errno と許可ファイルのパス名に対するアクセス権を調査し、\$EBMHOME/.install ファイルのエントリを変更します。

BS0205(S) The %s authority file could be not open errno=%d

説明: 指定された許可ファイルで、fopen 関数の呼び出しに失敗しました。

対処: errno とファイルのアクセス権を調査します。

BS0206(S) The user %s is not found in the %s authority file,
command aborted

説明: 許可ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したユーザーを適切な許可ファイルに追加します。

BS0211(S) Can not get information about remote user uid=%d

説明: 指定されたユーザー ID は、遠隔バッチノードで定義されていません。

対処: 必要に応じて変更し、再実行します。

BS0212(S) Internal error on remote authority permission,
command aborted

説明: 遠隔ホストのコマンドを実行する際に、アクセス権が拒否されました。

対処: 同じユーザーが、遠隔ホストの適切なアクセス権を持っていることを確認します。

BS0213(S) Internal error on remote authority permission,
command aborted

説明: 遠隔ホストのコマンドを実行する際に、アクセス権が拒否されました。

対処: 同じユーザーが、遠隔ホストの適切なアクセス権を持っていることを確認します。

BS0214(S) The stat command failed accessing the remote
%s_authority_file, errno %d

説明: 遠隔許可ファイルが見つかりません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS0215(S) The remote %s_authority_file could be not open errno=
%d

説明: 遠隔許可ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS0216(S) The user %s is not found in the remote
%s_authority_file, command aborted

説明: 指定されたユーザーは、要求されたコマンドを遠隔バッチノードで実行するための適切なアクセス権を持っていません。

対処: 必要に応じてバッチノードのアクセス権を変更します。

BS0226(I) Default Batch Subsystem: %s

説明: 情報メッセージです。

BS0258(I) Batch Subsystem name: %s

説明: 情報メッセージです。

BS0259(I) This is the default Batch Subsystem.

説明: 情報メッセージです。

BS0260(I) This is not the default Batch Subsystem.

説明: 情報メッセージです。

BS0262(I) This was a default Batch Subsystem.

説明: 情報メッセージです。

BS0263(I) This was not a default Batch Subsystem.

説明: 情報メッセージです。

BS0264(S) The nodename name %s is greater than %d characters

説明: バッチノード名が長すぎます。

対処: システムが定める表示された文字数以下の名前を指定します。

BS0270(I) Batch autosub daemon is not active

説明: バッチノードのジョブ自動サブミットデーモンが有効になっていません。

対処: Sun MBM ノードが Sun MBM HA データサービスとして設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0271(I) Batch autosub daemon is hanging

説明: バッチノードのジョブ自動サブミットデーモンが正しく動作していません。

対処: Sun MBM ノードが Sun MBM HA データサービスとして設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0272(W) Batch psg daemon returns unexpected message type=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0300(W) BQM: duplicated entry in sysin: attempted to insert
jon %d

説明: sysin ファイルでキーが重複しています。

対処: BQM によって問題が回避される可能性があります。lstjcl コマンドを実行します。

BS0301(W) BQM: no more free jon numbers

説明: 割り当て可能なジョブ番号の数が不足しています。

対処: 使用されていないジョブを sysin ファイルから削除します。

BS0302(S) BQM: cannot get message from MEF: tp_errno %d

説明: メッセージ交換機能インタフェースのエラーです。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0303(S) BQM: cannot open MEF channel: tp_errno %d. Abort

説明: BQM のメールボックスを開く際に発生したエラーです。

対処: そのメールボックス名を使用しているプロセスがないか調査します。

BS0304(S) BQM: cannot send message to psg_daemon: tp_errno %d

説明: psg_daemon が動作していないか、受信する状態になっていません。

対処: ノードを再起動して shmdump コマンドが機能することを確認し、lststs コマンドを実行して結果を調査します。

BS0305(S) BQM: cannot send message to utility: tp_errno %d

説明: BQMは、無効なユーザーコマンドに応答できません。

対処: tp_errno メッセージおよび最終的に TPTp_errno メッセージを確認します。

BS0306(S) BQM: cannot find jon %d entry inside sysin

説明: sysin ファイルへのアクセス時の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0307(S) BQM: cannot delete jon %d entry from sysin

説明: sysin ファイルへのアクセス時の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0308(W) BQM: permission denied: command %s user %s

説明: Sun MBM 管理者だけが指定されたオプション付きのコマンドを実行できません。

対処: Sun MBM 管理者としてログインし、コマンドを実行します。

BS0309(S) BQM: received signal %d: abort

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを参照してください。ノードを起動します。

BS0310(S) BQM: cannot insert jon %d entry in sysin list

説明: sysin リストへのアクセス時のエラーまたは malloc 関数のエラーです。

対処: スペース割り当ての処理の限界に達しているか、要求された jon が sysin ファイルにあります。sysin ファイルから jon を削除します。この方法で削除できない場合は、ノードを再起動して、sysin ファイルから jon を削除します。

BS0311(S) BQM: cannot update jon %d entry in sysin

説明: sysin リストへのアクセス時のエラーです。lseek または write() 呼び出しに失敗しました。

対処: sysin ファイルに正しいアクセス権が設定されていることを確認します。

BS0312(W) BQM: unknown command %d from user %s

説明: BQM がユーザーの要求を認識しません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0313(W) BQM: cannot find user id %d in catalog: tp_errno %d

説明: パスワードファイルのユーザーエントリ検索時のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーエントリを調査します。

BS0314(W) BQM: cannot find user - %s - in catalog: tp_errno %d

説明: getpwnam 関数のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーエントリを調査します。

BS0315(S) BQM: system call malloc() failure: errno %d

説明: malloc 関数呼び出し時の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0316(S) BQM: system call open() failure: file %s errno %d

説明: sysin ファイルを開く際のエラーです。

対処: \$EBMHOME/sysindir/sysin ファイルが存在することを確認し、アクセス権を調査します。

BS0317(S) BQM: system call read() failure: file %s errno %d
説明: sysin ファイルの読み込み時のエラーです。
対処: \$EBMHOME/sysindir/sysin ファイルが存在することを確認します。アクセス権を調査します。

BS0318(S) BQM: system call seek() failure: file %s errno %d
説明: sysin ファイルで seek 呼び出しに失敗しました。
対処: \$EBMHOME/sysindir/sysin ファイルが存在することを確認し、アクセス権を調査します。

BS0319(W) BQM: system call unlink() failure: file %s errno %d
説明: \$EBMHOME/sysindir ディレクトリのジョブファイルのリンク解除時のエラーです。
対処: このディレクトリに正しいアクセス権が設定されていることを確認します。

BS0320(S) BQM: system call write() failure: file %s errno %d
説明: sysin ファイルの書き込み時のエラーです。
対処: \$EBMHOME/sysindir/sysin ファイルが存在することを確認し、アクセス権を調査します。

BS0321(W) BQM: system call signal() failure: signal %d errno %d
説明: signal 呼び出しでのエラーです。
対処: 詳細は、errno テーブルを参照してください。

BS0322(S) BQM: cannot open virtual console (%s): errno %d:
abort.
説明: vcf デーモンへの接続エラーです。
対処: vcf デーモンが動作していることを確認します。

BS0323(S) BQM: cannot lock ipsx shared memory semaphore:
tp_errno = %d
説明: semop 関数のエラー、オプション PSEMOP。
対処: ipcs -s コマンドを使用して、Sun MBM セマフォアがシステムから削除されているかどうか確認します。システムの範囲も調査します。

BS0324(S) BQM: can't get shared memory address: tp_errno %d.
%s aborted

BS0324(S) BQM: can't get shared memory address: tp_errno %d.
%s aborted

説明: shmget 呼び出しでのエラーです。psg_daemon が動作していない可能性があります。

対処: ipcs -m の結果を調査し、shmdump コマンドが動作することを確認します。

BS0325(S) BQM: cannot get %s ipsx variable: tp_errno %d.
%s aborted

説明: .install ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: エディタを使用して、.install ファイルで有効な sysindir ディレクトリが指定されていることを確認します。

BS0326(S) BQM: cannot release ipsx shared memory semaphore:
tp_errno = %d

説明: semop 関数のエラー、オプション VSEMOP。

対処: ipcs -s コマンドを使用して、Sun MBM セマフォアがシステムから削除されているかどうか確認します。システムが定める範囲を調査します。

BS0327(I) BQM: startup procedures successfully completed

説明: BQM はアイドル状態です。ユーザーの要求が受信可能です。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0328(W) BQM: WARNING: job %d not restarted successfully

説明: システムクラッシュ後の、sysin ファイルへのジョブ挿入時のエラーです。

対処: ジョブを削除して、ノードを再起動します。

BS0329(I) BQM: job %d successfully restarted

説明: 指定したジョブは正常に再起動しました。

対処: BQM の情報メッセージです。

BS0330(I) BQM: beginning of startup procedures

説明: BQM の情報メッセージです。起動処理を実行しています。

BS0331(S) BQM: system call fork() failure: errno %d

説明: fork 呼び出しでのエラーです。

対処: 同時実行のプロセス総数に関するシステムの制限を調査します。詳細は、errno テーブルを参照してください。

BS0332(W) BQM: subjob request while in BQM_NOSUB state: pid = %d user %s

説明: BQM は、ユーザーが送信する要求を受信できません。

BS0333(W) BQM: received message %d while BQM DISABLED: pid=%d user %s

説明: BQM は、ユーザーの要求を受信できません。

BS0334(I) BQM: BQM is now disabled

説明: 情報メッセージです。BQM は、ユーザーの要求を受信できません。

BS0335(I) BQM: BQM cannot accept subjob requests

説明: 情報メッセージです。BQM は、ユーザーが送信する要求を受信できません。

BS0336(I) BQM: BQM is now idle

説明: 情報メッセージです。BQM は、ユーザーの要求を受信できません。

BS0337(I) BQM: BQM is now running jobs

説明: 情報メッセージです。BQM は、ジョブを実行できます。

BS0338(I) BQM: BQM is now waiting for job end before shutdown

説明: BQM の情報メッセージです。BQM は、ジョブが終了するまで待機します。

BS0339(W) BQM: jon %d files are inconsistent: remove this job from sysin

説明: BQM の警告メッセージです。

対処: BQM によって問題が回避される可能性があります。回復しない場合、sysin ファイルからジョブを削除して再実行します。

BS0340(I) BQM: job %s inserted in sysin file with jon %d

説明: BQM の情報メッセージです。

BS0341(W) BQM: cannot re-send message to myself: tp_errno %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0342(I) BQM: execution completed. Exiting

説明: BQM の情報メッセージです。

BS0343(I) BQM: starting restart operations for jon %d

説明: 情報メッセージです。ジョブは正常に再起動しました。

BS0344(I) BQM: found entry inside sysin: job %s, jon %d

説明: BQM の情報メッセージです。sysin ファイル設定にあるジョブは、保持するように設定されています。

BS0345(W) BQM: WARNING: %s isn't active

説明: Sun MTP領域が有効ではありません。

対処: Sun MTP 領域の状態を確認します。詳細は、Sun MTP ログファイルで調査します。

BS0346(I) Job %d (%s) could not be executed between %s and %s

説明: BQM の情報メッセージです。Sun MTP 環境でジョブを実行できませんでした。

対処: 少なくとも1つのジョブが未使用であったかどうかを調査して、Sun MTP 領域が時間間隔で有効であったことを確認するか、VSAM Control Table (VCT) でバッチサーチの時間間隔を調査します。ジョブを再実行します。

BS0347(I) Job %d (%s) Ended, Status=000

説明: BQM の情報メッセージです。

BS0348(I) Job %d (%s) Aborted, Status=%d

説明: ジョブが強制的に中止されました。状態はジョブの終了コードを表します。

対処: 詳細は、ログファイルを参照してください。

BS0349(I) Batch Subsystem %s is down: MTP server pid was %d

説明: 情報メッセージです。指定されたサブシステムに接続されていた Sun MTP 領域が停止しました。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックして、サブシステムに関連するすべての情報を表示します。

BS0350(W) Batch Subsystem %s elapsed time=%d, maximum: %d

説明: サブシステムの経過時間が、Sun MBM が定める範囲を超えています。

対処: この問題の原因は、Sun MBM システムの過負荷またはユーザーのシステムの過負荷です。

BS0351(I) BQM max sleep time: %d

説明: 情報メッセージです。BQM デーモンの内部タイマーが指定された値に変更されています。

BS0352(I) BQM max elapsed time: %d

説明: 情報メッセージです。BQM デーモンの内部タイマーが指定された値に変更されています。

BS0353(S) BQM error on open %s: errno=%d

説明: 指定されたサブシステムテーブルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、errno の状態を調査します。

BS0354(I) Found Batch Subsystem %s, processed jobs = %d

説明: 指定されたサブシステムに関する情報メッセージです。指定された数字は、最後のセッションで処理されたジョブの数です。

BS0355(S) BQM open failed for Batch Subsystems table %s: errno=%d

説明: 指定されたサブシステムテーブルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、errno を調査します。

BS0356(S) BQM error on open %s: errno=%d

説明: 指定されたサブシステムテーブルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、errno を調査します。

BS0357(I) Batch Subsystem %s created by %s

説明: 指定されたサブシステムは定義されています。

対処: 情報メッセージです。

BS0358(I) Batch Subsystem %s created by %s

説明: 指定されたサブシステムは定義されています。

対処: 情報メッセージです。

BS0359(I) Batch Subsystem %s created by %s

説明: 指定されたサブシステムは定義されています。

対処: 情報メッセージです。

BS0360(I) Batch Subsystem %s deleted by %s

説明: 情報メッセージです。指定されたサブシステムは削除されています。

対処: エントリがサブシステムテーブルに保持されているかぎり、サブシステムに関する情報を取得できます。新しいエントリが定義され、テーブルの容量が不足している場合にだけ、エントリは削除されます。

BS0361(I) Batch Subsystem %s rebooted: MTP server previous pid=%d, new pid=%d

説明: 情報メッセージです。サブシステムに接続された Sun MTP 領域が再起動されました。

対処: Sun MBM メインメニューの「System Status」アイコンをクリックするか、ebmsys コマンドを実行して、サブシステムに関する追加情報を表示します。

BS0362(W) Batch Subsystem %s not found: job %d deleted

説明: アクション (sort、repro、またはシェルスクリプトの実行) は、sysin ファイルの内容によって異なります。

対処: sysin ファイルの内容を調査します。

BS0363(I) The batch node cannot communicate with an MTP Region that has different protocol number: Batch Node protocol=%d, MTP Region protocol=%d

説明: この Sun MTP 領域では、現在の Sun MBM (バッチ) システムと互換性のないバージョンが使用されます。

対処: Sun MBM のバージョンと互換性のある Sun MTP のバージョンを使用します。サポートが必要な場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS0364(S) Unable to create Batch Subsystem %s1, KIXSYS key already in use by Batch Subsystem %s2

説明: \$KIXSYS が他のサブシステムに使用されているので、サブシステムが作成できませんでした。

対処: 一意の \$KIXSYS パス名を使用して、サブシステムを作り直します。

BS0400 ~ BS0699

BS0400(S) Entry %s%s not defined in the .install file

説明: .install ファイルには、このアイテムに対するエントリがありません。

対処: .install ファイルにエントリを作成します。

BS0401(S) Invalid entry %s%s defined in the .install file

説明: .install ファイルに、このアイテムに対する不正確なエントリがあります。

対処: .install ファイルのエントリを訂正します。

BS0402(S) Internal error accessing ebmmd daemon of the remote batch node

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0403(S) Internal error on ebmmd daemon of the remote batch node

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0404(S) Error accessing ebmmd daemon of the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0405(S) Error accessing ebmmd daemon of the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0406(S) Internal error invalid batch node name

説明: ノード名を検出できません。

対処: 有効なノード名を指定します。

BS0500(S) Entry %s%s not defined in the .install file

説明: .install ファイルには、このアイテムに対するエントリがありません。

対処: .install ファイルにエントリを作成します。

BS0501(S) Invalid entry %s%s defined in the .install file

説明: .install ファイルに、このアイテムに対する不正確なエントリがあります。

対処: .install ファイルのエントリを訂正します。

BS0502(S) Internal error accessing the remote batch node

説明: このノードにアクセスできません。

対処: 遠隔ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0503(S) Internal error on the remote batch node

説明: このノードにアクセスできません。

対処: 遠隔ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0504(S) Unable to connect to the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンに接続できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0505(S) me_open errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンと通信を開始できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0506(S) Unable to send message to the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0507(S) error on me_putmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0508(S) Unable to get message from the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0509(S) error on me_getmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0510(S) Unable to send message to the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0511(S) error on me_putmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0512(S) Unable to get message from the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0513(S) error on me_getmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0514(S) Unable to send message to the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0515(S) error on me_putmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0516(S) Unable to get message from the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0517(S) error on me_getmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0518(I) Network socket of ebmmd daemon for the batch node %s :

説明: 情報メッセージです。

BS0519(S) Unable to send message to the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0520(S) error on me_putmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0521(S) Unable to send message to the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0522(S) error on me_putmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンにメッセージを送信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0523(S) Unable to get message from the ebmmd daemon for the batch node %s

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0524(S) error on me_getmsg errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンからメッセージを受信できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0525(I) Fd Process Name Pid Host Name

説明: 情報メッセージです。

BS0526(S) Internal error

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0527(S) Close connection to the ebmmd daemon, failed

説明: ebmmd デーモンとの接続を終了できません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0528(S) error on me_close errno=%d tp_errno=%d

説明: ebmmd デーモンとの接続終了時のエラーです。

対処: ノードが動作していることを確認します。詳細は、errno を調査します。

BS0529(I) Local socket of ebmmd daemon for the batch
node %s : %s

説明: 情報メッセージです。

BS0530(I) pid of ebmmd daemon for the batch node %s : %d

説明: 情報メッセージです。これは、指定されたノード上の ebmmd デーモンのプロセス ID です。

BS0531(I) No network socket for ebmmd daemon of the batch node

説明: 情報メッセージです。

BS0532(I) Process list for the batch node %s :

説明: 情報メッセージです。

BS0533(I) Host Name Port Number

説明: 情報メッセージです。

BS0550(S) Entry %s %s not defined in the .install file

説明: このエントリは、.install ファイルで定義されていません。

対処: エディタを使用して、.install ファイルに指定したエントリを追加します。

BS0551(S) Invalid entry %s %s defined in the .install file

説明: 指定されたエントリの定義が正しくありません。

対処: エディタを使用して、.install ファイルに指定したエントリを訂正します。

BS0552(S) Internal error accessing ebmmd daemon of the remote
batch node

説明: 遠隔ノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0553(S) Internal error on ebmmd daemon of the remote batch
node

説明: 遠隔ノードの ebmmd デーモンが予期しない状態になっています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0554(S) Error accessing ebmmd daemon of the batch node %s

説明: 指定されたノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0555(S) Error accessing ebmmd daemon of the batch node %s

説明: 指定されたノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0556(I) File redirected is %s

説明: 情報メッセージです。

BS0557(I) File of redirection not defined

説明: 情報メッセージです。

BS0558(I) File redirected is %s

説明: 情報メッセージです。

BS0559(I) File of redirection not found

説明: 情報メッセージです。

BS0560(S) The nodename name %s is greater than %d characters

説明: ノード名が、Sun MBM の文字数を超過しています。

対処: .install ファイルのエントリを訂正し、再実行します。

BS0561(S) Cannot get %s environment

説明: 環境変数の設定を取得できません。

対処: Sun MBM が正しくインストールされていることおよび .install ファイルに対応するエントリがあることを確認します。

BS0562(S) Cannot open message catalog

説明: メッセージカタログを開けません。

対処: ノードが正しくインストールされていることおよび batchenv に環境変数が設定されていることを確認します。

BS0563(S) Text too long, limit is %d

説明: 文字列がフィールド長を超過しています。

対処: 字数を減らして再実行します。

BS0564(S) The nodename is too long, limit is %d

説明: 入力したノード名が範囲を超えています。

対処: ノード名を短くして再実行します。

BS0565(S) Entry %s%s not defined in the .install file

説明: .install ファイルにこのエントリがありません。

対処: エディタを使用して、.install ファイルにこのアイテムを定義します。

BS0566(S) Invalid entry %s%s defined in the .install file

説明: .install ファイルに不正確なエントリがあります。

対処: エディタを使用して、.install ファイルに正しいエントリを入力します。

BS0567(S) Internal error accessing ebmmd daemon of the remote batch node

説明: 遠隔ノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0568(S) Internal error on ebmmd daemon of the remote batch node

説明: 遠隔ノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS0569(S) The job %d is not waiting for reply

説明: 指定されたジョブは応答を待っていません。

対処: lststs コマンドと lstjob コマンドを実行して、追加情報を取得します。

BS0575(S) Entry %s not defined in the .install file

説明: .install ファイルにこのエントリがありません。

対処: BAM を使用して、.install ファイルにこのアイテムを定義します。

BS0576(S) Invalid entry %s%s defined in the .install file

説明: .install ファイルに不正確なエントリがあります。

対処: エディタを使用して、.install ファイルのエントリを訂正します。

BS0577(S) Internal error accessing ebmmd daemon of the remote batch node

説明: 遠隔ノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることを確認し、遠隔ノードを再起動します。

BS0578(S) Internal error on ebmmd daemon of the remote batch node

説明: 遠隔ノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることを確認し、遠隔ノードを再起動します。

BS0579(S) Error accessing ebmmd daemon of the batch node %s

説明: 指定されたノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0580(S) Error accessing ebmmd daemon of the batch node %s

説明: 指定されたノードの ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ノードが動作していることおよびノード間で通信できるように設定されていることを確認します。

BS0581(S) Unable to access the directory %s, errno=%d

説明: 指定されたディレクトリにアクセスできません。

対処: 特定の情報は、エラーテーブルを調査します。

BS0582(I) Batch node startup date: %s

説明: 情報メッセージです。

BS0584(I) Batch node %s is not active. Reason: error connecting ebmmd process

説明: 指定したバッチノードが有効ではありません。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0585(I) Batch node %s is not active. Reason: error communicating with ebmmd process

説明: 指定したバッチノードが有効ではありません。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0586(I) Batch node %s is not active. Reason: ebmmd process is not active

説明: 指定したバッチノードが有効ではありません。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0587(I) Batch node %s is warming up

説明: 指定したバッチノードが開始されます。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0588(I) Batch node %s is starting up

説明: 指定したバッチノードが開始されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0589(I) Batch node %s is shutting down

説明: 指定したバッチノードをシャットダウンしています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0590(I) Batch node %s is active

説明: このメッセージは、ノード名で指定された遠隔ノードが有効であることを示しています。ノード名が指定されていない場合は、メッセージは、ローカルノードが有効であることを示します。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0591(I) Batch node %s is not active. Reason: one or more batch system processes are not available

説明: 指定したバッチノードがダウンしています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS0592(I) Batch node %s is hanging

説明: 指定したバッチノードシステムのプロセスまたはリソースの1つまたは複数を利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0593(S) ERROR. Unknown batch node status, received message %d from ebmmd

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0594(I) Batch vcf daemon is not active

説明: バッチノードの仮想コンソール機能デーモンが有効ではないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0595(I) Batch psg daemon is not active

説明: バッチノードのプロセスグループデーモンが有効ではないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0596(I) Batch psg daemon is not active

説明: バッチノードのプロセスグループデーモンが有効ではないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0597(I) Batch node %s is hanging

説明: 指定したバッチノードシステムのプロセスまたはリソースの1つまたは複数を利用できないか、正しく動作していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0600(S) Unable to allocate %d bytes for %s name, errno=%d

説明: 内部エラーです。動的メモリーをプロセスに割り当てることができません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0601(S) Unknown user %s, errno=%d

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザー名が無効です。

対処: 有効なユーザー名を使用してジョブを再実行します。

BS0602(S) Unknown user %s, errno=%d

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザー名が無効です。

対処: 有効なユーザー名を使用してジョブを再実行します。

BS0603(S) Invalid group id for user %s

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザーのグループ ID が無効です。

対処: システム管理者に連絡してください。

BS0604(S) Unable to access %s home directory: %s, errno=%d

説明: subjob または unikixjob コマンドを実行している現在のユーザーには、subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されているユーザーのホームディレクトリへのアクセス特権がありません。

対処: システム管理者に連絡してください。

BS0605(S) Unable to access %s batch node authority file: %s, errno=%d

説明: subjob または unikixjob コマンドを実行している現在のユーザーに .batch_auth ファイルを読むためのアクセス特権がないか、.batch_auth ファイルが存在しません。

対処: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定するユーザーのホームディレクトリで、.batch_auth ファイルを定義する必要があります。このファイルには、グループおよび他のユーザーの読み取り専用のアクセス権が必要です。

BS0606(S) Batch node authority file %s is not a regular file

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザーのホームディレクトリで定義されている .batch_auth ファイルは、通常のファイルではありません。

対処: -U オプションで指定する .batch_auth ファイルのユーザーに連絡します。

BS0607(S) Batch node authority file %s not owned by %s

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザーのホームディレクトリで定義されている .batch_auth ファイルは、指定されたユーザーに所有されていません。

対処: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定するユーザーは、ディレクトリ下にある .batch_auth ファイルの所有者である必要があります。

BS0608(S) Batch node authority file %s has group write permission

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザーのホームディレクトリで定義されている .batch_auth ファイルには、グループ用の書き込み権があります。

対処: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定するユーザーのホームディレクトリで、.batch_auth ファイルを定義する必要があります。このファイルには、グループおよび他のユーザーの読み取り専用のアクセス権が必要です。

BS0609(S) Batch node authority file %s has write permission for others

説明: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザーのホームディレクトリで定義されている .batch_auth ファイルには、他のユーザーの書き込み権があります。

対処: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定するユーザーのホームディレクトリで、.batch_auth ファイルを定義する必要があります。このファイルには、グループおよび他のユーザーの読み取り専用のアクセス権が必要です。

BS0610(S) Unable to open batch node authority file %s, errno=%d

説明: subjob または unikixjob コマンドを実行している現在のユーザーに .batch_auth ファイルを読むためのアクセス特権がないか、.batch_auth ファイルが存在しません。

対処: subjob または unikixjob コマンドの -U オプションで指定するユーザーのホームディレクトリで、.batch_auth ファイルを定義する必要があります。このファイルには、グループおよび他のユーザーの読み取り専用のアクセス権が必要です。

BS0611(S) In batch node authority file %s
Invalid Job Entry "%s"

説明: 指定されたジョブエントリは、無効なエントリです。

対処: .batch_auth ファイルの所有者に連絡して、適切な変更を行います。

BS0612(S) In batch node authority file %s
Job Entry "%s" has unexpected characters following the '\'

説明: 指定されたジョブエントリは、無効なエントリです。行が文字 \ で終わる必要があります。

対処: .batch_auth ファイルの所有者に連絡して、適切な変更を行います。

BS0613(S) In batch node authority file %s
Job Entry "%s" is duplicated

説明: ジョブエントリの重複は許可されません。

対処: .batch_auth ファイルの所有者に連絡して、適切な変更を行います。

BS0614(S) Job Entry "%s" not found in batch node authority
file %s

説明: 指定されたジョブには .batch_auth ファイルに対応するエントリがありません。

対処: .batch_auth ファイルの所有者に連絡して、ジョブを実行するための適切な特権を取得します。

BS0615(S) In batch node authority file %s
User %s not found in Job Entry "%s"

説明: subjob/unikixjob コマンドを実行しているユーザーには、-U オプションで指定されているユーザーとして指定されたジョブを実行する特権がありません。

対処: .batch_auth ファイルの所有者に連絡して、ジョブを実行するための適切な特権を取得します。

BS0616(S) Option -U not supported on this platform

説明: 現在、このプラットフォームではこのオプションはサポートされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0617(S) Option -U exceeds system imposed limit of %d
characters

説明: subjob/unikixjob コマンドの -U オプションで指定されたユーザーの名前の文字数が制限を超えています。

対処: 短いユーザー名でコマンドを再実行します。

BS0618(S) In batch node authority file %s
Job Entry "%s" follows a continuation line

説明: 指定された行が、バックスラッシュ記号 (\) のあとに続きます。

対処: .batch_auth ファイルの所有者に連絡して、適切な変更を行います。

BS0619(I) VCF semaphore is not available, errno=%d

説明: 指定したバッチリソースが利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0620(I) PSG level 1 shared memory semaphore is not available, errno=%d

説明: 指定したバッチリソースが利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0621(I) PSG level 2 shared memory semaphore is not available, errno=%d

説明: 指定したバッチリソースが利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0622(I) PSG level 3 shared memory semaphore is not available, errno=%d

説明: 指定したバッチリソースが利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0623(I) Shared memory buffer pool semaphore is not available, errno=%d

説明: 指定したバッチリソースが利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0624(I) Shared memory buffer pool is not available, errno=%d

説明: 指定したバッチリソースが利用できないか、正しく機能していません。

対処: Sun MBM HA データサービスが設定されている場合は、ノードは自動的に再起動されます。自動的に再起動されない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS0700 ~ BS0999

BS0701(S) Serious error: environment variable FILEMAP not initialized

説明: FILEMAP 環境変数が設定されていません。

対処: FILEMAP 環境変数に File_Map ファイルを設定します。

BS0702(S) line %3d: JOB statement in procedure

説明: JOB 文が、JCL プロシーチャー内にあります。

対処: この文を取り消すか、-p オプションを指定しないでトランスレータを実行します。

BS0703(S) line %3d: semantic error: COND

説明: COND パラメータは、意味的に不正確 (演算子またはコードサブパラメータ) です。

対処: JCL ソースを変更して COND パラメータの意味を訂正し、再実行します。

BS0704(W) line %3d: default value assigned to SORTOUT record length

説明: デフォルト値 (80) が、SORTOUT データセットのレコード長に割り当てられています。

対処: 該当値と関連する LRECL サブパラメータを JCL ソースに挿入して再実行します。

BS0705(I) line %3d: For COBOL programs, the MOD disposition must be used with OPEN EXTEND COBOL statement

説明: 情報メッセージです。EXTEND COBOL オプションを使用して、データセットを開く必要があります。

対処: このデータセットを参照する COBOL ソースを調査します。

BS0706(I) Translation Report:

説明: haltrans の情報メッセージ、変換レポートのタイトルです。

BS0707(I) Serious errors :%3d

説明: haltrans の情報メッセージです。変換で、重大なエラーがいくつか発生しました。

対処: JCL ソースを訂正し、変換を再実行します。

BS0708(I) Semantic errors :%3d

説明: haltrans の情報メッセージです。変換で、意味上の誤りがいくつか発生しました。

対処: JCL ソースを訂正し、変換を再実行します。

BS0709(I) Warning messages :%3d

説明: haltrans コマンドの情報メッセージです。変換で、警告メッセージがいくつか生成されました。

対処: -w オプションを使用して haltrans を再実行し、警告メッセージを表示します。

BS0710(I) Informational messages :%3d

説明: 変換中に、情報メッセージがいくつか生成されました。

BS0712(I) Too many errors, translation aborted

説明: 重大なエラーの数が 100 を超えると、変換は強制的に中止されます。

対処: JCL ソースを変更してエラーの数を減らし、再実行します。

BS0717(S) JCL type: future implementation

説明: -t オプションの値は、将来使用できるようになります。現在のところ、既定値だけがサポートされています。

BS0719(I) Step %s: %s translation requires hand-tailoring

説明: 情報メッセージです。変換されたステップについては、手動で変更する必要があります。

対処: これらのユーティリティをサポートするには、COBOL プログラムまたはシェルスクリプトを提供する必要があります。

BS0720(I) haltrans: validation mode: no output generated

説明: 情報メッセージです。

対処: 出力を生成する場合、-v オプションは使用しません。

BS0723(S) haltrans: cannot open output file %s

説明: JCL トランスレータは、書き込みモードでは出力ファイルを開けません。

対処: 出力ファイルとディレクトリのアクセス権を調査します。

BS0724(I) haltrans: translation already executed on file %s

説明: 情報メッセージです。出力の変換は、すでに出力ディレクトリ下に存在します。

対処: 古い変換を削除するか、-f オプション (force) 付きの haltrans を実行します。

BS0726(S) Invalid %s file name

説明: JCL ソースファイルの名前に空白があります。または、設定されていない環境変数を使用して参照されています。

対処: コマンドの構文を調査して再実行します。

BS0727(S) Invalid parameter %s

説明: haltrans コマンドのパラメータ値が不正です。

対処: コマンドの構文を調査して再実行します。

BS0728(I) RUNNING the translator on %s

説明: 情報メッセージです。変換レポートのタイトル、haltrans の情報メッセージです。

BS0729(S) Serious error: Internal error: malloc failed

説明: JCL 変換時にメモリー割り当てでエラーが発生しました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0731(I) END of translation on %s

説明: haltrans の情報メッセージ、変換終了です。

BS0732(S) Error writing the translation

説明: JCL トランスレータが出力ファイルに NULL 文字列を書き込もうとしました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0734(S) Error opening the File_Map

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0735(S) Error closing the File_Map

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0736(W) Line %3d: bad File_Map access-key

説明: File_Map エントリが破壊されています。

対処: File_Map エントリを変更し、再実行します。

BS0738(S) Dataset %s not found in File_Map

説明: File_Map にエントリが見つからなかった際の haltrans のエラーです。

対処: 検査モード (-v オプション) でまたは File_Map にエントリの作成後、haltrans を再実行します。

BS0744(S) Line %3d: semantic error :%s out of range

説明: COND パラメータの条件コードの値が範囲外です (範囲は 0 ~ 4096)。

対処: 指定した行の JCL ソースを訂正します。

BS0747(S) Line %3d: too many parameter for the %s statement

説明: 構文エラーです。

対処: 入力ストリームを変更し、もう一度トランスレータを開始します。

BS0768(S) Line %3d: Yacc internal error: %s

説明: 構文エラーです。

対処: 入力ストリームを変更し、もう一度トランスレータを開始します。

BS0776(S) Line %3d: serious error: %s

説明: 構文エラーです。

対処: 入力ストリームを変更し、もう一度トランスレータを開始します。

BS0789(S) Error unlocking the current File_Map

説明: crtflm コマンドの使用時に、File_Map はロックされています。ファイルをロック解除するときに、問題が発生しました。

対処: コマンドを再試行します。

BS0790(S) Error locking the current File_Map

説明: crtflm コマンドの使用時に、File_Map はロックされています。ファイルをロック解除するときに、問題が発生しました。

対処: コマンドを再試行します。

BS0791(I) Current entry already in the File_Map

説明: 情報メッセージです。 同一のキーを使用してエントリがすでに作成されていたので、-c オプション付きの crtflm は正常に実行されませんでした。

対処: エントリを変更する必要がある場合は、crtflm の修正機能 -m を使用します。

BS0793(I) New entry created

説明: -c オプション付きの crtflm が正常に実行されました。

対処: 情報メッセージです。

BS0794(I) Current entry deleted

説明: -d オプション付きの crtflm が正常に実行されました。

対処: 情報メッセージです。

BS0795(I) Current entry modified

説明: -m オプション付きの crtflm が正常に実行されました。

対処: 情報メッセージです。

BS0796(I) Usage: ftval file-name catalog-name col

説明: ftval コマンド構文の不正確な使用方法です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS0797(S) Invalid column number (should be <= 6 and > 0)

説明: ftval コマンドが、無効な field パラメータ値で呼び出されました。

対処: パラメータ値を訂正して再実行します。

BS0798(S) No entry match in the File_Map

説明: File_Map のエントリの中に、アクセスキーに一致するものがない場合、ftval コマンドはこのメッセージを返します。

対処: 実行したコマンド文字列 ftval が正確であるか調査します。

BS0799(S) Current File_Map column is empty

説明: File_Map のエントリの目的のフィールドが空の場合、ftval コマンドはこのメッセージを返します。

対処: このエントリの妥当性を調査します。

BS0805(I) END of translation on %s: errors found

説明: haltrans の情報メッセージです。変換が強制的に中止されました。

対処: JCL ソースを変更してエラーの数を減らし、再試行します。

BS0807(I) RUNNING the translator on %s

説明: 変換レポートのタイトルです。haltrans の情報メッセージです。

BS0808(S) haltrans: cannot open input file %s

説明: ソースファイルを開く際の haltrans のエラーです。

対処: JCL ソースファイルが JCL ディレクトリ下に存在するかどうかを調査し、アクセス権を確認します。

BS0809(S) System error: %s

説明: 指定されたシステムエラーにより、JCL トランスレータが失敗しました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS0810(S) line %3d: Symbolic parameter in JCL job not found

説明: JCL ジョブは、呼び出したプロシージャーに DD 文の記号パラメータを渡しますが、関連付けられた値がありません。

対処: 記号パラメータを削除するか、値を与えることによって JCL ソースを変更し、再実行します。

BS0811(S) line %3d: PROC statement not first

説明: PROC 文が、JCL プロシージャーで最初の有意な文である必要があります (コメント文を除く)。

対処: JCL ソースを訂正して再実行します。

BS0812(S) line %3d: IN-STREAM PROCEDURE not supported

説明: インストリームプロシージャーが、JCL ジョブ内部に存在します。

対処: インストリームプロシージャーの JCL ソースを抽出して、関連するプロシージャーを独立したファイルとして作成します。別に変換します。

BS0813(S) line %3d: JOB statement missing

説明: JOB 文が JCL ジョブ内にありません。

対処: JCL ソースを更新して、欠落している文を含めるか、-p オプションを指定して JCL ソースを変換します (ソースが JCL プロシージャーの場合があります)。

BS0814(S) line %3d: Symbolic parameter in JCL job not supported

説明: 記号パラメータが JCL ジョブの内部に存在します。

対処: 記号パラメータを削除するか、値を与えることによって JCL ソースを変更し、再実行します。

BS0815(S) line %3d: DISP parameter value not allowed

説明: DISP パラメータの値がサポートされていません。

対処: JCL ソースを変更して再実行します。

BS0816(W) line %3d: For COBOL programs, the MOD disposition must be used with OPEN EXTEND COBOL statement

説明: EXTEND COBOL オプションを使用して、データセットを開く必要があります。

対処: このデータセットを参照する COBOL ソースを調査します。

BS0817(W) line %3d: PASS normal disposition ignored for FS files

説明: ファイルシステム (FS) のファイルを他のステップに渡すための対応がなされていません。

対処: このファイルのアクセス同期を調査します。

BS0818(W) line %3d: DISP parameter is ignored for VSAM datasets

説明: VSAM データセットの設定は、Sun MTP DBMS を制御します。

対処: JCL チェーンが正確であるか調査します。

BS0819(W) line %3d: DDNAME parameter in JCL job translated as DUMMY parameter

説明: JCL の DD 文の中に存在する DUMMY パラメータはサポートされていません。

対処: DD 文を、サポートされている DD タイプに変更するか、JCL ソースを変更して DUMMY を削除します。

BS0820(W) line %3d: DLM parameter not supported

説明: DLM パラメータ値が、インストリームデータセットのエンドマーカとして使用されています。

対処: デフォルトの JCL の値を使用してインストリームデータセットのエンドマーカを変更し、再実行します。

BS0821(W) line %3d: Dataset %s was not handled as partitioned or gdg

説明: 記号パラメータが、データセット名の最後のメンバーとして存在します。

対処: データセットが世代データグループ (GDG) として処理されるのか、分割されたデータセットとして処理されるのかを調査します。トランスレータは、このデータセットを単純に認定されたデータセットとして処理します。

BS0822(I) Line %3d: Default entry %s added in File_Map

説明: JCL トランスレータが検査モードで実行される場合、関連するエントリが存在しなければ、デフォルトのデータセットのエントリが File_Map に追加されません。

対処: 情報メッセージです。

BS0823(S) Serious error: COBOL programs library not present in File_Map

説明: エントリ SYS1. LINKLIB が File_Map に存在しません。

対処: COBOL プログラムが存在するパスを指定して、このエントリを挿入します。

BS0824(S) Serious error: DUMMY parameter not compatible with VSAM dataset

説明: DUMMY パラメータは、VSAM データセットでサポートされていません。

対処: 解決法は、アプリケーションの内容によって異なります。

BS0825(S) Serious error: environment variable PROCLIB not initialized

説明: JCL プロシージャを変換する際に、PROCLIB 環境変数が必要です。

対処: \$PROCLIB へ出力ディレクトリパスを設定します。

BS0826(S) Serious error: Failed system: ftval %s %d 2>/dev/null

説明: File_Map へのアクセス時に、JCL トランスレータで発生したエラーです。

対処: アクセスキーおよび Sun MBM 環境変数が正確かどうかを調査し、File_Map が存在することを確認します。

BS0827(S) Serious error: Failed system: crtflm -C %s %s
>/dev/null 2>&1

説明: File_Map でエントリを作成時に、JCL トランスレータで発生したエラーです。

対処: パラメータおよび Sun MBM 環境変数が正確かどうかを調査し、File_Map が存在することを確認します。

BS0829(S) Serious error: Internal error: errno=%d

説明: Sun MBM 環境パラメータ PUBLIC、PACK の一方または両方の値を取得する際に、JCL トランスレータ (popen) で発生したエラーです。

対処: EBMHOME 環境変数が設定されていることおよび .install ファイルが \$EBMHOME 下に存在することを確認します。

BS0830(S) Serious error: Entry %s in File_Map: field 4 not coherent

説明: エントリは DB タイプですが、4 つめのフィールドが無効なパス名です。

対処: File_Map の該当するエントリを訂正します。

BS0831(I) haltrans: empty file list

説明: メタキャラクタ * を使用してソースリストを表していますが、このリストは空白です。

対処: 実行した haltrans コマンドの妥当性を調査します。

BS0832(W) Step %s may only partially handle the VSAM dataset (s)

説明: 指定されたステップは、部分的にだけサポートされる IDCAMS sysin を実行します。

対処: VSAM データセットで実行されるアクションを調査し、sysin ファイルを更新します。

BS0833(S) line %3d: Symbolic parameter not supported in JCL job

説明: ジョブ内に記号パラメータが見つかりません。

対処: 記号パラメータを削除するか、値を与えることによって JCL ソースを訂正し、再実行します。

BS0834(S) line %3d: Execution module type not supported

説明: 実行されるモジュールタイプが、COBOL プログラム、プロシージャ、またはユーティリティーではありません。

対処: このモジュールのタイプを確認し、有効なモジュールタイプに置換します。

BS0835(S) line %3d: Program name backward reference not supported

説明: PGM= のあとの最初の文字はアスタリスクで、前のステップで指定されたモジュール名を参照します。これはサポートされていません。

対処: アスタリスクを実際のモジュール名に変更します。

BS0836(S) line %3d: Symbolic parameter not supported in the DISP parameter

説明: 記号パラメータは、JCL プロシージャ内部でだけサポートされます。

対処: 記号パラメータを削除するか、値を与えることによって JCL ソースを訂正し、再実行します。

BS0837(S) line %3d: Symbolic parameter not supported in the JCL job

説明: 記号パラメータは、JCL プロシージャ内部でだけサポートされます。

対処: 記号パラメータを削除するか、値を与えることによって JCL ソースを訂正し、再実行します。

BS0838(S) line %3d: DUMMY parameter not supported when executing the IDCAMS utility

説明: IDCAMS ステップ内の DUMMY データセットは、サポートされていません。

対処: ステップを同等のステップシーケンスに変更します。

BS0839(S) line %3d: DUMMY parameter not supported when executing the SORT statement

説明: SORT または ICEMAN ステップ内の DUMMY データセットは、サポートされていません。

対処: ステップを同等のステップシーケンスに変更します。

BS0840(S) line %3d: Concatenation of incompatible dataset types

説明: 指定されたファイルタイプの連結は、サポートされていません。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を変更します。

BS0841(S) line %3d: DISP status incompatible with generation dataset group

説明: FS ファイルとして移行された GDG データセットの古いバージョンまたは現在のバージョンの DISP=NEW は、サポートされていません。

対処: DISP の設定または GDG のバージョン番号を訂正します。

BS0842(S) line %3d: Unexpected symbol -%-

説明: 指定された記号は、このコンテキストでは想定外です。

対処: 適切な構文で JCL ソースを訂正し、再実行します。

BS0843(S) line %3d: In-stream datasets not supported when executing the IDCAMS utility

説明: IDCAMS ステップ内でインストリームデータセットは、サポートされていません。

対処: インストリームデータセットを FS ファイルに置換し、File_Map に FS ファイルのエントリを定義します。

BS0844(S) line %3d: Procedure step reference in the DD statement of the step is not executing a procedure.

説明: // ddname.procstepname DD * ステップ内の DD 文は、JCL プロシージャでは実行しません。

対処: JCL 構文が問題である可能性があります。JCL が正確かどうか調査します。

BS0845(S) line %3d: Dataset concatenation is not supported for a SYSPRINT special DD statement

説明: SYSPRINT データセットの連結は、サポートされていません。

対処: 複数のデータセットを1つのデータセットで置換します。すなわち、データセットを結合して1つにします。

BS0846(S) line %3d: Dataset concatenation not supported when executing the IDCAMS utility

説明: IDCAMS ステップ内の連結されたデータセットは、サポートされていません。

対処: 複数のデータセットを1つのデータセットで置換します。すなわち、データセットを結合して1つにします。

BS0847(S) line %3d: SORTOUT dataset concatenation is not supported when executing the SORT or ICEMAN utility

説明: SORT または ICEMAN ステップ内の連結された出力データセットは、サポートされていません。

対処: 複数のデータセットを1つのデータセットで置換します。すなわち、データセットを結合して1つにします。

BS0848(S) line %3d: DD statement with DDNAME parameter is not supported when executing the IDCAMS utility

説明: IDCAMS ステップ内の DDNAME パラメータは、サポートされていません。

対処: JCL ソースを更新します。参照されるデータセットを DSN パラメータ内の値に変更します。

BS0849(S) line%3d: DDNAME parameter not supported when executing the SORT statement

説明: SORT または ICEMAN ステップ内の外部データセット参照は、サポートされていません。

対処: 参照されるデータセットを DSN パラメータ内の値に変更し、再実行します。

BS0850(S) line %3d: Dataset backward reference is not supported

説明: DSN=*.ddname、DSN=*.stepname.ddname、または DSN=*stepname.procstepname.ddname を含む DD 文は、サポートされていません。

対処: アスタリスクを実際の値に変更します。

BS0851(S) line %3d: DUMMY parameter is not supported in the SORTLIB DD statement

説明: SORTLIB DUMMY データセットは、サポートされていません。

対処: JCL ソースから DD 文を削除します。

BS0852(S) line %3d: Dataset type incompatible with SYSPRINT special DD statement

説明: SYSPRINT の特別な DD 文については、FS ファイルタイプだけがサポートされています。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を訂正します。

BS0854(S) line %3d: Temporary dataset isn't declared as type FS in the File_Map

説明: 一時データセットが、File_Map 内で FS ファイルタイプとして登録されていません。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を更新します。

BS0855(S) line %3d: Sysin dataset isn't declared as type FS in the File_Map

説明: SYSIN データセットが、File_Map 内で FS ファイルタイプとして登録されていません。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を訂正します。

BS0856(S) line %3d: SORTIN or SORTOUT datasets are not declared as type FS in the File_Map

説明: SORTIN または SORTOUT データセットが、File_Map 内で FS ファイルタイプとして登録されていません。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を訂正します。

BS0857(S) line %3d: GDG dataset concatenation is supported only for FS file types

説明: GDG データセットは、FS ファイルタイプだけに対してサポートされています。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を訂正します。

BS0858(S) line %3d: Generation dataset group concatenation is not supported when executing IDCAMS

説明: IDCAMS ステップ内の GDG データセットは、サポートされていません。

対処: データセットを一時ファイルと交換し、JCL ストリームに新しいステップを追加します。

BS0859(S) line %3d: Generation dataset group concatenation is not supported in the SORT statement

説明: SORT ステップ内の GDG データセットは、サポートされていません。

対処: データセットを一時ファイルと交換し、JCL ストリームに新しいステップを追加します。

BS0860(S) line %3d: GDG intrinsic concatenated is not supported when dataset name is represented with a symbolic parameter

説明: DSN=...&par... として宣言された GDG データセットを持つ DD 文は、サポートされていません。

対処: 記号の参照を実際の値に変更します。

BS0861(S) line %3d: GDG datasets are not supported for VS file types

説明: GDG データセットは、FS ファイルタイプまたは DB ファイルタイプだけに對してサポートされています。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を訂正します。

BS0862(S) line %3d: VSAM output dataset is not supported when referenced in a SORT statement

説明: SORT ステップまたは ICEMAN ステップの内部で、FS ファイルタイプだけが出力ファイルでサポートされています。

対処: File_Map の該当するエントリのファイルタイプの値を訂正します。

BS0863(S) line %3d: Generation Data Group number out of order

説明: GDG の発生数が、Sun MBM によって定められている範囲を超えています。

対処: JCL ソースをより小さい数字に訂正し、再変換します。

BS0864(S) The SYS1. LINKLIB entry in the File_Map is not correct

説明: File_Map ファイルに指定されたエントリが見つかりません。

対処: File_Map ファイルが存在することおよびファイルにエントリが存在することを確認します。エントリが存在しない場合は、File_Map のエントリを更新します。

BS0865(S) Entry %s is not correct in the File_Map

説明: 指定されたエントリは、File_Map ファイルでは不正確です。

対処: File_Map のエントリを訂正します。

BS0866(W) Line %3d: The SORT VSAM output action will depend on the contents of the SYSIN file

説明: アクション (sort、repro、またはシェルスクリプトの execution) は、sysin ファイルの内容によって異なります。

対処: sysin ファイルの内容を調査します。

BS0867(W) Temporary dataset %s may be greater than 14 characters.

説明: データセット名が、COBOL が定める範囲を超えることがあります。

対処: 一時データセット名は、ステップ名、ファイル名、およびジョブ番号を連結したものです。jon が 3 桁の場合、名前は 14 文字を超えることがあります。シェルスクリプトまたは JCL で名前を変更して、再変換します。

BS0868(S) Line %3d: symbolic '&DUMMY' cannot be interpreted

説明: &DUMMY 機能は、この DD タイプでサポートされていません。

対処: DD 文をサポートされている DD タイプに変更するか、JCL ソースを変更して DUMMY を削除します。

BS0869(I) OUTPUT parameter on the %s DD statement, contained by step %s, references an OUTPUT JCL statement, %s, that is not defined in the JCL stream. The OUTPUT parameter has been ignored.

説明: 指定された DD 文の OUTPUT パラメータが、JCL ストリームで定義されていない OUTPUT 文を参照します。

対処: JCL ストリーム内部に OUTPUT 文の定義を追加するか、追加の SYSOUT-OUTPUT 環境変数が必要なければ haltrans -x オプションを指定しません。

BS0900(S) Line %3d: %s

説明: 構文エラーです。

対処: 入力ストリームを変更し、もう一度トランスレータを開始します。

BS1000 ~ BS1299

BS1000(S) System error in %s - %s command rejected

説明: ジョブのサブミットの際の BQM が返すエラーです。

対処: BQM の状態を調査します。

BS1001(S) Cannot execute system call %s - %s command aborted

説明: システム呼び出しエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1002(S) Unknown message from %s - %s command rejected

説明: BQM の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1003(S) Permission denied - %s command aborted

説明: Sun MBM 管理者だけが指定されたオプション付きのコマンドを実行できません。コマンドは強制的に中止されました。

対処: Sun MBM 管理者としてログインし、指定したコマンドを実行します。

BS1004(S) Cannot open message channel to %s - %s command aborted

説明: ebmmd デーモンとの接続開始時のエラーです。指定したコマンドは、強制的に中止されました。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS1005(S) Cannot send message to %s - %s command aborted

説明: Sun MBM デーモンのいずれかへのメッセージ送信時のエラーです。指定したコマンドは、強制的に中止されました。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS1006(S) Cannot receive message from %s - %s command aborted

説明: Sun MBM デーモンのいずれかへのメッセージ受信時のエラーです。指定したコマンドは、強制的に中止されました。

対処: ノードが動作していることを確認します。

BS1007(S) Cannot open file %s - %s command rejected

説明: open 呼び出しのエラーです。

対処: \$EBMHOME/sysindir ディレクトリと sysin ファイルのアクセス権を調査します。

BS1008(S) Error on reading file %s - %s command rejected

説明: read() 呼び出しのエラーです。

対処: \$EBMHOME/sysindir ディレクトリと sysin ファイルのアクセス権を調査します。

BS1009(S) Error on writing file %s - %s command rejected

説明: read() 呼び出しのエラーです。

対処: \$EBMHOME/sysindir ディレクトリと sysin ファイルのアクセス権を調査します。

BS1010(S) Cannot create tmp file %s - %s command rejected

説明: mktemp 関数のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1012(S) Invalid structure in sysin file - %s command aborted

説明: sysin ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: \$EBMHOME/sysindir ディレクトリおよび sysin ファイルのアクセス権を調査します。

BS1013(S) Error in translation - %s command aborted

説明: ジョブ変換時のエラーです。

対処: ジョブが変換されているか確認します。

BS1014(W) Cannot find user %s in catalog

説明: パスワードファイルにユーザーが存在しません。

対処: パスワードファイルのユーザーエンTRIESを調査します。

BS1015(S) Cannot get %s environment variable - %s command aborted

説明: getenv 関数のエラーです。

対処: 指定した環境変数を設定します。

BS1016(W) Can't update %s control variable but job submitted with jon %d

説明: tp_putvar 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1017(W) Cannot handle synchronization - reduced functionality for %s

説明: BQM の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1018(S) Error on ipsx list routine - %s command aborted

説明: tp_list 関数のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1020(S) Can't access Control Variables pool: tp_errno %d -
%s aborted

説明: tp_getvar 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1022(S) Only %d lines on file %s - %s command aborted

説明: lstjfl コマンドのエラーです。

対処: 開始行と終了行のパラメータを有効な構文に訂正します。

BS1023(S) Cannot get %s installation variable. %s command
aborted.

説明: getenv 呼び出しのエラーです。

対処: \$EBMHOME/batchenv ファイルを使用して、指定した環境変数を設定します。

BS1024(S) Cannot get shared memory address - %s command aborted

説明: shmget 呼び出しのエラーです。

対処: EMBHOME 環境変数の値を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS1025(S) Cannot get shared ipsx environment - %s command
aborted

説明: 共有メモリーへのアクセス時のエラーです。

対処: EMBHOME 環境変数の値を調査し、ノードが動作していることを確認します。

BS1031(S) Incorrect field length

説明: パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1032(W) Alphanumeric field

説明: パラメータにエラーが含まれています。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1033(S) Wait not allowed with %s jon value - command rejected

説明: パラメータが無効です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1034(S) Value not allowed for - %s - parameter

説明: パラメータが無効です。

対処: パラメータに有効な値を入力して再実行します。

BS1038(I) %s Command executed

説明: Sun MBM ユーティリティの情報メッセージです。

BS1039(S) jon %d not found - %s command aborted

説明: 指定されたジョブ番号は存在しません。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。

「Report System Status」メニュー、または Sun MBM メインメニューの「Active Jobs」アイコンをクリックして、有効なジョブ番号を表示します。

BS1040(S) Job/cmd name %s not associated with jon %d -
%s command aborted

説明: パラメータのエラーです。

対処: infjbs コマンドを使用して、ジョブ番号に関連付けられているコマンドとジョブ名を確認し、再実行します。

BS1041(W) jon %d is running - %s command rejected for it

説明: ジョブの実行中は、ジョブの属性を変更できません。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。

「Report System Status」メニューで、または Sun MBM メインメニューの「Active Jobs」アイコンをクリックして、ジョブの状態を表示します。

BS1042(S) jon %d is not running - %s command rejected

説明: ジョブが実行中でないときは、このコマンドを実行できません。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。

「Report System Status」メニューで、または Sun MBM メインメニューの「Active Jobs」アイコンをクリックして、ジョブの状態を表示します。

BS1043(S) jon %d is not suspended - %s command rejected

説明: ジョブが中断されていないときは、このコマンドを実行できません。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。

「Report System Status」メニューで、または Sun MBM メインメニューの「Active Jobs」アイコンをクリックして、ジョブの状態を表示します。

BS1044(S) job file %s not present - %s command aborted

説明: 指定されたジョブが見つかりませんでした。

対処: ジョブが ./ish ディレクトリに存在することを確認します。

BS1045(S) job %s has null size - %s command aborted

説明: 指定されたジョブは、サイズが無効です。

対処: ./ish ディレクトリ下の指定したジョブ番号を調査します。

BS1046(I) job %s aborted (jon %d)

説明: 情報メッセージです。ジョブが強制的に中止されました。

BS1047(I) job %s deleted

説明: 情報メッセージです。ジョブが削除されました。

BS1048(I) jon %d suspended

説明: 情報メッセージです。ジョブが中断されました。

対処: rsmjob コマンドを使用して、ジョブを再開できます。

BS1049(I) jon %d resumed

説明: 情報メッセージです。ジョブの実行が再開されました。

BS1050(S) jon %d not found - %s command aborted

説明: 指定したジョブ番号が見つけれませんでした。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。
「Report System Status」メニューで、または Sun MBM メインメニューの
「Active Jobs」アイコンをクリックして、ジョブの状態を表示します。

BS1051(S) Activity %s not found - %s command aborted

説明: 指定されたアクティビティー名が見つかりませんでした。

対処: infact コマンドを実行して、有効なアクティビティーを表示します。

BS1052(I) Activity %s is waiting for a job

説明: アクティビティーは使用可能です。

対処: 情報メッセージです。

BS1053(S) Activity %s duplicated - %s command aborted

説明: パラメータのエラーです。一意のアクティビティー名を使用します。

対処: infact コマンドを実行して、すでに定義されているアクティビティーを確認します。アクティビティー名を訂正して再実行します。

BS1054(I) Job %d is now running under activity %s

説明: ジョブは、指定されたアクティビティーで実行されています (スレッド)。

対処: Sun MBM デーモンからの情報メッセージです。

BS1055(I) Activity %s terminate pending

説明: 情報メッセージです。アクティビティー削除の要求が、アクティビティー (スレッド) の Sun MBM デーモンに送信されます。実行中のジョブが終了すると、アクティビティーは削除されます。

対処: 即座にアクティビティーを削除する必要がある場合は、infact コマンドを実行して実行中のジョブを確認して強制的に中止します。

BS1056(I) Terminate activity %s already pending

説明: 情報メッセージです。アクティビティーを削除するメッセージはアクティビティーを待機していますが、ジョブがアクティビティーで実行中なので、実行されていません。

対処: 即座にアクティビティーを削除する必要がある場合は、infact コマンドを実行して実行中のジョブを確認して強制的に中止します。

BS1057(I) Activity %s ended

説明: 指定されたアクティビティーは削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS1058(S) Class %c is empty for this operation - %s command aborted

説明: 指定されたクラスは、この要求およびこのユーザーに対して空白です。

対処: 指定したクラスが各ユーザーに対して空白かどうかを確認する必要がある場合は、Sun MBM 管理者としてコマンドを実行します。

BS1064(S) Can't determine open files: id=%d tp_errno=%d - %s aborted

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1065(I) Command infact

説明: infact ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1066(I) - Inform on act %s : class= %s idle activity

説明: infact ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1067(I) - Inform on act %s : class= %s running job= %d

説明: infact ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1068(I) - Inform on act %s : file allocated= %s

説明: infact ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1069(I) - Inform on act %s : [read] [write] shr= %s

説明: infact ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1070(I) - Inform on activity names :

説明: infact ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1071(I) Command infjob - inform on running jobs

説明: infjob ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1072(I) - Inform on job %d : job= %s cmd= %s

説明: infjob ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1073(I) - Inform on job %d : file allocated= %s

説明: infjob ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1074(I) - Inform on job %d : [read] [write] shr= %s

説明: infjob ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1075(I) command infjbs

説明: infjbs ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1076(I) Jon StepName CmdName Pri Rank

説明: infjbs ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1078(I) Command insjob - inspection on jon %d

説明: insjob ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1079(I) User %s: job %d ---> %s

説明: insjob ユーティリティーの情報メッセージです。

BS1080(I) Command lstjfl

説明: lstjfl ユーティリティの情報メッセージです。

BS1081(I) Command lstjcl

説明: lstjcl ユーティリティの情報メッセージです。

BS1082(I) Jon Jobname P C D Strtime Endtime Start from Status
Type M V

説明: lstjcl ユーティリティの情報メッセージです。

BS1083(I) Command lstjob

説明: lstjob ユーティリティの情報メッセージです。

BS1084(I) Jon Jobname P C D Strtime Endtime Start from Status
Type M V

説明: lstjob ユーティリティの情報メッセージです。

BS1085(I) Unknown

説明: BQM の情報メッセージです。 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1086(I) Submitted

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブがサブミットされました。

BS1087(I) Ready

説明: BQM の情報、メッセージです。 ジョブは、指定されたアクティビティで実行する準備ができています。

BS1088(I) Running

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブが実行されています。

BS1089(I) Finished

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブは正常に終了しました。

BS1090(I) Aborted

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブは強制的に中止されました。

BS1091(I) Suspended

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブが中断されました。

対処: rsmjob コマンドを使用してジョブを再開します。

BS1093(I) Restart

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブは再起動されました。

BS1094(I) Deleted

説明: BQM の情報メッセージです。 ジョブは削除されました。

BS1095(S) Can't lock shared memory semaphore lock
(tp_errno = %d)

説明: semop 関数のエラー、オプション VSEMOP。

対処: ipcs -s コマンドを使用して、システムから Sun MBM セマフォアが削除されたかどうか調査し、システムの制限を確認します。

BS1096(W) Can't release shared memory semaphore lock
(tp_errno = %d)

説明: semop 関数のエラー、オプション PSEMOP。

対処: ipcs -s コマンドを使用して、システムから Sun MBM セマフォアが削除されたかどうか調査し、システムの制限を確認します。

BS1097(W) Empty list

説明: アクティビティリストが空白です。

BS1098(S) Cannot get working directory: errno %d. %s command
aborted

説明: getcwd() 呼び出しのエラーです。

対処: 現在の作業用ディレクトリのパス名の各コンポーネントに対するアクセス権を調査します。

BS1099(W) %s created, but an error occurred in BQM. %s command
executed

説明: Sun MBM デーモンの同期化での内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1100(I) Job %s submitted : jon = %d class = %c

説明: このジョブは、待機オプションを指定せずにサブミットされます。

対処: 情報メッセージです。

BS1101(S) Cannot get sysin filename. %s command aborted

説明: .install ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: .install ファイルの sysindir エントリが有効であることを調査し、EBMHOME 環境変数の値を確認します。

BS1104(S) The Batch Queue Manager is now disabled.

%s command rejected

説明: BQM はユーザーの要求を処理できません。

対処: BQM を終了し、ノードを再起動します。

BS1110(S) No more space in Shared Memory. %s aborted.

説明: 新しいアクティビティーを作成するスペースが共有メモリーにありません。

対処: BAM を使用して、並行するジョブの許容最大数を変更します。

BS1111(S) Jon %s is not running

説明: 指定されたジョブは実行されていません。

対処: BAM システム環境から次の方法で有効なジョブを一覧表示します。
「Report System Status」メニューで、または Sun MBM メインメニューの
「Active Jobs」アイコンをクリックして、ジョブの状態を表示します。

BS1112(W) Inconsistent line numbers with specified parameters

説明: 指定されている開始行と終了行が、JCL ファイルの行番号と一致していません。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1113(I) Job %d terminated.

説明: ジョブはエラーなしに終了しました。

対処: 情報メッセージです。

BS1114(I) Job %d aborted.

説明: ジョブは強制的に中止されました。

対処: 情報メッセージです。

BS1115(S) The batch subsystem table is empty: command aborted

説明: ジョブをサブミットできません。サブシステムが定義されていません。

対処: BAM を使用して、サブシステムを作成します。

BS1116(S) The Batch Subsystem table is corrupted: command aborted

説明: ジョブをサブミットできません。Sun MBM 内部エラーです。

対処: ノードを停止してから起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BS1117(S) User permission denied accessing the Batch Subsystem: command aborted

説明: ユーザー制限のため、ジョブをサブシステムにサブミットできません。

対処: BAM を使用して、サブシステムに関するすべての情報を表示し、状態を確認します。

BS1118(S) Group permission denied when accessing the Batch Subsystem: command aborted

説明: グループユーザー制限のため、ジョブをサブシステムにサブミットできません。

対処: BAM を使用して、サブシステムに関するすべての情報を表示し、状態を確認します。

BS1119(S) Batch Subsystem table empty: command aborted

説明: デフォルトのサブシステムにジョブをサブミットできません。サブシステムが定義されていません。

対処: BAM を使用してサブシステムを作成し、デフォルトのシステムとして定義します。

BS1120(S) Default Batch Subsystem not defined, option -k is mandatory

説明: デフォルトのサブシステムにジョブをサブミットできません。デフォルトのサブシステムが定義されていません。

対処: -k オプション付きのジョブをサブミットするか、BAM を使用してサブシステムをデフォルトサブシステムとして定義します。

BS1201(S) Cannot get information about user uid = %d

説明: ユーザーのパスワードファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: パスワードファイルに、ユーザーの有効なエントリがあることを確認します。

BS1202(S) Internal error on authority permission: command aborted

説明: 許可ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1203(S) Internal error on authority permission: command aborted

説明: 許可ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1204(S) The stat command failed accessing the %s authority file: errno %d

説明: 許可ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: ユーザーに許可ファイルへのアクセス権があることを確認します。ファイルが存在することおよび .install ファイルのエントリが存在することを確認します。

BS1205(S) Cannot open the %s authority file: errno=%d

説明: 許可ファイルを開く際のエラーです。

対処: 許可ファイルのアクセス権が正確であることを確認します。詳細は、errno を調査します。

BS1206(S) User %s not found in the %s authority file: command aborted

説明: ユーザーには、コマンドを使用するためのアクセス権がありません。

対処: ユーザーがコマンドを実行する必要がある場合は、使用可能な許可ファイルにユーザーを追加します。

BS1207(S) The batch node imposed limit on the total number of activities would be exceeded. This may be limited by either the license key or the configured Maximum Number of Activities.%s command aborted.

説明: 新しいアクティビティの作成に失敗しました。この原因は、アクティビティの最大数に関するライセンスキーが定める制限、または .install ファイルの max_num_acts エントリで指定されている制限です。

対処: BAM を使用して、.install ファイルの max_num_acts エントリを更新し、ノードを再起動します。

BS1700 ~ BS1799

BS1701(I) Possible choices are: 'a', 'u' or 'j'

説明: パラメータが無効です。

対処: オプションのいずれか1つを選択して再実行します。

BS1703(W) User parameter not allowed with %c command type

説明: Sun MBM 管理者だけがこのタイプの要求を出すことができます。

対処: Sun MBM 管理者としてログインし、コマンドを実行します。

BS1704(W) You are not a privileged user, sorry

説明: Sun MBM 管理者だけがこのタイプの要求を出すことができます。

対処: Sun MBM 管理者としてログインし、コマンドを実行します。

BS1705(S) Cannot get logged-user name, sorry.

説明: パスワードファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーのエントリが有効であることを確認します。

BS1706(W) Cannot get information about -%s- user. Tp_errno %d

説明: パスワードファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーのエントリが有効であることを確認します。

BS1707(I) End of the History File Management Facility

説明: 情報メッセージです。

BS1708(W) No message present with jon %d

説明: 履歴ファイルに指定されたジョブ番号が見つかりません。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1709(S) Cannot open %s file. Errno = %d

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: パス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

BS1710(S) Cannot send reply to %d jon. Errno = %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1712(S) Error in handling elements list. Tp_errno = %d

説明: 内部エラーです。履歴ファイルの形式が無効です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1713(S) Virtual Console Facility Daemon killed: received signal %d

説明: vcf デーモンが強制的に中止されました。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを参照してください。

BS1714(S) Cannot allocate memory. Errno %d

説明: malloc() 呼び出しでのエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1715(I) The History File is empty

説明: 情報メッセージです。この要求に関して、履歴ファイルは空です。

対処: 履歴ファイルのすべてのメッセージを見る必要がある場合は、Sun MBM 管理者としてログインしてから要求を開始します。

BS1717(S) Cannot close the History File. Errno = %d

説明: 履歴ファイルを閉じる際のエラーです。

対処: 詳細は、errno 値を調査します。

BS1718(S) Cannot get message from Virtual Console. Errno = %d

説明: vcf ドライバの読み込みエラーです。

対処: vcf ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

BS1719(S) Cannot get the History File semaphore identifier.
Errno = %d

説明: semget 呼び出しのエラーです。

対処: システムが定めるセマフォの許容最大数に関する制限を調査します。定められている制限および設定されているアクセス権を確認します。

BS1720(S) Cannot initialize the History File semaphore.
Errno = %d

説明: SETALL オプション付きの semctl() 呼び出しでのエラーです。

対処: アクセス権の設定を調査します。

BS1721(S) Cannot release the History File semaphore. Errno = %d

説明: オプション SEM_UNDO でセマフォをロック解除する semop() 呼び出しのエラーです。

対処: セマフォ識別子がシステムから削除されていたかを確認します。

BS1722(S) Cannot lock the History File semaphore. Errno = %d

説明: オプション SEM_UNDO でセマフォをロックする semop() 呼び出しが原因のエラーです。

対処: セマフォ識別子がシステムから削除されていたかを確認します。

BS1723(S) Cannot access specified position in History File.
Errno = %d.

説明: lseek() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1724(S) Error when reading from the History file. Errno = %d.

説明: read() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1725(S) Cannot write record to the History File. Errno = %d.

説明: write() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1726(S) Cannot get configurable %s directory. Tp_errno %d

説明: .install ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: .install ファイルの sysindir エントリを確認し、EBMHOME 環境変数の値を調査します。

BS1728(S) Invalid target: only a jon value is allowed. Command aborted

説明: パラメータが不正確です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1729(I) Jon Uid Message

説明: 履歴ファイルユーティリティの情報メッセージです。

BS1730(W) The Virtual Console Facility Daemon is not running.
Sorry

説明: vcf デーモンが動作していません。

対処: 確認してノードを再起動します。

BS1731(W) The History File is empty for this request.

説明: 情報メッセージです。この要求に関して、履歴ファイルは空です。

対処: 履歴ファイルのすべてのメッセージを見る必要がある場合は、Sun MBM 管理者としてログインしてから要求を開始します。

BS1732(I) THIS JOB IS WAITING FOR A REPLY

説明: ジョブは、仮想コンソールからの入力を待っています。

対処: Sun MBM の rpljob コマンドを使用して、ジョブに応答します。

BS1734(W) VCF: can't ask for jon %d status to BQM
(tp_errno %d): msg saved

説明: メッセージ交換機能 open のエラーです。

対処: STREAMS ドライバが正しくインストールされていることを確認します。

BS1736(S) Lststs utility killed: received signal %d

説明: 情報エラーです。

対処: 詳細は、シグナルテーブルのシグナル番号を調査します。

BS1737(S) Value not allowed for - %s - parameter

説明: パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

BS1738(S) Cannot use temporary file %s. errno %d. Abort

説明: mktemp() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1739(S) Cannot unlink %s. errno %d. Abort

説明: unlink() 呼び出しのエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

BS1740(S) Can't link %s to %s. errno %d. Abort

説明: link() 呼び出しのエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントの書き込み権を調査します。

BS1741(I) Collecting messages, please wait

説明: 履歴ファイルユーティリティーの情報メッセージです。

BS1742(W) Cannot get information for jon %d

説明: ジョブ番号が無効です。

対処: ジョブ番号を訂正して再実行します。

BS1743(W) JOB ABORTED WHILE WAITING FOR AN ANSWER

説明: 応答を待つジョブが強制的に中止されました。

BS1744(S) Cannot read History File header.(errno %d)

説明: read() 呼び出しのエラーです。

対処: 詳細は、errno 番号を確認してください。

BS1745(S) Cannot write History File header.(errno %d)

説明: write() 呼び出しのエラーです。

対処: 詳細は、errno 番号を確認してください。

BS1746(I) List of the History File. User %s.

説明: 履歴ファイルユーティリティーの情報メッセージです。

BS1747(I) Jon Uid Date

説明: 履歴ファイルユーティリティーの情報メッセージです。

BS1748(W) Cannot allocate memory: a message is lost.

説明: malloc() 呼び出しが原因のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1750(S) The VCF daemon is already running. Abort

説明: vcf デーモンがすでに動作しています。

対処: -f オプションを使用してノードを停止し、再起動します。

BS1751(S) Obtained less data than required from HF: got %d chars instead of %d.

説明: read() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1752(S) Cannot obtain information about History File, errno %d.

説明: stat() 呼び出しでのエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

BS1753(I) The History File is going to be overwritten.

説明: vcf 機能の情報メッセージです。

BS1755(I) Starting COBOL debugger

説明: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。ジョブで COBOL プログラムが検出されると、このプログラムは、amnjob コマンドを発行した端末でデバッグされます。

BS1756(I) Exiting COBOL debugger.

説明: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。ジョブは完了または強制的に中止されました。

BS1757(I) Error: TERM environment variable not set.

説明: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。

対処: TERM 環境変数を、使用している端末の端末タイプに合わせて設定します。たとえば、X-terminal の場合は、TERM=xterms です。

BS1758(I) Standard IN/OUT is not from/to a terminal device.

説明: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。

対処: 標準入出力をリダイレクションしないで端末から amnjob を実行します。

BS1759(S) Standard IN/OUT is not from/to a terminal device.

説明: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。

対処: 標準入出力をリダイレクションしないで端末から amnjob を実行します。

BS1760(S) Invalid permission for user for COBOL debugger

説明: サブミットしたジョブのみをデバッグできます。

対処: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。

BS1761(S) Cannot open message channel

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1762(W) The job is not waiting for the COBOL debugger

説明: ジョブ番号が the anmjob コマンド行で指定されているジョブは、COBOL デバッグオプションを使ってサブミットされませんでした。

対処: COBOL デバッグをジョブで有効にするには、ジョブをサブシステムにサブミットする場合に、subjob または unikixjob コマンドのいずれかで -a オプションを使用する必要があります。

BS1763(S) Cannot send message to BQM

説明: vcf 機能によって生成された重大なメッセージです。

対処: ノードが動作していません。ノードを再起動します。

BS1764(S) System error

説明: vcf 機能によって生成された情報メッセージです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1765(S) Internal error on sync

説明: sysin ファイル内に矛盾があります。

対処: ノードを起動します。ご購入先に問い合わせてください。

BS1766(S) Jon not found command aborted

説明: 指定された jon は、現在、システムにありません。

対処: jon が正確であることを確認します。サブミットしたジョブと関連付けられている必要があります。

BS1767(S) Cannot receive message

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1771(I) batchelp -a lists format of all commands.

説明: 情報メッセージです。

BS1772(I) batchelp -v prints the batch node version.

説明: 情報メッセージです。

BS1773(I) batchhelp command1 [command2 ..] lists format of commands.

説明: 情報メッセージです。

BS1774(I) Usage: batchhelp [-a] [-v] [command1 [command2 ...]]

説明: 使用方法メッセージは、batchhelp コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1775(I) batchhelp: Product Version %s, COM Version %s

説明: このメッセージは、Sun MBM ソフトウェアバージョンと COM バージョンを示します。COM は、Sun MBM および Sun MTP に共通のコードセットです。

対処: 情報メッセージです。

BS1776(S) batchhelp: error on takepath command errno=%d

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1777(S) batchhelp: error on takepath pack command

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1778(S) batchhelp: error on takepath pack command

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1779(I) Usage: %s

説明: 情報メッセージです。

BS1780(S) Usage: %s not found

説明: 指定されたコマンドが見つかりません。

対処: 指定したコマンドが、\$PACK/bin ディレクトリで正しく定義されていることを確認します。

BS1781(S) batchhelp: error on %s command errno=%d

説明: 指定されたコマンドを実行できません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1782(S) batchhelp: error %s command is not executable

説明: 指定されたコマンドを実行できません。

対処: 指定されたコマンドの実行権を変更します。

BS1783(I) Usage: %s

説明: 情報メッセージです。

BS1784(S) Usage: %s not found

説明: 指定されたコマンドが見つかりません。

対処: 指定したコマンドが、\$PACK/bin ディレクトリで正しく定義されていることを確認します。

BS1785(S) batchhelp: error on %s command errno=%d

説明: 指定されたコマンドを実行できません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1786(S) batchhelp: error %s command is not executable

説明: 指定されたコマンドを実行できません。

対処: 指定されたコマンドの実行権を変更します。

BS1787(S) %s: error batch node environment not set.

説明: 指定された環境変数が設定されていません。バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1788(I) Usage: batch_start -f

説明: 情報メッセージです。

BS1789(I) Usage: batch_shut [-r | -f]

説明: 情報メッセージです。

BS1790(I) Batch Node Common Storage Pool Dump

説明: 情報メッセージです。

BS1791(I) %d Usage: ebmadmin [-n | -i]

説明: 情報メッセージです。

BS1792(I) Usage: ebmadmin [-n | -i]

説明: 情報メッセージです。

BS1793(S) Batch node environment not set. Source the batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS1794(I) Usage: ebminfo [[-p] | [-s] | [-r] | [-T] | [-D] | [-S]] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、ebminfo コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1795(S) Can not get %s environment

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS1796(S) Can not open message catalog %s

説明: 各国語メッセージカタログが見つかりません。

対処: カタログの存在を調査し、適切な読み取り権を確認します。

BS1797(S) Error: executable %s%s not found in %s

説明: 指定されたディレクトリに指定されたアプリケーションプログラムの実行可能ファイルが見つかりません。

対処: 指定されたディレクトリのいずれか 1 つで、実行可能ファイルを提供する必要があります。

BS1798(S) Error: executable %s%s not found

説明: 指定されたアプリケーションプログラムの実行可能ファイルが見つかりません。

対処: 指定された実行可能ファイルを提供する必要があります。

BS1799(S) psg: Cannot open %s

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切な読み取り/書き込み権を調査します。

BS1800 ~ BS1899

BS1800(S) psg: %s is in too many groups

説明: 指定されたユーザーが所属するグループ数は、システムの範囲を超えています。

対処: 指定されたユーザーが所属するグループ数を減らします。

BS1801(I) ebmftw(%d), line %d

説明: 情報メッセージです。

BS1802(S) ebmftw(%d), line %d, opendir failed, errno=%d, path=%s

説明: 指定されたディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1803(I) ebmftw(%d), line %d, readdir returns=%s

説明: 指定されたディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1804(I) ebmftw(%d), line %d, lexecname=%s

説明: 情報メッセージです。処理が必要なファイルを検出しました。

BS1805(S) ebmftw(%d), line %d, stat failed, errno=%d

説明: ジョブの自動サブミットディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1806(I) ebmftw(%d), line %d, lexecname=%s is a regular file

説明: 情報メッセージです。

BS1807(I) ebmftw(%d), line %d, lexecname=%s is a directory

説明: 情報メッセージです。

BS1808(I) ebmftw(%d) invoking ebmftw(%d), line %d

説明: 情報メッセージです。

BS1809(S) ebmftw(%d) error invoking ebmftw(%d), line %d

説明: 情報メッセージです。

BS1810(I) ebmftw(%d), line %d, lexecname=%s is not a regular file type

説明: 情報メッセージです。

BS1811(I) ebmftw(%d), line %d, invoking func

説明: 情報メッセージです。バッチノードは入力ジョブの処理を開始します。

BS1812(S) ebmftw(%d), line %d, error invoking func

説明: 入力ジョブ処理エラーです。

対処: 関連付けされたディレクトリのエラーファイルを調査します。

BS1813(I) ebmftw(%d), line %d, curr_dir is NULL

説明: 情報メッセージです。処理されるジョブはこれ以上ありません。

BS1814(I) ebmftw(%d), line %d returns %d

説明: 情報メッセージです。

BS1815(I) Batch AutoSub: ^M and ^Z chars

説明: 情報メッセージです。ジョブ処理中に脱落しているエスケープ特殊文字を検出しました。

BS1817(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fopen() failed
errno=%d, filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1818(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fopen() failed
errno=%d, filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1819(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fputs() failed
errno=%d, output filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1820(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fputs() failed
errno=%d, output filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1821(I) mpFile=%s
JobFile=%s

説明: 情報メッセージです。処理されたジョブの入力ファイルおよび出力ファイルを表示します。

BS1823(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fopen() failed
errno=%d, filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1824(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fopen() failed
errno=%d, filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1825(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, fputs() failed
errno=%d, output filename=%s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1826(I) Usage: ebmautosub
-d search directory
{ -d \$EBMHOME/autosub }
-w wake up time
{ -w 120 } -t file transfer timeout { -t 5 }
-l ['Y':LOG | 'N':No LOG] { -l N }

説明: 使用方法メッセージは、ebmautosub コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1827(W) Batch AutoSub: Warning unable to set administrator
privileges, current uid=%d

説明: マルチユーザー環境のジョブを処理できません。

原因: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: バッチノードを再インストールします。

BS1828(I) Batch AutoSub: Terminating, signal=%d, pid=%d

説明: 情報メッセージです。

BS1829(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, invalid job pathname %s

説明: 指定されたジョブの処理エラーです。

対処: ジョブは jmvms あるいは jdoss ディレクトリに常駐する必要があります。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS1830(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, invalid job pathname %s

説明: 指定されたジョブの処理エラーです。

対処: ジョブは jmvms あるいは jdoss ディレクトリに常駐する必要があります。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BS1831(S) Batch AutoSub: Error: pathname %s, invalid job type %s

説明: 指定されたファイルは、無効なディレクトリに常駐しています。

対処: ジョブは jmvms あるいは jdoss ディレクトリだけに常駐する必要があります。

BS1832(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, invalid job filename %s, must be without '.'

説明: 無効なジョブファイル名です。

対処: 指定されたファイル名を変更します。

BS1833(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, invalid job filename %s, must be without '(' and ')'

説明: 無効なジョブファイル名です。

対処: 指定されたファイル名を変更します。

BS1834(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, invalid job pathname %s

説明: 指定されたファイルは、無効なディレクトリに常駐しています。

対処: ジョブは jmvms あるいは jdoss ディレクトリだけに常駐する必要があります。

BS1835(I) Batch AutoSub: Found valid job
File Name: %s

説明: 情報メッセージです。

BS1836(I) Batch AutoSub: JOB statement

説明: 情報メッセージです。

BS1837(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, unable to access Job file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1838(S) Batch AutoSub: statement <%s> rejected, reason=%d

説明: ジョブストリームに無効な文を検出しました。

対処: ジョブストリームを変更します。

BS1839(S) Batch AutoSub: statement <%s> rejected, reason=%d

説明: ジョブストリームに無効な文を検出しました。

対処: ジョブストリームを変更します。

BS1840(S) Batch AutoSub: statement <%s> rejected, reason=%d

説明: ジョブストリームに無効な文を検出しました。

対処: ジョブストリームを変更します。

BS1841(S) Batch AutoSub: statement <%s> rejected, reason=%d

説明: ジョブストリームに無効な文を検出しました。

対処: ジョブストリームを変更します。

BS1842(S) Batch AutoSub: statement <%s> rejected, reason=%d

説明: ジョブストリームに無効な文を検出しました。

対処: ジョブストリームを変更します。

BS1843(S) Batch AutoSub: statement <%s> rejected, reason=%d

説明: ジョブストリームに無効な文を検出しました。

対処: ジョブストリームを変更します。

BS1844(I) Batch AutoSub: Job File Name: %s, Job Name set to: %s

説明: 情報メッセージです。指定されたファイルは指定されたジョブ名を付けてサブミットされます。

BS1845(S) Batch AutoSub: Error, File Name %s, Job Name %s, failed to assign Error File %s, errno=%d

説明: エラーファイルを開けません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1846(I) Batch AutoSub: File Name %s, Job Name %s,
* Assigned Error File: %s

説明: 情報メッセージです。指定されたエラーファイルに指定されたジョブのエラーが検出されます。

BS1847(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, %d invalid user id
for %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルの所有者は、無効なユーザー ID です。

対処: エラーテーブルを確認し、最終的にファイルの所有者のユーザー ID を有効なユーザー ID に変更します。

BS1848(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, %d invalid user id
for %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルの所有者は、無効なユーザー ID です。

対処: エラーテーブルを確認し、最終的にファイルの所有者のユーザー ID を有効なユーザー ID に変更します。

BS1849(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, %d invalid user id
for %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルの所有者は、無効なユーザー ID です。

対処: エラーテーブルを確認し、最終的にファイルの所有者のユーザー ID を有効なユーザー ID に変更します。

BS1850(S) Batch AutoSub: Error, System Administrator's job
pathname %s, cannot be executed

説明: 指定されたジョブを処理できません。システム管理者によってジョブが所有されている場合は、ジョブを処理できません。

対処: 指定されたファイルの所有者を変更します。

BS1851(S) Batch AutoSub: Error, fork() failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1852(S) Batch AutoSub: ebmprocessjob(%d) failed to submit
job, exit status %d

説明: 現在のジョブストリーム処理エラーです。

対処: 詳細は、関連付けされたエラーファイルを調査します。

BS1853(I) Batch AutoSub: ebmprocessjob(%d) completed successfully

説明: 情報メッセージです。現在のジョブは正常に処理されました。

BS1854(S) Batch AutoSub: ebmprocessjob(%d) aborted, signal %d

説明: 処理中のエラーです。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを調査し、最終的にはご購入先に連絡してください。

BS1855(I) Batch AutoSub: ebmprocessjob(%d) returns status %d

説明: 情報メッセージです。

BS1856(I) Batch AutoSub(%d): Job to be submitted:

* - Job FileName: "%s"
* - Job Name: "%s"
* - Type: "%s"
* - Subsystem: "%s"
* - User: "%s"
* - Error File: "%s"
* - Working Directory: "%s"
*

説明: 情報メッセージです。

BS1857(S) Batch AutoSub: Error, reason=%d, unable to set permission for user %s, uid=%d, file=%s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1858(S) Batch AutoSub: error accessing job file %s

説明: 指定されたファイルの処理エラーです。

対処: 詳細は、関連付けされたエラーファイルを調査します。

BS1859(S) Batch AutoSub: Error executing command %s, code=%d,
* Error File="%s"

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1860(S) Batch AutoSub: Error: File Name %s, Job Name %s not submitted

*

説明: 指定されたファイルの処理エラーです。ジョブはサブミットされませんでした。

対処: 関連付けされたエラーファイルを調査します。問題を修正したあとで、もう一度ジョブを autosub ディレクトリにコピーします。

BS1861(S) Batch AutoSub: Error reading Error File %s, errno=%d

*

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1862(W) Batch AutoSub: Warning unable to set administrator privileges, current uid=%d

説明: マルチユーザー環境のジョブを処理できません。

原因: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: バッチノードを再インストールします。

BS1863(S) Batch AutoSub: Error, batch environment not set properly

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1864(S) Batch AutoSub: Error, unable to open Error File: %s, errno=%d

説明: 指定されたエラーファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1865(S) Batch AutoSub: Error accessing lock file %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1866(S) Batch AutoSub: Error opening %s,errno=%d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1867(S) Batch AutoSub: Error opening log file %s,errno=%d

説明: 指定されたログファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1868(I) Batch AutoSub: starting process %s pid=%d, uid=%d,
with option:

- * - search directory=%s
- * - wake up time=%d
- * - file transfer timeout=%d
- * - log=%d

説明: 情報メッセージ

BS1869(I) Batch AutoSub: %s

*
*

説明: 情報メッセージ

BS1871(S) ebmmd: received signal %d

説明: 現在のジョブを処理する際のエラーです。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを調査します。

BS1872(S) ebmmd: Error opening Local Batch Node socket port
number=%d, errno=%d. Start BAM, Select: System Status/Inter-
Node Communication/Local Batch Node

説明: ローカルソケットポート番号を開く際のエラーです。

対処: ebmmd デーモンがまだ起動し動作していない場合には、BAM を使用して
ローカルソケットポート番号を変更します。

BS1873(S) ebmmd: exiting at %d

説明: 内部エラーです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1874(S) ebmmd: exiting at %d

説明: 内部エラーです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1875(S) ebmmd: error on me_getmsg errno=%d tp_errno=%d
lread_fds=%d pid=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1876(S) ebmmd: connection closed by client

説明: クライアントプロセスの割り込み通信です。

対処: クライアントが強制的に中止した理由を調査します。

BS1877(S) ebmmd: exiting at %d

説明: 内部エラーです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1878(S) ebmmd: exiting at %d

説明: 内部エラーです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1879(S) ebmmd: can't fork errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1880(S) ebmmd: setgid(%d) command failed errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1881(S) ebmmd: setuid(%d) command failed errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1882(S) ebmmd: exiting at %d

説明: ebmmd デーモンは正常に終了しました。

対処: 情報メッセージです。

BS1883(S) ebmmd: exiting at %d

説明: ebmmd デーモンは正常に終了しました。

対処: 情報メッセージです。

BS1884(I) ebmmd: exiting at %d

説明: ebmmd デーモンは正常に終了しました。

対処: 情報メッセージです。

BS1885(S) ebmmd: ebmmd(%d) : add_local_chnl() : hlocal_chnl[%d]
is out the imposed limit

説明: オープン接続の数が、システムの制限を超えています。

対処: システム管理者に連絡してください。

BS1886(S) ebmmd(%d) : add_local_chnl() : hlocal_chnl(%d) for
pid=%d mbname=%s fd=%d

説明: 指定されたプロセスに割り当てられた接続数を示すメッセージです。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1887(S) ebmmd(%d) : add_local_chnl() : hlocal_chnl[%d] is
already in use

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1888(S) ebmmd(%d) : select() has failed with errno %d on line
%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1889(S) ebmmd: closing ebmmds network server socket %d line
%d

説明: ネットワークソケットポートの選択に失敗しました。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1890(S) ebmmd: close of ebmmds network server socket %d
FAILED line %d

説明: ネットワークソケットポートのクローズに失敗しました。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1891(S) ebmmd: closing ebmmds server socket %d line %d

説明: ローカルソケットポートの選択に失敗しました。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1892(S) ebmmd: close of ebmmds server socket %d FAILED line
%d

説明: ローカルソケットポートのクローズに失敗しました。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1893(S) ebmmd: terminating at line %d Ensure all other Batch node daemons are cleaned up before restart

説明: ebmmd は、回復不可能なエラーで終了します。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

BS1894(W) Warning: vcf server, pid %d, port %d in use

説明: vcf デーモンがすでに起動し動作している可能性があります。

対処: vcf デーモンのエラーによりバッチノードが正常に動作していない場合は、バッチノードを再起動します。

BS1895(S) ERROR: vcf server, pid %d, port %d, errno=%d

説明: vcf サーバーポート番号を開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1900 ~ BS1999

BS1901(I) Usage: %s [-f | -a]

説明: 情報メッセージです。

BS1902(I) Usage: %s [-f | -a]

説明: 情報メッセージです。

BS1903(I) Batch Node Memory Pool Dump

説明: 情報メッセージです。

BS1904(I) Batch Node Shared Memory Pool Dump:

説明: 情報メッセージです。

BS1905(I) Key=0x%x - %d

説明: 情報メッセージです。

BS1906(I) Shmid=0x%x - %d

説明: 情報メッセージです。

BS1907(I) Size=0x%x - %d

説明: 情報メッセージです。

BS1908(I) Pid last shmop=%d

説明: 情報メッセージです。

BS1909(I) Pid of creator=%d

説明: 情報メッセージです。

BS1910(I) Current # attached=%d

説明: 情報メッセージです。

BS1911(I) Usage: abtjob jon [-n name] [-s job|step]
[-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、abtjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1912(S) Can not get %s environment

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS1913(S) Can not open message catalog

説明: 各国語メッセージカタログが見つかりませんでした。

対処: カタログの存在を調査し、適切な読み取り権を確認します。

BS1914(I) Usage: anmjob jon

説明: 使用方法メッセージは、anmjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1915(I) Usage: chgjcl class disp [-T] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、chgjcl コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1916(I) Usage: dltjcl class [-u user] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、dltjcl コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1917(I) Usage: crtact name [-c class] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、crtact コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1918(I) Usage: dltjob jon [-n name] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、dltjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1921(S) Can not obtain the %s entry

説明: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS1922(S) Can not open message catalog %s

説明: 各国語メッセージカタログが見つかりませんでした。

対処: カタログの存在を調査し、適切な読み取り権を確認します。

BS1923(I) System Environments: List Active Subsystems

説明: 情報メッセージです。

BS1924(I) Batch Node is not active

説明: 情報メッセージです。

BS1931(I) System Environments: List "%s" Active Jobs

説明: 情報メッセージです。

BS1932(I) System Environments: List "%s" Queued Jobs

説明: 情報メッセージです。

BS1933(I) Jon Jobname User Status VSAM Disp Class

説明: 情報メッセージです。

BS1934(I) Press Return to Continue

説明: 情報メッセージです。

BS1935(I) System Environments: List "%s" Active Jobs

説明: 情報メッセージです。

BS1936(I) System Environments: List "%s" Queued Jobs

説明: 情報メッセージです。

BS1937(I) No Jobs are defined

説明: 情報メッセージです。

BS1938(I) Press Return to Continue

説明: 情報メッセージです。

BS1939(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS1940(I) System Environments: List Active Subsystems %s

説明: 情報メッセージです。

BS1941(I) Subsystem Queued Active DataBase MTP Region
Last MTP Region

説明: 情報メッセージです。

BS1942(I) Name Jobs Jobs Started by Batch Request

説明: 情報メッセージです。

BS1946(I) System Environments: List Active Subsystems %s

説明: 情報メッセージです。

BS1947(I) Q[Subsystem] - Queued Jobs A[Subsystem] - Active
Jobs X - Exit to Main Menu

説明: 情報メッセージです。

BS1959(I) Usage: ebmsys

```
[-c SubSystemName [-u UserName|-g GroupName] [-N NodeName]]  
[-d SubSystemName [-N NodeName]]  
[-s SubSystemName [-N NodeName]]  
[-r SubSystemName [-N NodeName]]  
[-i SubSystemName [-N NodeName]]  
[-l SubSystemName [-a] [-N NodeName]]  
[-t [-N NodeName]]  
[-a [-N NodeName]]
```

説明: 使用方法メッセージは、ebmsys コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1961(I) Usage: dltact name [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、dltact コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1962(I) Usage: susjob jon [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、susjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1964(I) Usage: insjbl jon1 [jon2 ... [jon%d]] [-w] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、insjbl コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1965(I) Usage: insjob jon [-w] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、insjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1966(S) F01%d name

説明: パラメータが無効です。

対処: 有効なファイル名を入力します。

BS1967(S) F02%d start

説明: 開始オフセットが無効です。

対処: 有効なオフセット数を入力します。

BS1968(S) F03%d stop

説明: 終了オフセットが無効です。

対処: 有効なオフセット数を入力します。

BS1969(S) F04%d user

説明: ユーザー名が無効です。

対処: 有効なユーザー名を入力します。

BS1970(S) F05%d job type

説明: ジョブタイプが無効です。

対処: 有効なジョブタイプを入力します。

BS1971(S) A--Unable to access the directory %s, errno=%d

説明: 指定されたディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BS1976(S) F01%d class

説明: クラス名が無効です。

対処: 有効なクラス名を入力します。

BS1977(S) F01%d jon

説明: ジョブ番号が無効です。

対処: 有効なジョブ番号を入力します。

BS1978(S) F02%d jobname

説明: ジョブ名が無効です。

対処: 有効なジョブ名を入力します。

BS1979(I) D--Jon Jobname P C D Strtime Endtime Start from
Status Type M V

説明: 情報メッセージです。

BS1980(I) D-- User Cycle HistoryDir Suspend at
SaveHistoryDir X A

説明: 情報メッセージです。

BS1981(I) D-- JobIdentifier Ebmsys JobParameter
RescheduledAt

説明: 情報メッセージです。

BS1984(S) entry %s%s not defined in the .install file

説明: 内部エラーです。

原因: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: バッチノードを再インストールします。

BS1985(S) invalid entry %s%s defined in the .install file

説明: 内部エラーです。

原因: バッチノードが正しくインストールされていません。

対処: バッチノードを再インストールします。

BS1986(S) Internal error accessing the remote batch node

説明: 遠隔バッチノードへのアクセス時のエラーです。

対処: バッチノードが起動し動作していることを確認します。

BS1987(S) Internal error on the remote ebm node

説明: 遠隔バッチノードへのアクセス時のエラーです。

対処: バッチノードが起動し動作していることを確認します。

BS1988(S) The nodename name %s is bigger than %d

説明: バッチノード名が無効です。

対処: 指定の文字数以下の名前を使用します。

BS1989(I) Usage: rsmjob jon [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、rsmjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1990(I) Usage: runjcl class [-T] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、runjcl コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1991(I) Usage: runjob jon [-T] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、runjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1992(I) Usage: histprt [-a] [-u user] [-j jon]
[-d mmdhmmssyyyy] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、histprt コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1993(I) Usage: infact [name] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、infact コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1994(I) Usage: infjbs [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、infjbs コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1995(I) Usage: infjob [jon] [-N nodename]

説明: 使用方法メッセージは、infjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1996(I) Usage: `lstjfl name`
 `[-s sln] [-e eln] [-u user] [-t type]`
 `[-W work_dir] [-N nodename]`

説明: 使用方法メッセージは、`lstjfl` コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1997(I) Usage: `lstjcl [class] [-N nodename]`

説明: 使用方法メッセージは、`lstjcl` コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1998(I) Usage: `lstjob jon [-n name] [-N nodename]`

説明: 使用方法メッセージは、`lstjob` コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS1999(S) Batch environment not set. You must source the
batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード `batchenv` ファイルを使用します。

BS2000 ~ BS2099

BS2000(S) ERROR: copying(%d) %s %s 2> \$DEVNULL failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2001(S) ERROR: copying(%d) %s %s 2> \$DEVNULL failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2002(S) ERROR executing JCL Translator: %s %s -o %s -f.

説明: 指定されたジョブ変換時のエラーです。

対処: トランスレータが表示したエラーメッセージを調査します。

BS2003(I) Job translation completed successfully.

説明: 情報メッセージです。

BS2004(S) Batch environment not set. Source the batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS2005(S) Batch environment not set. Source the batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS2006(I) Usage: subjob name
[-w] [-v] [-t type] [-p prior] [-d disp] [-c class]
[-m] [-R stepname[.procstepname]] [-h history_dir]
[-o save_hist_dir] [-x] [-S stepname[.procstepname]]
[-P job_parameter] [-j] [-a]
[-J jobid] [-k ebmsystem] [-W work_dir]
[-N nodename] [-D debug_lev] [-U user]
[-X NONE|VSTIME:WTIME:LIO:PIO|ALL]

説明: 使用方法メッセージは、subjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS2007(S) Batch environment not set. You must source the batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS2008(S) ERROR: copying(%d) %s %s 2> \$DEVNULL failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2009(S) ERROR: copying(%d) %s %s 2> \$DEVNULL failed

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2010(S) ERROR executing JCL Translator: %s %s -o %s -f.

説明: 指定されたジョブ変換時のエラーです。

対処: トランスレータが表示したエラーメッセージを調査します。

BS2011(I) Job translation completed successfully.

説明: 情報メッセージです。

BS2012(S) Batch environment not set. Source the batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS2013(S) Batch environment not set. Source the batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BS2014(I) Usage: unikixjob name

[-w] [-v] [-t type] [-p prior] [-d disp] [-c class]
[-a] [-m] [-R stepname[.procstepname]] [-s start_time]
[-e end_time] [-T] [-h history_dir]
[-S stepname[.procstepname]] [-o save_hist_dir]
[-x] [-C cycle_time] [-P job_parameter] [-j] [-J jobid]
[-k ebmsystem] [-W work_dir] [-N nodename] [-D debug_lev]
[-U user] [-X NONE|VSTIME:WTIME:LIO:PIO|ALL]

説明: 使用方法メッセージは、unikixjob コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BS2015(I) Batch node is not active

説明: 指定したバッチノードがダウンしています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2016(I) Batch node is not active. Reason: error connecting
batch message daemon

説明: 指定したバッチノードがダウンしています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2017(I) Batch node is not active. Reason: error communicating with batch message daemon

説明: 指定したバッチノードがダウンしています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2018(I) Batch node is not active. Reason: batch message daemon is not available

説明: 指定したバッチノードがダウンしています。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2019(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2020(W) No batch subsystems are defined. Reason: batch subsystem table is empty.

説明: バッチノードが有効ですが、サブシステムが定義されていません。バッチノードは、実行するジョブを受け入れることはできません。

対処: 1つまたは複数のサブシステムを作成します。

BS2021(W) No batch subsystems are defined

説明: バッチノードが有効ですが、サブシステムが定義されていません。バッチノードは、実行するジョブを受け入れることはできません。

対処: 1つまたは複数のサブシステムを作成します。

BS2022(S) The batch subsystem table is corrupted

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2023(I) Active batch subsystems: %d

説明: メッセージは、Sun MTP 領域に接続されているものを含む有効なサブシステムの数を示します。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2024(S) Unexpected message type %d from BQM

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BS2025(W) Batch subsystems: defined %d, active %d

説明: メッセージは、定義されているサブシステムおよび有効なサブシステムの数
を示します。このメッセージは、定義されているサブシステムと有効なサブシ
ステムに矛盾がある場合に表示され、1 つまたは複数の設定されている Sun MTP 領
域が有効でないか、バッチノードに接続されていないことを示します。

原因: このエラーメッセージが表示される理由は、複数あります。たとえば、領域
がダウンしている、またはほかのノードに接続中である場合などが含まれます。

対処: 問題が解消されたかどうかを確認するには、状態を調査します。解決されて
いない場合は、サブシステムの設定と関連付けられている領域の設定を調査し、
正しいことを確認します。

BS2026(S) Error deleting VCF semaphore %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。ご購入先に問い合わせてください。

BS2027(S) Error deleting PSG level 1 semaphore %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。ご購入先に問い合わせてください。

BS2028(S) Error deleting PSG level 2 semaphore %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。ご購入先に問い合わせてください。

BS2029(S) Error deleting PSG level 3 semaphore %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。ご購入先に問い合わせてください。

BS2030(S) Error deleting MBM shared memory semaphore %d, errno=
%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。ご購入先に問い合わせてください。

BS2031(S) Error deleting MBM shared memory pool %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。ご購入先に問い合わせてください。

BS2032(I) VCF semaphore %d deleted

説明: 指定したバッチノードリソースが、バッチノードのシャットダウン中に削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2033(I) PSG level 1 semaphore %d deleted

説明: 指定したバッチノードリソースが、バッチノードのシャットダウン中に削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2034(I) PSG level 2 semaphore %d deleted

説明: 指定したバッチノードリソースが、バッチノードのシャットダウン中に削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2035(I) PSG level 3 semaphore %d deleted

説明: 指定したバッチノードリソースが、バッチノードのシャットダウン中に削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2036(I) MBM shared memory semaphore %d deleted

説明: 指定したバッチノードリソースが、バッチノードのシャットダウン中に削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

BS2037(I) MBM shared memory %d deleted

説明: 指定したバッチノードリソースが、バッチノードのシャットダウン中に削除されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

第3章

BX 系メッセージ

この章では、Sun MBM のメインメニューで使用可能なツールに関連するメッセージについて説明します。

BX0001 ~ BX0099

BX0003(S) error accessing %s, errno=%d

説明: 指定されたディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0004(S) error accessing working dir %s, errno=%d

説明: 指定された ish ディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0005(S) error accessing %s, errno=%d

説明: 指定されたディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0006(S) error accessing working dir %s, errno=%d

説明: 指定された ishp ディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0007(S) error accessing %s, errno=%d

説明: 指定されたディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0008(S) error accessing working dir %s, errno=%d

説明: 指定されたアプリケーションプログラムのディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0009(I) Enter New Working Directory:

説明: 情報メッセージです。

BX0019(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0020(S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定されたパス名は、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ツールが一覧表示できるのは、通常ファイルシステムのファイルだけです。

BX0021(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0022(S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0023(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0024(I) %s: List Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0025(I) %s: List Procedure %s

説明: 情報メッセージです。

BX0026(I) %s: List Program %s

説明: 情報メッセージです。

BX0028 (I) Working Directory:
%s

説明: 情報メッセージです。

BX0029 (I) Working Directory:
%s

説明: 情報メッセージです。

BX0030 (I) Working Directory:
%s

説明: 情報メッセージです。

BX0040 (S) ERROR opening %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0041 (S) ERROR opening %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0042 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0043 (S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定されたパス名は、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ツールが表示できるのは、通常ファイルシステムのファイルだけです。

BX0044 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0045 (S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0046(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0053(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0054(S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定されたパス名は、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ツールが一覧表示できるのは、通常ファイルシステムのファイルだけです。

BX0055(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0056(S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0057(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0058(I) %s: Translate Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0059(I) %s: Translate Procedure %s

説明: 情報メッセージです。

BX0060(I) %s: Compile Program %s

説明: 情報メッセージです。

BX0062(S) Error batch environment not set

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0063(S) Error batch subsystem environment not set

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0064(I) Starting %s

説明: 情報メッセージです。

BX0065(S) error accessing %s, errno=%d

説明: 指定された ish ディレクトリにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0066(I) %s: %s's Tool Kit

説明: 情報メッセージです。

BX0067(I) Working Directory:

%s

説明: 情報メッセージです。

BX0100 ~ BX0199

BX0101(S) ERROR locking File Map, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0102(S) Error unlocking File_Map errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0103(I) %s: %s's File Map

説明: 情報メッセージです。

BX0104(S) ERROR: stat() failed accessing File Map %s, errno=%d

説明: 指定された File_Map にアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0105(S) ERROR: stat() failed accessing File Map %s, errno=%d

説明: 指定された File_Map にアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0106(W) %s's File Map has been updated from a different session, click on the Refresh button, to load the latest changes

説明: 指定された File_Map を更新できません。

対処: File_Map を読み込み、もう一度変更する必要があります。

BX0107(S) Error updating File Map %s

説明: 指定された File_Map を開く際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0108(S) Error updating File Map %s, errno=%d

説明: 指定された File_Map を更新する際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0109(S) Error updating File Map %s

説明: 指定された File_Map を開く際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0110(S) Error updating File Map %s, errno=%d

説明: 指定された File_Map を更新する際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0111(I) File Map updated

説明: 情報メッセージです。

BX0112(I) %s: View %s's File Map Entry

説明: 情報メッセージです。

BX0113(S) ERROR Dataset Name %s exceeds the limit of %d

説明: File_Map のデータセット名がシステムの範囲を超えています。

対処: 指定されたデータセットのサイズを減らします。

BX0114(S) ERROR Catalog Name %s exceeds the limit of %d

説明: File_Map のカタログ名がシステムの範囲を超えています。

対処: 指定されたカタログのサイズを減らします。

BX0115(S) ERROR Type %s exceeds the limit of %d

説明: File_Map のファイルタイプ名がシステムの範囲を超えています。

対処: 指定された名前のサイズを減らします。

BX0116(S) ERROR Mapped Name %s exceeds the limit of %d

説明: 指定されたパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: 指定されたパス名のサイズを減らします。

BX0117(S) ERROR Record Properties %s exceeds the limit of %d

説明: 指定されたパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: 指定されたパス名のサイズを減らします。

BX0118(S) ERROR GDG Number %s exceeds the limit of %d

説明: 指定された GDG の数値が、システムの範囲を超えています。

対処: 指定された数値を減らします。

BX0119(S) ERROR %s invalid type (specify FS, VS, GDG or LIB)

説明: 指定されたファイルタイプ名は無効です。

対処: ファイルタイプを有効な値に変更します。

BX0120(S) ERROR invalid Catalog Name

説明: カタログ名が空白です。

対処: カタログ名を File_Map に加えます。

BX0121(S) ERROR invalid Dataset Name

説明: データセット名が空白です。

対処: データセット名を File_Map に加えます。

BX0122(S) ERROR invalid Mapped Name

説明: 割り当てられたパス名が空白です。

対処: 有効なパス名を File_Map に加えます。

BX0123(S) ERROR invalid GDG number

説明: ファイルされた GDG の数値は空です。

対処: 有効な GDG の数値を File_Map に加えます。

BX0124(S) ERROR invalid GDG number

説明: GDG の数値が、ライブラリに指定されています。

対処: GDG の数値を 0 に設定します。

BX0125(S) ERROR invalid GDG number

説明: GDG の数値が FS と異なるファイルタイプに指定されています。

対処: ファイルタイプを FS に変更するか、または GDG の数値を 0 に設定します。

BX0126(S) ERROR invalid GDG number

説明: GDG の数値は数値フィールドを含みません。

対処: GDG の数値を変更します。

BX0127(S) ERROR selected entry pos=%d not found

説明: 指定された File_Map のエントリが無効です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0128(S) ERROR Status option is invalid

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0129(I) Dataset: %s

Catalog: %s

Type: %s

Mapped Name: %s

Record Properties: %s

GDG num: %s

説明: File_Map でフィールドを示す情報メッセージです。

BX0130(S) ERROR entry=%d not found

説明: 指定された File_Map のエントリが無効です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0131(S) ERROR selected entry pos=%d not found

説明: File_Map のエントリが破壊されています。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0132(I)%s: Update %s's File Map

説明: 情報メッセージです。

BX0141(I)%s: Query %s's File Map

説明: 情報メッセージです。

BX0153(S) error allocating %d bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0154(S) ERROR. Invalid Dataset Name at line %d

説明: 指定された File_Map のエントリが破壊されています。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

BX0155(S) ERROR Dataset Name %s exceeds the limit of %d

説明: File_Map のデータセット名がシステムの範囲を超えています。

対処: 指定されたデータセットのサイズを減らします。

BX0156(S) ERROR. Invalid Catalog Name at line %d

説明: 指定された File_Map のエントリが破壊されています。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

BX0157(S) ERROR Catalog Name %s exceeds the limit of %d

説明: File_Map のカタログ名がシステムの範囲を超えています。

対処: 指定されたカタログのサイズを減らします。

BX0158(S) ERROR. Invalid Type Name at line %d

説明: 指定された File_Map のエントリが破壊されています。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

BX0159(S) ERROR dataset type %s exceeds the limit of %d

説明: File_Map のファイルタイプ名がシステムの範囲を超えています。

対処: 指定された名前のサイズを減らします。

BX0160(S) ERROR. Invalid Mapped Name at line %d

説明: 指定された File_Map のエントリが破壊されています。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

BX0161(S) ERROR Mapped Name %s exceeds the limit of %d

説明: 指定されたパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: 指定されたパス名のサイズを減らします。

BX0162(S) ERROR. Invalid Record Properties File Name at line %d

説明: 指定された File_Map のエントリが破壊されています。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

BX0163(S) ERROR record property file name %s exceeds the limit of %d

説明: 指定されたパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: 指定されたパス名のサイズを減らします。

BX0164(S) ERROR. Invalid GDG number at line %d

説明: 指定された File_Map のエントリが破壊されています。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

BX0165(S) ERROR GDG number %s exceeds the limit of %d

説明: 指定された GDG の数値が、システムの範囲を超えています。

対処: 指定された数値を減らします。

BX0166(S) Error opening file %s

説明: 指定された File_Map を開く際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0167(W) No Dataset entries are available

説明: 現在の選択された File_Map は空です。

対処: File_Map のエントリを追加します。

BX0168(S) ERROR. File Map file not found

説明: ユーザー選択の File_Map は存在しません。

対処: 有効な File_Map のフルパス名を入力します。

BX0169(S) ERROR. stat() failed, File Map file not found

説明: ユーザー選択の File_Map にアクセスできません。

対処: 有効な File_Map のフルパス名を入力します。

BX0170(S) ERROR accessing file %s

説明: ユーザー選択の File_Map にアクセスできません。

対処: 有効な File_Map のフルパス名を入力します。

BX0171(S) ERROR %s not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチサブシステムの環境を設定する必要があります。

対処: バッチサブシステムの環境を設定し、再実行します。

BX0172(I) %s's File Map: %d entries defined, %d entries selected

説明: 情報メッセージです。

BX0173(I) %s: Edit %s's File Map

説明: 情報メッセージです。

BX0174(I) Found %d entries in %s's File Map

説明: 情報メッセージです。

BX0191(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0192(S) error reading file %s, line %d

説明: 指定された作業ファイルを読み込む際のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0193(S) ERROR reading file %s, found %d records rather than %d

説明: 指定された作業ファイルを読み込む際のエラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0194(S) ERROR: Usage %s filename

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0197(I)%s: Report Batch Activity %s

説明: 情報メッセージです。

BX0200 ~ BX0299

BX0203(S) Wrong number of arguments!

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0204(S) Can't allocate %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0211(S) Can not get %s environment

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0212(S) Can not open message catalog %s

説明: バッチノードのメッセージカタログにアクセスできません。

対処: ファイルの存在とファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0214(I)%s: System Status

説明: 情報メッセージです。

BX0215(I)%s: System Status

説明: 情報メッセージです。

BX0216(I)Batch node is not active

説明: 情報メッセージです。

BX0219(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0222(I) %s: %s's Active Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0231(I) %s: %s's Queued Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0258(I) Usage: ebmsys

```
[-c subsystem-name [-u user-name] -g group-name] [-N NodeName]]
[-d SubSystemName [-N NodeName]]
[-s SubSystemName [-N NodeName]]
[-r SubSystemName [-N NodeName]]
[-i SubSystemName [-N NodeName]]
[-l SubSystemName [-a] [-N NodeName]]
[-t [-N NodeName]]
[-a [-N NodeName]]
```

説明: 使用方法メッセージは、ebmsys コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

BX0262(I) %s: Job Classes

説明: 情報メッセージです。

BX0265(I) %s: Job Classes

説明: 情報メッセージです。

BX0266(I) Batch node is not active

説明: 情報メッセージです。

BX0268(I) %s: Active Jobs in Class "%s"

説明: 情報メッセージです。

BX0277(I) %s: Pending Jobs in Class "%s"

説明: 情報メッセージです。

BX0286(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0287(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0300 ~ BX0399

BX0301(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0302(S) ERROR executing %s, line=%d

説明: 一時作業ファイルを開けません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0303(W) Warning: may not have read entire msg!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0304(I) %s: Active Job

説明: 情報メッセージです。

BX0305(I) %s: Active Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0306(W) Batch node is not active

説明: バッチノードが停止している間、ツールは実行時情報を表示できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BX0312(I) %s: Active Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0313(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを開けません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0314(S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定された作業ファイルのタイプは無効です。

対処: ツールで表示されるのは、ファイルシステムのファイルタイプだけです。

BX0315(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0316(S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0317(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0318(I) %s: List Job %d

説明: 情報メッセージです。

BX0320(I) Enter Reply for Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0321(I) Reply Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0322(I) Are you sure you want to cancel job %s ?

説明: 情報メッセージです。

BX0323(I) Cancel Job %s ?

説明: 情報メッセージです。

BX0326(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0351(I) %s: System Active Processes

説明: 情報メッセージです。

BX0352(I)%s: Active Processes for Job %s, jon %d

説明: 情報メッセージです。

BX0353(S) ERROR reading file %s

説明: 指定された作業ファイルを読み込めません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0354(S) ERROR executing %s, line=%d

説明: 一時作業ファイルを開けません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0355(W) Warning: no output from the command: %s!

説明: 指定されたコマンドは予期しない出力を返しました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0356(I)%s: System Active Processes

説明: 情報メッセージです。

BX0357(I)%s: Active Processes for Job %s, jon %d

説明: 情報メッセージです。

BX0358(S) Command "%s" failed. Reason was:"%s"

説明: 指定されたコマンドの実行時のエラーです。

対処: 詳細は、原因を調査します。

BX0359(I)%s: System Active Processes

説明: 情報メッセージです。

BX0360(I)%s: Active Processes for Job %s, jon %d

説明: 情報メッセージです。

BX0361(W) Batch node is not active

説明: バッチノードが停止している間、ツールは実行時情報を表示できません。

対処: バッチノードを起動し、再実行します。

BX0363(S) Error. Invalid Job Process Group Number.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0365(I) Starting %s

説明: 情報メッセージです。

BX0366(I) Starting %s

説明: 情報メッセージです。

BX0367(I) %s: System Active Processes

説明: 情報メッセージです。

BX0368(I) %s: Active Processes for Job %s, jon %d

説明: 情報メッセージです。

BX0369(I) Process %d terminated

説明: 情報メッセージです。

BX0370(I) Process %d killed

説明: 情報メッセージです。

BX0372(I) Are you sure you want to terminate process %s, id=%s ?

説明: 情報メッセージです。

BX0373(I) Kill Process %s ?

説明: 情報メッセージです。

BX0377(I) Are you sure you want to force kill process %s,
id=%s ?

説明: 情報メッセージです。

BX0378(I) Kill Process %s ?

説明: 情報メッセージです。

BX0381(S) Batch environment is not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0382(S) Error executing %s

説明: 一時作業ファイルを開けません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0383(S) Error on malloc elements %d, entries %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0384(S) Internal Error. Unable to execute %s command

説明: 指定されたコマンドからの出力を読み込めません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0385(W) Job %s, job %d is not running

説明: ジョブが実行中でないため、指定されたジョブに関する情報を取り出せません。

対処: 実行中のジョブを選択します。

BX0400 ~ BX0499

BX0401(I) %s: Report Statistics

説明: 情報メッセージです。

BX0403(I) %s: Completed Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0404(S) ERROR Job Listing Output File not found

説明: 選択されたジョブに関連付けられたジョブ一覧の出力ファイルが存在しません。

対処: ファイルが存在し、適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

BX0405(S) ERROR Job Listing Output File is NULL

説明: 内部エラー、選択されたジョブに関連付けられたジョブ一覧の出力ファイルを検出できません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0406(S) ERROR Job Listing Output File is empty

説明: 選択されたジョブに関連付けられたジョブ一覧の出力ファイルが空です。

対処: ファイルが存在し、ファイルのサイズが有効かどうかを調査します。

BX0407(S) ERROR invalid pathname

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0408(S) ERROR invalid pathname

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0409(S) ERROR opening output file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0410(S) ERROR writing file %s, errno=%d

説明: 指定したファイルへの書き込み時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0411(I) File %s created

説明: 情報メッセージです。

BX0412(I) Enter backup file name:

説明: 情報メッセージです。

BX0413(I) Save Job List to File

説明: 情報メッセージです。

BX0414(S) ERROR entry=%d not found

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0415(I) %s: List Job %s, number %d

説明: 情報メッセージです。

BX0430(S) ERROR. Job Listing Output file %s not found. Set variable "JOBLIST_DIR" to the Job Listing back-up directory that contains the file.

説明: 選択されたジョブに関連付けられたジョブ一覧のファイルが存在しません。

対処: ファイルが別のディレクトリに移動されている場合は、環境変数 JOBLIST_DIR に新規のディレクトリを設定し、ツールを再実行します。

BX0431(S) ERROR.

Job Listing Output file %s not found

説明: 環境変数 JOBLIST_DIR に定義されたディレクトリに、選択されたジョブに関連付けられたジョブ一覧の出カファイルが存在しません。

対処: 環境変数 JOBLIST_DIR が、ジョブ一覧の出カファイルが常駐するディレクトリを含んでいるか調査します。

BX0432(S) ERROR allocating %d bytes at line %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0433(S) Error on malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0434(S) ERROR reading file %s, stat failed

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 適切なアクセス権を調査します。

BX0435(S) ERROR reading file %s, invalid file type

説明: 指定されたファイルは、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ツールが表示できるのは、通常ファイルシステムのファイルだけです。

BX0436(S) ERROR reading file %s, fopen failed

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 指定したファイルのアクセス権を調査します。

BX0437(S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0438(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0439(S) ERROR allocating %d bytes at line %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0440(S) Error on malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0442(S) ERROR on malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0444(I) %s: Completed Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0445(S) ERROR Status option is invalid

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0446(I) %s: Set Query Options

説明: 情報メッセージです。

BX0457(S) ERROR reading file %s

説明: 一時作業ファイルを開けません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0458(S) ERROR executing %s, line=%d

説明: 一時出力ファイルを開けません。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0459(W) Warning: may not have read entire msg!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0460(I) %s: Clear Job Log

説明: 情報メッセージです。

BX0461(I) %s: Clear Job Log

説明: 情報メッセージです。

BX0462(I) Clear all jobs ended

説明: 情報メッセージです。

BX0463(I) or more days ago?

説明: 情報メッセージです。

BX0470(S) ERROR allocating %d bytes at %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0471(S) ERROR allocating %d bytes at %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0472(S) ERROR allocating %d bytes at %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0473(W) Warning. Job Listing Output file %s. Invalid pathname.

説明: 関連付けされたジョブ一覧出力ファイルのパス名は無効です。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0474(I)

searching Job Listing Output file in %s

説明: 情報メッセージです。

BX0475(I)

searching Job Listing Output file in %s

説明: 情報メッセージです。

BX0476(S) ERROR no jobs are available

説明: 選択された検索に該当するジョブがありません。ジョブが保存されていません。

対処: 検索を変更して、1つ以上のジョブを取り込みます。

BX0477(S) ERROR Opening Backup File, errno=%d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0478(I) Backup File created

説明: 情報メッセージです。

BX0500 ~ BX0599

BX0501(S) ERROR creating statistic file

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0502(S) error allocating %d bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0503(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0504(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0505(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0506(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0507(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0508(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0509(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0510(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0511(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0512(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0513(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0514(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0515(S) ERROR. Invalid Job Log file, error=%d

説明: 現在のジョブのログファイルが破壊されているか、または無効です。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

BX0516(S) Error opening file %s

説明: 指定されたジョブのログファイルを開く際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0517(I) No Jobs are available

説明: 情報メッセージです。

BX0518(S) ERROR. Job Log file not found

説明: 指定されたジョブのログファイルが存在しません。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。

BX0519(S) ERROR. stat() failed, Job Log file not found

説明: 指定されたジョブのログファイルが存在しません。

対処: 有効なジョブのログファイル名を入力します。

BX0520(S) ERROR accessing file %s

説明: 指定されたジョブのログファイルが存在しません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0521(S) ERROR %s not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0522(I)List of %d Completed Jobs from Active Job Log

説明: 情報メッセージです。

BX0523(I)List of %d Completed Jobs from Saved Query file:
%s

説明: 情報メッセージです。

BX0531(I)%s: Completed Jobs

説明: 情報メッセージです。

BX0532(I)List of %d Completed Jobs from Active Job Log

説明: 情報メッセージです。

BX0552(I)Batch node is not active

説明: 情報メッセージです。

BX0555(I)Batch node must be active

説明: 情報メッセージです。

BX0556(I)Batch node must be active

説明: 情報メッセージです。

BX0559(S) Error: can't open display:

説明: 環境変数 DISPLAY で指定されたディスプレイ上の GUI ツールを開始できません。

対処: 環境変数 DISPLAY の値を調査し、指定されたデバイス上で表示するための適切なアクセス権を調査します。

BX0560(S) ERROR. Batch node environment not set. Source
batchenv file.

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0562(S) Error: cannot open display: %s

説明: 指定されたディスプレイ上の GUI ツールを開始できません。

対処: 指定したデバイス上で表示するための適切なアクセス権を調査します。

BX0563(S) MrmOpenHierarchyPerDisplay returns MrmNOT_FOUND

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0564 (S) MrmOpenHierarchyPerDisplay returns MrmNOT_VALID

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0565 (S) MrmOpenHierarchyPerDisplay returns MrmDISPLAY_NOT_OPENED

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0566 (S) MrmOpenHierarchyPerDisplay returns unexpected error

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0567 (S) Unable to open bam_start.uid file.

説明: 指定されたファイルにアクセスできません。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0568 (S) Unable to register callback function with Mrm.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0569 (S) Unable to create interface from UID file.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0571 (S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定されたファイルは、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ツールが通常ファイルシステムのファイルにアクセスしていることを確認します。

BX0572 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0573 (S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0574 (W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0575 (I) %s: View %s

説明: 情報メッセージです。

BX0577 (S) ERROR filename not defined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0579 (I) %s: View %s

説明: 情報メッセージです。

BX0581 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたジョブの履歴ファイルにアクセスする際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0582 (S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定されたファイルは、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0583 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたジョブの履歴ファイルにアクセスする際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0584 (S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0585 (W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0586(S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたジョブの履歴ファイルにアクセスする際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0587(S) ERROR %s invalid file type

説明: 指定されたファイルは、通常ファイルシステムのファイルではありません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0588(S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたジョブの履歴ファイルにアクセスする際のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0589(S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0590(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0591(I) %s: Monitor Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0593(S) ERROR job number not defined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0595(I) %s: Monitor Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0600 ～ BX0699

BX0602(W) PPF Server is not active

説明: PPF サーバーが停止している間、モニターは実行時情報を表示できません。

対処: バッチノードを再起動します。

BX0604(S) PPF Monitor: Error at line %d, str=%s

説明: 重大なエラーです。

対処: 詳細は、関連付けられたメッセージを調査します。

BX0605(S) Current PPF entry not initialized

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0606(S) Current PPF entry not initialized

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0607(S) PPF Monitor: Error allocating %d bytes for %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0608(S) too many readers

説明: 複数のプロセスで同じ PPF ファイルを使用しています。

対処: 各プロセスに異なる PPF ファイルを割り当てます。

BX0609(S) too many writers

説明: 複数のプロセスで同じ PPF ファイルを使用しています。

対処: 各プロセスに異なる PPF ファイルを割り当てます。

BX0610(S) PPF Monitor: Error allocating %d bytes for %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0611(S) Batch node environment is not set. Command aborted

説明: ツールを開始する前に、バッチノードの環境を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

BX0613(S) ERROR PPF info not found

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0614(S) ERROR PPF info is NULL

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0615(S) ERROR PPF info is empty

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0616(S) ERROR opening output file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0617(S) ERROR writing file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

BX0618(I) File %s created

説明: 情報メッセージです。

BX0621(S) ERROR entry=%d not found

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0650(S) ERROR allocating %d bytes at line %d, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0651(S) Error on malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0676(S) ERROR on malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0700 ~ BX0799

BX0703(S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0704(S) ERROR submitting job %s, line=%d

説明: 一時作業ファイルを開く際のエラーです。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0705(W) Warning: may not have read entire msg!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0706(S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0707(S) ERROR submitting job %s, line=%d

説明: 一時作業ファイルを開く際のエラーです。

対処: 再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

BX0708 (W) Warning: may not have read entire msg!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0712 (S) ERROR opening %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0714 (I) %s: Submit Job to Subsystem %s

説明: 情報メッセージです。

BX0715 (I) JCL Directory:

%s

説明: 情報メッセージです。

BX0741 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0742 (S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0743 (S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0744 (W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0745 (I) %s: List Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0747(S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0748(S) ERROR reading file %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの適切なアクセス権を調査します。

BX0749(S) Can't allocate enough space for %s, size=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0750(W) Warning: may not have read entire file!

説明: 表示されるファイルのサイズが、システムの範囲を超えている可能性があります。

対処: 問題が解消しない場合は、ファイルのサイズを減らす必要があります。

BX0751(I) %s: List Job %s

説明: 情報メッセージです。

BX0752(S) ERROR job number not defined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

BX0754(I) %s: List Completed Job %s

説明: 情報メッセージです。

第4章

CB 系メッセージ

CB 系のメッセージは、COBOL に関連しています。

CB0200 ~ CB0299

CB0201(I) end of function

説明: cobbatch コマンドの情報メッセージです。コマンドが実行されました。

CB0202(S) INTERNAL ERROR : %d in %s

説明: Sun MBM メッセージカタログへのアクセス時のエラーです。

対処: EBMHOME 環境変数の値および \$EBMHOME/nlsmsg ファイルのアクセス権を確認します。

CB0204(S) Illegal option "%s"

説明: パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

CB0205(S) No such SRCDIR allowed with PGNAME equal to *ALL or Pattern

説明: パラメータのエラーです。

対処: -s オプションを指定して再実行します。

CB0206(S) *SRCDIR and *SRC can be specified only alone

説明: -s オプションのエラーです。

対処: 正しい構文を反映するようにパラメータを訂正し、再実行します。

CB0207(S) *TMP not allowed in CPYDIR option

説明: コピーファイルが見つかりませんでした。

対処: 指定したディレクトリに指定したコピーファイルが存在することを確認し、アクセス権を調査します。

CB0208(S) CBLDIR/GNTDIR option must be a single name

説明: パラメータの構文が不正確です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

CB0209(S) "%s" file not found

説明: 指定されたファイルが見つかりませんでした。

対処: ファイルが存在することを確認し、アクセス権を調査します。

CB0210(S) "%s" file name error

説明: 指定されたファイルが見つかりませんでした。

対処: ファイルが存在することを確認し、アクセス権を調査します。

CB0211(S) Error creating temporary directory "%s"

説明: /usr/tmp ディレクトリまたは /var/tmp ディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: ディレクトリのアクセス権を調査します。

CB0212(S) Error removing temporary directory "%s"

説明: /usr/tmp ディレクトリ下または /var/tmp ディレクトリ下の一時ディレクトリの削除時のエラーです。

対処: ディレクトリのアクセス権を調査します。

CB0213(S) "%s" directory not found

説明: chdir() 呼び出し処理エラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0214(S) Error in moving "%s"

説明: 出力ファイル名の変更時のエラーです。

対処: ファイルのアクセス権を調査します。

CB0215(S) Error in appending "%s"

説明: 指定されたファイルの処理エラーです。

対処: 指定したファイルのアクセス権を調査します。

CB0217(S) Errors in precompilation

説明: プリコンパイル時に検出されたエラーです。

対処: 詳細は、.lis ファイルを参照してください。

CB0218(S) Errors in COBOL2 compilation

説明: COBOL コンパイルのエラーです。

対処: 変換済みの.cbl ファイルを参照してください。

CB0219(S) Environment variable "%s" not declared

説明: 指定された環境変数が設定されていません。

対処: BAM を使用して、指定した環境変数を設定します。

CB0221(S) Installation variable "%s" not declared

説明: 指定された環境変数が見つかりませんでした。

対処: BAM を使用するか、\$EBMHOME/pack/ish/batchenv ファイルを編集することによって、指定した環境変数を指定します。

CB0222(S) Error in getting current directory name

説明: getcwd 呼び出しのエラーです。

対処: 現在のディレクトリの各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0223(S) Error opening file "%s"

説明: fopen 呼び出し処理エラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0224(S) Error opening temporary file "%s"

説明: 一時ファイルを開く際のエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0225(S) Error opening standard file "%s"

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0226(S) Error closing file "%s"

説明: 指定されたファイルを閉じる際のエラーです。

対処: 指定したファイルが存在するかどうかを調査します。

CB0227(S) Error removing file "%s"

説明: 指定されたファイルのリンク解除時のエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0228(S) Error removing temporary file "%s"

説明: 指定されたファイルのリンク解除時のエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

CB0229(S) Allocation error in "%s" routine

説明: calloc 関数のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB0230(S) Invalid "?" option in standard file "%s"

説明: 標準ファイルへの書き込み時のエラーです。

対処: 標準ファイルの内容を調査します。

CB0232(I) End of compilation - no serious error detected

説明: cobbatch コマンドの情報メッセージです。

CB0233(I) Compiling %s

説明: cobbatch コマンドの情報メッセージです。

CB0234(W) Object (.gnt) not replaced because replacing option not specified

説明: gnt ファイルを置き換える際に、コマンドが強制的に中止されました。

対処: -g オプションを指定して以前のファイルを上書きします。

CB0235(S) Source programs list empty (pgname/srcdir incorrect) or too big

説明: ファイルリストの読み込み時のエラーです。

対処: ファイルの入力リストを調査します。

CB0237(I) Function interrupted

説明: ブレークシグナルが処理されました。

対処: コマンドを再実行します。

CB0238(S) File specified in dbopt isn't present in program

説明: dbopt で指定されているファイルが、COBOL プログラムに存在しません。

対処: ファイルのリストを確認して再実行します。

CB1000 ~ CB1299

CB1000(W) File %s: organization is sequential, type is VS

説明: cobbatch コマンドの警告メッセージです。指定されたファイルはシーケンシャルですが、VSAM データセットとして処理される必要があります。

対処: -d オプションを使用して再実行します。

CB1000(W) File %s: organization is relative, type is FS

説明: cobbatch コマンドのメッセージです。指定されたファイルは相対編成ファイルですが、FS データセットとして処理される必要があります。

対処: rtsvsam コマンドで COBOL プログラムを実行する必要がある場合は、-d オプションを使用して再実行します。

CB1000(W) File %s: organization is indexed, type is FS

説明: cobbatch コマンドのメッセージです。指定されたファイルは索引編成ファイルですが、FS データセットとして処理される必要があります。

対処: rtsvsam コマンドで COBOL プログラムを実行する必要がある場合は、-d オプションを使用して再実行します。

CB1002(W) File specified in dbopt isn't present in program

説明: dbopt で指定されているファイルが、COBOL プログラムに存在しません。

対処: ファイルのリストを訂正して再実行します。

CB1204(S) Time abort elapsed - program killed by the system

説明: コマンドは、SIGALRM によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB1900 ~ CB2499

CB1902(S) User function interrupted by operator

説明: コマンドは、SIGINT によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB1903(S) Abort request received : User function aborted

説明: コマンドは、SIGQUIT によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB1906(S) Abort request received : User function aborted

説明: コマンドは、SIGABRT によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB1911(S) Invalid memory reference : User function aborted

説明: コマンドは、SIGSEGV によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB1915(S) Abort request received : User function aborted

説明: コマンドは、SIGTERM によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB2010(S) Private log-file open error %d

説明: ログファイルを開く際のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

CB2402(S) Error updating CV %s : %s

説明: Sun MBM 共有メモリーへのアクセス時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

第5章

FM 系メッセージ

この章のメッセージは File_Map に関連しています。

FM0001 ~ FM0099

FM0001(S) ERROR locking File Map %s, errno=%d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0002(S) ERROR unlocking File_Map %s, errno=%d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0003(I) List of matching entries

説明: 情報メッセージです。

FM0004(I) DataSet Name Catalog Type Mapped Name

説明: 情報メッセージです。

FM0005(I) List of selected entries

説明: 情報メッセージです。

FM0006(I) DataSet Name GDG Number

説明: 情報メッセージです。

FM0007(I) List of modified entries

説明: 情報メッセージです。

FM0008(I) DataSet Name Catalog Type Mapped Name

説明: 情報メッセージです。

FM0009(I) Usage:

説明: 情報メッセージです。

FM0010(I) To make changes to entries:

説明: 情報メッセージです。

FM0011(I) cfm [-c catalog] [-d DSN] [-D DSN] [-f filename]
[-F filename] [-g n] [-G n] -i File_Map1 [-o File_Map2]
[-n|-p|-P] [-t type] [-T type]

説明: 使用方法メッセージは、cfm コマンドの構文を示します。

対処: 情報メッセージです。

FM0012(I) To erase entries:

説明: 情報メッセージです。

FM0013(I) cfm [-c catalog] [-d DSN] -e [-f filename] [-g n]
-i File_Map1 [-o File_Map2] [-p] [-t type]

説明: 情報メッセージです。

FM0014(I) To make changes using a VSAM table:

説明: 情報メッセージです。

FM0015(I) cfm -i File_Map1 [-o File_Map2] [-p|-P]
{-V VSAM_Table | -v VSAM_Table}

説明: 情報メッセージです。

FM0016(I) To make changes using a GDG table:

説明: 情報メッセージです。

FM0017(I) cfm -i File_Map1 -N GDG_Table [-o File_Map2] [-p|-P]

説明: 情報メッセージです。

FM0018(I) To make changes using a Record Descriptor table:

説明: 情報メッセージです。


```
FM0019(I) cfm -i File_Map1 [-o File_Map2] [-p|-P]
-r Record_Descriptor_Table
-R Directory_Pathname
```

説明: 情報メッセージです。

```
FM0020(I) To perform directory/file integrity check:
```

説明: 情報メッセージです。

```
FM0021(I) cfm -i File_Map1 -K [-x|-y]
```

説明: 情報メッセージです。

```
FM0022(I) For help: cfm -h
```

説明: cfm コマンドの使い方に関する詳細を表示するには、メッセージに示されているコマンドを入力します。

対処: 情報メッセージです。

```
FM0023(S) ERROR accessing input file %s, errno=%d. Command
aborted.
```

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

```
FM0024(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.
```

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

```
FM0025(W) WARNING. Invalid Dataset Name in %s at line %d.
```

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

```
FM0026(S) ERROR Dataset Name %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.
```

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

```
FM0027(S) ERROR allocating %d bytes for dataset field %s.
Command aborted.
```

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0028(S) ERROR dataset %s exceeds the imposed limit on number of fields %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0029(S) ERROR allocating %d bytes for dataset field %s. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0030(S) ERROR dataset %s exceeds the imposed limit on number of fields %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0031(S) ERROR allocating %d bytes for dataset field %s. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0032(W) WARNING. Invalid Catalog Name in %s at line %d.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0033(S) ERROR Catalog Name %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0034(W) WARNING. Invalid Type Name in %s at line %d.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0035(S) ERROR dataset type %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0036 (W) WARNING. Invalid Mapped Name in %s at line %d.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0037 (S) ERROR Mapped Name %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0038 (S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0039 (S) ERROR allocating %d bytes for pathname fields. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0040 (W) WARNING. Invalid Record Properties File Name in %s at line %d

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0041 (S) ERROR Record Property File Name %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0042 (W) WARNING. Invalid GDG number in %s at line %d.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0043 (S) ERROR GDG number %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0044(S) ERROR accessing input file %s for VSAM, errno=%d.
Command aborted.

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0045(S) Invalid entry in VSAM Table, line %d, %s. Command
aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定された行を修正します。

FM0046(S) Invalid entry in VSAM Table, line %d, %s. Command
aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定された行を修正します。

FM0047(S) Invalid entry in VSAM Table, line %d, %s. Command
aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定された行を修正します。

FM0048(S) Invalid entry in VSAM Table, line %d, %s. Command
aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定された行を修正します。

FM0049(S) Invalid entry in VSAM Table, line %d, %s. Command
aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定された行を修正します。

FM0050(S) Invalid entry in VSAM Table, line %d, %s. Command
aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定された行を修正します。

FM0051(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0052(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0053(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0054(S) ERROR accessing input file %s for VSAM, errno=%d.
Command aborted.

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0055(S) Missing DATASET parameter in FCT Table prior to the
macro %s. Command aborted.

説明: Sun MTP ファイル管理テーブル (FCT) に無効なエントリがあります。

対処: 指定されたエントリを更新します。

FM0056(S) Missing DSNAME parameter in FCT Table macro prior to
%s. Command aborted.

説明: Sun MTP ファイル管理テーブル (FCT) に無効なエントリがあります。

対処: 指定されたエントリを更新します。

FM0057(S) ERROR. Missing DATASET and DSNAME parameters in FCT
Table macro previous to %s. Command aborted.

説明: Sun MTP ファイル管理テーブル (FCT) に無効なエントリがあります。

対処: 指定されたエントリを更新します。

FM0058(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0059(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0060(S) ERROR. Missing DATASET value in VSAM table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0061(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0062(S) ERROR. Missing DSNAME value in VSAM table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0063(W) WARNING. No matching entries found between %s and %s

説明: VSAM テーブルで定義されたエントリが、File_Map で定義されたエントリと一致しません。

対処: File_Map で定義された、1 つ以上のデータセットを含む VSAM テーブルを使用します。

FM0064(W) WARNING: No matching entries found between %s and %s.

説明: VSAM テーブルで定義されたエントリが、File_Map で定義されたエントリと一致しません。

対処: File_Map で定義された、1 つ以上のデータセットを含む VSAM テーブルを使用します。

FM0065(S) ERROR accessing input file %s for GDG, errno=%d. Command aborted.

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0066(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0067(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0068(W) WARNING: Invalid GDG entry in the input GDG_Table at line %d.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0069(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0070(S) ERROR. Missing Dataset name in GDG table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0071(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0072(S) ERROR. Missing GDG number in the GDG table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0073(S) ERROR. GDG number is not a valid two digit number at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0074(S) ERROR. GDG number is not a valid two digit number at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0075(W) WARNING: No matching entries found between %s and %s.

説明: GDG テーブルで定義されたエントリが、File_Map で定義されたエントリと一致しません。

対処: File_Map で定義された、1 つ以上のデータセットを含む GDG テーブルを使用します。

FM0076(W) WARNING: Invalid file type for update to GDG, dataset %s not updated

説明: 指定されたエントリは GDG ではないので、更新できません。

対処: 必要に応じてエントリを GDG に訂正します。

FM0077(W) WARNING: No matching entries found between %s and %s.

説明: GDG テーブルで定義されたエントリが、File_Map で定義されたエントリと一致しません。

対処: File_Map で定義された、1 つ以上のデータセットを含む GDG テーブルを使用します。

FM0078(S) ERROR dataset type %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0079(S) ERROR dataset name %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0080(S) ERROR allocating %d bytes for format string for dataset. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0081(S) ERROR: Invalid field specification in command option %s. Command aborted.

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを使用して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0082(S) ERROR: Invalid field specification in command option %s. Command aborted.

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを使用して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0083(S) ERROR: %d invalid field number. Command aborted.

説明: 指定されたフィールド番号が存在しません。

対処: コマンドオプションを変更します。

FM0084(S) ERROR: Invalid field specification in command option in %s. Command aborted.

説明: パラメータが無効です。「{}」に囲まれた「.」および「/」は、許可されません。

対処: コマンドパラメータを更新します。

FM0085(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0086(S) ERROR: Specified dataset field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0087(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0088(S) ERROR: Specified dataset field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0089(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0090(S) ERROR: Specified pathname field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0091(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0092(S) ERROR: Specified pathname field %%{c%d} does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0093(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0094(S) ERROR dataset type %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0095(S) ERROR mapped pathname %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0096(S) ERROR allocating %d bytes for format string for mapped pathname. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0097(S) ERROR: Invalid field specification in command option %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0098(S) ERROR: Invalid field specification in command option %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0099(S) ERROR: Invalid format in usage of -F '%{F*}' or -F '%{f*}'. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0100(S) ERROR: Invalid format in usage of -F '%{F*}' or -F '%{f*}'. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0101 through FM0199

FM0101(S) ERROR: Invalid format in usage of -F '%{D*}' or -F '%{d*}'. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0102(S) ERROR: Invalid format in usage of -F '%{D*}' or -F '%{d*}'. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0103(S) ERROR: %d invalid field number. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0104(S) ERROR: Invalid field specification in command option in %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを修正します。

FM0105(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0106(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0107(S) ERROR: Specified dataset field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0108(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0109(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0110(S) ERROR: Specified dataset field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0111(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0112(S) ERROR: Specified pathname field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0113(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0114(S) ERROR: Specified pathname field %c%d does not exist for dataset %s. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0115(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0116(S) ERROR GDG number %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドの値を減らします。

FM0117(S) ERROR accessing input file %s for modifying RECORD PROPERTIES. Command aborted.

説明: 指定されたレコード属性ファイルを開く際のエラーです。

対処: 指定されたファイルを作成するか、File_Map の参照を削除します。

FM0118(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0119(S) ERROR allocating %d bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0120(S) ERROR: Missing dataset name in Record Descriptor Table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0121(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0122(S) ERROR: Invalid Record in Record Descriptor Table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0123(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0124(S) ERROR: Invalid Record in Record Descriptor Table at line %d. Command aborted.

説明: エントリが無効です。

対処: 指定されたフィールドを更新します。

FM0125(S) ERROR: Directory pathname must be specified with -R command option. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新します。

FM0126(S) ERROR: Size of Record Property %s exceeds the limit of %d bytes. Command aborted.

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドのサイズを減らします。

FM0127(S) ERROR opening file %s to write record property, for the dataset %s, errno=%d. Command aborted.

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0128(W) WARNING. No matching entries found between %s and %s

説明: レコード属性テーブルで定義されたエントリが、File_Map で定義されたエントリと一致しません。

対処: File_Map で定義された、1 つ以上のデータセットを含むテーブルを使用します。

FM0129 (W) WARNING: No matching entries found between %s and %s.

説明: レコード属性テーブルで定義されたエントリが、File_Map で定義されたエントリと一致しません。

対処: File_Map で定義された、1 つ以上のデータセットを含むテーブルを使用します。

FM0130 (W) WARNING: No matching entries found in input filemap %s.

説明: 指定された選択条件は、File_Map のエントリと一致しません。

対処: 選択条件を変更します。

FM0131 (I)

List of entries deleted

説明: 情報メッセージです。

FM0132 (I) DataSet Name Catalog Type Mapped Name

説明: 情報メッセージです。

FM0133 (W) WARNING: No matching entries found in %s to delete.

説明: 指定された選択条件は、File_Map のエントリと一致しません。

対処: 選択条件を変更します。

FM0134 (S) ERROR: No changes specified in the command. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを更新して、フィールドオプションの変更を指定します。

FM0135 (W) WARNING: No matching entries found in %s.

説明: 指定された選択条件は、File_Map のエントリと一致しません。

対処: 選択条件を変更します。

FM0136 (S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0137 (S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0138(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0139(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0140(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0141(I) #

Warning '%s' is defined as file in dataset %s (pathname %s)
and as directory in dataset %s (pathname %s)

説明: File_Map で重複したエントリが競合しています。

対処: File_Map を更新します。

FM0142(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0143(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0144(I) #

Warning dataset %s is multiply defined in File_Map

説明: File_Map でエントリが重複しています。

対処: File_Map を更新します。

FM0145(I) #

Warning directory %s is multiply defined in datasets %s and
%s

説明: File_Map で重複したエントリが競合しています。

対処: File_Map を更新します。

FM0146(I)#
Warning '%s' is defined as file in dataset %s (pathname %s)
and as directory in dataset %s (pathname %s)

説明: File_Map で重複したエントリが競合しています。

対処: File_Map を更新します。

FM0147(I)#
Warning file %s is multiply defined in datasets %s and %s

説明: File_Map でエントリが重複しています。

対処: File_Map を更新します。

FM0148(I)#
Warning '%s' is defined as directory in dataset %s (pathname
%s) and as file in dataset %s (pathname %s)

説明: File_Map で重複したエントリが競合しています。

対処: File_Map を更新します。

FM0149(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0150(S) ERROR allocating memory at %d. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0151(W) WARNING: No matching entries found in %s.

説明: 指定された選択条件は、File_Map のエントリと一致しません。

対処: 選択条件を変更します。

FM0152(S) ERROR. Input Filemap name and output Filemap name
cannot be same. Command aborted.

説明: 入力と出力で同じ File_Map を使用することはできません。

対処: 別の File_Map を指定します。

FM0153(S) ERROR accessing output file %s, errno=%d. Command
aborted.

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

FM0154(S) ERROR. Filemap name specified with -o option already exists. Specify unique output filemap name with -o option. Command aborted.

説明: File_Map の上書きはできません。

対処: 出力の File_Map を変更するか、または既存のファイルを削除します。

FM0155(S) ERROR: unexpected option -K

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0156(S) ERROR: unexpected option -v

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0157(S) ERROR: unexpected option -V

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0158(S) ERROR: unexpected option -N

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0159(S) ERROR: unexpected option -r

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0160(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0161(S) ERROR: Directory Pathname must be specified with -R command option. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを変更します。

FM0162(S) ERROR: unexpected option -t

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関する情報を取得します。

FM0163(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0164(S) ERROR: invalid -t type. Specify FS, VS, GDG or LIB

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを変更します。

FM0165(S) ERROR: unexpected option -c

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関する情報を取得します。

FM0166(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0167(S) ERROR: unexpected option -d

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関する情報を取得します。

FM0168(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0169(S) ERROR: unexpected option -f

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0170(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0171(S) ERROR: unexpected option -g

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0172(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0173(S) ERROR: unexpected option -T

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0174(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0175(S) ERROR: invalid -T type. Specify FS, VS, GDG or LIB

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力パラメータを変更します。

FM0176(S) ERROR: unexpected option -C

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0177(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0178(S) ERROR: unexpected option -D

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0179(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0180(S) ERROR: unexpected option -F

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0181(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0182(S) ERROR: unexpected option -G

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0183(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0184(S) ERROR: GDG number exceeds the allowed values

説明: フィールドが無効です。

対処: 指定されたフィールドの値を減らします。

FM0185(S) ERROR: unexpected option -P

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0186(S) ERROR: unexpected option -x

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0187(S) ERROR: unexpected option -y

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0188(S) ERROR: unexpected option -p

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0189(S) ERROR: unexpected option -P

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0190(S) ERROR: unexpected option -n

説明: オプションが無効です。

対処: -u オプションを指定して、コマンドの使用法に関連する情報を取得します。

FM0191(S) ERROR: Input File_Map not specified. Command aborted.

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: 入力の File_Map を指定する必要があります。

FM0192(S) Error: Invalid ';' character in File_Map entry

説明: File_Map のエントリが無効です。

対処: File_Map を更新します。

FM0193(I) Usage Create : crtflm [-C] file path [catalog]
[-t type] [-d DDS] [-g GDN]

説明: 使用方法メッセージは、crtflm コマンドの作成形式を示します。

対処: 情報メッセージです。このコマンド形式の使用については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

FM0194(I) Usage Delete : crtflm -D file catalog

説明: 使用方法メッセージは、crtflm コマンドの削除形式を示します。

対処: 情報メッセージです。このコマンド形式の使用については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

FM0195(I) Usage Modify : crtflm -M file catalog [path]
[-t type] [-d DDS] [-g GDN]

説明: 使用方法メッセージは、crtflm コマンドの変更形式を示します。

対処: 情報メッセージです。このコマンド形式の使用については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

FM0196(I) Usage:

crtflm [-C] file path [catalog] [-t type] [-d DDS] [-g GDN]

crtflm -D file catalog

crtflm -M file catalog [path] [-t type] [-d DDS] [-g GDN]

説明: 使用方法メッセージは、crtflm コマンドの形式を示します。

対処: 情報メッセージです。このコマンド形式の使用については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

FM0197(S) system error: tp_getinst on "pack"

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0198(S) cannot open %s messages errors file

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

FM0199(S) Error: data set %s not found in catalog %s

説明: 指定されたデータセットは、File_Map で定義されていません。

対処: データセット名を変更するか、File_Map にデータセットを加えます。

FM0200 ~ FM0299

FM0200(S) Path not found

説明: File_Map にファイル名が見つかりません。

対処: File_Map のパス名のエントリを変更します。

第6章

IP系メッセージ

IP系メッセージは、バッチシェルに関連しています。

IP0001 ~ IP0299

IP0001(I) `tp_list message`

説明: `tp_list` 関数の情報メッセージです。

IP0002(I) `tp_list message`

説明: `tp_list` 関数の情報メッセージです。

IP0004(W) `Command not allowed`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP0005(W) `Target does not exist`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP0006(W) `Empty list`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP0021(S) Command %s aborted: rc = %d

説明: lstutl コマンドのメッセージです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP0022(I) End of %s command

説明: lstutl コマンドの情報メッセージです。

IP0024(I) Command %s executed

説明: lstutl コマンドの情報メッセージです。

IP0025(S) lstutl - tp_getinst error - errno=%d

説明: .install ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: .install ファイルのエントリが有効であることを確認します。詳細は、errno を調査します。

IP0026(S) lstutl - lst_table fopen error - errno=%d

説明: lst_table ファイルへのアクセス時のエラーです。詳細は、errno を調査します。

対処: \$PACK/da/lst_table が存在し、有効であることを確認します。

IP0027(S) lstutl - Command not found or entry mistake in lst_table file

説明: lst_table ファイルのコマンドエントリの検索時のエラーです。

対処: \$PACK/da/lst_table が存在し、有効であることを確認します。

IP0036(W) Invalid options

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP0037(W) Printer not existent or is not accepting status

説明: 指定された出力デバイスが無効であるか、プリンタが使用不可能です。

対処: プリンタの状態を調査して再実行します。

IP0038(W) Only digit field

説明: パラメータが無効です。

対処: パラメータを数字に訂正して再実行します。

IP0042(S) tp_lstfun: %s output, error %04d

説明: データ収集ルーチン (_dcr) によって呼び出された tp_lstfun 関数が、強制的に中止されました。

対処: _dcr コマンドが、シンボリックリンクを使って lstutl (\$PACK/bin/histprt->lstutl) にリンクしていることを確認します。

IP0043(W) Paper type does not exist

説明: rp_open のエラーです。用紙タイプが無効です。

対処: 用紙タイプを訂正して再実行します。

IP0044(S) tp_lstfun: %x output, error %04d

説明: 内部の関数によって呼び出された tp_lstfun 関数が、強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP0050(W) Value not allowed

説明: コピー部数パラメータの処理エラーです。

対処: コピー部数パラメータを訂正して再実行します。

IP0051(W) Formal error in name

説明: レポート名のチェック時のエラーです。

対処: レポート名を訂正して再実行します。

IP0201(S) Command %s aborted

説明: 指定したコマンドは、強制的に中止されました。

IP0202(I) End of %s command

説明: 情報メッセージです。コマンドが終了しました。

IP0204(I) Command %s executed

説明: 情報メッセージです。コマンドが実行されました。

IP0900 ~ IP0999

IP0982(W) Debug invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0983(W) Sw8 invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0984(W) Logval invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0985(W) Loglist invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0986(W) Outdev invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0987(W) Report class invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0988(W) Report disposition invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0989 (W) Report priority invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0990 (W) Banner invalid

説明: setij スクリプトのメッセージです。指定されたパラメータが無効です。

対処: \$EBMHOME/sysindir/setij.*number* スクリプトを訂正して再実行します。

IP0991 (W) No default destination found

説明: setij スクリプトのメッセージです。デフォルトの出力先が見つかりません。

対処: プリンタの状態を調べ、必要に応じてデフォルトのプリンタを定義します。

IP2000 ~ IP2299

IP2008 (D) I/O error during catalog read, the CS size is %d,SH size =%d

説明: Sun MBM カタログ読み込み時のエラーです。

対処: .install ファイルで指定されている pack ディレクトリ、pack/ipsxcat/ipsxenv ファイル、および .install ファイルの max_numActs を確認します。

IP2011 (D) Error in Subsystem start up, internal code=%d,error=%d

説明: Sun MBM 共有メモリー作成時のエラーです。

対処: \$EBMHOME の値を確認し、共有メモリーがすでに存在することを確認して、ログファイルを調査します。

IP2013 (D) The Subsystem is not available to receive messages

説明: メッセージ交換機能インタフェースへのアクセス時のエラーです。

対処: ノードが動作していることを確認します。

IP2015(D) End of job on the %s activity, error %d in shared memory access

説明: 共有メモリーへのアクセス時の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2016(I) dltact command pending for activity %s

説明: アクティビティー削除の要求は、現在実行中のジョブが終了するまで保留されます。

対処: アクティビティーを即座に削除するには、ジョブを強制的に中止します。

IP2017(I) Delete activity %s request being processed. dltact command rejected

説明: アクティビティー削除の要求はそのアクティビティーのキューに入っていますが、現在実行中のジョブが終了するまで保留されます。

対処: アクティビティーを即座に削除するには、ジョブを強制的に中止します。

IP2018(D) Internal error during %s activity delete

説明: 共有メモリーへのアクセス時の内部エラーです。削除するアクティビティーが見つかりません。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2019(I) Activity %s not found. dltact command rejected

説明: 指定されたアクティビティーが見つかりません。

対処: infact コマンドを使用して、有効なアクティビティーを確認します。

IP2020(I) Activity %s already present. crtact command rejected

説明: 指定されたアクティビティー名は、すでに共有メモリーで定義されています。

対処: 一意のアクティビティー名を使用して再実行します。

IP2033(I) Activity %s starts with job %d

説明: 情報メッセージです。指定されたアクティビティーの現在実行中のジョブ番号が示されています。

IP2034(I) Activity %s is waiting for new jobs

説明: 情報メッセージです。指定されたアクティビティーの実行中のジョブが終了し、アクティビティーは使用可能になりました。

IP2084 (I) Enable on %s executed

説明: 情報メッセージです。バックグラウンドタイプのアクティビティーが作成されました。

IP2086 (I) Error during shared memory initialization

説明: 共有メモリー作成時のエラーです。

対処: インストールキーが期限切れになっていないか調査します。

IP2087 (I) Shutdown of psg completed

説明: psg_daemon の情報メッセージです。

IP2099 (I) The CS size user defined is < of actual size,%d is assumed

説明: 共通記憶領域の無効なサイズが指定されました。

対処: ipsxenv ファイルで共通記憶領域のサイズを確認します。

IP2102 (I) Common storage not available, error =%d

説明: 共有記憶領域割り当て時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2103 (D) The Subsystem is not available to receive messages, error=%d

説明: メールボックスを開く際のエラーです。

対処: 同じ名前でメールボックスを開いているプロセスがないかどうかを調査します。

IP2104 (I) Start of activity %s

説明: psg_daemon の情報メッセージです。指定されたアクティビティーは作成されました。

IP2105 (I) Activity %s ended

説明: psg_daemon の情報メッセージです。指定されたアクティビティーは削除されました。

IP2106 (D) Error %d during %s activity delete

説明: 共有メモリーアクセス時の shmfree のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2107 (I) Job %s terminated at %s

説明: psg_daemon の情報メッセージです。指定されたジョブは終了しました。

IP2108(I) Job %s aborted at %s

説明: psg_daemon の情報メッセージです。指定されたジョブは強制的に中止されました。

IP2110(I) Starting job %s at %s

説明: psg_daemon の情報メッセージです。指定されたジョブは開始されました。

IP2113(I) Subsystem shutdown in the %d minutes

説明: psg_daemon の情報メッセージです。

IP2114(D) Shared memory allocation error, code=%d

説明: 共有メモリ作成時のエラーです。

対処: .install ファイルで指定されている pack ディレクトリ、pack/ipsxcat/ipsxenv ファイル、および .install ファイルの max_num_acts を調査します。

IP2115(I) Shared memory overflow

説明: 共有メモリ割り当て時のエラーです。

対処: システム内で同時に共有されるメモリの割り当てサイズが、システムの制限を超えていないかどうかを調査します。

IP2116(S) Read/write error on %s

説明: 共有メモリの読み取り/書き込み操作時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2118(I) The parameter max_num_acts=%d specified in the .install file exceeds the license key imposed limit on the total number of activities (%d). The max_num_acts parameter is now being reset to the license key limit.

説明: .install ファイルで指定された max_num_acts を設定できませんでした。ライセンスキーの制限は超えられません。

対処: ライセンスキーの制限に適合するように、.install ファイルの max_num_acts パラメータを更新し、ノードを再起動します。ライセンスキーの制限数を超えたアクティビティーを作成する必要がある場合は、ご購入先に連絡してください。

IP2201(D) Internal error

説明: psg_alba に指定されたパラメータが無効です。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2202 (D) Internal error

説明: psg_alba に指定されたパラメータが無効です。アクティビティ名が見つかりません。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2203 (D) Internal error

説明: psg_alba に指定されたパラメータが無効です。ユーザー名が見つかりません。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2208 (S) Error during System-catalog access, tp_errno=%d

説明: パスワードファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーのエントリが有効であることを確認します。

IP2212 (I) Invalid keyfile. Please contact your sales representative.

説明: インストールキーのチェック時のエラーです。インストールキーの期限が切れています。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP2213 (D) Unable to change directory to %s

説明: chdir 関数のエラーです。

対処: パスワードファイルで指定されているホームディレクトリが有効であることおよびユーザーのアクセス権が正しいことを確認します。

IP2214 (W) Bad user identifier

説明: setuid 関数のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーのエントリが有効であることを確認します。

IP2215 (W) Bad user group

説明: setgid 関数のエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーのエントリが有効であることを確認します。

IP2217 (D) System error

説明: 共有メモリーへのアクセス時のエラーです。

対処: .btshrc ファイルの内容、特に EBMHOME 環境変数の値を確認します。shdump コマンドが動作することを確認します。

IP2218(D) System error

説明: ipname 関数のエラーです。セッションのログインが開始されません。

対処: PATH 環境変数の btsh コマンドが有効であること、すなわち \$PACK/bin/btsh であることを確認します。

IP2220(I) Activity terminated by the operator

説明: 情報メッセージです。シグナル SIGTERM が、セッションを終了させるために送信されました。

IP4000 ~ IP4199

IP4000(S) Unknown system error

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4001(I) Syntax error

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4004(S) %s : No home directory

説明: btsh コマンドのメッセージです。ホームディレクトリが見つかりません。

対処: パスワードファイルのユーザーのエントリが有効であることを確認します。

IP4005(S) %s : Can't change to home directory

説明: btsh コマンドのメッセージです。chdir 関数のエラーです。

対処: ホームディレクトリのアクセス権を調査します。

IP4006(S) %s : No other directory

説明: btsh コマンドのメッセージです。ディレクトリスタック上の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4007(S) %s : Directory stack not that deep

説明: btsh コマンドのメッセージです。 ディレクトリスタック上の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4008(S) %s : Bad directory

説明: btsh コマンドのメッセージです。 ディレクトリスタック上の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4009(S) %s : Directory stack empty

説明: btsh コマンドのメッセージです。 ディレクトリスタック上の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4010(S) %s : Ambiguous

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4011(S) Unmatched %c

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4012(S) Word too long

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4013(S) Too many words from ``

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4014(S) Variable syntax

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4015(S) Subscript out of range

説明: btsh コマンドのメッセージです。 \$ expansion 実行時の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4016(S) %s : << terminator not found

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4017(S) Line overflow

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4018(S) %s : Line overflow

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4019(S) Expression syntax error : not allowed divide by zero

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4020(S) Expression syntax error : not allowed module zero

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4021(S) %s : Expression syntax

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4022(S) %s : Missing }

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4023(S) %s : Missing file name

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行にファイル名を含めて再実行します。

IP4024(S) %s : Too few arguments

説明: btsh コマンドのメッセージです。 組み込みコマンドの構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4025(S) %s : Too many arguments

説明: btsh コマンドのメッセージです。 組み込みコマンドの構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4026(S) %s : command not allowed from terminal

説明: btsh コマンドのメッセージです。 組み込みコマンド jump の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4027(S) %s : alias argument value invalid

説明: btsh コマンドのメッセージです。 組み込みコマンド alias の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4029(S) %s : Empty if

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4030(S) %s : Improper then

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4031(S) Syntax error

説明: btsh コマンドのメッセージです。 組み込みコマンド switch の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4032(S) %s : Not in while/foreach

説明: btsh コマンドのメッセージです。 組み込みコマンド foreach の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4035(S) %s : Invalid variable

説明: btsh コマンドのメッセージです。組み込みコマンド foreach の構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4036(S) %s : Words not ()'ed

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4037(S) %s : No match

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4038(S) %s : then/endif not found

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4039(S) %s : endif not found

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4040(S) %s : endsw not found

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4041(S) %s : end not found

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4042(S) %s : step/label not found

説明: ジョブの再起動オプション -R のエラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4044(S) %s : No such limit

説明: btsh コマンドのメッセージです。limit コマンド行のエラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4045(S) %s : Improper or unknown scale factor

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4046(S) Bad scaling, did you mean "%s" ?

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4047(S) No match

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4048(S) Unknown user : %s

説明: パスワードファイルへのアクセス時のエラーです。 getpwnam 関数に失敗しました。

対処: システムのパスワードファイルを調査し、ユーザーを追加または訂正します。

IP4049(S) Missing]

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4050(S) Missing }

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4051(S) Missing] : %s

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4052(S) Arguments too long

説明: 引数が制限を超えています。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4053(S) Pathname too long

説明: パス名展開のエラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4054 (S) Unmatched `

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4055 (S) Too many words from ``

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4056 (S) Usage : history [-r] [-h] [n]

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4057 (S) Unmatched %s

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4058 (S) Too many)'s

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4059 (D) Internal error

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4060 (S) Bad ! form

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4061 (S) No previous substitution

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4062 (S) Bad substitute

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4063(S) No previous lhs

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4064(S) Rhs too long

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4065(S) Bad ! modifier :

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4066(S) Modifier failed

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4067(S) Substitution buffer overflow

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4068(S) Bad ! argument selector

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4069(S) No previous search

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4070(S) Event not found :

説明: btsh コマンドのメッセージです。 構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4071(S) Out of memory

説明: malloc 関数のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4072(S) %s : Undefined variable

説明: 指定された環境変数が設定されていません。

対処: 環境変数名を確認します。

IP4073(S) Alias loop

説明: alias コマンド行のエラーです。

対処: shift コマンド行が有効であることを確認します。

IP4074(S) Missing name for redirect

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4075(S) Ambiguous output redirect

説明: exp 内の > 演算子があいまいです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4076(S) Ambiguous input redirect

説明: exp 内の < 演算子があいまいです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4077(S) Too many ('s

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4078(S) %s : Syntax error

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4079(S) %s : Missing)'s

説明: btsh コマンドのメッセージです。) が脱落している構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4080(S) %s : Subscript error

説明: btsh コマンドのメッセージです。[が脱落している構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4081(S) %s : Subscript out of range

説明: btsh コマンドのメッセージです。構文エラーです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4082(S) %s : Badly formed number

説明: 予想外の文字列です。

対処: 文字列を数字に訂正して再実行します。

IP4083(S) %s : No more words

説明: shift コマンド行のエラーです。

対処: shift コマンド行を訂正して再実行します。

IP4086(S) %s : executable not found

説明: 実行するコマンドが見つかりませんでした。

対処: PATH 環境変数の値を確認して再実行します。

IP4087(D) Internal error on shared memory access
(tp_errno = %d)

説明: 共有メモリーへのアクセス時のエラーです。

対処: .btshrc ファイルの内容、特に EBMHOME 環境変数の値を確認し、shmdump コマンドが動作することを確認します。tp_errno メッセージも調査します。

IP4088(S) %s : Can't be piped or redirected

説明: パイプまたはコマンドのリダイレクションのエラーです。

対処: システムで同時に開かれているファイルの数が、システムの制限を超えていないかどうか調査します。

IP4089(S) System error (Can't fork,errno=%d)

説明: fork 関数のエラーです。

対処: errno 番号を調査します。

IP4090(S) System error (Can't create pipe, errno=%d)

説明: pipe 関数のエラーです。

対処: errno 番号を調査します。

IP4091(S) %s : File exists

説明: 標準出力へのリダイレクションのエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4093(S) %s : Only numeric values allowed

説明: sleep パラメータが無効です。

対処: sleep パラメータを数値に変更します。

IP4096(S) %s : script not found

説明: ユーザーメニューが見つかりません。

対処: EBMHOME 環境変数、.install ファイル、および pack ディレクトリの実行権を調査します。

IP4101(S) Function reserved for privileged user

説明: 特権ユーザーのみが、特権関数を実行できます。

対処: 関数の実行権を調査します。

IP4102(S) %s : Invalid script ('start' statement omitted)

説明: start 文の検索時のエラーです。

対処: バッチシェルスクリプトが有効であることを確認し、start 文を追加します。

IP4103(I) Process terminated

説明: btsh コマンドによって送信される情報メッセージです。

IP4104(I) Start %s at %s

説明: 指定したコマンドが開始された時間を示す、btsh コマンドによって送信される情報メッセージです。

IP4105(I) End of %s at %s

説明: 指定したコマンドが終了した時間を示す、btsh コマンドによって送信される情報メッセージです。

IP4106(S) %s aborted at %s

説明: 指定したコマンドが強制的に中止された時間を示す、btsh コマンドによって送信される情報メッセージです。

IP4114(S) %s

説明: 子 (child) シェルの状態環境変数が示されます。

対処: 子シェルが強制的に中止された原因を調査します。

IP4115(S) Can't spawn shell %s, retry with /bin/sh

説明: SHELL 環境変数が設定されていないか、その値が無効です。既定値を使用します。

対処: .btshrc ファイルおよびバッチシェルスクリプトの SHELL 環境変数値を調査します。

IP4116(S) No shell spawned

説明: exec 関数のエラーです。

対処: ジョブスクリプトの PATH 環境変数を確認して再実行します。

IP4117(S) UNIX command not executed (no shell found)

説明: exec 関数のエラーです。

対処: ジョブスクリプトの PATH 環境変数を確認して再実行します。

IP4118(S) Can't fork (errno %d), No shell spawned

説明: バッチシェルコマンド実行中の fork 関数のエラーです。

対処: errno 番号を確認し、同時実行のプロセスに関してシステムの制限を変更するか、スワップ領域サイズを変更します。

IP4119(S) Can't fork (errno %d), UNIX command not executed

説明: UNIX コマンド実行中の fork 関数のエラーです。

対処: errno 番号を確認し、同時実行のプロセスに関してシステムの制限を変更するか、スワップ領域サイズを変更します。

IP4120(S) Can't exec (errno %d), No shell spawned

説明: シェルコマンド実行中の execv 関数のエラーです。

対処: errno 番号とパスのアクセス権を調査します。ディレクトリへのアクセス権、環境変数の数、および ARG_MAX の値を超える環境変数の値を確認します。

IP4121(S) Can't exec (errno %d), UNIX command not executed

説明: UNIX コマンドを実行中の execv 関数のエラーです。

対処: errno 番号とパスのアクセス権を調査します。ディレクトリへのアクセス権、環境変数の数、および ARG_MAX の値を超える環境変数の値を調査します。

IP4123(I) Shell login session terminated with exit code %d

説明: 生成されたシェルコマンドに対して btsh によって送信される情報メッセージです。コマンドがシグナルで強制的に中止されていない場合、コマンドの終了コードが示されます。

IP4124(I) UNIX command execution terminated with exit code %d

説明: 実行された UNIX コマンドに対して btsh によって送信される情報メッセージです。コマンドがシグナルで強制的に中止されなかった場合、コマンドの終了コードが示されます。

IP4125(I) Shell login session terminated by signal %d

説明: btsh コマンドの情報メッセージです。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを参照してください。

IP4126(I) UNIX command execution terminated by signal %d

説明: btsh コマンドの情報メッセージです。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを参照してください。

IP4127(S) %s : function description not found

説明: 制御変数の定義エラーです。キーワードが不正確です。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4131(I) UNIX command execution terminated

説明: btsh コマンドの情報メッセージです。

IP4200 ~ IP4399

IP4202(S) Keyword found before positional

説明: runpgm コマンド行のエラーです。

対処: 正しい構文が反映されるように runpgm コマンド行を変更します。

IP4203(S) System error errno=%d

説明: 使用可能なバッファープールの領域割り当て時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4204(S) The %s keyword is mandatory

説明: runpgm コマンド行のエラーです。キーワードは必須です。

対処: 正しい構文が反映されるように runpgm コマンド行を変更します。

IP4205(S) Invalid %s keyword value

説明: runpgm コマンド行のエラーです。

対処: 正しい構文が反映されるように runpgm コマンド行を変更します。

IP4206(W) The response must be a numeric field

説明: 受け入れデータチェックに失敗しました。

対処: データを数値に変更します。

IP4207(W) %s command not allowed from terminal

説明: tty からのリダイレクションが原因で、受け入れデータ処理に失敗しました。

対処: 入力を Virtual Console 機能にリダイレクトします。

IP4208(S) Control variable name too long

説明: 応答状態を待機中に、受け入れデータ処理に失敗しました。

対処: 変数名を訂正して再試行します。

IP4209(S) No characters read.

説明: 応答状態を待機中に、受け入れデータ処理に失敗しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4210(S) Error during shared memory access, tp_errno= %d

説明: 共有メモリーの制御変数読み取り時のエラーです。

対処: .btshrc ファイルの内容、とくに EBMHOME 環境変数の値を確認します。
tp_errno メッセージを調査します。

IP4211(I) Process terminated by exit %d

説明: ジョブステップコマンドに対して btsh によって送信される情報メッセージです。コマンドがシグナルで終了していない場合、コマンドの終了コードが示されます。

IP4212(I) Process terminated by signal %d

説明: ジョブステップコマンドが、指定されたシグナルによって強制的に中止されました。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを参照してください。

IP4213(I) Process stopped by signal %d

説明: ジョブステップコマンドの実行が中断されました。

対処: プロセスを再開するには、「Active Jobs」アイコンをクリックしてジョブを選択し、「Resume Job」ボタンをクリックします。あるいは Sun MBM ユーティリティー rsmjob を使用します。

IP4214(S) Syntax error, execute with parameters not allowed

説明: 整合性検査のエラーです。EXECUTE 文に引数がありません。

対処: EXECUTE 文にパラメータを追加して再実行します。

IP4215(S) No match

説明: 整合性検査のエラーです。start 文で引数が指定されていないと、execute 文にも引数が存在しません。

対処: execute コマンド行または start コマンド行の構文を訂正し、再実行します。

IP4216(S) Syntax error for key %s

説明: EXECUTE コマンド行に引数がありません。

対処: EXECUTE 文にパラメータを追加して再実行します。

IP4217(S) Syntax error, defvar with %s keyword not present

説明: 制御変数の定義エラーです。キーワードが指定されていません。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4218(S) Syntax error, first variable name char must not be a digit

説明: 制御変数を定義する構文のエラーです。

対処: 変数名の最初の文字を訂正して再実行します。

IP4219(S) Syntax error, variable name too long
(MAXCV_NAME = 20)

説明: 制御変数を設定する構文のエラーです。

対処: 変数名を訂正して再実行します。

IP4220(S) Error, defvar with wrong len value (%s)

説明: 制御変数を定義する構文のエラーです。

対処: 変数の長さを訂正して再実行します。

IP4221(S) Syntax error, both char and keywords are absent

説明: 制御変数を定義する構文のエラーです。

対処: 変数を訂正して再実行します。

IP4222(S) Error, wrong defvar redefinition (check for type or len)

説明: 制御変数の定義エラーです。

対処: 変数を訂正して再実行します。

IP4223(S) Error, defvar redefinition with inconsistent type (must be itg)

説明: 制御変数の定義エラーです。

対処: 変数を訂正して再実行します。

IP4224(S) Invalid %s parameter value

説明: 制御変数値チェックの構文エラーです。

対処: 変数を訂正して再実行します。

IP4225(S) Error during control variable access, tp_errno = %d

説明: 共有メモリーの制御変数読み取り時のエラーです。

対処: .btshrc ファイルの内容、とくに EBMHOME 環境変数の値を確認します。
tp_errno メッセージを調査します。

IP4226(S) Invalid msg parameter value

説明: 条件評価のエラーです。" が脱落しています。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4227(S) Error during send mail message, error =%d

説明: ユーザーにメッセージを送信できません。

対処: /bin/mail コマンドの実行権を調査して再試行します。

IP4230(S) Menu not found or empty for the user

説明: ユーザーメニューへのアクセス時のエラーです。

対処: ジョブの EBMHOME 環境変数の値を確認します。 .install ファイルおよび pack ディレクトリのアクセス権を調査します。

IP4231(S) Error during write %s in shared memory,error = %d

説明: 共有メモリーの制御変数書き込み時のエラーです。

対処: .btshrc ファイルの内容、とくに EBMHOME 環境変数の値を確認します。

IP4232(I) The parameters specified in the start statement are ignored.

説明: start 文が無効です。 定位置より前にあるキーワードは無視されます。

対処: start 文のパラメータを訂正して再実行します。

IP4233(S) Only one start statement is allowed in a btsh script

説明: start 文が、 btsh スクリプトで繰り返されています。

対処: start 文が 1 つだけになるように btsh シェルスクリプトを訂正します。

IP4234(D) Internal error

説明: ジョブ開始時のパラメータ数のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4235(S) System error (Exec %s,errno=%d)

説明: execv 関数のエラーです。 errno は、 ENOEXEC、 ENOMEM、 または ENOENT と異なります。

対処: errno 番号を調査します。 また、 パスのアクセス権も調査します。

IP4236(I) Local variables list

説明: btsh コマンドの情報メッセージです。 Sun MBM カタログからローカル変数のリストを取り出しました。

IP4240(S) Command %s permission denied

説明: execv 関数のエラーです。 errno は、 ENOEXEC、 ENOMEM、 または ENOENT と異なります。

対処: パスおよびディレクトリのアクセス権を調査します。 また、 環境変数の数および ARG_MAX の値を超える環境変数の値も調査します。

IP4241(S) Can't << within ()'s

説明: 入力のリダイレクトがあいまいです。

対処: コマンド行の構文を訂正して再実行します。

IP4242(D) Internal error (option k without value)

説明: ジョブ開始時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4300(D) Internal error (option q without value)

説明: ジョブ開始時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4301(D) Internal error (option f without value)

説明: ジョブ開始時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4302(D) Internal error (option i without value)

説明: ジョブ開始時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4303(S) Job %s aborting at %s

説明: btsh コマンドの情報メッセージです。

対処: 強制的に中止されたステップを調査します。

IP4304(I) Job %s terminating at %s

説明: btsh コマンドの情報メッセージです。

IP4305(I) Start of job %s on subsystem %s at %s

説明: メッセージは、ジョブの名前、ジョブが実行されているサブシステム、ジョブが開始された時間を示します。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

IP4306(I) Error during job log creation, error=%d

説明: ジョブログ作成時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4307(I) You have mail

説明: 情報メッセージです。

対処: mail コマンドを実行します。

IP4308(S) Invalid null command

説明: コマンド行が指定されていません。

対処: コマンドを訂正して再実行します。

IP4309(S) Value not allowed for %s keyword

説明: キーワードのパラメータが無効です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

IP4310(W) No termination message present

説明: 共有メモリーに MSGTER 変数が見つかりません。

対処: バッチシェルスクリプトで、\$MSGTER が正しく使用されていることを確認します。

IP4311(I) Activity %s starts with the job %d

説明: アクティビティーがビジーであることを示す情報メッセージです。

対処: アクティビティーを開放するには、ジョブを強制的に中止します。

IP4313(S) Function aborted by operator

説明: 強制的な中止要求が演算子によって送信されました。

対処: ユーザーのアクセス権を調査します。

IP4315(I) UNIX command submitted

説明: 情報メッセージです。

IP4316(I) End of command

説明: 情報メッセージです。

IP4317(S) Error on %s access,errno=%d

説明: stat 関数のエラーです。

対処: パスが存在することを確認します。アクセス権も調査します。

IP4318(S) System error (Exec %s,errno=%d)

説明: システム関数のエラーです。

対処: コマンド名が存在し、実行可能であることを確認します。errno 番号を調査します。

IP4319(I) Waiting for COBOL debugger from terminal

説明: -a オプション付きの unikixjob コマンドでジョブがサブミットされ、デバッグを待機しています。

対処: anmjob コマンドを実行して、デバッグのジョブに接続します。ジョブを実行するアクティビティーが存在することを確認します。

IP4320(S) Error accessing the working directory %s: errno=%d

説明: \$EBMHOME/.install ファイルで指定されている作業用ディレクトリで UNIX stat コマンドを実行しようとして失敗しました。

対処: ディレクトリが存在し、適切なアクセス権があることを確認します。

IP4321(S) Invalid working directory %s

説明: ファイルは存在しますが、ディレクトリではありません。

対処: \$EBMHOME/.install ファイルの作業用ディレクトリの定義を確認します。不正な場合は、修正して再実行します。

IP4322(S) Error accessing the working directory %s: errno=%d

説明: 作業用ディレクトリを指定されたディレクトリに変更しようとして失敗しました。

対処: 指定したディレクトリに適切なアクセス権があることを確認します。

IP4323(S) Error: Batch subsystem %s: invalid setup file name %s

説明: \$EBMHOME/.install ファイルで定義されている、指定されたサブシステムの設定ファイルは、絶対パス名ではありません。

対処: 指定した設定ファイルが存在し、適切なアクセス権があることを確認します。

IP4324(S) Error: Batch subsystem %s: invalid setup file directory name %s

説明: \$EBMHOME/.install ファイルで定義されている Sun MBM システム設定ファイル内の、ディレクトリ名の指定が不正確です。

対処: 指定されているディレクトリが存在し、適切なアクセス権があることを確認します。

IP4325(S) Error: Batch subsystem %s: the stat command failed on the %s setup file

説明: 指定された設定ファイルで UNIX stat コマンドを実行しようとして失敗しました。

対処: 指定した設定ファイルが存在し、適切なアクセス権があることを確認します。

IP4326(S) Error: Batch subsystem %s: invalid entry in the .install file

説明: サブシステム名は \$EBMHOME/.install ファイルで定義されていますが、設定ファイルは指定されていません。

対処: BAM を使用して、サブシステムと関連する設定ファイルを定義します。

IP4327(S) Error: Batch subsystem %s not found in the .install file

説明: 指定されたサブシステムは、\$EBMHOME/.install で定義されていません。

対処: BAM を使用して、サブシステムと関連する設定ファイルを定義します。

IP4328(S) Error: Batch subsystem name is not specified

説明: Sun MBM 内部エラーです。

対処: ノードを終了して再起動し、コマンドを再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

IP4329(S) Error accessing the history directory %s: errno=%d

説明: \$EBMHOME/.install ファイルで指定されている履歴ファイルで stat コマンドを実行しようとして失敗しました。

対処: 指定した履歴ディレクトリが存在し、パスのすべてのディレクトリに対する適切なアクセス権があることを確認します。

IP4330(S) Error: %s is not an history directory

説明: \$EBMHOME/.install ファイルで定義されている、指定の履歴ディレクトリは、ディレクトリではありません。

対処: 指定したディレクトリがディレクトリであり、ファイルでないことを確認します。ディレクトリに適切なアクセス権があることも確認します。

IP4331(S) Error: %s history name not found in the .install file

説明: 指定された履歴ディレクトリ (subjob ...-h) は、\$EBMHOME/.install ファイルで定義されていません。

対処: \$EBMHOME/.install ファイルで適切な履歴ディレクトリを定義し、指定した -h ディレクトリが正しいことを確認します。

IP4332(S) Error: JON-JOBNAME environment variables not found

説明: Sun MBM 内部エラーです。

対処: ノードを再起動し、ジョブを再実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

IP4333(S) Error %d redirecting output to %s history file

説明: 指定された履歴ファイルを開こうとして失敗しました。

対処: アクセス権が有効であることを確認します。詳細は、errno を調査します (/usr/include/errno.h)。

IP4334(I) History filename: %s

説明: 情報メッセージです。ジョブの実行レポートを含むファイルが示されます。

IP4335(S) Error accessing the save history directory: %s errno=%d

説明: 環境変数によって指定される履歴ディレクトリで stat コマンドを -o オプションで実行しようとして失敗しました。

対処: アクセス権が有効であることを確認します。詳細は、errno を調査します。

IP4336(S) Error: %s is not a save history directory

説明: 指定されたパス名は、ディレクトリではありません。

対処: 指定した履歴ディレクトリがディレクトリであり、適切なアクセス権があることを確認します。

IP4337(S) Error: save history environment variable %s is not set

説明: 指定された環境変数は、適切なディレクトリに設定されていません。

対処: BAM を使用して、\$HOME/.btshrc ファイルで環境変数を設定します。

IP4338(I) Job suspended at step %s

説明: 情報メッセージです。subjob または unikixjob コマンドが、-s オプション付きでサブミットされました。

対処: プロセスを再開するには、「Active Jobs」アイコンをクリックしてジョブを選択し、「Resume Job」ボタンをクリックします。あるいは Sun MBM ユーティリティー rsmjob を使用します。

IP4339(S) Error suspending at step %s: putmsg failed

説明: Sun MBM の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

IP4340(S) Error suspending at step %s: getmsg failed

説明: Sun MBM の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

IP4341(I) Job resumed from step %s

説明: 情報メッセージです。ジョブが再開されました。

IP4342(S) Error suspending at step %s: me_open failed

説明: Sun MBM の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

IP4343(S) Error suspending at step %s: JOB environment variable is not set

説明: Sun MBM の内部エラーです。

対処: ノードを停止し、再起動します。問題が解決しない場合は、ご購入先に問い合わせてください。

IP4344(S) RUNBPATh environment variable is read only

説明: RUNBPATh 環境変数の設定は、サブシステム設定ファイルでだけ可能です。設定ファイル以外のファイルで環境変数を設定しようとしました。

対処: BAM を使用して、サブシステムに RUNBPATh 環境変数を設定します。

IP4345(S) ACTIVITY environment variable is read only

説明: ACTIVITY 環境変数を設定しようとしたしました。

対処: ACTIVITY 環境変数は、Sun MBM によって設定されます。ユーザーは、それをリセットできません。

IP4346(S) LOGNAME: environment variable is read only

説明: LOGNAME 環境変数を設定しようとしたしました。

対処: LOGNAME 環境変数は、Sun MBM によって設定されます。ユーザーは、それをリセットできません。

IP4347(W) File_Map at execution is not the same as File_Map at translation:

説明: 変換時に指定された File_Map は、実行時に指定されたものと異なります。

対処: FILEMAP 環境変数が、変換時に定義された File_Map と同じものを含んでいることを確認します。

IP4348(W) File_Map at translation time = %s

説明: 情報メッセージです。変換時に指定された File_Map の名前が表示されま
す。

IP4349(W) File_Map at execution time = %s

説明: 実行時に指定された File_Map の名前。

対処: FILEMAP 環境変数が、変換時に定義された File_Map と同じものを含んでいることを確認します。

IP4350(S) FILEMAP environment variable is read only

説明: FILEMAP 環境変数の設定は、サブシステム設定ファイルでだけ可能です。
設定ファイル以外のファイルで環境変数を設定しようとしたしました。

対処: BAM を使用して、サブシステムに FILEMAP 環境変数を設定します。

IP4351(I) FILEMAP is %s

説明: 情報メッセージです。FILEMAP 環境変数の設定が表示されます。

IP4352(S) KIXSYS: environment variable is read only

説明: ジョブが、サブシステム設定ファイルの外部で KIXSYS 環境変数を設定しよ
うとしたしました。

対処: その文をジョブから削除します。\$KIXSYS 値を変更する必要がある場合
は、BAM を使用して、\$KIXSYS の値を変更します。

IP4353(I) The saved history is %s

説明: 情報メッセージです。履歴ファイルの位置が表示されます。

IP4354(S) RUNBPATH not set

説明: RUNBPATH 環境変数が設定されていません。

対処: BAM を使用して、環境変数 RUNBPATH を設定します。

IP4355(S) RUNBDIR not set

説明: RUNBDIR 環境変数が設定されていません。

対処: BAM を使用して、RUNBDIR 環境変数を設定します。

IP4356(S) RUNBDIR=%s not found in
RUNBPATH=%s

説明: RUNBDIR 環境変数が存在しません。

対処: BAM を使用して、RUNBDIR 環境変数を作成します。

IP4357(I) PGM=%s in the validation mode is not executed:

説明: 情報メッセージです。

IP4358(I) PGM=%s not found

説明: 情報メッセージです。

IP4359(I) PGM=%s not found

説明: 情報メッセージです。

IP4360(I) PGM=%s not found

説明: 情報メッセージです。

IP4361(I) PGM=%s found in %s

説明: 情報メッセージです。

IP4362(I) Searching in %s

説明: 検索された \$COBPATH に関する情報メッセージです。

IP4363(S) The job is waiting for reply

説明: ジョブは、仮想コンソールからの入力を待っています。

対処: Sun MBM の rpljob コマンドを使用して、ジョブに応答します。

IP4368(S) COBPATH not set in batch execution environment

説明: runpgm 組み込みコマンドを実行する前に、COBPATH 環境変数を設定する必要があります。

対処: 指定した環境変数を、COBOL アプリケーションプログラムがあるディレクトリに設定します。

IP4369(S) Job %s cancelled by operator at %s

説明: ジョブは取り消されました。

対処: 必要に応じて特定のステップから、ジョブを再実行します。

IP4400 ~ IP4599

IP4401(S) getcwd: out of memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4402(S) getcwd: cannot stat "."

説明: 現在の作業用ディレクトリにアクセスできません。

対処: 現在の作業用ディレクトリが存在し、ユーザーが適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

IP4403(S) getcwd: cannot open ".."

説明: 現在の作業用ディレクトリの親ディレクトリにアクセスできません。

対処: 親の作業用ディレクトリの適切なアクセス権を調査します。

IP4404(S) getcwd: cannot stat ".."

説明: 現在の作業用ディレクトリの親ディレクトリにアクセスできません。

対処: 親ディレクトリが存在し、ユーザーが適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

IP4405(S) getcwd: read error in ".."

説明: 現在の作業用ディレクトリの親ディレクトリにアクセスできません。

対処: 親ディレクトリが存在し、ユーザーが適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

IP4406(S) getcwd: out of memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4407(S) getcwd: read error in ".."

説明: 現在の作業用ディレクトリの親ディレクトリにアクセスできません。

対処: 親ディレクトリが存在し、ユーザーが適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

IP4408(S) getcwd: path too long

説明: 現在の作業用ディレクトリのパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: 作業用ディレクトリのパス名のサイズを減らします。

IP4409(S) getcwd: path too long

説明: 現在の作業用ディレクトリのパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: 作業用ディレクトリのパス名のサイズを減らします。

IP4410(S) assertion botched: %s

説明: シェル構文エラーです。

対処: シェル文を変更します。

IP4411(I) %d used, %d free, %ld end

説明: 情報メッセージです。割り当てられた領域、開放された領域、および再使用された領域の数を表示します。

IP4412(S) Error EBMSYS and/or JON environment variables not found

説明: バッチシェルスクリプトがコマンド行から実行されました。

対処: バッチシェルはバッチジョブ環境の内部でだけ実行できます。

IP4413(I) BTSH: Macro %s bypassed

説明: 情報メッセージです。ジョブあるいはステップの条件付きコードが原因で、表示されたマクロは実行されません。

IP4414(I) BTSH: %s bypassed

説明: 情報メッセージです。ジョブあるいはステップの条件付きコードが原因で、表示されたコマンドは実行されません。

IP4415(I) BTSH: %s(%s) %s bypassed

説明: 情報メッセージです。 ジョブあるいはステップの条件付きコードが原因で、表示されたコマンドは実行されません。

IP4416(I) BTSH: %s bypassed

説明: 情報メッセージです。 ジョブあるいはステップの条件付きコードが原因で、表示されたコマンドは実行されません。

IP4417(I) BTSH: %s bypassed

説明: 情報メッセージです。 ジョブあるいはステップの条件付きコードが原因で、表示されたコマンドは実行されません。

IP4418(I) %s in validation mode: no parameter specified

説明: 情報メッセージです。 ジョブが検査モードで実行されているために、表示されたプログラムは実行されません。

IP4419(I) %s in validation mode not executed

説明: 情報メッセージです。 ジョブが検査モードで実行されているために、表示されたプログラムは実行されません。

IP4420(S) error on exec %s, errno=%d

説明: 指定されたコマンドの実行時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4421(I) *Starting %s

説明: 指定されたポストプロセスプログラムは実行開始しました。

対処: 情報メッセージです。

IP4422(I) *End of %s status=%d

説明: 指定されたポストプロセスプログラムは実行終了しました。

対処: 情報メッセージです。

IP4423(I) *Starting %s

説明: 指定されたポストプロセスプログラムは実行開始しました。

対処: 情報メッセージです。

IP4424(I) *End of %s status=%d

説明: 指定されたポストプロセスプログラムは実行終了しました。

対処: 情報メッセージです。

IP4427(I) %s allocated to %s

説明: 指定されたファイルは指定された外部ファイル名に割り当てられています。

対処: 情報メッセージです。

IP4428(I) %s allocated to %s

説明: 指定されたファイルは指定された外部ファイル名に割り当てられています。

対処: 情報メッセージです。

IP4429(I) %s allocated to %s

説明: 指定されたファイルは指定された外部ファイル名に割り当てられています。

対処: 情報メッセージです。

IP4430(I) %s allocated to %s

説明: 指定されたファイルは指定された外部ファイル名に割り当てられています。

対処: 情報メッセージです。

IP4431(S) Can't spawn shell command

説明: フォークエラーです。

対処: システムの、ユーザーごとのプロセス数の制限を調査します。

IP4437(I) starting procedure with the following parameters:

説明: 指定されたプロシージャは指定されたパラメータ付きで実行開始しました。

対処: 情報メッセージです。

IP4438(W) %s=%s Warning: key not defined in the procedure

説明: 指定されたパラメータには、起動されたプロシージャのデフォルト値がありません。

対処: 起動されたプロシージャで指定されたパラメータが実際に使用されているか確認します。

IP4445(S) Out of memory

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4446(S) Error: long PATH truncated

説明: 指定されたパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: パス名のサイズを減らします。

IP4447(S) No match

説明: シェル構文エラーです。

対処: シェルスクリプトを変更します。

IP4448(S) Bad : mod in \$

説明: シェル構文エラーです。

対処: シェルスクリプトを変更します。

IP4457(S) Hangup

説明: バッチシェルの子プロセスがハングアップシグナルを受信しました。

IP4458(S) Interrupt

説明: バッチシェルの子プロセスが割り込みシグナルを受信しました。

IP4459(S) Quit

説明: バッチシェルの子プロセスが終了シグナルを受信しました。

IP4460(S) Illegal instruction

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4461(S) Trace/BPT trap

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4462(S) IOT trap

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4463(S) EMT trap

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4464 (S) Abort

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4465 (S) Bounds

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4466 (S) Floating exception

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4467 (S) Killed

説明: バッチシェルの子プロセスが SIGKILL シグナルを受信しました。

IP4468 (S) Bus error

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4469 (S) Segmentation fault

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4470 (S) Bad system call

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4471 (S) Broken pipe

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4472 (S) Alarm clock

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4473 (S) Terminated

説明: バッチシェルの子プロセスが SIGTERM シグナルを受信しました。

IP4474(S) Signal 16

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4475(S) Stopped (signal)

説明: バッチシェルの子プロセスが SIGSTOP シグナルを受信しました。

IP4476(S) Stopped

説明: バッチシェルの子プロセスが SIGSTOP シグナルを受信しました。

IP4477(S) Continued

説明: バッチシェルの子プロセスが SIGCONT シグナルを受信しました。

IP4478(S) Child exited

説明: バッチシェルの子プロセスが SIGCHLD シグナルを受信しました。

IP4479(S) Stopped (tty input)

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4480(S) Stopped (tty output)

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4481(S) Tty input interrupt

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4482(S) Cputime limit exceeded

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4483(S) Filesize limit exceeded

説明: バッチシェルプロセスが空間を割り当てることができません。

対処: システムのユーザーごとの制限を調査します。

IP4484 (S) Signal 26

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4485 (S) Signal 27

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4486 (S) Signal 28

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4487 (S) Signal 29

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4488 (S) Signal 30

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4489 (S) Signal 31

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4490 (S) Signal 32

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4491 (S) Signal 1

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4492 (S) Signal 2

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4493(S) Child exited

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4494(S) Power failure

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4495(S) Urgent condition

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4496(S) Integer overflow

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4497(S) Integer divide by 0

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4498(S) Real overflow

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4499(S) Real underflow

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4500(S) Real divide by 0

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4501(S) Real inexact result

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4502(S) Real invalid operation

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4503(S) Real invalid/unsupported operation

説明: バッチシェルの子プロセスが予期しないシグナルを受信しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4504(S) Usage: umask NNN

説明: umask 文の使用方法が無効です。

対処: umask パラメータを変更します。

IP4505(S) Usage: umask ooo

説明: umask 文の使用方法が無効です。

対処: umask パラメータを変更します。

IP4506(S) Usage: umask ooo

説明: umask 文の使用方法が無効です。

対処: umask パラメータを変更します。

IP4507(S) Usage: umask ooo

説明: umask 文の使用方法が無効です。

対処: umask パラメータを変更します。

IP4508(S) my_sigpau_csh pid=0x%x (mask=0x%x)

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4509(S) sigtramp: (%d) longjmp

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4510(S) sigtramp: deferring signal %18

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4511(S) sigtramp: returning(func=IGN) for sig %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4512(S) Error opening temporary file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4513(S) Error allocating %d bytes, errno=%d. Command Aborted.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4514(I) (search info for level - not found)

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4515(S) Error in %s operation %s errno %d

説明: 指定された組み込みコマンドを正常に実行できません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4516(S) Error opening default job accounting file %s, errno=%d

説明: 指定されたジョブアカウンティングファイルにアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4517(S) Error locking job accounting file %s, errno=%d

説明: 指定されたジョブアカウンティングファイルをロックできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4518(S) Error unlocking job accounting file %s, errno=%d

説明: 指定されたジョブアカウンティングファイルをロック解除できません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4519(S) Error opening job accounting file %s, errno=%d

説明: 指定されたジョブアカウンティングファイルを開けません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4520(S) Error locking job accounting file %s, errno=%d

説明: 指定されたジョブアカウンティングファイルをロックできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4521(S) Error unlocking job accounting file %s, errno=%d

説明: 指定されたジョブアカウンティングファイルをロック解除できません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4522(S) ERROR. JOBDATE=%s: invalid format. Set JOBDATE to MM/DD/YYYY

説明: 無効な JOBDATE 形式です。

対処: JOBDATE 環境変数を、指定の形式で更新します。

IP4523(S) ERROR. JOBDATE=%s: invalid format. Set JOBDATE to MM/DD/YYYY

説明: 無効な JOBDATE 形式です。

対処: JOBDATE 環境変数を、指定の形式で更新します。

IP4524(S) ERROR. JOBDATE=%s: invalid format. Set JOBDATE to MM/DD/YYYY

説明: 無効な JOBDATE 形式です。

対処: JOBDATE 環境変数を、指定の形式で更新します。

IP4525(S) ERROR. JOBDATE=%s: invalid value. Set JOBDATE to MM/DD/YYYY

説明: 無効な JOBDATE 形式です。

対処: JOBDATE 環境変数を、指定の形式で更新します。

IP4526(W) #

Batch Node current date %s

説明: バッチノードに設定された現在の日付を表示します。

IP4527(W) ## Application program date %s

#

説明: アプリケーションプログラムに割り当てられた日付がバッチノードの日付と異なります。

IP4528(S) EBM_RUNB_NT_PATH: no action

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4529(S) Error opening temporary file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4530(S) BTSH(%d): skipping %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4531(S) BTSH(%d): skipping %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4532(S) BTSH(%d): get %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4533(S) BTSH(%d): set %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4534(S) BTSH(%d): double set %s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4551(I) %s in validation mode: no parameter specified

説明: 情報メッセージです。ジョブが検査モードで実行されているために、表示されたプログラムは実行されません。

IP4552(I) %s in validation mode not executed

説明: 情報メッセージです。ジョブが検査モードで実行されているために、表示されたプログラムは実行されません。

IP4553(S) error frm cv read %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4554(W) Warning %d is an unexpected file descriptor number,
max fd=%d

説明: 指定されたファイル記述子は、バッチシェルの内部テーブルサイズを超えています。指定されたファイル記述子で定義されている場合、バッチシェルは複数バイトの文字を処理できない場合があります。

対処: 複数バイトの文字を使用する場合は、ご購入先に連絡してください。

IP4555(W) Warning fdopen(%d) failed, reason %d

説明: 指定されたファイル記述子を開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4556(S) Error on fgetws() errno=%d

説明: バッチジョブスクリプトの読み込み時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4557(S) Unexpected error on fgetws() errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

IP4558(S) Error on wcstombs(), errno=%d

説明: 複数バイトのワイド文字列を変換する際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4559(S) Error on mblen(%s), errno=%d

説明: 次の複数バイト文字のサイズを計算する際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

IP4560(I) core file found and moved to %s

説明: コアファイルは、指定したディレクトリに保存されました。

対処: 情報メッセージです。パス情報を使用してコアファイルの場所を見つけ、必要に応じて、分析用にご購入先まで提供します。

IP4561(E) Error core file name in '%s' would exceed PATH_MAX

説明: フルパスとファイル名がオペレーティングシステムで許可されている制限を越えたため、コアファイルは、指定したディレクトリに移動されませんでした。

対処: パス名が短くなるように、ユーザーの作業ディレクトリを変更します。

IP4562(E) Error '%d' moving core file '%s'

説明: コアファイルは、指定したディレクトリに移動できませんでした。

対処: 指定された UNIX エラー番号を使用して、問題の原因を特定します。指定されたディレクトリへの書き込み権に問題がある場合があります。

IP4563(E) Error '%d' creating directory '%s'

説明: 指定したディレクトリを作成できませんでした。

原因: このエラーは、Sun MBM が corefiles サブディレクトリを作成できない場合に発生します。

対処: 指定された UNIX エラー番号を使用して、問題の原因を特定します。指定されたディレクトリへの書き込み権に問題がある場合があります。

第7章

OW 系メッセージ

この章では、Output Writer プロセスのメッセージについて説明します。

OW0001 ~ OW0099

OW0001(I) `tp_list message`

説明: `tp_list` 関数の情報メッセージです。

OW0002(I) `tp_list message`

説明: `tp_list` 関数の情報メッセージです。

OW0004(W) `Command not allowed`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OW0005(W) `Target does not exist`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OW0006(W) `Empty list`

説明: `tp_list` 関数の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OW0021(S) Command %s aborted: rc = %d
説明: lstutl コマンドのメッセージです。
対処: ご購入先に連絡してください。

OW0022(I) End of %s command
説明: lstutl コマンドの情報メッセージです。

OW0024(I) Command %s executed
説明: lstutl コマンドの情報メッセージです。

OW0025(S) lstutl - tp_getinst error - errno=%d
説明: .install ファイルへのアクセス時のエラーです。
対処: .install ファイルのエントリが有効であることを確認します。

OW0026(S) lstutl - lst_table fopen error - errno=%d
説明: lst_table ファイルへのアクセス時のエラーです。
対処: \$PACK/da/lst_table が存在し、有効であることを確認します。

OW0027(S) lstutl - command not found or entry mistake in lst_table file
説明: lst_table ファイルのコマンドエントリの検索時のエラーです。
対処: \$PACK/da/lst_table が存在し、有効であることを確認します。

OW0036(W) Invalid options
説明: 内部エラーです。
対処: ご購入先に連絡してください。

OW0037(W) Printer not existent or not in accepting status
説明: 指定された出力デバイスが無効または使用不可能です。
対処: プリンタの設定を調査します。

OW0038(W) Only digit field
説明: 入力パラメータのエラーです。
対処: パラメータを訂正して再実行します。

OW0042(S) tp_lstfun: %s output, error %04d

説明: データ収集ルーチンによって呼び出された tp_lstfun 関数が、強制的に中止されました。

対処: _drc コマンドが、シンボリックリンクを介して lstut1 にリンクしていることを確認します。

OW0043(W) Paper type does not exist

説明: rp_open のエラーです。用紙のタイプが無効です。

対処: 用紙タイプを有効な値に変更します。

OW0044(S) tp_lstfun: %x output, error %04d

説明: 内部の関数によって呼び出された tp_lstfun 関数が、強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

OW0050(W) Value not allowed

説明: コピー部数パラメータの処理エラーです。

対処: パラメータを有効な値に訂正して再実行します。

OW0051(W) Formal error in name

説明: レポート名のチェック時のエラーです。

対処: レポート名を訂正して再実行します。

第8章

OS 系メッセージ

OS 系メッセージは、バッチノードのインストール、起動、シャットダウンに関連しています。

OS0100 ~ OS0999

OS0100(S) INSTEBM executable aborted. Owner must be root.

説明: コマンドは、スーパーユーザーによって所有される必要があります。

対処: システム管理者に連絡を取り、実行可能ファイルの所有者をスーパーユーザーに変更してから、コマンドを再実行します。

OS0101(S) INSTEBM executable aborted. Set-owner-id on execution bit is not set.

説明: コマンドの実行ビットセットに、所有者 ID セットが必要です。

対処: システム管理者に連絡を取り、必要な実行可能ファイルのビットを設定してから、コマンドを再実行します。

OS0201(S) Illegal Character

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

OS0202(S) Illegal Subsystem. Use: RDM OR BATCH

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

OS0203(S) Illegal Date and/or time

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

OS0204(S) Illegal Delay Time

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

OS1000 ~ OS1999

OS1000(I) Shutdown Started

説明: 情報メッセージです。

OS1001(I) Shutdown in Progress

説明: 情報メッセージです。

OS1002(I) Shutdown of %s daemon

説明: 情報メッセージです。

OS1003(I) Shutdown Completed

説明: 情報メッセージです。

OS1004(I) Starting Sun MBM Batch Node (Version %s)

説明: 情報メッセージです。

OS1005(I) Startup in Progress

説明: 情報メッセージです。

OS1006(I) Startup of %s daemon executed

説明: 情報メッセージです。

OS1007(I) Startup Completed

説明: 情報メッセージです。

OS1008(W) Error on %s, Killed

説明: 指定されたデーモンは正常に停止できません。強制終了します。

対処: 問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1010 (W) Shutdown Param. Changed

説明: Sun MBM の情報メッセージです。

OS1011 (W) Shutdown Param. NOT Changed

説明: 警告メッセージです。

OS1012 (S) Shutdown ERROR, use -f option to force shutdown

説明: batch_shut コマンドは、ノードを正常に停止できません。

対処: batch_shut -f を実行して、ノードを停止します。異常な停止が続く場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1013 (I) Shutdown Exec shell script

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OS1015 (W) Batch Node isn't active.

説明: ノードが有効ではありません。

対処: ノードを起動します。

OS1016 (S) Error on Activation of %s Subsystem

説明: 指定されたデーモンの起動時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OS1017 (S) Startup not completed

説明: 特定のデーモンの起動時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OS1022 (E) Illegal status of %s

説明: 指定されたデーモンの処理エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OS1023 (I) Batch node startup has already been executed, use -f option to force start

説明: BAM は、最後のシャットダウンが行われなかったか、正常でなかったことを確認しました。

対処: bam_stop を実行して、直前の起動での常駐コンポーネントがすべて削除されていることを確認します。そのあと、batch_start -f オプションを使用して、サブシステムを再起動します。

OS1024(S) Error accessing the local socket address of the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: \$EBMSOCKDIR ディレクトリが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

OS1025(S) Error starting the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンを起動できません。\$EBMSOCKDIR が存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

対処: ebmmd デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1026(S) Error accessing %s, local socket of the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: 指定されたパスが存在するかどうか調査します。

OS1027(S) Error accessing %s, local socket of the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: 指定されたパスが存在するかどうか調査します。

OS1028(S) Error starting the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンを起動できません。

対処: ebmmd デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1029(S) Internal error starting the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンを起動できません。

対処: ebmmd デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1030(S) Error opening connection to the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンにアクセスできません。

対処: ebmmd デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1031(S) Shutdown request is pending, startup aborted

説明: 停止が完了するまで、ノードを再起動できません。

対処: ノードが停止するまで待ち、再起動します。

OS1032(S) Error starting the lgdem daemon

説明: lgdem デーモンを起動できません。

対処: lgdem デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1033(S) Error accessing the vcf daemon

説明: vcf デーモンにアクセスできません。

対処: vcf デーモンにアクセスできない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1034(S) Error starting the vcf daemon

説明: vcf デーモンを起動できません。

対処: vcf デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1035(S) Startup not completed

説明: このノードを起動できません。

対処: ノードを起動できない場合は、停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1036(S) Error starting the psg daemon

説明: psg デーモンを起動できません。

対処: psg デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1037(S) Error starting the bqm daemon

説明: BQM デーモンを起動できません。

対処: バッチキューマネージャー (BQM) デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1038(I) Startup of vcf daemon in progress

説明: 情報メッセージです。

OS1039(S) Error starting the vcf daemon

説明: vcf デーモンを起動できません。

対処: vcf デーモンを起動できない場合は、ノードを停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1040(S) Error closing the connection to the ebmmd daemon

説明: ebmmd デーモンを停止できません。

対処: batch_shut -f コマンドを実行して、デーモンを停止します。これで解決できない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1041(S) Startup of %s failed

説明: ノードを起動できません。

対処: ノードを起動できない場合は、停止します。それでも起動しない場合、batch_shut -f を実行してからノードを再起動します。問題が解消しない場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1042(S) Batch node isn't active

説明: ノードが動作していません。

対処: ノードを起動します。

OS1043(S) Unable to restart batch node

説明: ノードを再起動できません。

対処: ノードが正常に停止しないで、batch_shut でノードが再起動しない場合は、batch_shut -f を実行します。異常な停止が続く場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1044(S) Unable to restart batch node

説明: ノードを再起動できません。

対処: ノードが正常に停止しないで、batch_shut でノードが再起動しない場合は、batch_shut -f を実行します。異常な停止が続く場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1045(S) Shutdown failed, use -f option to force shutdown

説明: batch_shut コマンドは、ノードを正常に停止できません。

対処: ノードが正常に停止しないで、batch_shut で再起動しない場合は、batch_shut -f を実行します。異常な停止が続く場合は、ご購入先に連絡してください。

OS1046(I) Modifying batch node date by: years=%d months=%d days=%d hours=%d minutes=%d

説明: 情報メッセージです。Sun MBM の起動日が、指定された値だけ修正されました。

対処: ebminfo -s を入力して、Sun MBM 起動日が正しく修正されたことを確認します。

OS1047(I) Batch node date has been modified by: years=%d months=%d days=%d hours=%d minutes=%d

説明: 情報メッセージです。Sun MBM の現在の日付が、指定された値だけ修正されました。

OS1054(I) Batch node startup date is %s

説明: 情報メッセージです。Sun MBM の起動日が修正されました。

OS1055(S) Bad Date Conversion. The date in the \$PACK/datefile file is not valid.

Valid formats are MM/DD/YYYY-HH:MM:SS or (+/-)MM/DD/YYYY-HH:MM:SS

説明: \$PACK/datefile ファイルで指定されたエントリが不正です。

対処: kixdate コーティリティーを実行して日付形式を更新し、ノードを再起動します。

OS1056(I) Setting batch node startup date to: %s

説明: 情報メッセージです。Sun MBM の起動日が修正されました。

対処: ebminfo -s を入力して、Sun MBM 起動日が正しく修正されたことを確認します。

OS1057(I) Batch node startup date has been set to: %s

説明: 情報メッセージです。Sun MBM の現在の日付が修正されました。

OS1058(S) Bad Date Conversion. The date in the \$PACK/datefile file is not valid.

Valid formats are MM/DD/YYYY-HH:MM:SS or (+/-)MM/DD/YYYY-HH:MM:SS

説明: \$PACK/datefile ファイルで指定されたエントリが不正です。

対処: kixdate ユーティリティーを実行して日付形式を更新し、ノードを再起動します。

OS1059(I) Batch node starting up at %s

説明: 情報メッセージです。 %s は、Sun MBM の起動日です。

OS1060(I) Batch node starting up with modified date:
%s

説明: 情報メッセージです。Sun MBM の起動日が修正されました。

OS1061(S) Batch node startup aborted. stat() failed accessing %s (errno=d%)

説明: 指定された日付ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

OS1062(S) Batch node startup aborted. File %s (type=%o) must be a regular file.

説明: 日付ファイルタイプが無効です。

対処: 日付ファイルは、BAM の「日付/時刻の変更」機能を使って作成された通常ファイルである必要があります。

OS1063(S) Batch node startup aborted. fopen() failed opening %s (errno=%d)

説明: 指定された日付ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

OS1064(S) Batch node startup aborted. fgets() failed reading %s (errno=%d)

説明: 指定された日付ファイルを読み込む際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

OS1065(I) Unable to perform normal shutdown. Cleaning up...

説明: BAM は、Sun MBM ノードの通常シャットダウンを実行できません。このため、BAM は、すべてのプロセスと関連したリソースのクリーンアップを実行します。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

OS1066(I) Batch node startup has already been executed

説明: このメッセージは、システムのクラッシュが発生したときに Sun MBM ノードが実行されていて、ユーザーがノードを再度起動しようとした場合に表示されます。

対処: このメッセージが表示されたら、ノードを再起動するかどうかを決定する必要があります。

- 問題を診断する場合は、「n」と入力します。このノードは再起動されません。
- Sun MBM を継続する場合は、「y」と入力します。BAM は、すべての残りのプロセスと関連リソースをクリーンアップし、ノードを再起動します。

OS1067(I) Shutdown detected error. Cleaning up...

説明: bam コマンドは、ノードのシャットダウンを実行中に、エラーを検出しました。前のメッセージは、エラーの理由を示します。bam コマンドは、通常のシャットダウンを続行できないため、ノードのプロセスとリソースをクリーンアップします。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

OS1071(S) Process ebmautosub pid %d terminated with exit=%x

説明: バッチの autosub デーモンが不正終了しました。

対処: 詳細は、バッチの autosub ログファイルを調査します。

OS1072(S) Process ppfserv pid %d terminated with exit=%x

説明: PPF デーモンは不正終了しました。

対処: 詳細は、PPF のログファイルを調査します。

OS1073(S) Internal Error: Can not get exit status from process %d, forced to abort status=-2

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

OS1074(I) Startup of ebmautosub daemon executed

説明: 情報メッセージです。

OS1075(I) Shutdown of ebmautosub daemon

説明: 情報メッセージです。

OS1076(I) Startup of PPF daemon executed

説明: 情報メッセージです。

OS1077(I) Shutdown of PPF daemon

説明: 情報メッセージです。

第9章

RTS 系メッセージ

RTS 系のメッセージは、COBOL 実行時システムに関連しています。

RTS0001 ~ RTS0099

RTS0001(W) Warning: (%s) environment variable not set

説明: 指定された変数は、ジョブストリームで割り当てられていない外部ファイル名を参照しています。

対処: ジョブストリームに適切な JCL 文を追加します。

RTS0002(S) Internal error : malloc %d errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0003(S) Internal error : malloc %d errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0004(S) Error : file name %s is too large

説明: ファイルパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: ファイルのサイズを減らします。

RTS0005(S) Internal error : malloc %d errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0006(S) Error : file name %s is too large

説明: ファイルパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: ファイルのサイズを減らします。

RTS0007(W) Warning: GDG occurrence number (-%c%c), file %s not found

説明: 指定した GDG ファイルは、プログラムに割り当てられていますが、存在しません。

対処: GDG ファイルが実際に必要な場合、調査します。

RTS0008(S) %s environment variable not set

説明: 指定された変数は、ジョブストリームで割り当てられていない外部ファイル名を参照しています。

対処: ジョブストリームに適切な JCL 文を追加します。

RTS0009(S) Internal error : malloc %d errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0010(S) Internal error : malloc %d errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0011(S) Error : file name %s is too large

説明: ファイルパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: ファイルのサイズを減らします。

RTS0012(S) Internal error : malloc %d errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0013(S) Error : file name %s is too large

説明: ファイルパス名が、システムの範囲を超えています。

対処: ファイルのサイズを減らします。

RTS0014(S) Internal error memory corrupted

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0015(S) Error: PARM=<%s> is invalid, must be within range of /x00 to /xff

説明: 無効なパラメータがアプリケーションプログラムに渡されました。

対処: 入力パラメータを変更します。

RTS0021(S) rts: error %d on open debugging file %s

説明: デバッグファイルを開くことができません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

RTS0022(S) ERROR. Job must be submitted using the command unikixjob

説明: VSAM サーバーへのアクセスを必要とするアプリケーションプログラムを実行するように、サブシステムが設定されました。

対処: unikixjob コマンドを使用してジョブをサブミットします。

RTS0023(I) Dumping Area=%s, Start-Addr=%p, End-Addr=%p, Size=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0024(S) Error on malloc(%d), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0025(W) Warning: Reply Table %s not found, errno=%d

説明: 指定された Reply Table が存在しません。または、プログラムがアクセスできません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

RTS0026(S) Error on malloc(%d), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0027(I) %s

説明: 情報メッセージです。バッチコンソールからアプリケーションプログラムに応答された情報を表示します。

RTS0028(I) Reply From Table: %s

説明: Reply Table からアプリケーションプログラムに自動で応答された情報を表示します。

対処: 情報メッセージです。

RTS0029(S) Error on malloc(%d), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0030(S) Error on malloc(10), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0031(S) Error on malloc(10), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0032(S) Error on malloc(%d), errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0033(I) Reply From Console: %s

説明: このメッセージは、バッチコンソールからアプリケーションプログラムに送信された情報を表示します。

対処: 情報メッセージです。

RTS0034(S) Error malloc(%d) failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0035(S) Error malloc(%d) failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0036(I) Creating dump file %s

説明: 情報メッセージです。

RTS0037(S) Error opening %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

RTS0038(I) %s Creating dump file for:

説明: 情報メッセージです。

RTS0041(S) rtsvsam_reopena: reopen of %d failed, errno=%d

説明: COBOL デバッガの起動中に、指定された端末にアクセスする際のエラーです。

対処: ジョブをサブミットするユーザーが読み取り/書き込みモードでアクセスできるように、端末は適切なアクセス権を持つ必要があります。

RTS0042(S) rtsvsam_reopena: reopen of %d returned %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0043(S) rtsvsam_reopenm: reopen of %d failed, errno=%d

説明: COBOL デバッガの起動中に、指定された端末にアクセスする際のエラーです。

対処: ジョブをサブミットするユーザーが読み取り/書き込みモードでアクセスできるように、端末は適切なアクセス権を持つ必要があります。

RTS0044(S) rtsvsam_reopenm: reopen of %d returned %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0045(I) rtsvsam batch: user exit allocate function returned code %d

説明: 情報メッセージです。

RTS0046(I) rtsvsam: RETURN-CODE=%d, COND-CODE=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0047(I) rtsvsam: RETURN-CODE=%d, COND-CODE=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0048(S) rtsvsam: VSAM internal error, job cancelled by system

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0049(I) rtsvsam: user exit rollback function executed

説明: 情報メッセージです。

RTS0050(I) rtsvsam: user exit rollback function executed

説明: 情報メッセージです。

RTS0051(I) rtsvsam: RETURN-CODE=%d, COND-CODE=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0052(I) rtsvsam: RETURN-CODE=%d, COND-CODE=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0053(I) rtsvsam: user exit commit function executed

説明: 情報メッセージです。

RTS0054(I) rtsvsam: user exit commit function executed

説明: 情報メッセージです。

RTS0055(I) rtsvsam batch: user exit deallocate function returned code %d

説明: 情報メッセージです。

RTS0056(S) rtsfs: The length of the specified RDBMS_CONNECT=%s application name exceeds %d chars

説明: RDBMS 接続パラメータが、システムの範囲を超えています。

対処: パラメータ値のサイズを減らします。

RTS0057(S) rtsfs: ERROR. The RDBMS_CONNECT environment variable is not set.

説明: RDBMS 接続パラメータが指定されていません。

対処: バッチサブシステムを作成するときは、このパラメータを設定する必要があります。

RTS0058(S) rtsfs: The value of the RDBMS_CONNECT environment variable is used on the SQL "CONNECT" statement to connect the RDBMS.

説明: RDBMS 接続パラメータが指定されていません。

対処: バッチサブシステムを作成するときは、このパラメータを設定する必要があります。

RTS0059(S) rtsfs: The length of the specified RDBMS_SVRNAME=%s application name exceeds %d chars

説明: 指定されたパラメータの値が、システムの範囲を超えています。

対処: パラメータ値のサイズを減らします。

RTS0060(S) rtsfs: The length of the specified RDBMS_DBNAME=%s application name exceeds %d chars

説明: 指定されたパラメータの値が、システムの範囲を超えています。

対処: パラメータ値のサイズを減らします。

RTS0061(S) rtsfs: The length of the specified RDBMS_USRNAME=%s application name exceeds %d chars

説明: 指定されたパラメータの値が、システムの範囲を超えています。

対処: パラメータ値のサイズを減らします。

RTS0062(S) rtsfs: The length of the specified RDBMS_USRPASS=%s application name exceeds %d chars

説明: 指定されたパラメータの値が、システムの範囲を超えています。

対処: パラメータ値のサイズを減らします。

RTS0063(S) rtsfs: invalid call to kxtctinfo()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0064(S) rtsfs: RDBMS error=%d, func=%s, msg=%s

説明: RDBMS エラーです。

対処: 詳細は、RDBMS エラーテーブルを調査します。

RTS0065(S) rtsfs: %s invalid application name

説明: 指定されたアプリケーション名の値が、システムの範囲を超えています。

対処: RTS_RDBMS の値のサイズを減らします。

RTS0066(S) rtsfs_reopena: reopen of %d failed, errno=%d

説明: COBOL デバッガの起動中に、指定された端末にアクセスする際のエラーです。

対処: ジョブをサブミットするユーザーが読み取り/書き込みモードでアクセスできるように、端末は適切なアクセス権を持つ必要があります。

RTS0067(S) rtsfs_reopena: reopen of %d returned %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0068(S) rtsfs_reopenm: reopen of %d failed, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0069(S) rtsfs_reopenm: reopen of %d returned %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0070(S) rtsfs: %s invalid application name

説明: 指定されたアプリケーション名の値が、システムの範囲を超えています。

対処: RTS_RDBMS の値のサイズを減らします。

RTS0071(S) rtsfs: user exit allocate function returned code %d

説明: 情報メッセージです。

RTS0072(I) rtsfs: RETURN-CODE=%d, COND-CODE=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0073(I) rtsfs: user exit rollback function executed

説明: 情報メッセージです。

RTS0074(I) rtsfs: RETURN-CODE=%d, COND-CODE=%d

説明: 情報メッセージです。

RTS0075(I) rtsfs: user exit commit function executed

説明: 情報メッセージです。

RTS0076(I) rtsfs: user exit deallocate function returned code %d

説明: 情報メッセージです。

RTS0077(E) ebmexci: Error incorrect program name length(%d), must be between 1-8.

説明: COBOL プログラムの CALL 構文にあるプログラム名 (TARGET-PROGRAM) が長すぎます。名前は、8 文字の長さで指定できます。

対処: プログラムの名前が有効な長さであることを確認します。また、COBOL プログラムで、プログラム名を正しく入力していることも確認してください。

RTS0078(E) ebmexci: Error null program name

説明: プログラム名は、COBOL プログラムの CALL 構文で必要なフィールドです。Null にしておくことはできません。

対処: COBOL プログラムを編集し、CALL 構文にプログラム名を含めます。

RTS0079(E) ebmexci: Error null return code buffer

説明: リターンコードは、COBOL プログラムの CALL 構文で必要なフィールドです。Null にしておくことはできません。

対処: COBOL プログラムを編集し、CALL 構文にリターンコードを含めます。

RTS0080(E) ebmexci: Error incorrect commarea length(%d), must be greater than 0.

説明: COBOL プログラムの CALL 構文で、COMMAREA 変数の値を指定した場合は、ゼロを超える長さの LINK-COM-LEN 変数を指定する必要があります。

対処: COBOL プログラムを編集し、エラーを修正します。

RTS0081(E) ebmexci: Error null commarea

説明: ゼロを超える LINK-COM-LEN 変数を指定しましたが、COBOL プログラムの CALL 構文で COMMAREA を指定しませんでした。

対処: COBOL プログラムを編集し、エラーを修正します。

RTS0082(E) ebmexci: CICS_ExternalCall() returned %d

RTS0083(E) ebmexci: System: <%-8.8s>

RTS0084(E) ebmexci: Abend Code: <%-4.4s>

説明: 呼び出しが失敗し、%d エラーが返されました。%-8.8s 変数で指定されたシステム名は、呼び出しが実行されたターゲットシステムです (APPLID と同等)。メッセージ RTS0084 は、不正終了コードを返します。

対処: 通常、これらのメッセージは、別のエラーメッセージとともに表示され、追加デバッグ情報を提供します。

RTS0085(E) ebmexci: The eci_commarea length is invalid.

説明: commarea の長さが無効な値です。

対処: commarea の長さは、0~32,763 バイトで指定してください。

RTS0086(E) ebmexci: The eci_luw_token field contains an invalid value.

説明: LUW トークンが無効です。このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0087(E) ebmexci: An internal error has occurred.

説明: 不明な内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0088(E) ebmexci: The eci_call_type field contains an invalid value.

説明: 呼び出しに無効なフィールド値があります。このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0089(E) ebmexci: An attempt was made to continue a unit-of-work while an existing request for that unit-of-work was active.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0090(E) ebmexci: There were insufficient system resources to satisfy the request.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0091(E) ebmexci: The application attempted to create a new unit-of-work when the ECI Client had reached its maximum allowed number of concurrent units-of-work.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0092(E) ebmexci: The eci_sem_handle field specified is NULL.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0093(E) ebmexci: Either the pointer to the ECI_PARMS structure is NULL, or the eci_commarea pointer is NULL when it is not expected to be NULL.

説明: commarea は、この呼び出しで Null 以外の値を設定する必要があります。

対処: COBOL プログラムをチェックし、LINK-COM-LEN 変数で指定されている値があることを確認してください。

RTS0094(E) ebmexci: The eci_version field is not one of ECI_UNIKIX_VERSION_1, ECI_UNIKIX_VERSION_1A, ECI_VERSION_1 or ECI_VERSION_1A

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0095(E) ebmexci: The eci_system_name field contains an unknown system.

説明: このメッセージは、ターゲットシステムが、Sun MTP クライアントの KIXCLI.INI ファイルで設定されていない場合に表示されます。

対処: KIXCLI.INI ファイルを編集し、ターゲットシステムが正しく設定されていることを確認してください。外部 CICS インタフェース (EXCI) を使用するために Sun MBM を設定する情報については『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

RTS0096(E) ebmexci: A call to CICS_ExternalCall() was made from inside a callback routine. This is not allowed.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0097(E) ebmexci: The value in eci_transid is different from the one specified in previous calls in the same unit-of-work.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0098(E) ebmexci: The number of systems in the KIXCLI.INI file is greater than the number requested in the List parameter. In this case, the value in the List parameter is the number of systems that exist.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0099(E) ebmexci: The number of systems defined in the KIXCLI.INI file is 0.

説明: Sun MTP クライアントの KIXCLI.INI ファイルに、システムが含まれていません。

対処: KIXCLI.INI ファイルを編集し、ターゲットシステムが正しく設定されていることを確認してください。外部 CICS インタフェース (EXCI) を使用するために Sun MBM を設定する情報については『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

RTS0100(E) ebmexci: The eci_userid/eci_password pair that was supplied were invalid.

説明: このメッセージは、ユーザー名、パスワードまたはその両方が無効であるため、ジョブがプログラムを実行できない場合に、ジョブによって表示されます。

対処: マクロジョブスクリプトまたは JCL を調査して、正しいユーザー ID またはパスワードが含まれていることを確認します。外部 CICS インタフェース (EXCI) を使用するために Sun MBM を設定する情報については『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

RTS0101(E) ebmexci: The number of systems that the ECI Client can talk to concurrently is reached.

説明: このメッセージは、最大の同時システム接続に達した場合に、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: KIXCLI.INI ファイルを調査して、フィールドの値を確認してください。低すぎる場合は、値を増やし、ジョブを再実行してください。外部 CICS インタフェース (EXCI) を使用するために Sun MBM を設定する情報については『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

RTS0102(E) ebmexci: When attempting to commit a unit-of-work, the Sun MTP region was unable to do so, and rolled the changes back.

説明: このメッセージは、Sun MTP クライアントによって表示されます。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0103(E) ebmexci: Unknown ECI error.

説明: 不明な ECI エラーが発生しました。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

RTS0104(E) ebmexci: Either the ECI Client is unavailable, or the server is not available.

説明: Sun MTP クライアントまたは Sun MTP TCP/IP サーバプロセス (unikixtcp) が、リクエスト時に実行されていません。

対処: 領域と unikixtcp サーバおよびその Sun MTP クライアントが実行されていることを確認し、ジョブを再実行してください。

RTS0105(E) ebmexci: The request to which this call refers has caused the Sun MTP transaction to abend.

説明: 遠隔 COBOL プログラムが不正終了しました。

対処: 可能性のある原因を調査します。

RTS0106(S) Either the %s or JOB_OUTPUT_FILE environment variable must be set.

説明: 生成された出力を収集するファイル (%s)、およびジョブの履歴ログ ファイル (JOB_OUTPUT_FILE) が定義されていません。ジョブは実行を継続できません。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

第10章

TP 系メッセージ

TP 系メッセージは、Sun MBM の内部プロセスに関連しています。

TP0001 ~ TP0100

TP0001(S) hlocal_chnl[%d] is out the imposed limit

説明: 追加の接続を開くことができません。有効な接続の数が、システムの制限を超えています。

対処: システム管理者に連絡してください。

TP0002(I) hlocal_chnl(%d) for pid=%d fd=%d

説明: 情報メッセージです。指定されたポートは、指定されたプロセスに割り当てられています。

TP0003(S) hlocal_chnl[%d] is already in use

説明: 内部エラーです。指定されたポートの接続が受け付けられません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0004(S) error opening the mail-box errno=%d

説明: lgdem デーモンは、ebmmd デーモンに接続されません。

対処: ebmmd デーモンが起動し動作していることを確認します。動作していない場合は、バッチノードを再起動します。

TP0005(S) error on add_local_chnl

説明: 内部エラーです。新規の接続が受け付けられません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0006(S) error on el_getmsg errno=%d el_errno=%d lread_fds=%d
pid=%d

説明: 予想外のメッセージサイズです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0007(S) Not enough space for message buffer errno=%d

説明: 内部エラーです。メッセージが受け付けられません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0008(S) lgdem: exiting at line %d hinmainloop=%d

説明: lgdem デーモン、エラーのため終了します。

対処: 前のメッセージに、障害の原因が示されます。

TP0009(I) received signal=%d

説明: lgdem デーモンは、指定されたシグナルを受信し、終了します。

対処: 詳細は、シグナルテーブルを調査します。

TP0011(S) Lgdem stream open error er %d eler %d

説明: lgdem デーモン、サーバーポートを開くことができません。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0012(S) Log file open error er %d

説明: ログファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0013(S) Lgdem get error er %d eler %d

説明: 接続を受け付ける際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0014(S) Lgdem write break error er %d on log file

説明: メッセージバッファの領域が不足しています。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0015(S) Lgdem write error %d on log file

説明: メッセージバッファの領域が不足しています。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0016(S) Lgdem write header error er %d on log file

説明: メッセージバッファの領域が不足しています。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0017(S) Lgdem reply msg er %d eler %d

説明: admlog プロセスに応答メッセージを送信する際のエラーです。

対処: lgdem に接続している admlog プロセスが動作していることを確認します。

TP0018(S) Lgdem info msg er %d eler %d

説明: admlog プロセスに情報メッセージを送信する際のエラーです。

対処: lgdem に接続している admlog プロセスが動作していることを確認します。

TP0019(S) Lgdem put msg wrong msg type %d

説明: admlog プロセスと通信する際のエラーです。

対処: lgdem に接続している admlog プロセスが動作していることを確認します。

TP0020(S) Cannot create %s log file

説明: 指定されたログファイルを作成できません。

対処: 指定したログファイルが常駐するディレクトリのアクセス権と存在を確認します。

TP0021(S) Cannot open %s log file

説明: 指定されたログファイルを開くことができません。

対処: 指定したログファイルのアクセス権と存在を確認します。

TP0022(S) Cannot initialize %s log file

説明: 指定されたログファイルを更新できません。

対処: 指定したログファイルのアクセス権と存在を確認します。

TP0023(S) Log file %s open error er %d

説明: 指定されたログファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0024(S) Range endpoint too large.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0025(S) Memory full.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0026(S) '\\\digit' out of range.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0027(S) Illegal or missing delimiter.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0028(S) No find search string.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0029(S) \\(\\) imbalance.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0030(S) Too many \\(.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0031(S) More than 2 numbers given in \\{ \\}.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0032(S) } expected after \\.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0033(S) First number exceeds second in \\{ \\}.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0034(S) [] imbalance.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0035(S) Regular expression overflow.

説明: オプションが無効です。

対処: 詳細は、setij の使用法を調査します。

TP0036(S) Unknown regex error code !!

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0037(S) tp_mulname: RE error %d:

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

TP0038(I) Usage: setij

[debug=] [sw8=] [logval=] [loglis=] [outdev=]
[repg=] [disp=] [pri=] [banner=]

説明: 情報メッセージです。

TP0600 ~ TP0699

TP0601(S) # of mail boxes greater than # configured: "nmb" or 1024

説明: システム内で開かれているメールボックス数が、システムの許容最大数 1024 またはシステム設定の制限を超えています。

対処: 各プロセスで開けるメールボックスは 1 つだけです。システム管理者に連絡してください。

TP0602(S) Unable to allocate a stream

説明: バッファーストリーム数が許容最大数 1024 を超えています。

対処: 各プロセスで開けるメールボックスは 1 つだけです。システム管理者に連絡してください。

TP0603(S) Bad file descriptor number

説明: 無効なファイル記述子に対するストリームヘッドのエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0604(S) Partner mail box not identified

説明: ライブラリ関数のエラーです。メッセージ交換機能関数に対して、PID またはメールボックス名が無効です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0605(S) Mail-box name invalid

説明: 指定された PID またはメールボックス名は、システムに存在しません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0606(S) No server process

説明: ライブラリ関数のエラーです。通信リンクの一方のパートナーが、サーバーである必要があります。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0607(S) Receiver not compiled

説明: ライブラリ関数のエラーです。受信フィールドが不正です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0608(S) Receiver mail box disabled

説明: 受信側は、メッセージの受信が可能になっていません。

対処: しばらくしてもこの状態が続く場合は、ノードを停止してから再起動します。

TP0609(S) Invalid message length

説明: ライブラリ関数のエラーです。サイズフィールドが不正です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0610(S) Message too long

説明: ストリームヘッドのエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0611(S) Message pool overflow

説明: 優先順位中位のメッセージブロックが要求されたときに、alloc 関数にエラーが発生しました。プールは 90% に達しています。

対処: システムで割り当てられているバッファーストリーム数を更新します。netstat コマンドを使用して、変更する必要があるバッファーストリームのタイプを確認します。

TP0612(S) Logical transactions open overflow

説明: すでに開かれているトランザクション数が、許容最大数を超過しています。

対処: このパラメータは設定できません。ご購入先に問い合わせてください。

TP0613(S) Signal caught during system call

説明: getmsg システムコール中に、シグナルがキャッチされました。

対処: コマンドを再実行します。

TP0614(S) Mail box already open

説明: メールボックス名は、システム内で一意である必要があります。

対処: プロセスが現在実行中かを確認します。プロセスが実行中であれば、終了します。

TP0615(S) Receiver not present

説明: 指定された PID またはメールボックス名は、システムに存在しません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0616(S) Invalid message type

説明: ライブラリ関数のエラーです。メッセージタイプフィールドが不正です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0617(S) Mail box name too long

説明: メールボックス名が、許容最大長を超過しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0618(S) Symbolic name already present

説明: メールボックスの記号名は、すでにシステムに存在します。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0619(S) Partner not admitted

説明: ライブラリ関数のエラーです。指定されたパートナーは、メールボックス名と一致しません。通常、通信リンクの両端には同じ名前のメールボックスがあります。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP0620(S) Buffer out of user space

説明: バッファーに無効なアドレスが指定されています。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1000 ~ TP1399

TP1001(S) Error on shmget system call

説明: shmget 関数のエラーです。

対処: ipcs -m の結果、.install ファイルの max_num_acts のエントリおよびシステムの共有メモリーの許容最大量を調査します。

TP1002(S) Error on shmat system call

説明: shmat 関数のエラーです。

対処: EBMHOME 環境変数の値を調査します。

TP1003(S) Error on shmdt system call

説明: shmdt 関数のエラーです。

対処: ipcs -m の結果を調査します。

TP1004(S) Error on shmctl system call

説明: IPC_RMID オプション付きの shmctl 関数のエラーです。

対処: shmdump コマンドが動作することを確認し、コマンドの実行権を調査します。

TP1005(S) Error on semget system call

説明: ノード作成時の semget 関数のエラーです。

対処: ipcs -s コマンドの結果を調査します。セマフォに関するシステムの許容最大数を再構成します。

TP1006(S) Error on semctl system call

説明: ノード作成時のオプション IPC_RMID 付きの semctl 関数のエラーです。

対処: shmdump コマンドが動作すること、ipcs -s の結果、およびセマフォのアクセス権を確認します。

TP1007(S) Error on semop system call

説明: セマフォのロック/ロック解除のエラーです。

対処: コマンドの実行権および ipcs -s の結果を調査します。

TP1010(S) bpool operation request for size 0

説明: ライブラリ関数 shmfree のエラーです。フィールドサイズが 0 または 0 以下です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1011(S) Size/displacement inconsistent

説明: 割り当てられたスペースを解放する際のエラーです。

対処: アクティビティの最大数 max_num_acts を .install ファイルでアップグレードします。

TP1012(S) Size/displacement inconsistent

説明: 使用可能なリソースに対するソート処理のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1013(S) No space in buffer pool map

説明: マップ内に割り当て可能なスペースがありません。

対処: このプロセスは、再試行するかリソースを減らすかを選択できます。プロセスは、スペースを待機していると、開始しないことがあります。プロセスを終了し、アクティビティの最大数を更新します。

TP1014(S) A semaphore operation request exceeds the system limit

説明: SEM_UNDO 要求が制限を超えています。

対処: SEM_UNDO を要求する個々のプロセス数に対する制限を変更します。システム管理者に連絡してください。

TP1021(S) Interface error

説明: 共有メモリーへのアクセス時のエラーです。

対処: shmdump コマンドが動作することを確認します。共有メモリーのアクセス権は、他のグループに対して読み取り/書き込み権がある必要があります。

TP1022(S) 'ftok' failed

説明: キーを構成するコマンドのエラーです。

対処: \$EBMHOME が正しいディレクトリに設定されていることを確認します。shmdump コマンドが動作することを確認します。

TP1023(S) 'shmget' failed

説明: shmget 関数のエラーです。

対処: ipcs -m の結果、.install ファイルの max_num_acts のエントリおよびシステムの共有メモリーの許容最大量を調査します。

TP1024(S) 'shmat' failed

説明: shmat 関数のエラーです。

対処: EBMHOME 環境変数の値を調査します。

TP1025(S) Element already present

説明: 共有線形リストに対する追加操作のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1026(S) Element not found

説明: 共有線形リストに対する検索操作のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1027(S) Empty list

説明: 共有線形リストが空です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1028(S) List handling failed

説明: 共有線形リスト内の要素に対する検索操作のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1029(S) 'semget' failed

説明: ノードの削除時の semget 関数のエラーです。

対処: ipcs -m の結果、.install ファイルの max_num_acts のエントリおよびシステムの共有メモリーの許容最大量を調査します。

TP1030(S) 'semctl' failed

説明: ノードの削除時のオプション IPC_RMID 付き semctl 関数のエラーです。

対処: shmdump コマンドが動作することを確認します。ipcs -s の結果を調査します。また、しばらくしてからセマフォのアクセス権を調査します。

TP1031(S) No space in buffer pool

説明: ライブラリ関数 shmalloc のエラーです。

対処: install ファイルのアクティビティの最大数 max_num_acts を更新し、再試行します。

TP1032(S) A semaphore identifier exceeds the system imposed limit

説明: SEM_UNDO 要求が制限を超えています。

対処: SEM_UNDO を要求する個々のプロセス数に対する制限を変更します。システム管理者に連絡してください。

TP1053 through TP1171

説明: メッセージ TP1053 ~ TP1171 は、内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1351(S) Invalid date format specification

説明: TPDATE 環境変数の形式が正確に設定されていません。

対処: 年、月、または日が範囲外であるかどうかを調査します。値を修正してノードを再起動します。

TP1352(S) Invalid date format

説明: TPDATE 環境変数の形式が正確に設定されていません。

対処: \$TPDATE を訂正してノードを再起動します。

TP1353(S) Date is out of range

説明: TPDATE 環境変数の値が正確に設定されていません。

対処: \$TPDATE を訂正してノードを再起動します。

TP1354(S) Year is out of range

説明: TPDATE 環境変数の値が正確に設定されていません。

対処: \$TPDATE を訂正してノードを再起動します。

TP1355(S) Month is out of range

説明: TPDATE 環境変数の値が正確に設定されていません。

対処: \$TPDATE を訂正してノードを再起動します。

TP1356(S) Day is out of range

説明: TPDATE 環境変数の値が正確に設定されていません。

対処: \$TPDATE を訂正してノードを再起動します。

TP1359(S) System error

説明: 共有メモリーへのアクセスのエラーです。

対処: ipcs -m の結果、.install ファイル内の max_num_acts のエントリおよび共有メモリーに対するアクセス権を調査します。

TP1360(S) PSG subsystem not available

説明: Sun MBM デーモンは有効ですが、要求を受け付けられません。

対処: この状態が続く場合は、ノードを停止してから再起動します。

TP1361(S) Internal error

説明: アクティビティー名が不正です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1362(S) System error

説明: Sun MBM カタログへのアクセスのエラーです。

対処: EBMHOME 環境の値および .install ファイルの pack のエントリを調査します。

TP1363(S) Internal error

説明: インタフェースのデータが不正です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1380(W) User name not defined

説明: パスワードファイルのユーザーエントリのエラーです。

対処: パスワードファイルのユーザーエントリが正確かどうかを調査します。

TP1381 (W) User not found in catalog

説明: パスワードファイルにユーザーエントリが見つかりません。

対処: パスワードファイルのユーザーエントリを確認します。

TP1384 (W) Job not running in the specified activity

説明: ジョブ番号は、指定されたアクティビティーに対して無効です。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1800 ~ TP1899

TP1802 (S) No input string - str1 is NULL

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1803 (S) Malloc failed

説明: malloc 関数のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1804 (S) Error in str1 string - no * present

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1805 (S) Invalid input string - reserved word

説明: *all、*sys、*list、*in、および*sp は予約語です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP1806 (S) Beginning of name not allowed

説明: 入力パラメータが無効です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP1807 (S) Name not allowed

説明: 入力パラメータが無効です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP1808(S) Beginning or length of name not allowed

説明: 入力パラメータが無効です。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP1809(S) Case not provided

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1810(S) Write failed on the open file

説明: 一時ファイルへの書き込み時のエラーです。

対処: /tmp ディレクトリ下のアクセス権を調査します。

TP1811(S) Opening file failed

説明: 一時ファイルを開く際のエラーです。

対処: /tmp ディレクトリ下のアクセス権を調査します。

TP1813(S) Message catalog not open

説明: Sun MBM カタログのエラーです。

対処: \$PACK/nlsmsg ファイルへのアクセス権を調査します。

TP1814(S) Wrong name for the message catalog

説明: Sun MBM カタログへのアクセス時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1815(S) Internal errors

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1816(S) Shmemory not present

説明: shmat 関数のエラーです。

対処: EBMHOME 環境変数の値を調査します。

TP1818(S) User not present in catalog

説明: ユーザーエントリが見つかりません。

対処: パスワードファイルのユーザーエントリを調査します。

TP1820(S) Error writing to console

説明: 仮想コンソールへの書き込み時のエラーです。

対処: vcf デーモンが動作していることを確認します。

TP1821(S) PACK string not found

説明: \$EBMHOME/.install ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: pack エントリが .install ファイルで指定されていることを確認します。

TP1825(S) A text was not specified

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1826(S) Parameter "level" is out of range

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP1827(S) Invalid file specification

説明: 仮想コンソールへの書き込み時のエラーです。

対処: vcf デーモンが動作していることを確認します。

TP1828(S) The job log file wasn't opened

説明: ジョブのログファイルを開く際のエラーです。

対処: /tmp ファイルに対するアクセス権を調査します。

TP2000 ~ TP2099

TP2001(W) System default destination does not exist

説明: デフォルトのプリンタが見つかりませんでした。

対処: 詳細は、プリンタの状態を調査します。

TP2002(W) Formal error in name

説明: レポート名のエラーです。英数字名ではありません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2003 (W) Invalid report copy number

説明: 入力パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP2004 (W) Invalid report disposition

説明: 入力パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP2005 (W) Invalid report priority

説明: 入力パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP2006 (W) Invalid report option

説明: 入力パラメータのエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP2007 (W) Invalid destination name (printer or class)

説明: 指定されたプリンタが見つかりませんでした。

対処: 詳細は、プリンタの状態を調査します。

TP2008 (W) Destination not accepting report

説明: 指定されたプリンタは要求を受け付けません。

対処: 詳細は、プリンタの状態を調査します。

TP2009 (W) Paper type does not exist

説明: 指定された用紙タイプのエラーです。

対処: 用紙タイプを有効な値に変更して再実行します。

TP2013 (W) Parameters inconsistent

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2015 (I) Missing or invalid report file name

説明: レポート名のエラーです。英数字名ではありません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2016(S) I/O error at open time

説明: mef open のエラーです。

対処: ノードが正しくインストールされていることを確認します。

TP2018(S) Report not opened or already closed

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、ログファイルを参照してください。

TP2019(S) Invalid length for report write

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2020(S) Invalid buffer address for report write

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2021(S) I/O error at write time

説明: write() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2022(S) Error in link or unlink operation: command interrupted

説明: link() または unlink() 呼び出しのエラーです。

対処: ログファイルで指定されているパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

TP2023(S) I/O error at close time

説明: mef close または end トランザクションのエラーです。

対処: ノードが動作していることを確認します。

TP2026(I) User without authority for the current command

説明: 指定したコマンドは、Sun MBM 管理者が実行する必要があります。

対処: Sun MBM 管理者としてログインし、コマンドを実行します。

TP2027(I) Requested objects not found

説明: レポートが見つかりません。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2053(S) Cannot lock report or paper directories

説明: semget 呼び出しのエラーです。

対処: セマフォに関するシステム許容最大数についてすでに設定されているかどうかおよびそれに対する操作のアクセス権があるかどうかを調査します。システム管理者に連絡してください。

TP2054(S) "lp" user not present in the system

説明: パスワードファイルに lp ユーザーが見つかりません。

対処: パスワードファイルに lp エントリがあることを確認します。

TP2060(S) Error during access to "seqno" file

説明: シーケンシャル番号の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2062(S) Error during memory allocation

説明: shmat 関数のエラーです。

対処: EBMHOME 環境変数の値を調査します。

TP2063(S) I/O error at read

説明: read() 呼び出しのエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2064(S) Internal error

説明: mef open のエラーです。

対処: ノードが正しくインストールされていることを確認します。

TP2080(S) Error at "chown"/"chgrp" of report files

説明: mef インタフェース時の内部エラーです。

対処: ノードが正しくインストールされていることを確認します。

TP2082(W) Invalid report group name

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

TP2085(W) Invalid character set identifier

説明: 出力生成用のパラメータ処理時のエラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

TP2086(S) ERROR: function setuid() failed, errno=%d

説明: デバッグモードで実行されている COBOL プログラムは、PMF モニターを中断するのに必要なユーザー ID を変更できません。

原因: このエラーは、Sun MBM ノードが正しくインストールされていない場合に発生します。たとえば、INSTEEM ユーティリティの代わりに、tar コマンドが使用された場合などです。

対処: Sun MBM ノードをインストールするために INSTEEM ユーティリティではなく tar コマンドを使用した場合は、INSTEEM を使ってノードを再インストールします。ノードが正しくインストールされている場合は、実行時に \$EBMHOME/pack/ssbin/mbmchg_dbg ファイルが setuid を持っていて、ルートで所有されていることを確認します。

TP2087(S) ERROR: Unable to suspend PMF monitoring for process %d, status=%d, errno=%d

説明: デバッグモードで実行されている COBOL プログラムは、PMF モニターを中断できません。このため、COBOL のデバッグファイルを実行しているプロセスに添付できません。

対処: UNIX エラー番号 (errno) を使用して、発生したエラーのタイプを確認し、適切な修正を行います。修正を実行したあとで、プログラムを再度デバッグしてみます。

TP2088(S) ERROR: Unable to suspend PMF monitoring for process %d, exited with status=%d

説明: PMF モニターを中断するために実行されたユーティリティが、報告される修正状態で失敗しました。このため、COBOL のデバッグファイルを実行しているプロセスに添付できません。

対処: 追加のメッセージが表示され、失敗の原因が特定されます。

TP2089(S) ERROR: Unable to suspend PMF monitoring for process %d, exited with signal %d

説明: PMF モニターを中断するために実行されたユーティリティが、報告される信号で失敗しました。このため、COBOL のデバッグファイルを実行しているプロセスに添付できません。

対処: ご購入先に連絡してください。

第11章

UT系メッセージ

UT 系のメッセージは、sortx などのユーティリティーに関連しています。

UT0200 ~ UT0299

UT0201(I) Records read %d excluded %d written %d summed %d RAM used %d KB, max allowed %d MB

説明: RAM used は、レコードをソートするために使用されるメモリーの量です。max allowed は、sortx がレコードをソートするために必要に応じて割り当てるメモリーの最大量です。

対処: RAM used が許容最大量に等しい場合、サブシステム設定ファイルの SORT WK 環境変数を設定することによって、割り当てられる必要なメモリーを増加できます。詳細については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照

UT0202(S) sortx: error accessing VSAM datasets.
You need to use the \$UNIKIX/bin/sortx executable to access VSAM datasets

説明: バッチノードで提供された sortx 実行可能ファイルを、VSAM ファイルのアクセスに使用できません。

対処: \$UNIKIX/bin/sortx 実行可能ファイルを使用する必要があります。

UT0203(S) Invalid infile parameter

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0205(S) Error in memory space request

説明: malloc() 呼び出しが原因のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0206(S) Invalid outfile parameter

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0207(S) Invalid excfile parameter

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0208(S) Missing or invalid sum element

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0211(S) Infile and excfile may not be the same

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0212(S) Outfile and excfile may not be the same

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0213(S) Infile and outfile may not be the same

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0215(S) Inrsz parameter must be specified for file system
input

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0218(S) Invalid erropt parameter

説明: 無効なパラメータがエラーオプションに指定されました。

対処: 使用できるエラーオプションは、abt あるいは ig です。

UT0219(S) Invalid wkdir parameter

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0220(S) Invalid source parameter

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0222(S) Infile and source may not be the same

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0223(S) Invalid altseq at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0224(S) Found illegal item '%-10.10s' at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0225(S) Found unexpected keyword '%s' at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0226(S) Found unexpected hexadecimal string at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0227(S) Found unexpected literal at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0228(S) Found unexpected number at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0229(S) Found illegal item '%s' at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0230(S) Read error on infile: errno = %d

説明: 入力ファイルの読み込みエラーです。

対処: 入力ファイルの読み取り権を確認します。必要であれば、ソートパラメータも調査します。

UT0231(S) Report already set at line %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に問い合わせてください。

UT0232(S) Collate already set at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを適切に変更します。

UT0233(S) Altseq already set at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを適切に変更します。

UT0234(S) Output already set at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを適切に変更します。

UT0235(S) Input file not found

説明: 入力ファイルを開く際のエラーです。

対処: アクセス権を調査します。

UT0236(S) Open wrong exception file: errno = %d

説明: creat() 呼び出しのエラーです。

対処: アクセス権を調査します。

UT0237(S) Open wrong output file: errno = %d

説明: creat() 呼び出しのエラーです。

対処: アクセス権を調査します。

UT0238(S) Write error on outfile: errno = %d

説明: write() 呼び出しのエラーです。

対処: アクセス権を調査します。

UT0239(S) Force field length > 1 at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0240(S) Invalid mem parameter

説明: 無効なパラメータが -m オプションに指定されています。

対処: -m オプションの値を変更して、もう一度コマンドを実行します。

UT0241(S) Source file not found

説明: open() 呼び出しのエラーです。

対処: アクセス権を調査します。

UT0242(S) Include: invalid length at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0243(S) Key: invalid length at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0244(S) Sum: invalid length at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0245(S) Arrange: invalid length at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0246(S) Found unexpected ENDSORT at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0247(S) Found unexpected ENDMERGE at line %d

説明: MERGE 文の使用法が無効です。

対処: MERGE 文を変更して、もう一度コマンドを実行します。

UT0248(S) Last record cannot be OMIT

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0249(S) Output record length not = output rsz data base file

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0262(S) Function interrupted by operator

説明: シグナル SIGINT は、コマンドに受信されました。

対処: 再実行します。

UT0272(D) Program error

説明: sortx コマンドは、SIGSEGV によって強制的に中止されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0280(S) Output record size differ between record types

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0281(S) Arrange field not within input record

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0282(S) Arrange invalid if output = addrout/keyaddr

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0283(S) Key lengths differ between record types

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0284(S) Key field not within input record

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0286(S) Sum field not within input record

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0287(S) Sum invalid if output = adddata/addrout/keyaddr

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0289(S) Zero length literal at line %d

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0290(S) Include/omit field not within input record

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0299(S) Key invalid

説明: 入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0800 ~ UT0999

UT0801(S) IEBUPDTE: Error(S) getenv(%s) failed.

説明: 指定された ddname は、ステップに割り当てられていません。

対処: ステップに適切なデータセット文を追加します。

UT0802(S) IEBUPDTE: Error(S) opening %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの読み取り/書き込み権を調査します。

UT0803(S) IEBUPDTE: Error(S) getenv(%s) failed.

説明: 指定された ddname は、ステップに割り当てられていません。

対処: ステップに適切なデータセット文を追加します。

UT0804(S) IEBUPDTE: Error(S) opening %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルの読み取り/書き込み権を調査します。

UT0805(I) ADDED file %s

説明: 情報メッセージです。

UT0806(W) WARNING: %s - not supported, statement ignored.

説明: 表示されたパラメータはサポートされていません。

UT0808(S) Invalid data in sum field at output record %d

説明: オーバーフローまたは無効なデータです。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0809(S) Invalid data in key field at input record %d

説明: レコード出力の作成時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0810(S) Invalid data in include/omit field at input record %d

説明: レコード出力の作成時のエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0819(S) Invalid wkdir parameter

説明: 作業ディレクトリへのアクセスまたは書き込み時のエラーです。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

UT0823(S) Outfile and source may not be the same

説明: 入力パラメータ処理エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0824(S) Excf file and source may not be the same

説明: 入力パラメータ処理エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0838(S) Write error on excfile: errno = %d

説明: write() 呼び出し処理エラーです。

対処: 詳細は、errno 番号を調査します。

UT0842(S) Include: invalid position at line %d

説明: 入力パラメータ処理エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0843(S) Key: invalid position at line %d

説明: 入力パラメータ処理エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0844(S) Sum: invalid position at line %d

説明: 入力パラメータ処理エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0845(S) Arrange: invalid position at line %d

説明: 入力パラメータ処理エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0861(D) Memory allocation error: errno = %d

説明: malloc() 呼び出しが原因のエラーです。

対処: \$USER_SETUP ファイルの SORTX_DEBUG 環境変数を setenv SORTX_DEBUG YES に設定し、関数を再実行します。結果をご購入先に連絡してください。

UT0862(D) Cannot allocate memory: errno = %d

説明: brk() 呼び出しのエラーです。

対処: \$USER_SETUP ファイルの SORTX_DEBUG 環境変数を setenv SORTX_DEBUG YES に設定し、関数を再実行します。結果をご購入先に連絡してください。

UT0863(D) Premature end of temporary file

説明: 内部エラー、行の長さが無効です。

対処: \$USER_SETUP ファイルの SORTX_DEBUG 環境変数を setenv SORTX_DEBUG YES に設定し、関数を再実行します。結果をご購入先に連絡してください。

UT0864(S) Cannot create temporary file: errno = %d

説明: 一時ファイルの open 時のエラーです。

対処: 詳細は、errno の値を調査します。

UT0865(S) Cannot open temporary file: errno = %d

説明: 一時ファイルの create 時のエラーです。

対処: 詳細は、errno の値を調査します。

UT0866(S) Temporary file open error: errno = %d

説明: 一時ファイルの open 時のエラーです。

対処: 詳細は、errno の値を調査します。

UT0867(S) Temporary file read error: errno = %d

説明: 一時ファイルの read 時のエラーです。

対処: 詳細は、errno の値を調査します。

UT0868(S) Temporary file error: errno = %d

説明: 一時ファイル処理内部エラーです。

対処: 詳細は、errno を調査します。

UT0869(S) ERROR on open, input file %s, errno = %d

説明: 指定されたファイルを開く際にエラーが発生しました。

対処: 詳細は、errno を調査します。

UT0870(S) ERROR accessing VSAM manager

説明: Sun MTP 領域へのアクセス時にエラーが発生しました。

対処: Sun MTP が動作していることおよび KIXSYS 環境変数が正しく設定されていることを確認します。

UT0871(S) ERROR: VSAM FILE %s DOES NOT EXIST

説明: Sun MTP 内部テーブルで指定された VSAM ファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルが、Sun MTP テーブルで正しく定義されていることを確認します。

UT0872(S) ERROR locking VSAM FILE %s, internal error %d

説明: 別のプロセスがすでに VSAM ファイルをロックしています。

対処: このファイルで実行中の unikixbld プロセスがないかどうかを調査します。

UT0873(S) ERROR opening VSAM FILE %s

説明: 指定された VSAM ファイルでの open コールのエラーです。

対処: 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0874(S) ERROR unlocking VSAM FILE %s after a failed closing of the same file

説明: オープン後の VSAM ファイルをロック解除する際の内部エラーです。

対処: 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0875(S) ERROR closing VSAM FILE %s

説明: 指定された VSAM ファイルでの close コールのエラーです。

対処: 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0876(S) ERROR reading VSAM FILE %s

説明: 指定された VSAM ファイルから固定長レコードを読み込む際のエラーです。

対処: 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0877(S) ERROR reading VSAM FILE %s

説明: 指定された VSAM ファイルから可変長レコードを読み込む際のエラーです。

対処: 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0878(S) Usage: sortx -S source -i infile -o outfil
-t filetype -s inrsz (mandatory only for FS file)
[-x excfil] [-r erropt] [-w wkdir] [-m mem]

説明: sortx コマンド入力パラメータの構文エラーです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0879(S) ERROR value for -t option (must be VS or FS)

説明: sortx -t オプションで指定された無効なファイルタイプです。

対処: 有効な入力引数は、VS (VSAM) または FS (ファイルシステム) ファイルです。

UT0880(S) ERROR in DD_SORTIN: vsam file must be unique

説明: 連結された VSAM データセットは受け付けられません。

対処: JCL スクリプトを調査します。DD_SORTIN は、1 つの VSAM データセットだけを指します。

UT0882(S) SORTX: in validation mode is not executed

説明: 検査モードで動作しているとき、SORTX コマンドは実行できません。

対処: SORTX コマンドを実行する場合は、検査モードオプションを指定しないでください。

UT0883(S) ERROR unlocking VSAM FILE

説明: VSAM ファイルのロック解除時の内部エラーです。

対処: 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0884(S) option %s repeated

説明: 無効な入力パラメータです。指定されたオプションが複数回定義されています。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0885(S) option %s not correct

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: パラメータを訂正して再実行します。

UT0886(S) number %d too large

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: パラメータを訂正し、コマンドを再実行します。

UT0887(S) argument %s too long

説明: 無効な入力パラメータです。

対処: パラメータを訂正し、コマンドを再実行します。

UT0888(S) sortx : internal error

説明: 入力パラメータチェック時の内部エラーです。

対処: パラメータを検査し、コマンドを再実行します。

UT0889(S) sortx: DD_SORTIN variable not set

説明: 指定された環境変数が設定されていません。

対処: 指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

UT0890(S) sortx: DD_SORTOUT variable not set

説明: 指定された環境変数が設定されていません。

対処: 指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

UT0891(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0892(S) sortx: DD_SYSIN variable not set

説明: 指定された環境変数が設定されていません。

対処: 指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

UT0893(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0894(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0895(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0896(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0897(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0898(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0899(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0901(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0902(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0903(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0904(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0905(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0906(S) sortx: failed malloc

説明: malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

UT0907(S) The VSAM file must be specified using DD_SORTIN variable

説明: DD_SORTIN 環境変数が設定されていません。

対処: \$DD_SORTIN を設定し、コマンドを再実行します。

UT0908(S) ERROR in input record size

説明: -s オプションを使用して指定されたレコードサイズは、Sun MTP 内部テーブルで指定されている内部レコードサイズと一致しません。

対処: -s オプションを指定しない場合は、内部サイズが適用されます。JCL の LRECL パラメータが正確であることを確認します。

UT0911(S) Error: Batch node environment not set. Source the node batchenv file.

説明: バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

対処: バッチノード batchenv ファイルを使用します。

UT0912(I) RAM used %d KB, max allowed %d KB

説明: 情報メッセージです。

UT0913(I) RAM used %d MB, max allowed %d KB

説明: 情報メッセージです。

UT0914(I) RAM used %d KB, max allowed %d MB

説明: 情報メッセージです。

UT0915(I) RAM used %d MB, max allowed %d MB

説明: 情報メッセージです。

第12章

マクロメッセージ

この章では、Sun MBM マクロによって表示されるメッセージについて説明します。マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA0001 ~ MA0999

MA0001(I) Usage: %s ddsysin lnsysin
 or %s sysin

説明: パラメータが無効です。

対処: 1つまたは2つの出力ファイル名をパラメータとして入力します。

MA0002(S) Error opening %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定されたファイルの読み取り/書き込み権を調査します。

MA0003(S) Error opening %s

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定されたファイルの読み取り/書き込み権を調査します。

MA0011(I) files not found

説明: 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: 指定したファイルを開くためのアクセス権を調査します。

MA0012(S) ebmsed:ERROR_GDG_num_is_NULL

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0013(S) ebmsed:ERROR_GDG_num_is_undefined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0014(S) ebmsed:ERROR_basename_GDG_is_NULL

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0015(S) ebmsed:ERROR_basename_GDG_is_undefined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0016(S) ebmsed:ERROR_GDG_num_is_%s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0017(S) ebmsed:ERROR_allocating_%d_bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0018(S) ebmsed:ERROR_allocating_%d_bytes

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0019(S) ebmsed:ERROR_GDG_%s_not_found

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0020(S) ebmsed:ERROR_key_is_NULL

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0021(S) ebmsed:ERROR_filename_is_NULL

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0022(S) ebmsed:ERROR_fopen(%s,r)_failed_errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0023(S) ebmsed:ERROR_fopen(%s,w)_failed_errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0024(S) ERROR:ebmsed:malloc:EBM_DELETE_BACK_SLASH_%s_%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0025(S) ebmsed: ERROR opening file %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0026(S) ebmsed: ebm_convert_parm_string_in_jar: failed,
reason: malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0027(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0028(S) ebmsed: ebm_convert_parm_string_in_jar: failed,
reason: 2 malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0029(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0030(S) ebmsed: ebm_convert_parm_string_in_jar: failed,
reason: 5 malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0031(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0032(S) ebmsed: ebm_convert_parm_string_in_jar: failed,
reason: 3 malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0033(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0034(S) ebmsed: ebm_convert_parm_string_in_jar: failed,
reason: 4 malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0035(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0036(S) ebmsed: ebm_convert_parm_string: failed, reason:
malloc()

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0037(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0038(S) ebmsed(CONVERT_PATH_VARIABLE): ERROR allocating %d bytes, str=%s

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0039(S) ebmsed(CONVERT_PATH_DRIVE): Input String is null

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0040(S) ebmsed: ebm_syncsort_expand: could not getenv DD_SYSIN

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0041(S) ebmsed: ebm_syncsort_expand: could not getenv DD_SYSIN

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0042(S) ebmsed: ebm_syncsort_expand: ERROR on fopen

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0043(S) ebmsed:ERROR_fopen(%s,r)_failed_errno=%d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0044(S) null pathin, return from function

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0045(S) Unexpected function has been invoked

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0046(S) null pathin, return from function

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA0047(S) Unexpected function has been invoked

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1000 ~ MA1099

MA1001(S) Error on batch shell start command

説明: ジョブ開始のために \$EBMHOME/pack/btsh を実行する際のシステムエラーです。

対処: 適切なアクセス権があるファイルであることを確認します。

MA1002(I) -----Starting in validation mode-----

説明: マクロが検査モードで実行されていることを示す情報メッセージです。プログラムは実行されず、ファイルは処理されません。

MA1004(S) Unable to update file: %s

説明: 指定されたファイルを更新する際のシステムエラーです。

対処: ファイルの状態とアクセス権を確認します。

MA1005(W) Option not supported in current version:
%s

説明: マクロで指定されたオプションはサポートされていないという警告です。

MA1006(W) Invalid Option: %s

説明: 指定されたオプションは無効であるという警告です。

MA1007(S) Invalid Option: %s

説明: 無効なオプションが指定されたためのエラーです。実行を継続できませんでした。

対処: ジョブスクリプトのオプションを訂正します。

MA1008(S) Creating BYPASSFILE_\$EBMSYS_\$JON file

説明: 指定されたファイルの作成時のエラーです。

対処: 状態とディレクトリのアクセス権を確認します。

MA1009(S) Creating RESTART_VSE_\$EBMSYS_\$JON file

説明: 指定されたファイルの作成時のエラーです。

対処: 状態とディレクトリのアクセス権を確認します。

MA1010(S) Invalid Batch Mode: %s

説明: BEGINJOB マクロで無効な batch mode が指定されました。

MA1011(S) Unable to initialize file: %s

説明: 指定されたファイルの初期化のエラーです。

対処: 状態とディレクトリのアクセス権を確認します。

MA1012(S) FILEMAP variable is not set

Update Setup File for Batch Subsystem: %s

説明: サブシステム設定ファイルで FILEMAP 環境変数が設定されていないためのエラーです。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、適切なファイルで \$FILEMAP を設定します。

MA1013(S) Entry: SYS1.LINKLIB not found in File_Map

説明: SYS1.LINKLIB データセットのエントリが、File_Map で定義されていません。

対処: Sun MBM 管理者に連絡してください。File_Map の SYS1.LINKLIB エントリは、サブシステムアプリケーションの実行可能ファイルのデフォルトのディレクトリに関連付けられる必要があります。SYS1.LINKLIB エントリは、コロンの区切られたディレクトリのリストである場合もあります。

MA1014(I) -----Starting in verbose mode-----

説明: マクロが冗長モードで実行されていることを示す、ジョブの履歴ファイルに書き込まれるメッセージです。

対処: 情報メッセージです。

MA1015(S) PROCLIB variable is not set
Update Setup file for BATCH Subsystem: %s

説明: サブシステム設定ファイルで \$PROCLIB が定義されていないためのエラーです。

対処: Sun MBM 管理者に連絡してください。\$PROCLIB を、サブシステムのプロシージャーを含むデフォルトのディレクトリに設定する必要があります。

MA1016(W) Invalid Batch Mode Option: %d

説明: BEGINJOB マクロで指定されたバッチモードが無効であるという警告です。デフォルトが適用されます。

MA1017(S) Invalid syntax: ddname is required

説明: ASSGNDD マクロが連結を定義しない場合は、ddname が必要です。

対処: ASSGNDD マクロに ddname を追加し、ジョブを再実行します。

MA1018(S) Invalid syntax: disp is NULL

説明: ASSGNDD が内部エラーを検出しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1019(S) Invalid syntax: disp=%s

説明: ASSGNDD マクロの disp オプションで無効な値が指定されました。

対処: disp オプションを訂正し、ジョブを再実行します。

MA1020(S) Job Catalog not set

説明: ASSGNDD が内部エラーを検出しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1021(S) GDG option requires datasetname, ddname=%s

説明: ASSGNDD マクロで GDG オプションが指定された場合は、データセット名が必要です。

対処: ASSGNDD マクロにデータセット名を追加し、ジョブを再実行します。

MA1022(S) Error accessing File_Map, key=%s;%s

説明: 指定されたキーに基づいて情報を取得する際のシステムエラーです。

対処: 手作業で、あるいは適切なトランスレータの -v オプションを使用して、キーによって指定されるデータセットにキーを指定する必要があります。

MA1023(S) Datasetname: %s;%s is not defined as a GDG in the subsystem File_Map

説明: データセットは、GDG インスタンスとして ASSGNDD にアクセスされていますが、File_Map で GDG として定義されていません。

対処: File_Map で世代数を定義します。

MA1024(S) Invalid syntax: gdgnum=%s

説明: gdgnum オプションに指定された値は無効です。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA1025(S) File %s defined for output is an existing file

説明: ASSGNDD disp オプションが o (出力) の場合、サブシステムは、既存のファイルを削除しないように設定されています。

対処: disp オプションを別の値に変更するか、手作業で既存のファイルを削除し、ジョブを再実行します。

MA1026(S) Error creating directory %s

説明: 指定されたパスを作成する際のエラーです。

対処: パス名の中のディレクトリ構造と各ディレクトリのアクセス権を確認します。

MA1027(S) Error creating file %s

説明: 指定されたファイルの作成時のエラーです。

対処: ファイルのパス全体の状態とアクセス権を確認します。

MA1028(S) Invalid option --> normal=%s

説明: ASSGNDD マクロの normal オプションで、無効な値が定義されています。

対処: 値を訂正し、ジョブを再実行します。

MA1029(S) Invalid option --> abend=%s must k or d

説明: ASSGNDD マクロの normal オプションで、無効な値が定義されています。

対処: 値を訂正し、ジョブを再実行します。

MA1030(S) Unable to read file: %s

説明: 指定されたファイルを読み込む際のエラーです。

対処: ファイルの状態とディレクトリアクセス権を確認します。

MA1031(S) Error accessing directory "%s", errno=%d

説明: 指定されたディレクトリにアクセスする際のエラーです。

対処: ディレクトリの状態とアクセス権を確認します。

MA1032(S) Environment variable SYSOUTDIR not found

説明: SYSOUTDIR 環境変数がサブシステム設定ファイルで定義されていないためのエラーです。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、\$SYSOUTDIR を適切なディレクトリに設定します。

MA1033(S) Procedure Step name not found

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1034(S) %s is an invalid pathname

説明: sysout ファイルを作成する際のエラーです。

対処: サブシステム設定ファイルで、\$SYSOUTDIR によって定義されているディレクトリのパスを確認します。

MA1035(S) Internal error: invalid procedure level: %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1036(S) Internal error: environment variable CALLERS_STEPNAME not set

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1037(S) SETPRINT printid=%s not defined

説明: ASSGNDD マクロで指定された *printid* に対応する SETPRINT が定義されていません。

対処: ASSGNDD マクロの前に対応する *printid* をもつ SETPRINT マクロを作成し、ジョブを再実行します。

MA1038(S) Internal error: environment variable SYSOUT_VARIABLES not set

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1039(S) Internal error: environment variable OUTPUT_VARIABLES
not set

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1040(S) Internal error: environment variable JOB_OUTPUT_FILE
not set

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1041(S) Unable to delete file: %s

説明: ジョブは、指定されたファイルを削除できませんでした。

対処: 指定したファイルの状態とアクセス権を確認します。

MA1042(S) Generation datasets are not supported for temporary
files

説明: File_Map で FS として定義されたファイルだけが、GDG として処理されま
す。

対処: File_Map で FS として定義されたファイルを使用するように、ASSGNDD マ
クロを変更します。

MA1043(S) Internal error: environment variable JOB_CAT is NULL

説明: ASSGNDD が内部エラーを検出しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1044(S) Invalid file type defined in File_Map for: dataset=%s
type=%s

説明: 指定されたデータセットに無効なファイルタイプが定義されました。

対処: File_Map を有効なファイルタイプに訂正し、ジョブを再実行します。

MA1045(S) Invalid file type defined in File_Map for: dataset=%s
member=%s type=%s

説明: 分割された指定のデータセットに無効なファイルタイプが定義されました。

対処: 分割されたデータセットの有効なファイルタイプに File_Map を訂正し、
ジョブを再実行します。

MA1046(S) Unable to locate entry in File_Map %s for: dataset=%s

説明: 指定されたデータセットは、File_Map で定義されていません。

対処: 手作業で、あるいは適切なトランスレータの -v オプションを使用して、データセットのエントリを追加します。

MA1047(S) Unable to locate entry in File_Map %s for: dataset=%s
member=%s

説明: 分割された指定のデータセットは、File_Map で定義されていません。

対処: 手作業で、あるいは適切なトランスレータの -v オプションを使用して、分割されたデータセットのエントリを追加します。

MA1048(I) File allocated for dataset %s: %s <%s>

説明: 情報メッセージです。ASSGNDD は、指定されたデータセットを表示されているファイル名に割り当てました。

MA1049(I) File allocated for dataset %s(%s): %s <%s>

説明: 情報メッセージです。ASSGNDD は、指定された分割データセットを表示されているファイル名に割り当てました。

MA1050(S) Filename or datasetname must be defined for
ddname: %s

説明: ASSGNDD は、ファイル名またはデータセット名（または両方）を定義する必要があります。

対処: ASSGNDD に、データセット名またはファイル名、あるいはその両方を定義するために必要な情報を指定し、ジョブを再実行します。

MA1051(W) Option format not supported in current version:
ddname=%s

説明: ddname オプションで指定された形式は、現在サポートされていないという警告です。

MA1052(S) File concatenation is not supported for type=%s

説明: 指定されたタイプでは、ファイルの連結はサポートされていません。

対処: ジョブスクリプトを訂正し、ジョブを再実行します。

MA1053(S) Invalid record size specified: recsize=%s

説明: ASSGNDD の recsize オプションで、無効な値が定義されています。

対処: recsize オプションを訂正し、ジョブを再実行します。

MA1054(S) GDG option is not valid for type=%s

説明: File_Map で FS ファイルタイプとして定義されたファイルだけが、GDG として処理されます。

対処: File_Map で FS として定義されたファイルを使用するように、ASSGNDD マクロを変更します。

MA1055(S) Invalid type specified --> %s for ddname=%s

説明: 表示された ddname よって定義される ASSGNDD で、無効な type が指定されました。

対処: type オプションを訂正し、ジョブを再実行します。

MA1056(S) Environment variable SYSOUTDIR not set

説明: \$SYSOUTDIR がサブシステム設定ファイルで設定されていないためのエラーです。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、\$SYSOUTDIR を適切なディレクトリに設定します。

MA1057(S) SYSOUTDIR pathname is invalid: %s

説明: \$SYSOUTDIR の値は無効なパス名を参照しています。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、\$SYSOUTDIR のパスを訂正します。

MA1058(S) Cannot create temporary dataset: EBMTMPDIR variable is not configured

説明: EBMTMPDIR 環境変数がサブシステム設定ファイルで定義されていないためのエラーです。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、\$SYSOUTDIR をサブシステム設定ファイルの適切なディレクトリに設定します。

MA1060(W) Option ignored for type=VS datasets : disp=%s

説明: ASSGNDD マクロの disp オプションは、VSAM データセットでは無視されます。

MA1061(W) Option ignored for type=VS datasets : normal=%s

説明: ASSGNDD マクロの normal オプションは、VSAM データセットでは無視されます。

MA1062(W) Option ignored for type=VS datasets : abend=%s

説明: ASSGNDD マクロの abend オプションは、VSAM データセットでは無視されます。

MA1063 (I) DD_%s=%s

説明: 情報メッセージです。指定された変数の値が表示されます。

MA1064 (I) LN_%s=%s

説明: 情報メッセージです。指定された変数の値が表示されます。

MA1065 (I) DD_%s=\$DD_%s:%s

説明: 情報メッセージです。指定された変数の値が表示されます。

MA1066 (I) System command=%s

説明: 情報メッセージです。EBMSYSCMD マクロで指定されたシステムコマンドが表示されます。

MA1067 (S) System fork failed %d/%d
line %d:%s

説明: システム fork() のエラーです。

対処: システム管理者に連絡してください。

MA1068 (S) System exec failed %d : status %d
line %d:%s

説明: システム exec() のエラーです。

対処: システム管理者に連絡してください。

MA1069 (S) System exec failed %d : signal %d
line %d:%s

説明: システム exec() のエラーです。

対処: システム管理者に連絡してください。

MA1070 (I) ----- in validation mode, not executed -----

説明: マクロは検査モードで動作しています。コマンドは実行されません。

対処: 情報メッセージです。

MA1071 (S) System fork failed %d/%d
%s

説明: システム fork() のエラーです。

対処: システム管理者に連絡してください。

MA1072(S) System exec failed %d : status %d
%s

説明: システム exec() のエラーです。

対処: システム管理者に連絡してください。

MA1073(S) System exec failed %d : signal %d
%s

説明: システム exec() のエラーです。

対処: システム管理者に連絡してください。

MA1074(S) Job Status : ABORT

説明: 致命的なエラーが発生しました。

対処: エラーに関連する他のメッセージについては、ジョブの履歴ファイルを参照してください。

MA1075(W) BATCH POWER configuration file
\$PUBLIC/vse/power/lu.cfg not found

説明: batch mode が VSE の場合、マクロは、スプールされた出力に関連する論理ユニットを割り当てるために、指定されたファイルにアクセスしようと試みます。

対処: Sun MBM 管理者に連絡してください。

MA1076(I) Default POWER assignments:

説明: batch mode が VSE の場合、スプールされた出力のルーティングに関する情報メッセージが示されます。

MA1077(S) Unable to initialize file: %s

説明: 表示されたファイル名を初期化する際のエラーです。

対処: ファイル名とアクセス権を確認し、ジョブを再実行します。

MA1078(I) %s Assigned to Class: %s Printer: %s

説明: スプールされた出力のルーティングに関連する情報メッセージです。

MA1079(W) The BEGINJOB macro is not the first statement in the
jobstream

説明: BEGINJOB マクロは、ジョブストリームで実行される最初のマクロとして定義されていない場合、すべてのオプションのデフォルト値を使用して内部で実行されます。

対処: ジョブストリームで BEGINJOB マクロを定義し、ジョブを再実行します。

MA1080(S) Error executing %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを実行する際に、マクロは、errno で指定されるエラーを受信しました。

対処: ファイルの状態とアクセス権を確認し、ジョブを再実行します。

MA1081(I) Bypassed

説明: 情報メッセージです。条件コード処理あるいはジョブの強制的な中止の状態のために省略されたステップが示されます。

MA1082(S) Error accessing current working directory, errno=%d

説明: ジョブをサブミットしたユーザーに対して定義されている現在の作業ディレクトリにアクセスする際のエラーです。

対処: アクセス権とディスクの空き容量を調査します。割り当てられている現在の作業ディレクトリがわからない場合は、Sun MBM 管理者に連絡してください。

MA1083(S) Error deleting temporary file %s, errno=%d

説明: 一時作業ファイルを削除する際に、内部エラーが検出されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1084(S) Error accessing temporary directory, errno=%d

説明: サブシステム設定ファイルで \$EBMTMPDIR によって定義されている一時ディレクトリにアクセスする際のエラーです。

対処: ディレクトリの状態とアクセス権を確認します。

MA1085(I) Setting current step return code to: %d

説明: 情報メッセージです。現在のジョブあるいはプロシーチャーのステップに対するリターンコードとして割り当てられた値が表示されます。

MA1086(S) Error, Usage: SETRETCODE StepReturnCode
StepReturnCode: must be numeric

説明: SETRETCODE マクロで指定されたステップのリターンコードには数字を使います。

対処: 値を訂正し、ジョブを再実行します。

MA1087(S) Error creating the \$SYSOUTDIR directory: <%s>
errno: %d

説明: sysout ファイルに割り当てられる高レベルのディレクトリを作成する際のエラーです。\$SYSOUTDIR は、サブシステム設定ファイルで定義されています。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、\$SYSOUTDIR のパスを正しく設定します。

MA1088(S) Error creating the \$SYSOUTDIR/\$JOBNAME directory:
<%s/%s> errno: %d

説明: ジョブに対する sysout ファイルに割り当てられるディレクトリを作成する際のエラーです。\$SYSOUTDIR は、サブシステム設定ファイルで定義されています。

対処: Sun MBM 管理者に連絡して、\$SYSOUTDIR のパスを正しく設定します。

MA1089(I) %s=%s

説明: 変数の値が表示されます。

対処: 情報メッセージです。

MA1090(I) Batch Mode: %s

説明: ジョブが動作しているバッチモードが表示されます。

対処: 情報メッセージです。

MA1091(I) %s : Entering (VER. %s)

説明: ジョブが動作している Sun MBM のバージョンが表示されます。

対処: 情報メッセージです。

MA1092(I) FILENAME=%s, <%s>

説明: FILENAME 変数に関連付けられているファイル名が表示されます。

対処: 情報メッセージです。

MA1093(S) Error opening file: %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを開く際のエラーです。

対処: 表示されている errno を調べ、ファイルの状態とアクセス権を確認します。

MA1094(S) Error allocating %d bytes, errno=%d, line=%d

説明: 内部エラーです。動的メモリーをプロセスに割り当てることができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1095(S) Error allocating %d bytes, errno=%d

説明: 内部エラーです。動的メモリーをプロセスに割り当てることができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1096(S) Error allocating File_Map structure, errno=%d

説明: 内部エラーです。動的メモリーをプロセスに割り当てることができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1097(S) Error %s invalid entry in File_Map %s

説明: 表示された File_Map のエントリに無効な構文が含まれています。

対処: File_Map のエントリを訂正し、ジョブを再実行します。

MA1098(S) batch_catgets(%d) ERROR invalid message number: %d

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1099(S) %s exceeds the internal limit of %d characters,
line %d

説明: 文字列の値を展開する際の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1100 ~ MA1199

MA1100(S) Error allocating %d bytes for %s, errno=%d

説明: 内部エラーです。動的メモリーをプロセスに割り当てることができません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1101(S) Error reading file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを読み込む際の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1102(S) Error updating file %s, errno=%d

説明: 指定されたファイルを更新する際の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1104(S) Error invalid relational expression keyword: %s : %s

説明: IF/THEN/ELSE/ENDIF 文の関係式が無効です。最初の文字列は式全体で、二番目の文字列はオペランドを示します。

対処: 有効なオペランドを使用して式を訂正します。

MA1105(S) Error invalid IF syntax: %s%s%s

説明: IF/THEN/ELSE/ENDIF 文のオペランドと演算子の組み合わせが無効です。

対処: オペランドと演算子の有効な組み合わせにして式を訂正します。

MA1106(S) Error RC relational keyword not found: %s

説明: 関係式 RC が、IF/THEN/ELSE/ENDIF 式に必要です。

対処: オペランドと演算子の有効な組み合わせにして式を訂正します。

MA1107(S) Error attempt to evaluate an operand node: %s

説明: IF/THEN/ELSE/ENDIF 式の内部構文解析が構文解析しようとしたのは、有効な式ではなくオペランドです。

対処: ご購入先に連絡してください。可能であれば、ジョブを簡略して単一ステップの IF 式にします。

MA1108(S) Error invalid internal node type: %i : %s

説明: IF/THEN/ELSE/ENDIF 式の内部構文解析の結果によると、条件が無効です。

対処: ご購入先に連絡してください。可能であれば、ジョブを簡略して単一ステップの IF 式にします。

MA1109(S) Error invalid IF statement, no THEN

説明: キーワード THEN が、IF/THEN/ELSE/ENDIF 式にありません。

対処: 有効な構文にして式を訂正します。

MA1110(I) VSE JCL mode

説明: JCL モードタイプが VSE として使用されていることを確認する情報メッセージです。

MA1111(S) Error system fork failed for: %s system return: %d
errno: %d

説明: 表示されているシステム、および errno 値でシステムフォークが失敗したことを示しています。

対処: システム管理者に戻り値を連絡し、フォークのエラーの原因を確認します。

MA1112(S) Error system exec failed for: %s exit return: %d
errno: %d

説明: 表示されている終了、および errno 値でシステムフォークが失敗したことを示しています。

対処: システム管理者に戻り値を連絡し、フォークのエラーの原因を確認します。

MA1113(S) Error system exec failed for: %s signal: %d
errno: %d

説明: 表示されている信号、および errno 値でシステムフォークが失敗したことを示しています。

対処: システム管理者に戻り値を連絡し、フォークのエラーの原因を確認します。

MA1114(I) NON-VSE JCL mode

説明: JCL モードタイプが、非 VSE として使用されていることを示す情報メッセージです。

MA1115(I) Nesting level=%I

説明: 処理中の IF/ELSE/ENDIF マクロの現在の入れ子のレベルを示す情報メッセージです。

MA1116(I) Evaluation string = %s

説明: 評価される IF/THEN/ELSE/ENDIF 式全体を表示する情報メッセージです。

MA1117(I) Results of string evaluation = %s

説明: IF 式の評価の結果を示す情報メッセージです。TRUE あるいは FALSE で示されます。

MA1118(I) Code segment to execute = %s

説明: IF 式の評価の結果に基づいて、IF/THEN/ELSE/ENDIF のどのセクションを実行するかを示す情報メッセージです。

MA1119(S) File does not exist : %s

説明: 必要なファイルが見つからないことを示すエラーメッセージです。

MA1120(S) Invalid code segment entry : %s

説明: これから実行される IF/THEN/ELSE/ENDIF のコードセグメントに対する無効なエントリを示すエラーメッセージです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA1121(S) Error insufficient heap space for calloc

説明: 使用中のシステムで、処理を続行するためのヒープスペースが不十分であることを示すエラーメッセージです。

対処: システム管理者にそのヒープスペースの割り当てを確認してもらいます。

MA1126(I) core file found and moved to %s

説明: コアファイルは、指定したディレクトリに保存されました。

対処: 情報メッセージです。パス情報を使用してコアファイルの場所を見つけ、必要に応じて、分析用にご購入先まで提供します。

MA1127(E) Error core file name in '%s' would exceed PATH_MAX

説明: フルパスとファイル名がオペレーティングシステムで許可されている制限を越えたため、コアファイルは、指定したディレクトリに移動されませんでした。

対処: パス名が短くなるように、ユーザーの作業ディレクトリを変更します。

MA1128(E) Error '%d' moving core file '%s'

説明: コアファイルは、指定したディレクトリに移動できませんでした。

対処: 指定された UNIX エラー番号を使用して、問題の原因を特定します。指定されたディレクトリへの書き込み権に問題がある場合があります。

MA1129(E) Error '%d' creating directory '%s'

説明: 指定したディレクトリを作成できませんでした。

原因: このエラーは、Sun MBM が corefiles サブディレクトリを作成できない場合に発生します。

対処: 指定された UNIX エラー番号を使用して、問題の原因を特定します。指定されたディレクトリへの書き込み権に問題がある場合があります。

MA2000 ~ MA2199

MA2000(I) -----Starting-----

説明: プログラムが実行開始することを示す情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2001(I)-----Starting in validation mode-----

説明: 検査モードでプログラムが実行開始することを示す情報メッセージです。

原因: ジョブが検査モードでサブミットされました。プログラムは実行されないで、ファイルは処理されません。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2002(S) Invalid syntax SYSIN line: %d position: %d

説明: 無効なコマンド構文です。

原因: IDCAMS コマンドが無効な構文を検出しました。

対処: 指定された位置を調査します。構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2003(S) Invalid syntax SYSIN line: %d position: %d

説明: 無効なコマンド構文です。

原因: IDCAMS コマンドが、コメント終了の区切り記号がないコメントを検出しました。

対処: 指定された位置を調査します。構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2004(S) Error: the stat command failed on sysin file < %s >
errno %d

説明: ddname SYSIN で定義されたファイルが存在しません。

原因: IDCAMS は、ddname SYSIN で定義されたファイルが存在しないことを検出しました。

対処: ジョブを訂正して再実行します。

MA2005(S) Invalid syntax:

%s %s

説明: IDCAMS が無効な構文を検出しました。

対処: メッセージに表示されている行を調査します。ジョブを訂正して再実行します。

MA2006(S) At end of SYSIN, last line contained continuation
character

Number of last SYSIN line processed: %s

説明: IDCAMS が無効な構文を検出しました。

原因: 継続の文字および後続の行を含む最終行が定義されていません。

対処: ジョブを訂正して再実行します。

MA2007(W) %s option of %s is not supported

説明: IDCAMS コマンドで指定されたオプションのパラメータは、サポートされていません。

対処: IDCAMS コマンドからオプションを削除し、ジョブを再実行します。

MA2008(S) %s variable is not configured

説明: 必要な環境変数が設定されていません。

原因: 製品がインストールされサブシステムが定義されたときに、変数はジョブの実行中に使用される値に設定されます。メッセージで指定された変数は設定されていません。

対処: Sun MBM 管理者に連絡してください。

MA2009(W) Parameter %s is not supported

説明: メッセージで指定されたパラメータはサポートされていないことを示す警告です。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2010(W) Command is not supported:

%s

説明: メッセージで指定されたコマンドはサポートされていないという警告です。

原因: IDCAMS コマンドのいくつかはこの環境に適切ではなく、その他はサポートされていません。

対処: コマンドがアプリケーションに必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2011(S) %s: %s Parameter value not defined

説明: IDCAMS は、必要な割り当てられた値を持たずに定義されたパラメータを確認しました。

対処: IDCAMS の構文を訂正してジョブを再実行します。

MA2012(S) Invalid syntax:

%s

説明: メッセージで指定されたコマンドは無効な構文を含んでいます。

対処: 直前のメッセージが、構文エラーに関する詳細を含んでいる場合があります。コマンド構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2013(S) Variable: %s is not set

説明: IDCAMS の実行に必要な変数が定義されていません。

対処: ジョブあるいはサブシステム設定ファイルを訂正し、必要な変数を設定してジョブを再実行します。

MA2014(S) SYSIN file %s open failed errno %d

説明: IDCAMS に必要な作業ファイルのオープンに失敗しました。

原因: errno 表示を調査し、オープンに失敗した原因を判定します。

対処: ジョブを訂正して再実行します。

MA2015(S) Length of command name exceeds maximum:
%s

説明: SYSIN ファイルで指定された IDCAMS コマンドの長さが、最大長を超えています。

対処: コマンド名を有効な IDCAMS コマンドに変更し、ジョブを再実行します。

MA2016(S) Internal error : invalid command length

説明: IF モーダルコマンドの処理時に、内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2017(S) IF : condition code value range is 0 through 9999

説明: IF 文が実行され、MAXCC あるいは LASTCC の値が評価されました。

原因: 評価の値が 0 ~ 9999 の範囲外です。

対処: IF 文で指定された値をこの範囲の値に変更し、ジョブを再実行します。

MA2018(S) IF : invalid operator

説明: IF 文で無効な演算子が定義されています。

対処: 演算子を有効なエントリに変更し、ジョブを再実行します。

MA2019(S) IDCAMS command lines exceed maximum in job step: %d

説明: コマンド行の数が多すぎます。

原因: ジョブあるいはプロシージャーのステップ内の IDCAMS コマンド行の数は、メッセージで指定された最大数を超えることはできません。

対処: ジョブあるいはプロシージャー内に新規のステップを作成します。必要な数の IDCAMS コマンド行を新規のステップに移動して、1 ステップも最大数を超えないようにします。

MA2020(S) IF : invalid value specified: %c Value must be numeric

説明: IFは、最大数の条件コードあるいは最終の条件コードの比較を許可します。

原因: 条件コードを評価するための値は、数値である必要があります。

対処: 数値で評価する IF 文に変更し、ジョブを再実行します。

MA2021(S) IF : condition code check must be MAXCC or LASTCC

説明: IFは、最大数の条件コードあるいは最終の条件コードの比較を許可します。

原因: IDCAMS IF 条件コードを使用して調査する場合、調査を行うための有効なキーワードは MAXCC および LASTCC だけです。

対処: MAXCC あるいは LASTCC で評価するキーワードに変更し、ジョブを再実行します。

MA2022(S) IF : requires numeric value to test condition code against

説明: IFは、最大数の条件コードあるいは最終の条件コードの比較を許可します。

原因: 条件コードを評価するための値が、数値ではありません。

対処: 数値で評価する IF 文に変更し、ジョブを再実行します。

MA2023(S) IF : the command following the THEN clause is not recognized: %s

説明: IDCAMS が、IF 条件コードチェックを評価し、THEN 句に続いて実行する必要があるコマンドを判定しました。

原因: THEN 句に続くコマンドは、有効な IDCAMS 機能コマンドあるいはモジュールコマンドとして認識されません。

対処: THEN 句に続くコマンドを変更して、ジョブを再実行します。

MA2024(S) IF : Internal error, expecting value of THEN or ELSE clause, value passed: %d

説明: 内部エラーです。

原因: IF モーダルコマンドの処理時に、内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2025(S) Invalid IDCAMS command:
%s

説明: IDCAMS は、メッセージテキストに表示されたコマンドを実行できません。

原因: コマンドが無効な IDCAMS ジョブステップで、コマンドが検出されました。

対処: コマンドを有効な IDCAMS コマンドに変更し、ジョブを再実行します。

MA2026(S) Internal error: %s command line is null

説明: IDCAMS が、認識されたコマンドを実行しています。

原因: コマンドの処理中に内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2027(S) Internal error: g_idcams_if_nesting_level is less than
or equal zero: %d

説明: IDCAMS が、IF モーダルコマンドを実行しています。

原因: コマンドの処理中に内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2028(S) Maximum number of %d nested IF levels has been
exceeded

説明: IF 入れ子レベルの最大数を超過しています。

原因: IDCAMS ステップは、メッセージテキストで指定された IDCAMS IF 入れ子レベルの最大数を越えています。

対処: IDCAMS 入力の論理を変更して、IF 入れ子レベルが最大数を越えないようにします。

MA2029(S) A %s keyword does not have a corresponding %s

説明: 構文エラーが検出されました。

原因: モーダルコマンドの定義が正しくありません。THEN または ELSE の前に IF がないか、END の前に DO がありません。

対処: エラーが検出されたキーワードのメッセージを調査します。適切な継続行がないことでよく発生するエラーです。エラーを訂正してジョブを再実行します。

MA2030(S) Entry for dataset: %s Catalog: %s not found in %s

説明: IDCAMS は、ファイル情報をサブシステム File_Map から取り出そうとしました。

原因: 一部の状況下で IDCAMS は、File_Map から情報を取り出す必要がありますが、その多くの場合は INDATASET および OUTDATASET パラメータに使用するためです。

対処: メッセージテキストを調査し、カタログが正しく指定されたかを判定します。カタログ名を変更するか、あるいはサブシステム File_Map にデータセット用の新規のエントリを追加するかのいずれかを行います。

MA2031(S) Invalid value defined as the GDG maximum in the subsystem File_Map:

%s

For dataset: %s Catalog: %s

説明: ランタイムは File_Map から最大数の GDG インスタンスを取り出そうとしました。

原因: File_Map の 6 番目の位置から取り出された値は無効です。

対処: File_Map のエントリを訂正し、ジョブを再実行します。

MA2032(S) The %s variable %s has not been assigned:

Command: %s

説明: INFILE あるいは OUTFILE キーワードが指定され、ファイルシステムのファイルのフルパス名あるいは 1 から 8 文字の VSAM ファイル名となる変数 DD_ddname の値をランタイムが取り出そうとしました。

原因: INFILE あるいは OUTFILE が入力データあるいは出力データを定義している場合は、対応する ASSGNDD を実行して、ddname をデータセット名あるいはファイル名に割り当てる必要があります。

対処: 適切な ASSGNDD マクロをジョブステップに追加して、ジョブを再実行します。

MA2033(S) Cannot expand filename for dataset: <%s>

説明: 一時データセット名は展開できません。

原因: 一時データセット名は可変コンポーネントを使って内蔵されます。内部ファイル名の展開が失敗しました。

対処: 一時データセット名が正しく定義されていることを確認し、ジョブを再実行します。データセット名を命名規則に準拠させてもこのエラーが発生する場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2034(S) Internal error: %s is not a temporary datasetname

説明: 一時データセット名を展開する必要があります。

原因: 一時データセット名は可変コンポーネントを使って内蔵されます。内部ファイル名の展開が失敗しました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2035(S) Length of temporary dataset name exceeds maximum: %s

説明: 一時データセット名の最大長を越えることはできません。

原因: 最大長を指定するメッセージテキストを調査します。

対処: 一時データセット名を変更して、ジョブを再実行します。

MA2036(S) GDG instance requires dataset name

%s

説明: IDCAMS が、GDG データセットを処理しています。

原因: GDG インスタンスが、GDG のベース名 INDATASET((+1) なしで指定されました。

対処: 世代データグループのベース名を含むようにデータセット名を変更して、ジョブを再実行します。

MA2037(S) Parameter: %s Invalid value : %s

説明: メッセージテキストで指定された値は無効です。

原因: メッセージテキストで指定されたパラメータに、無効な値が割り当てられています。

対処: パラメータに割り当てられた値を訂正して、ジョブを再実行します。

MA2038(S) Parameter: %s Invalid value : %s

説明: メッセージテキストで指定された値は無効です。

原因: メッセージテキストで指定されたパラメータに、無効な値が割り当てられています。

対処: パラメータに割り当てられた値を訂正して、ジョブを再実行します。

MA2039(S) Invalid value defined as the file type in subsystem
File_Map:

For dataset: %s Catalog: %s

説明: ユーティリティーは、サブシステム File_Map から特定されるデータセットのファイルタイプを取り出そうとしました。

原因: File_Map から取り出された値は無効です。有効な値は、FS あるいは VS です。

対処: File_Map のエントリを訂正し、ジョブを再実行します。

MA2040(S) Invalid value defined as the pathname in subsystem
File_Map:

For dataset: %s Catalog: %s

説明: ユーティリティーは、データセット名にマップされたパス名、あるいはメッセージテキストで指定されたカタログを取り出そうとしました。

原因: File_Map から復帰した値は無効です。

対処: サブシステム File_Map のパス名 (field 4) を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2041(S) A PDS member name requires datasetname
%s

説明: ユーティリティーは、INDATASET あるいは OUTDATASET キーワードを検出しました。

原因: 指定された値は、INDATASET ((MEMBER1)) などの無効な PDS (partitioned dataset) の形式です。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2042(S) Invalid GDG instance specified : %s

説明: ユーティリティーが世代データグループを処理していて、形式はインスタンスを含んでいます。

原因: 指定された値は、GDG インスタンスの無効な形式です。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2043 (S) OUTDATASET cannot be a GDG base concatenation
%s

説明: ユーティリティが世代データグループを処理していて、形式がベース名 GDG です。

原因: ベース名 GDG は、インスタンスを持たない GDG データセット名のリファレンスです。ベース名 GDG は、世代データグループすべてのインスタンスを入力として連結するよう指定します。ベース名 GDG を出力ファイルとして定義することはできません。入力として読まれるだけです。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2044 (S) Internal error: gdgnum is NULL

説明: ユーティリティが入力の世代データグループを処理しています。

原因: この状態は内部エラーを示しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2045 (S) Internal error: gdgnum is not defined

説明: ユーティリティが入力の世代データグループを処理しています。

原因: この状態は内部エラーを示しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2046 (S) Internal error: gdg base datasetname is NULL

説明: ユーティリティが入力の世代データグループを処理しています。

原因: この状態は内部エラーを示しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2047 (S) Internal error: gdg base datasetname is undefined

説明: ユーティリティが入力の世代データグループを処理しています。

原因: この状態は内部エラーを示しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2048 (S) Internal error: gdg maximum instances is not numeric
%s

説明: ユーティリティが入力の世代データグループを処理しています。

原因: この状態は内部エラーを示しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2049(S) Error allocating %d bytes

説明: ユーティリティーが入力の世代データグループを処理しています。

原因: この状態は内部エラーを示しています。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2050(I) No GDG occurrences found for dataset: %s

説明: ユーティリティーが入力の世代データグループを処理しています。

原因: 現在 GDG のインスタンスは存在していません。

対処: 情報メッセージです。ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2051(S) Internal error: split GDG pathnames returned NULL
Command:%s

説明: ユーティリティーがベース名 GDG を処理しています。

原因: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2060(S) Keywords are mutually exclusive: %s %s

説明: ユーティリティーが入力ファイルと出力ファイルを判定しています。

原因: 指定されたキーワードは相互排他的です。たとえば、定義された INFILE と INDATASET の両方を持つことはできません。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2061(S) Command requires %s or %s

説明: ユーティリティーが入力ファイルと出力ファイルを判定しています。

原因: 必要なパラメータが指定されていません。INFILE あるいは INDATASET の入力パラメータが 1 つ、および OUTFILE あるいは OUTDATASET の出力パラメータが 1 つ必要です。

対処: 正しいパラメータを追加してジョブを再実行します。

MA2062(S) %s keyword cannot be redefined

説明: ユーティリティーは、REUSE あるいは NOREUSE パラメータが定義されているかを判定します。

原因: REUSE または NOREUSE を、REPRO コマンドで複数回定義することはできません。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2063(S) Copy failed:
From file: %s
To file: %s
Command: %s

説明: ユーティリティーは、順編成入力ファイルを順編成出力ファイルにコピーしましたが、ファイルのコピーに失敗しました。

原因: 入力ファイルが存在しないか、あるいはユーザーが出力ファイルへの適切な書き込み権を持たない場合に、このエラーが発生することがあります。

対処: 直前のメッセージを調査し、コピー失敗の原因を突き止めます。問題を訂正してジョブを再実行します。

MA2064(S) REPRO: Copy of VSAM source file to VSAM target file is not supported in the current version
Source file: %s
Target file: %s
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。ソースの VSAM データセットをターゲットの VSAM データセットにコピーすることは、現在のリリースではサポートされていません。

原因: ソースとターゲットのファイルがどちらも VSAM です。

対処: VSAM ソースファイルを順編成ファイルに読み込み解除する中間のステップを追加します。元の REPRO コマンドを変更して、この順編成ファイルをソースファイルとして使用します。

MA2067(S) Internal error: unikixbld %s file not specified
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2068(S) Internal error: unikixbld %s file type not specified
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2069(S) Invalid %s file type: %s
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 無効なファイルタイプが指定されました。

対処: ファイルタイプを訂正し、ジョブを再実行します。

MA2070(S) Internal error: unikixbld source and target are FS
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2071(S) %s %s : Invalid datasetname

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 無効なデータセット名が定義されました。

対処: データファイル名を訂正してジョブを再実行します。

MA2072(S) Internal error: unable to format unikixbld command
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2073(S) Unable to execute unikixbld, errno=%d
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしましたが、コピーに失敗しました。
ソースあるいはターゲットのファイルが VSAM です。

対処: 直前のメッセージを調査しコピー失敗の原因を突き止め、ジョブを再実行します。

MA2075(W) Setting input file type to default: FS
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 入力ファイルタイプは順編成ファイルのデフォルトです。

対処: ありません。このメッセージは警告です。

MA2076(W) Setting output file type to default: FS
Command: %s

説明: ユーティリティーがファイルをコピーしています。

原因: 出力ファイルタイプは順編成ファイルのデフォルトです。

対処: ありません。このメッセージは警告です。

MA2077(S) Internal error: DELETE - command is null

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを処理しています。

原因: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2079(S) DELETE: entryname is required

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを処理しています。

原因: 最低 1 つのエントリ名が必要です。

対処: DELETE コマンドを訂正し、ジョブを再実行します。

MA2080(I) FUNCTION COMPLETED.

説明: ユーティリティーは現在の機能コマンドの処理を完了しました。

MA2081(I) HIGHEST CONDITION CODE WAS %d

説明: ユーティリティーは現在のコマンドの処理を完了しました。

原因: 検出された高レベルの条件コードがメッセージテキストに表示されます。

対処: これは情報メッセージだけです。

MA2082(I) PROCESSING COMPLETE.

説明: ステップは現在のコマンドセットの処理を完了しました。

原因: ジョブステップ内のすべてのコマンドが実行されたときに、メッセージが表示されます。

対処: これは情報メッセージだけです。

MA2083(I) MAXIMUM CONDITION CODE WAS %d

説明: ステップは現在のコマンドの処理を完了しました。

原因: ステップコマンドあるいはコマンドのセットが実行されたときに、メッセージが表示されます。また、1 つ以上の機能コマンドの実行が完了したときに検出された高レベルの条件コードを表示します。

対処: これは情報メッセージだけです。

MA2084(S) Expected left parenthesis missing after keyword %s

説明: ユーティリティーが現在のコマンドからパラメータを抽出しています。

原因: 値を括弧で囲む必要があるパラメータが検出されました。括弧で囲む必要のある値が定義されていません。エラーを含んだコマンドを表示する後続のメッセージを調査します。

対処: コマンドを訂正し、ジョブを再実行します。

MA2085(W) %s %s keyword ignored

Command: %s

説明: ユーティリティーは、メッセージテキストに示されたコマンドとキーボードの組合せをサポートしていません。

原因: キーボードはサポートされていません。多くの場合、指定されたコマンドのキーボードが現在の環境に適さないことがこの原因となります。

MA2086(S) DELETE: Entry not found in File_Map

Dataset: %s

Catalog: %s

File_Map: %s

Command: %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。

原因: エントリ名として指定されたデータセット名をファイル名に割り当てようとしています。データセット名は現在、サブシステム File_Map で定義されていません。

対処: サブシステム File_Map にエントリを追加し、ジョブを再実行します。

MA2087(S) DELETE:NONVSAM was specified %s is VSAM, dataset not deleted

Command: %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。 NONVSAM パラメータが定義されます。

原因: 削除されたデータセットは、VSAM です。

対処: キーワードを変更してジョブを再実行します。

MA2088(S) DELETE: Error removing dataset: %s file %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。

原因: DELETE は順編成ファイルを削除しようとしたましたが、削除に失敗しました。

対処: ジョブ履歴内の削除失敗の原因を示す直前のメッセージを調査します。条件を訂正してジョブを再実行します。

MA2089(I) DELETE: Dataset: %s Catalog: %s DELETED

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。

原因: DELETE は正常にファイルを削除しました。

対処: 情報メッセージです。

MA2091(S) DELETE GDG: must be a sequential file Dataset: %s
Catalog: %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。テキストに表示されたエントリ名は世代データグループです。

原因: 世代データグループは FS (ファイルシステム) のファイルとして定義される必要があります。

対処: FS ファイルとしてファイルを定義し、ジョブを再実行します。

MA2092(S) DELETE GDG: Invalid number of generations defined in
the subsystem File_Map
Dataset: %s Catalog: %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。テキストに表示されたエントリ名は世代データグループです。

原因: File_Map で指定された世代の最大数が範囲外です。

対処: 世代データグループの有効な範囲の情報を『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』で調査します。File_Map を変更してジョブを再実行します。

MA2094(I) Start DELETE

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドの実行を開始します。

対処: 情報メッセージです。

MA2095(I) %s DELETED

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドの実行を開始します。

原因: DELETE コマンドは、メッセージテキストに表示されたエントリを正常に削除しました。

対処: 情報メッセージです。

MA2096(I) DELETE: Dataset: %s Catalog: %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドの実行を開始します。

原因: DELETE コマンドは、指定されたエントリ名およびそれに関連付けられたカタログ名を表示しています。

対処: 情報メッセージです。

MA2097(S) DELETE GDG: Delete failed: %s

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。

原因: DELETE はファイルを削除しようとしたましたが、削除に失敗しました。

対処: ジョブ履歴内の削除失敗の原因を示す直前のメッセージを調査します。条件を訂正してジョブを再実行します。

MA2098(W) DELETE GDG: FORCE was not specified, file exists:
%s

File not deleted

説明: ユーティリティーが DELETE コマンドを実行しています。

原因: DELETE GDG が指定されましたが、GDG ファイルが存在します。

対処: GDG ファイルを削除する必要がある場合、コマンドを変更して FORCE を指定します。

MA2099(W) %s Command not supported

Command: %s

説明: ステップが、サポートされないコマンドやパラメータの実行を指定しました。

原因: コマンドやパラメータオプションの大部分が、現在の環境に適していません。

対処: ありません。

MA2100(S) Syntax error at or near keyword %s

説明: ユーティリティーが現在のコマンドの構文を確認しています。

原因: 指定されたキーワード、あるいはその付近に構文エラーが検出されました。

対処: 後続のメッセージに、構文エラーの発生したコマンドが表示されます。構文エラーを起こしたパラメータを変更し、ジョブを再実行します。

MA2101(S) Could not determine Batch Mode

説明: ユーティリティーがジョブモードを確認しています。

原因: ジョブは、MVS あるいは VSE モードで実行できます。モードが定義されていません。

対処: BEGINJOB 文で mode=MVS 文あるいは mode=VSE 文をコード化し、ジョブを再実行します。

MA2102(S) Invalid Batch Mode: %s

説明: ユーティリティーがジョブモードを確認しています。

原因: ジョブは、MVS あるいは VSE モードで実行できます。無効なモードが定義されました。

対処: BEGINJOB 文で mode=MVS 文あるいは mode=VSE 文をコード化し、ジョブを再実行します。

MA2103(S) Expected right parenthesis missing after keyword %s

説明: ユーティリティーが現在のコマンドからパラメータを抽出しています。

原因: 値を括弧で囲む必要があるパラメータが検出されました。括弧で囲む必要のある値が正しく定義されていません。エラーを含んだコマンドを表示する後続のメッセージを調査します。

対処: 後続のメッセージに、エラーの発生したコマンドが表示されます。このメッセージのテキストにパラメータ名が示されます。構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2104(I) %s CANCELLED DUE TO CONDITION CODE

説明: ジョブは CANCEL モーダルコマンドを検出しました。

原因: VSE モードで実行中のジョブは、ステップあるいはジョブを終了することができます。MVS モードで実行中のジョブは、残りのステップを取り消すことができます。

対処: 情報メッセージです。

MA2105(S) %s positional keyword not defined

説明: ジョブが IDCAMS の DEFINE コマンドを実行しています。

原因: IDCAMS DEFINE に続く最初のパラメータが、定義されていない定位置パラメータです。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2107(S) Invalid syntax: Parameter %s

説明: ユーティリティーが処理されるコマンドの構文を走査しています。

原因: メッセージテキストで指定されたパラメータで構文エラーが検出されました。

対処: 後続のメッセージに、エラーの発生したコマンドが表示されます。構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2108(S) Unable to initialize file: %s

説明: ユーティリティーは、メッセージテキストで指定されたファイルを初期化しようとしたが、失敗しました。

対処: 直前のメッセージに、エラーの発生したコマンドが表示されます。ファイルを初期化できなかった原因を判定します。ファイルが存在しないか、ジョブをサブミットしたユーザーが適切なアクセス権を持っていない可能性があります。問題を訂正してジョブを再実行します。

MA2109(I) File reinitialized: %s

説明: ユーティリティーは、メッセージテキストで指定されたファイルを正常に初期化しました。

対処: 情報メッセージです。

MA2110(S) ' ' Apostrophe imbalance
%s

説明: ユーティリティーがコマンド構文を走査して、構文エラーを検出しました。

対処: 構文エラーを含むコマンドが、メッセージテキストに表示されます。構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2112(S) Reinitialization of file: %s failed

説明: ユーティリティーは、メッセージテキスト内のファイル名を再初期化しようとしたが、再初期化に失敗しました。

対処: 直前のメッセージに、失敗したコマンドが表示されます。その他の前のメッセージに、再初期化失敗の原因が示されます。ジョブを訂正して再実行します。

MA2113(S) System exec failed %d, status %d
%s

説明: 指定されているシステム、戻り値、および `errno` で指定されているシステムフォークが失敗したことを示しています。

対処: システム管理者に戻り値の評価を依頼し、フォークのエラーの原因を確認します。

MA2114(S) System exec failed %d : signal %d
:%s

説明: 指定されているシステム、戻り値、および信号番号で指定されているシステムフォークが失敗したことを示しています。

対処: システム管理者に戻り値の評価を依頼し、フォークのエラーの原因を確認します。

MA2115(S) Unable to retrieve current step name

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2116(S) DD_SYSIN is not assigned

説明: IDCAMS は、DD_SYSIN 変数によって定義されているファイルを基にして実行されるコマンドを識別します。

対処: ファイルで、実行される IDCAMS コマンドを定義します。ASSGNDD マクロを使用して、ddname SYSIN とファイルの名前を関連付けます。ジョブを再実行します。

MA2117(S) Internal error: Current step name is not defined

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2118(S) Running stepname: %s
Length exceeds maximum: %d

説明: 指定したステップ名が、メッセージに示されている最大長を超えています。

対処: 最大長を超えないように、ステップ名の文字数を変更します。

MA2119(S) SYSIN : Invalid syntax, line: %d

説明: ユーティリティーは、指定された行にある SYSIN 入力に、無効な構文を検出しました。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2120(W) Error opening file: %s, errno=%d

説明: 連結プロセス中に、指定されたファイルにアクセスしようとしてエラーが発生しました。この警告は、指定されたファイルが見つからなかったことを警告します。連結プロセスは続行され、UNIX メッセージが表示されます。

対処: 連結プロセスの出力を調査し、出力が期待通りであることを確認します。出力が破損している場合は、アプリケーションのプログラムとデータファイルでエラーを調査します。

MA2121(S) LN_SYSIN is not assigned

説明: ユーティリティは、定義される LN_SYSIN 変数を想定していました。LN_SYSIN 変数は、SYSIN がインストリームデータとして定義されている場合に設定されます。

対処: SYSIN ASSGNDD 割り当てが正しいことを確認します。これで問題を修正できない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2122(S) SYSIN : Invalid syntax

説明: ユーティリティは、SYSIN データに対して無効である構文を検出しました。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2124(W) Parameter ignored: %s

説明: メインフレームのアプリケーションでサポートされている一部のパラメータは、このプラットフォームの実装ではサポートされていません。この警告メッセージは、指定されたパラメータがサポートされていないことを示します。

対処: 現在の環境で、このパラメータの使用を確認してください。必要な場合は、Software AG のご購入先までお問い合わせください。

MA2125(W) %s is undefined

説明: プログラムまたはコマンドが指定されていません。

対処: CMSYNIN 入力为正しく定義されていることを確認し、ジョブを再実行します。

MA2126(S) %s is required

説明: アプリケーションあるいはライブラリ名が必要です。

対処: 入力を訂正してジョブを再実行します。

MA2127(W) Natural Configuration file does not exist : %s

説明: %s 変数で指定されている設定ファイルが存在しません。このオプションファイルには、Natural の実行名を Natural のパラメータ定義にマップする情報が含まれています。

対処: ジョブのステップが想定したパラメータ定義で実行されなかった場合は、設定ファイルが必要であるかどうかを判断するため、Sun MBM 管理者に連絡します。必要である場合は、Natural サブシステムを更新し、Natural パラメータ設定を作成する必要があります。BAM を使用して、Natural サブシステムを作成および更新する方法については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。サブシステムを正しく設定したあとで、ジョブを再実行して、正しく実行されていることを確認します。

MA2128(S) Invalid OBJIN specified: %s

説明: OBJIN パラメータは、parm データ内で、無効な値とともに定義されています。

対処: 値を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2129(W) objin=%s specified, %s is not defined

説明: objin パラメータの値によっては、%s 変数で指定された ddname を定義する必要があります。

対処: objin で指定した値を基に、ASSGNDD マクロを使用して、メッセージテキストで指定した ddname を定義します。

MA2130(W) %s open failed

説明: メッセージのテキストで指定したファイルを開けませんでした。

対処: CMSYNIN あるいは CMOBJIN パラメータが、ASSGNDD マクロ構文で定義されていることを確認します。ジョブを訂正して再実行します。

MA2131(W) Program or command is not defined

説明: この警告メッセージは、プログラムあるいはコマンドが入力で定義されていないことを示します。

対処: このジョブステップがアプリケーションやコマンド名を必要としない場合は、このメッセージを無視できます。

MA2133(S) %s exceeds maximum length

説明: メッセージテキストで指定された入力長が、最大長を超えています。

対処: 入力を訂正してジョブを再実行します。

MA2134(S) PARM data continuation error

説明: PARM データの継続が想定されていました。次の行は、PARM の継続ではありませんでした。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

MA2135(I) %s : %s

説明: このメッセージは、オプションとその値を説明します。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2136(S) File does not exist : %s

説明: Sun MBM は、メッセージテキストで指定された設定ファイルから情報を取得しようとしたますが、ファイルが見つかりませんでした。

対処: このメッセージは、Sun MBM 設定の問題を示します。Sun MBM 管理者に連絡してください。

MA2137(S) Internal error: %s is not defined

説明: メッセージテキストで指定された内部 Sun MBM 変数が必要ですが、定義されていません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2138(S) Concatenation of %s is not supported in the current version.

説明: メッセージテキストで指定された ddname の連結は、このリリースではサポートされていません。

対処: 複数の連結されたファイルを 1 つのファイルにマージします。ジョブを 1 つのファイルに割り当てるように変更し、ジョブを再実行します。

MA2139(S) Internal error: Copy failed

From file: %s

To file: %s

Return status: %d

説明: 一時作業ファイルをコピーする際に、内部エラーが検出されました。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2500 ~ MA2599

MA2501(I) %s DELETED

説明: ステップあるいはジョブの終わりに削除されたファイルを特定する情報メッセージです。

原因: 削除設定されたファイルに適用されます。

MA2502(I) %s SYSOUT

説明: SYSOUT ファイルを特定する情報メッセージです。

MA2503(I) End SYSOUT output for ddname %s

説明: SYSOUT ファイルリストの終わりを特定する情報メッセージです。

原因: SYSOUT ファイルが存在する場合、ジョブの正常終了時に表示されます。

MA2504(I) Start SYSOUT output for ddname %s

説明: SYSOUT ファイルリストの開始を特定する情報メッセージです。

MA2505(I) %s RETAINED

説明: ジョブの終わりに削除されなかったファイルを特定する情報メッセージです。

原因: ファイルが KEEP 設定されています。

MA2506(I) %s PASSED

説明: ステップ間で渡されたファイルを特定する情報メッセージです。

原因: PASS 設定されたファイルに適用されます。

MA2507(I) %s in validation is not DELETED

説明: 検査モードだけで実行されるジョブのために削除されなかったファイルを特定する情報メッセージです。

MA2508(E) Invalid input parameter : %s

説明: マクロ構文解析が無効なオプションを検出しました。

原因: バッチジョブのマクロ文に、無効なキーワードあるいは値があります。

対処: 無効な値を特定して、マクロおよび値の詳細は『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照します。

MA2509(E) Invalid syntax : pgmname is required

説明: EXECPGM マクロ文でパラメータが欠落しています。

原因: pgmname パラメータが検出されませんでした。

対処: pgmname パラメータおよび値が EXECPGM マクロ文に与えられているかを確認します。

MA2510(E) Invalid procedure level

説明: 内部プロセスが、実行されるコードの無効なプロシージャレベルを検出しました。

原因: 内部システムエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2511(I) File %s does not exist

説明: 内部リターンコードファイルが見つかりません。

原因: 内部システムエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2512(I) stepname=%s

説明: 現在のステップ名を特定する情報メッセージです。

原因: 冗長モードオプションがマクロ文に与えられました。

MA2513(I) pgmname=%s

説明: EXECPGM マクロによって実行開始されたプログラムを特定する情報メッセージです。

原因: 冗長モードオプションがマクロ文に与えられました。

MA2514(I) parm=%s

説明: 処理される入力パラメータを特定する情報メッセージです。

原因: 冗長モードオプションがマクロ文に与えられました。

MA2515(I) Lib Path=%s

説明: 現在の COBOL パスを特定する情報メッセージです。

原因: 冗長モードオプションがマクロ文に与えられました。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2516(I) PATH=%s

説明: 現在の \$PATH 設定を特定する情報メッセージです。

原因: 冗長モードオプションがマクロ文に与えられました。

MA2517(I) starting

説明: バッチジョブの始まりを示す情報メッセージです。

原因: バッチジョブが処理を開始します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2518 (E) ERROR rename of assgndd workfile failed: errno=%i

説明: バックアップ用に作業用ファイルをリネームする際の内部ファイルエラーです。

原因: UNIX のシステムエラーです。errno 値を参照します。

対処: ファイルシステムの容量が不足しているか、ファイルのアクセス権あるいは他のローカルシステムに問題がある場合は、システム管理者に連絡します。問題の原因がその他の内部エラーによるもので、システム管理者が問題を訂正できない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2519 (E) ERROR assgndd workfile append failed : file1=%s
file2=%s

説明: 2 つの作業用ファイルを添付する際の内部ファイルエラーです。

原因: UNIX のシステムエラーです。errno 値を参照します。

対処: ファイルシステムの容量が不足しているか、ファイルのアクセス権あるいは他のローカルシステムに問題がある場合は、システム管理者に連絡します。問題の原因がその他の内部エラーによるもので、システム管理者が問題を訂正できない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2521 (I) was executed in VALIDATION mode COND-CODE=%s

説明: ジョブ終了の情報メッセージです。

原因: ジョブが検査モードでサブミットされました。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2522 (I) was executed RETURN-CODE=%s, COND-CODE=%s

説明: ステップ終了の情報メッセージです。特定されたステップの実行中に検出された最終エラー条件を表示します。

MA2523 (I) start at TIME=%s

説明: 実行しているステップの開始時間を表示する情報メッセージです。

原因: ステップが実行開始します。

対処: 情報メッセージです。

MA2524 (I) stop at TIME=%s

説明: 実行しているステップの停止時間を表示する情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2525 (E) ERROR system fork failed %d/%d : %s

説明: 新規のプロセスをフォークしようとする内部システムエラーです。

原因: UNIX の内部エラーあるいは製品の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2526 (E) ERROR system exec failed %d : status %d : %s

説明: 新規のプロセスをフォークしようとする内部システムエラーです。

原因: UNIX の内部エラーあるいは製品の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2527 (E) ERROR system exec failed %d : signal %d : %s

説明: 新規のプロセスをフォークしようとする内部システムエラーです。

原因: UNIX の内部エラーあるいは製品の内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2528 (I) %s

説明: 一般情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2529 (E) ERROR invalid ONCONDPCODE syntax: too many arguments

説明: ONCONDPCODE マクロ文の検査エラーです。

原因: 与えられた引数が多すぎます。

対処: ONCONDPCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2530 (E) ERROR invalid ONCONDPCODE syntax: too few arguments

説明: ONCONDPCODE マクロ文の検査エラーです。

原因: 与えられた引数が少なすぎます。

対処: ONCONDPCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2531 (E) No ONCONDPCODE parameters to evaluate

説明: ONCONDPCODE 内部ファイルは空です。

原因: 内部システムエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2532 (E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: too many arguments

説明: ONRETCODE マクロ文の検査エラーです。

原因: 与えられた引数が多すぎます。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2533 (E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: too few arguments

説明: 新規のプロセスをフォークしようとする内部システムエラーです。

原因: 与えられた引数が少なすぎます。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2534 (E) ERROR invalid ONCONDPCODE syntax

説明: ONCONDPCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: 無効なマクロ構文です。

対処: ONCONDPCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2535 (E) ERROR invalid ONCONDPCODE syntax: scope=STEP, macro not defined in step

説明: ONCONDPCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: ONCONDPCODE マクロ文はステップの適用範囲外にありますが、scope=STEP パラメータを含んでいます。

対処: ONCONDPCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2536 (E) ERROR invalid ONCONDPCODE syntax: scope=%s

説明: ONCONDPCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: ONCONDPCODE マクロの適用範囲オプションが、無効な値を含んでいます。

対処: ONCONDPCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2537(E) ERROR invalid ONCONDCODE syntax: %s

説明: ONCONDCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: ONCONDCODE の不明な構文エラーです。

対処: ONCONDCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2538(E) ERROR invalid DOS/VSE ONCONDCODE syntax

説明: ONCONDCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: DOS/VSE JCL に特有の ONCONDCODE の不明な構文エラーです。

対処: ONCONDCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2539(S) Internal error: file JON_JCOND has invalid data

説明: 無効なデータを含んだ内部の例外割り込みファイルです。

原因: 内部システムエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2540(S) Internal error: empty read on file %s

説明: 内部処理に特定されたファイルが空です。

原因: 内部システムエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2541(E) No ONRETCODE parameters to evaluate

説明: ONRETCODE 内部ファイルは空です。

原因: 内部システムエラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA2542(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax

説明: ONRETCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: 無効なマクロ構文です。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2543(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: scope=STEP, macro not defined in step

説明: ONRETCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: ONRETCODE マクロ文はステップの適用範囲外にありますが、scope=STEP パラメータを含んでいます。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2544(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: scope=%s

説明: ONRETCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: ONRETCODE マクロの適用範囲オプションが、無効な値を含んでいます。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2545(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: %s

説明: ONRETCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: ONRETCODE の不明な構文エラーです。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2546(E) ERROR invalid DOS/VSE ONRETCODE syntax

説明: ONRETCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: DOS/VSE JCL に特有の ONRETCODE の不明な構文エラーです。

対処: ONRETCODE マクロの詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA2547(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: value must be integer : %s

説明: ONRETCODE マクロ文の解析エラーです。

原因: 数値が必要な場所で、数値でない値が検出されました。

対処: ONRETCODE マクロの詳細を『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』で参照し、数値でない値を数字に置き換えます。

MA2548(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: invalid or missing ACTION

説明: ONRETCODE マクロ文の解析中に、アクションが検出されませんでした。

原因: 不完全な ONRETCODE マクロ文です。

対処: ONRETCODE マクロの詳細を『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェアリファレンスマニュアル』で参照し、GOTO あるいは BYPASS などの正しいアクションを含めます。

MA2549(E) ERROR invalid ONRETCODE syntax: invalid or missing LABEL

説明: ONRETCODE マクロ文で、GOTO のターゲットラベルが検出されませんでした。

原因: 不完全な ONRETCODE マクロ文です。

対処: ONRETCODE マクロの詳細を『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェアリファレンスマニュアル』で参照し、正しいターゲットラベルを含めます。

MA2550(E) ERROR invalid syntax: label name is required

説明: GOTO のターゲットラベルが検出されません、あるいは見つかりませんでした。

原因: ONRETCODE で指定されたラベルが見つかりませんでした。

対処: 正しいラベル名が与えられているかを確認します。

MA2551(E) ERROR invalid syntax: label or stepname is required

説明: ONRETCODE マクロ文に、ラベルあるいはステップが必要です。

原因: ONRETCODE マクロ文でのラベルあるいはステップが欠落しているかあるいは不正確です。

対処: ONRETCODE マクロの詳細を『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェアリファレンスマニュアル』で参照し、与えられたラベル名やステップ名が正確かを確認します。

MA2557(I) Job submitted in RESTART mode : %s

説明: ジョブが、指定した *stepname[.proc-stepname]* で再開されました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2558(I) User utility found in validation mode : %s

説明: このメッセージは、検証モードでジョブの実行中に、指定したユーザーユーティリティが見つかったことをジョブサブミッタに通知します。

対処: アクションは必要ありません。

MA2559(I) User utility not found in validation mode : %s

説明: このメッセージは、検証モードでジョブの実行中に、指定したユーザーユーティリティが見つからなかったことをジョブサブミッタに通知します。

対処: ユーティリティの場所を確認し、標準モードでジョブを実行する前に、ディレクトリが PATH 変数にあることを確認してください。

MA2560(S) Invalid arguments to ebmcat. Should be: ebmcat
<option> <file(s)>

説明: ebmcat 機能の使用には、オプションパラメータとファイル名、またはお互いに連結されたファイル名が必要です。

対処: ebmcat 機能は、内部 Sun MBM 機能です。このため、このメッセージを受信した場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2561(S) Invalid option to ebmcat. Should be checkfiles or
catfiles

説明: ebmcat 機能に有効なオプションは、checkfiles あるいは catfiles のみです。

対処: ebmcat 機能は、内部 Sun MBM 機能です。このため、このメッセージを受信した場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2562(S) Error opening file %s. errno=%d

説明: 指定したファイルを開こうとしましたが、fopen 機能でエラーが返されました。fopen エラーは、errno の値です。

対処: errno は、fopen エラーを識別します。システムテーブルで errno を探し、fopen 機能が失敗した理由を特定し、修正操作を実行します。

MA2563(S) File %s does not have read permissions

説明: 指定したファイルは、今後の I/O ファイルに必要な読み取り権限を持っていません。

対処: 適切な権限が所有者、グループ、その他のレベルで、必要に応じてファイルに割り当てられていることを確認します。

MA2564(S) ERROR %s exceeds the internal limit of %d characters

説明: このエラーは、環境変数を含む文字列が拡張され、拡張された文字列が内部バッファのサイズを越えた場合に発生します。%s 変数は、サイズ制限を越えた内部文字列ポインタ名です。%d 変数は、最大文字列サイズです。

対処: この情報は、ご購入先に連絡してください。

MA2565(I) Reblock completed Input: %s
MA2566(I) Output: %s

説明: これらのメッセージは合わせて表示され、Sun MBM が再ブロックプロセスを完了したことを示します。入力および出力ファイルの名前が表示されます。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MA2567(S) No equal sign found in envp entry %s

説明: このメッセージは、`SYSUTn` に対する不適切なエントリがシステム環境リストで見つかった場合に生成されます。正しい形式は、`SYSUTn=xxxx` です。これは、環境の一時的な状況である可能性があります。

対処: ジョブを再実行してみてください。エラーが解決できない場合は、`pre_exec_pgm` ユーティリティを使用して、現在の環境 (`env|sort`) を表示し、`SYSUTn` 変数が正しい形式であることを確認してください。問題が解消できない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA2568(S) Error accessing file: %s, errno=%d

説明: 指定したファイルで I/O を実行しようとした時に、システムエラーが発生しました。操作は、特に識別されません。エラーメッセージで、`%s` は、操作が実行されたファイルの名前です。コロンで区切られた連結ファイル名のリストとなる場合もあります。

対処: メッセージにある `errno` 値を `errno.h` インクルードファイルにあるエラーのリストにマップすることで、発生した UNIX エラーのタイプを判断します。たとえば、`errno=2` は、「File not found.」にマップします。これは、メッセージで名前の付いているファイルが、開くまたは開始操作で見つからなかった可能性を示します。連結ファイルリストの場合は、エラー状態に関して各ファイルを評価し、エラーの原因となったファイルを特定します。ファイルが存在していることを確認し、ジョブを再実行します。

MA3000 ~ MA3099

MA3001(S) procedure name is required.

説明: 実行するマクロにプロシージャー名が必要です。

原因: プロシージャー名がマクロに渡されませんでした。

対処: `procname=yourprocname` を `EXECPROC` あるいは `BEGINPROC` に追加します。

MA3002(S) Invalid parameter specified : %s

説明: マクロへのパラメータが無効です。

原因: 無効なパラメータがマクロに渡されました。

対処: 正しいパラメータをマクロに渡します。

MA3003(I) default parameter values:

説明: デフォルトのパラメータ値を一覧表示する情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3004(I) %s

説明: 個別のパラメータです。

MA3005(W) parameters overridden:

説明: 優先されたパラメータのリストです。

MA3006(I) %s start at TIME=%s

説明: マクロの開始時間です。

MA3007(I) Exiting Procedure

説明: プロシーチャーの終了を示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3008(I) type=%s is reset to system default

説明: ライブラリタイプがシステムのデフォルトにリセットされたことを示す情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3009(S) ERROR accessing temporary directory, errno=%d

説明: /tmp ディレクトリを開く際のエラーです。

原因: /tmp ディレクトリが存在しません。あるいは、開くためのアクセス権がありません。

対処: /tmp を作成するか、/tmp の読み取り/書き込み権を追加します。

MA3010(S) ERROR deleting temporary file %s, errno=%d

説明: 名前付きファイルを削除する際のエラーです。

原因: ファイルが欠落しているか、削除するためのアクセス権が不十分です。

対処: ファイルを作成するか、ファイルの読み取り/書き込み権を追加します。

MA3011(S) Could not determine Batch Mode

説明: バッチモードを判定できませんでした。

原因: BATCH_MODE 環境変数が設定されていません。

対処: BEGINJOB マクロでこの環境変数を設定します。

MA3012(S) Could not determine Batch Mode (invalid setting for \$BATCH_MODE) .

説明: \$BATCH_MODE 環境変数が無効なモードに設定されました。

原因: \$BATCH_MODE が VSE あるいは MVS に設定されていません。

対処: MODE= をバッチジョブの VSE あるいは MVS に設定します。

MA3013(I) Report routed to %s

説明: 指定されたファイルにレポートが配信されたことを示す情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3014(I) Files to be printed:

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

説明: 出力されるファイルのリストです。

MA3015(I) OW: No sysout files to process

説明: 処理するファイルがありません。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3016(I) No files to be printed

説明: 出力するファイルがありません。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3017(W) WARNING scope defaults to: JOB

説明: ライブラリ定義の適用範囲がデフォルトの JOB になりました。

原因: LIBDEF が scope= を付けずに呼び出されました。

MA3018(S) ERROR invalid syntax: type=CAT requires the catalog option

説明: LIBDEF が、カタログオプションを必要とする type=CAT を付けて呼び出されました。

原因: LIBDEF は type=CAT パラメータを持っていますが、cat= あるいは catalog= パラメータがありません。

対処: LIBDEF の呼び出しに cat= あるいは catalog= パラメータを追加します。

MA3019(S) ERROR invalid syntax: type=%s requires lib or dataset option

説明: 構文が無効です。ライブラリあるいはデータセットの設定が必要です。

原因: type= が「pgm、proc」、pgm、または proc に設定されています。また、lib あるいは dataset が設定されていません。

対処: lib=、library=、dsn=、dataset=、または datasetname= を LIBDEF の呼び出しに追加します。

MA3020(S) ERROR unable to retrieve filename from File_Map for dataset=%s

説明: File_Map 内のファイル名を検索する際のエラーです。

原因: エントリが File_Map から欠落しているか、あるいはエントリを開くことができません。

対処: 検査モードのジョブを変換して、File_Map にエントリを作成します。

MA3021(S) ERROR invalid syntax: type is required

説明: 無効な構文です。

原因: LIBDEF が type= パラメータを付けずに呼び出されました。

対処: LIBDEF の呼び出しに type= パラメータを追加します。

MA3022(W) WARNING the concatenate option is not supported for type=CAT in the current version

説明: type=CAT で連結オプションはサポートされていません。

原因: concat= あるいは concatenate= オプションを付けた type=CAT はサポートされていません。

対処: concat= および concatenate= オプションを省くか、あるいは type= を変更します。

MA3023 (I) scope=%s type=%s

説明: 冗長モードで実行しているときに有効範囲とタイプを表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3024 (I) in validation mode is not executed

説明: 検査モードで変換しているときに、実行がスキップされたことを示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3025 (I) DATE=%s

説明: 日付を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3026 (S) Invalid date specified: %s

説明: 日付が無効です。

原因: SETDATE マクロで無効な日付が指定されました。

対処: value= を MM/DD/YYYY 形式の有効な日付に設定します。

MA3027 (W) usage : value=MM/DD/YYYY

説明: SETDATE の使用法を示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3030 (S) invalid syntax: values must be 0,1 or X

説明: 無効な構文です。

原因: value= が 0、1 または X ではありません。

対処: value= オプションを 0、1 または X に設定します。

MA3031 (I) value=%s

説明: 冗長モードの value= を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3032 (I) %s starts with :

説明: IDCAMS デバッグモード時にサポートされないユーティリティーへの引数を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3033(W) '%s' Command not supported in the current version

説明: 指定された IDCAMS コマンドは、現在のバージョンの Sun MBM ではサポートされていません。

MA3034(I) IDCAMS : start %s

説明: IDCAMS ユーティリティーの開始を表示します

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3035(I) IDCAMS : end %s

説明: IDCAMS ユーティリティーの終了を表示します

MA3036(I) %s : no action

説明: このユーティリティーが何も行わないことを示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3037(S) GDGEN : started incorrectly

説明: gdgen が不正確に開始されました。

原因: 引数の数が不正確か、あるいは生成オプションが数字ではありません。

対処: 4 つのパラメータを指定するか、あるいは生成オプションを数字にする必要があります。

MA3038(I) GDGEN : %s DELETED

説明: gdgen によって取られたアクションを表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3039(I) GDG %s CATALOGUED

説明: gdgen によって取られたアクションを表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3040(I) -----

説明: 区切り文字を表示します。

MA3041(I) IEBCOPY (W) Utility is not fully supported

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3042(I) Supported:

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3043(I) .COPY of SYSUT1 to SYSUT2

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3044(I) .COPY INDD=..OUTDD=.. control statements defined in
SYSIN

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3045(I) Copy of an input PDS to an output sequential file is
not supported.

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3046(I) EXCLUDE and SELECT options of COPY function are not
supported.

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3047(I) All other IEBCOPY functions are not supported in the
current version.

説明: IEBCOPY でサポートされている機能を表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3048(S) ERROR: SYSUT1 or SYSUT2 not defined, SYSIN is
required

説明: SYSUT1 あるいは SYSUT2 が定義されていない場合、SYSIN が必要です。

対処: SYSIN データセットを作成するか、あるいは SYSUT1 と SYSUT2 の両方を
定義します。

MA3049(S) ERROR: %s - Unable to determine filename or type

説明: ファイル名あるいはファイルタイプを判定できません。

原因: SYSUT2 のデータセット名が定義されていません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA3050(S) Serious error: environment variable FILEMAP not initialized

説明: FILEMAP 環境変数が設定されていません。

原因: Sun MBM 環境が正しく初期化されませんでした。

対処: \$SETUP を使用するか、\$FILEMAP が \$SETUP で設定されていることを確認します。

MA3051(S) Invalid column number (should be <= 6 and > 0): col='%d'

説明: ftval の列番号は 1 ~ 6 です。

原因: ftval の無効な呼び出しです。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA3052(S) Error: data set %s not found in catalog %s

説明: データセットが File_Map から欠落しています。

対処: 検査モードのジョブを変換して、File_Map にエントリを作成します。

MA3053(S) Error opening the File_Map

説明: File_Map を開くことができません。

原因: File_Map が欠落しているか、アクセス権が不十分です。

対処: File_Map を作成するか、読み取り/書き込み権を追加します。

MA3054(S) Path not found

説明: データセットが File_Map から欠落しています。

対処: 検査モードのジョブを変換して、File_Map にエントリを作成します。

MA3055(S) ERROR: %s - Unable to determine filename or type

説明: ファイル名あるいはファイルタイプを判定できません。

原因: DSN_SYSUT2 あるいは DSN_SYSUT1 が設定されていません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA3056(S) ERROR: \$JOB_CAT not set

説明: \$JOB_CAT が設定されていません。

原因: LIBDEF は JOB_CAT 環境変数を設定していません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA3057(S) ERROR: procname is required

説明: EXECPROC 呼び出しには procname が必要です。

原因: EXECPROC 呼び出しから procname= が欠落しています。

対処: procname= オプションを EXECPROC に追加します。

MA3058(I) Procedure search path is:

説明: 冗長モードのプロシージャ検索パスを表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3059(S) Procedure %s not found

説明: プロシージャ検索パスにプロシージャが見つかりません。

原因: プロシージャが存在しないか、あるいはプロシージャ検索パスにありません。

対処: -f オプションを使ってプロシージャを変換するか、あるいはプロシージャ検索パスにパスを追加します。

MA3060(I) Procedure %s found in %s

説明: 冗長モードあるいは検査モードでプロシージャが見つからなかったというメッセージを表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3061(I) %s stop at TIME=%s

説明: マクロの停止時間を表示します。

MA3062(S) ERROR: SYSUT1 file type must be FS

説明: SYSUT1 ファイルタイプは FS である必要があります。

原因: SYSUT1 が見つからないか、タイプが FS ではありません。

対処: 検査モードに変換します。

MA3063(I) Command executed successfully: '%s'

説明: 指定されたコマンドが正常に実行されたことを示す情報メッセージです。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3064(S) Failed to open LN_SYSIN (%s)

説明: LN_SYSIN を開けませんでした。

原因: LN_SYSIN で指定されたファイルを開けませんでした。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA3065(S) function not supported in the current version:

説明: このバージョンでサポートされない機能です。

原因: IEBCOPY は現在のところ制限されたサポートだけです。

MA3066(S) unsuccessful: invalid syntax

説明: IEBCOPY の無効な構文

原因: IEBCOPY アクションが無効です。

MA3067(S) INDD syntax not supported in the current version:

説明: INDD はサポートされていません。

原因: INDD 構文を使用しようとしてしました。

対処: INDD コードを削除します。

MA3068(S) Keyword: %s not supported in the current version:

説明: キーワードは、このバージョンでサポートされていません。

原因: サポートされていないキーワードを使用しようとしてしました。

対処: そのキーワードを使用した行を削除します。

MA3069(S) command unsuccessful: COPY function requires INDD and OUTDD

説明: COPY 関数は INDD および OUTDD を必要とします。

原因: INDD および OUTDD が、定義されていません。

対処: IEBCOPY 呼び出しで INDD および OUTDD の両方を定義します。

MA3070(S) command unsuccessful

説明: コマンドが正常に実行されません。

原因: INDD および OUTDD が、定義されていません。

対処: IEBCOPY 呼び出しで INDD および OUTDD の両方を定義します。

MA3071(I) outfile : %s
infile(s):%s

説明: 冗長モードで、入力および出力ファイルを表示します。

対処: 情報メッセージです。

MA3072(I) GDGEN : %s NOT OPENED DELETED

説明: 入力ファイルが存在しません。

対処: ご購入先に連絡してください。

MA3073(S) Copy of a PDS to a sequential file is not supported
in the current version.

説明: 区分化されたデータセット (PDS) の順編成ファイルへのコピーはサポートされていません。PDS は他の PDS ファイルにだけコピーできます。

対処: PDS を他の PDS ファイルにコピーします。

MA3074(W) %s/%s exists, copy not performed.

説明: 出力先ファイルはすでに存在しているため、コピーは実行されません。

MA3075(I) command is:
%s

説明: 冗長モードでコマンドを表示します。

対処: ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3091(S) ERROR Cannot execute a procedure recursively

説明: このメッセージは、EXECPROC が自身を呼び出そうとした場合に表示されます。

対処: 実行されるプロシージャが、再帰的に実行されていないことを確認してください。プロシージャが正しく記述されていない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA3092(S) Invalid Syntax %s

説明: IF マクロの構文は不正です。

対処: IF マクロの正しい構文については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA3093(S) invalid syntax: cannot perform numeric comparison on non-numeric values

説明: IF 構文は不正です。数字演算子を使用して、文字列および数字オペランドを比較しようとしています。

対処: IF マクロの正しい構文については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

MA3094(S) caught exit status=%d.

説明: THEN 構文によって呼び出されたプログラムが異常終了しました。信号によって中断されました。%d 変数は、中断を示す数値を表示します。

対処: 異常終了したプログラムに関する情報を含む他のメッセージについて、履歴ファイルを確認してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA3095(S) terminated exit status=%d.

説明: THEN 構文によって呼び出されたプログラムが異常終了しました。%d 変数は、終了状態を示す数値を表示します。

対処: 異常終了したプログラムに関する情報を含む他のメッセージについて、履歴ファイルを確認してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA3096(S) error executing %s errno=%d.

説明: THEN 構文によって呼び出されたプログラムを実行する場合に発生するエラーです。%s 変数は、プログラム名を含む文字列を表示し、変%d 数は、UNIX エラー番号を表示します。

対処: 実行できなかったプログラムに関する情報を含む他のメッセージについて、履歴ファイルを確認してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

MA3097(I) IF/THEN in validation mode, no action taken.

説明: IF/THEN は検証モードで実行中です。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MA3098(S) Unable to determine COBOL type.A COBOL subsystem is required.

説明: Sun MBM は、このジョブを実行しているサブシステムで、有効な COBOL ランタイムを確認できませんでした。

対処: BAM アプリケーション言語メニューから、有効な COBOL 製品のいずれかを選択して、サブシステムを再構築するか、新しいサブシステムを構築します。

IF マクロメッセージ

Invalid syntax

説明: IF マクロの構文は無効です。

対処: 構文を訂正し、ジョブを再実行します。

IF *condition* [*logical-operator condition*]

説明: 情報メッセージです。冗長モードで実行しているときに表示されます。

invalid syntax: cannot perform numeric comparison on nonnumeric values

説明: 数値の比較演算子 (GT、LT、GE、LE) を使用する場合、テストされる値の両方に数字を使用する必要があります。

対処: 数値でない値をテストする場合、有効な比較演算子は EQ (equal) と NE (not equal) です。構文を訂正し、ジョブを再実行します。

SORT マクロメッセージ

PGM=<sort programname> in validation mode is not executed

説明: sort プログラムが検査モードで機能していて、ソートを実行しないことが示されます。

対処: 情報メッセージです。

<\$DD_SYSIN> does not exist

説明: ジョブの ASSGNDD マクロから設定された DD_SYSIN 環境変数で指定されているファイル名は、見つかりませんでした。

対処: バッチジョブで指定された DD_SYSIN ファイルが正確で、存在することを確認します。

DD_SYSIN not defined

説明: 環境変数 DD_SYSIN は設定されていません。

対処: 実行中のジョブで、SYSIN ファイルに対する ASSGNDD がステップに含まれていることを確認します。

```
<$DD_SYSIN> is empty
```

説明: 示された SYSIN ファイルは空です。

対処: 指定されたファイルに SORT SYSIN 文が含まれていることを確認します。インストリームデータの場合は、ジョブのインストリーム文が適切に指定されていることを確認します。

```
Invalid UNIX data in SyncSort sysin
```

説明: UNIX シェルは、SyncSort に送られる SYSIN データの中に、無効な文字データ (括弧など) を検出しました。

対処: SYSIN データ内の引用符などの特殊な文字は、UNIX シェルによって SyncSort に渡されるように、必ずバックスラッシュ (\) でエスケープします。

```
ERROR: Input file VSAM type not supported in <$SORT_MODE>
```

説明: 指定されたソートモードは VSAM 入力ファイルをサポートしません。

対処: 入力/出力ファイルのためにソートモードを選択することについては、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

```
ERROR: Output file VSAM type not supported in <$SORT_MODE>
```

説明: 指定されたソートモードは VSAM 出力ファイルをサポートしません。

対処: 入力/出力ファイルのためにソートモードを選択することについては、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

```
Invalid SORT_MODE option <$SORT_MODE>
```

説明: 指定されたソートモードは無効です。

対処: 有効なソートモードについては、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

THEN マクロメッセージ

```
in validation mode, no action taken
```

説明: マクロは検査モードで実行中です。

対処: 情報メッセージです。

an IF condition is not defined

説明: THEN マクロを使用するときには、IF 条件を含める必要があります。

対処: IF 条件を追加してジョブを再実行します。

第13章

MV系メッセージ

MV系メッセージは、mvstrans トランスレータに関連しています。

MV0001 ~ MV0099

MV0001(W) Line=#%3.3d. Statement %s unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行に、今回のリリースでサポートされていない文、%s を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0002(S) Instream JOB statement not supported.

説明: mvstrans が、インストリーム JOB 文で見つかりましたが、これは今回のリリースでサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0003(S) Instream PROC statement not supported.

説明: mvstrans が、インストリーム PROC 文で見つかりましたが、これは今回のリリースでサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0004(W) Line=#%3.3d. Unable to represent %s statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイル %3.3d 行の指定された文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0005(W) Line=#%3.3d. Unable to represent %s statement named %s.

説明: mvstrans は、JCL ファイル %3.3d 行の %s という名前の %s 文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0006(W) Line=#%3.3d. Unable to represent OUTPUT statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイル %3.3d 行の OUTPUT 文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0007(W) Line=#%3.3d. Unable to represent JES2 OUTPUT statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイル %3.3d 行の JES2 OUTPUT 文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0008(W) Line=#%3.3d. EXEC statement keyword operand [%s] will be converted to [%s].

説明: mvstrans は、%3.3d 行の EXEC 文で検出したキーワードオペランド %s を %s に変換します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0009(W) Line=#%3.3d. EXEC statement keyword operand [%s] converted to [%s].

説明: mvstrans は、%3.3d 行の EXEC 文で検出したキーワードオペランド %s を %s に変換しました。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0010(W) Line=#%3.3d. %-8.8s DD statement unsupported in this version of mvstrans. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が DD 文、%-8.8s を見つけましたが、これは今回のリリースでサポートされません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0011(W) Line=#%3.3d. %-8.8s DD statement located in a procedure. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、プロシーチャー内で指定された DD 文を検出しました。これは、mvstrans ではサポートされません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0012(E) Line=#%3.3d. Invalid format of DD%s statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式である DD 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0013(E) Line=#%3.3d. Invalid format of JES2 OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式である JES2 OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0014(W) Line=#%3.3d. JES2 OUTPUT statement with repeated code value %s. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイル %3.3d 行で、繰り返されるコード値を含む JES2 OUTPUT 文を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0015(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in JES2 OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行にコードパラメータで無効な形式である JES2 OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0016(W) Line=#%3.3d. JES2 OUTPUT statement is a continuation of a repeated code value. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行にすでに定義されている値を持つ JES2 OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0017(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in JES2 OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行にコードパラメータで無効な形式である JES2 OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0018(E) Line=#%3.3d. Invalid format of ROUTE PRINT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式である JES2 ROUTE PRINT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0019(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in ROUTE PRINT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行にコードパラメータで無効な形式である JES2 ROUTE PRINT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0020(W) Line=#%3.3d. ROUTE PRINT statement is a continuation of a repeated code value. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行にすでに定義されている値を持つ JES2 ROUTE PRINT 文が含まれていることを検出したため、これを無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0021(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in ROUTE PRINT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行にコードパラメータで無効な形式である JES2 ROUTE PRINT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0022(E) Line=#%3.3d. Invalid format of OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式である OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0023(E) Line=#%3.3d. Invalid format of OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式である OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0024(S) mvstransi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0025(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0026(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0027(S) transi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0028(E) Line=##%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。 %s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0029(S) transi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0030(E) Line=##%3.3d. Invalid format of IF statement.
Statement ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式を持つ IF 文が含まれていることを検出しました。 mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0031(E) Line=##%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] of %s statement.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行で、 %s 文の %s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0032(E) Line=##%3.3d. Unexpected group element type at parameter %d, subparameter %d of %s statement.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の %s 文の %d パラメータ、 %d サブパラメータに、所定外のグループ要素タイプを検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0033(E) Line=##%3.3d. Unexpected group element type at parameter %d, subparameter %d of %s statement.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の %s 文の %d パラメータ、 %d サブパラメータに、所定外のグループ要素タイプを検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0034 (W) Line=#%3.3d. Positional operand [DYNAM] of DD statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DYNAM 定位置オペランドを持つ DD 文を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0035 (E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0036 (W) Line=#%3.3d. DUMMY DD statement omitted from concatenated dataset labelled %s.

説明: DUMMY DD 文は、%s データセットに含まれませんでした。処理は停止します。

対処: DUMMY DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0037 (E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0038 (W) Line=#%3.3d. NULLFILE DD statement omitted from concatenated %s library.

説明: NULLFILE DD 文は、%s データセットに含まれませんでした。処理は停止します。

対処: NULLFILE DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0039 (W) Line=#%3.3d. NULLFILE DD statement omitted from concatenated dataset %s.

説明: NULLFILE DD 文は、%s データセットに含まれませんでした。処理は停止します。

対処: NULLFILE DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0040(W) Line=#%3.3d. DD statement omitted from concatenated library labelled %s.

説明: DD 文は、%3.3d 行の %s データセット用に含まれませんでした。処理は停止します。

対処: DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0041(W) Line=#%3.3d. %-8.8s DD statement located in a procedure. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、プロシージャ内で指定された DD 文を検出しました。これは、mvstrans ではサポートされません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0042(W) Line=#%3.3d. DD statement omitted from concatenated dataset labelled %s.

説明: DD 文は、%3.3d 行の %s データセット用に含まれませんでした。処理は停止します。

対処: DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0043(W) Line=#%3.3d. DD statement indicating a concatenated dataset occurs out of context.

説明: 連結データセットが、%3.3d 行の DD 文のコンテキストに合っていません。処理は停止します。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0044(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0045(W) Line=#%3.3d. Dataset defined by DDNAME [%s] is not fully supported in this version of mvstrans.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の %s DDNAME で定義されたデータセットは、今回のリリースで完全にはサポートされません。mvstrans は、このデータセットを無視します。

対処: %3.3d 行の構文を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0046 (E) Line=##3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0047 (W) Line=##3.3d. Unexpected operand type [%s] at parameter %d of %s statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定した文の %d パラメータに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0048 (W) Line=##3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0049 (W) Line=##3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0050 (W) Line=##3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0051 (W) Line=##3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s(%s)] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0052(W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0053(W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [*] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する * の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0054(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0055(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0056(I) Line=#%3.3d. JOB statement keyword [MSGCLASS] will have asterisk value converted to plus sign(+).

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行で見つかったアスタリスクをプラス記号に変換します。このメッセージは、変換された出力が生成されない場合に、検査モード (-v オプション) で mvstrans によって表示されます。アスタリスクは、実行時に、mvstrans トランスレータによってプラス符号に変換されます。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0057(I) Line=##3.3d. JOB statement keyword [MSGCLASS] has asterisk value converted to plus sign(+).

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行で見つかったアスタリスクをプラス記号に変換しました。このメッセージは、変換された出力が生成されない場合に、検査モード (-v オプション) で mvstrans によって表示されます。アスタリスクは、実行時に、mvstrans トランスレータによってプラス符号に変換されます。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0058(W) Line=##3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0059(W) Line=##3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0060(W) Line=##3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0061(W) Line=##3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0062(W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0063(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0064(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JOB statement. Operand ignored

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0065(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of PROC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、PROC 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0066(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of SET statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、SET 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0067(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0068(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0069(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0070(W) Line=#%3.3d. Unexpected JCLLIB statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0071(W) Line=#%3.3d. Unexpected JCLLIB statement positional operand [*] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランド (*) を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0072(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JCLLIB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0073(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JCLLIB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0074(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JCLLIB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0075(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0076(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0077(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0078(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0079(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0080(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0081(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0082(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0083(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0084(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0085(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0086(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対するキーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0087(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0088(W) Line=#%3.3d. Procedure step overrides unsupported in this version of mvstrans. [%s] operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、今回のリリースでサポートされていないプロシージャステップ上書きを検出しました。mvstrans は、この上書きを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0089(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0090(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0091(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement subparameter operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外のサブパラメータオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0092 (W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement subparameter operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外のサブパラメータオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0093 (W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [PARM] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する PARM キーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0094 (W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [COND] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する COND キーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0095 (W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0096 (W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0097(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement operand for parameter %d, subparameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外のサブパラメータ %d のオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0098(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement operand for parameter %d, subparameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外のサブパラメータ %d のオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0099(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement operand for parameter %d, subparameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する所定外のサブパラメータ %d のオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0100 ~ MV0199

MV0100(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [PARM] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する PARM キーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0101(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [COND] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文のパラメータ %d に対する COND キーワードの所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0102(W) Line=#%3.3d. Unexpected JES2 OUTPUT statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 OUTPUT 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0103(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JES2 OUTPUT statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 OUTPUT 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0104(W) Line=#%3.3d. Unexpected OUTPUT statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、OUTPUT 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0105(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of OUTPUT statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で OUTPUT 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0106(W) Line=#%3.3d. Unexpected JES2 JOBPARM statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 JOBPARM 文のパラメータ %d に対する所定外の定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0107(W) Line=#%3.3d. JOB statement keyword [%s] value overrides equivalent JOBPARM statement value.

説明: mvstrans は、JOBPARM 文の値の代わりに、%3.3d 行の JOB 文の %s キーワードの値を使用します。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0108(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JES2 JOBPARM statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 JOBPARM 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0109(W) Line=#%3.3d. Internal reader INTRDR on SYSOUT writer subparameter not supported.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された文は、Sun MBM 環境で適用もサポートもされないのので、mvstrans トランスレータは無視します。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0110(W) Line=#%3.3d. DD statement keyword [%s] has literal value(s) enclosed in square brackets([]).

説明: %3.3d 行の DD 文のキーワード %s は角括弧に入っているのので、mvstrans トランスレータには認識されません。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0111(W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of DD statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定されたキーワードオペランドに所定外のグループ値割り当てを持つ、DD 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0112(E) Line=#%3.3d. DD statement operand [OUTPUT] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文の OUTPUT オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0113(E) Line=#%3.3d. JCLLIB statement operand [ORDER] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文の ORDER オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0114(W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of JCLLIB statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定されたキーワードオペランドに所定外のグループ値割り当てを持つ、JCLLIB 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0115(E) Line=#%3.3d. JCLLIB statement operand [ORDER] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文の ORDER オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0116(W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for open disposition of dataset. Default NEW assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、NEW を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0117(W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for normal disposition of dataset. Default DELETE assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、DELETE を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0118(W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for normal disposition of dataset. Default KEEP assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、KEEP を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0119(W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for abnormal disposition of dataset. Default DELETE assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、DELETE を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0120 (W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for abnormal disposition of dataset. Default KEEP assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、KEEP を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0121 (W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter value for dataset DISP operand. Defaults assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、システムデフォルトを使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0122 (W) Line=#%3.3d. DSN parameter ignored for instream DD dataset.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行で、DSN パラメータを無視します。これは、Sun MBM 環境のインストリーム DD データセットでサポートされていないためです。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0123 (W) Line=#%3.3d. DSN parameter ignored for DD SYSOUT dataset.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行で、DSN パラメータを無視します。これは、Sun MBM 環境の DD SYSOUT データセットでサポートされていないためです。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0124 (W) Line=#%3.3d. Dataset name %s converted to %s.

説明: Sun MBM での実行のために、mvstrans トランスレータは %s データセット名を %s に変更しました。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、ライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0125 (E) Backward references (type='BACKREF') not supported in this version

説明: 検査モードで実行するとき、逆方向参照が検出されると、エラーメッセージが表示されます。検査モードでない場合、逆方向参照は重大なエラーとして表示されます。

対処: type='BACKREF' を削除して、ジョブを再実行します。

MV0126(S) Backward references (type='BACKREF') not supported in this version

説明: 検査モードで実行するとき、逆方向参照が検出されると、エラーメッセージが表示されます。検査モードでない場合、逆方向参照は重大なエラーとして表示されます。

対処: type='BACKREF' を削除して、ジョブを再実行します。

MV0127(W) Line=##%3.3d. Dataset %s interpreted as a GDG instance from field six [%s] of File_Map entry.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。現在の JCL ファイルの %3.3d 行で検出された %s データセットは、File_Map の 6 つめのフィールド %s で確認されるように GDG インスタンスとして解釈されることを示します。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、GDG が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0128(E) Line=##%3.3d. Dataset %s interpreted as a PDS member from field six [%s] of File_Map entry.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。現在の JCL ファイルの %3.3d 行のデータセット %s が、File_Map の 6 つめのフィールド %s を基にした PDS メンバーとして変換されたときに、このメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットが Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0129(W) Line=##%3.3d. Dataset %s interpreted as a GDG instance from field six [%s] of File_Map entry.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。現在の JCL ファイルの %3.3d 行で検出された %s データセットは、File_Map の 6 つめのフィールド %s で確認されるように GDG インスタンスとして解釈されることを示します。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、GDG が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0130(I) Line=##%3.3d. Failed to locate file type in File_Map for library %s of ddname %s.
File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行するなどにより、File_Map に指定されたエントリを追加します。

MV0131(I) Line=#%3.3d. Failed to locate file type in File_Map for dataset %s of ddname %s.

File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行するなどにより、File_Map に指定されたエントリを追加します。

MV0132(W) Could not open %s for record parameters, using system defaults.

説明: mvstrans トランスレータは、指定したレコード属性ファイルを開いて、レコードパラメータを取得できません。このため、mvstrans は、システムのデフォルトを使用します。

対処: 指定したファイルが適切なアクセス権を持っていることを確認し、mvstrans を再実行します。

MV0133(W) Could not read %s for record parameters, using system defaults.

説明: mvstrans トランスレータは、指定したレコード属性ファイルを読み取って、レコードパラメータを取得できません。このため、mvstrans は、システムのデフォルトを使用します。

対処: 指定したファイルが適切なアクセス権を持っていることを確認し、mvstrans を再実行します。

MV0134(W) Recordv defined in %s, but record size is not defined, using system defaults.

説明: 指定したレコード属性ファイルで定義されている recordv ファイルのタイプに対するレコードサイズは定義されませんでした。mvstrans はシステムデフォルトを使用します。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0135(W) Record defined in %s, but record size is not defined, using system defaults.

説明: 指定したレコード属性ファイルで定義されている record ファイルのタイプに対するレコードサイズは定義されませんでした。mvstrans はシステムデフォルトを使用します。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0136(E) Line=#%3.3d. Invalid VSAM filename '%s'. File: %s.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0137(S) Line=#%3.3d. Invalid VSAM filename '%s'. File: %s.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0138(I) Line=#%3.3d. Failed to locate filename in File_Map for dataset %s with ddname %s. File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行するなどにより、File_Map に指定されたエントリを追加します。

MV0139(W) Line=#%3.3d. RLS option ignored due to Environment Variable \$BATCH_VSAM_RECORD_LOCK not being set.

説明: RLS オプションは、現在のサブシステムがこのオプションを使用するように設定されていないため、無視されます。

対処: 必要に応じて、BAM の「Mainframe Compatibility」メニューで適切なオプションを設定して、サブシステムの設定を更新します。

MV0140(W) Line=#%3.3d. Dataset defined by DDNAME [%s] is not fully supported in this version of mvstrans.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の %s DDNAME で定義されたデータセットは、今回のリリースで完全にはサポートされません。mvstrans は、このデータセットを無視します。

対処: %3.3d 行の構文を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0141(I) Line=#%3.3d. %s statement keyword [%s] has '%s' value converted to '%s'.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。これは、%3.3d 行で指定した文が、%s に変換される %s キーワード値を持つことを示します。

対処: 情報メッセージです。

MV0142(I) Line=#%3.3d. %s statement keyword [%s] has '%s(%s)' value converted to '%s.%s'.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。これは、%3.3d 行で指定した文が、%s に変換された %s キーワード値を持つことを示します。

対処: 情報メッセージです。

MV0143(I) Line=#%3.3d. %s statement keyword [%s] has '%s(%s)' value converted to '%s.%s'.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。これは、%3.3d 行で指定した文が、%s に変換される %s キーワード値を持つことを示します。

対処: 情報メッセージです。

MV0144(I) Line=#%3.3d. %s statement keyword [%s] will have asterisk converted to plus sign(+).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。これは、%3.3d 行のアスタリスクがプラス記号に変換されることを示します。

対処: 情報メッセージです。

MV0145(I) Line=#%3.3d. %s statement keyword [%s] has asterisk converted to plus sign(+).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。これは、%3.3d 行のアスタリスクがプラス記号に変換されたことを示します。

対処: 情報メッセージです。

MV0146(W) Line=#%3.3d. %s statement keyword [%s] has literal value(s) enclosed in square brackets([]).

説明: %3.3d 行の %s 文のキーワードは、角括弧に入っているため、mvstrans トランスレータには認識されません。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0147(W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of %s statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%3.3d 行の %s 文に、%s の所定外のグループ値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

MV0148(W) Line=#%3.3d. Library name %s converted to %s.

説明: Sun MBM での実行のために、mvstrans トランスレータは %s ライブラリ名を %s に変更しました。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、ライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0149(I) Line=#%3.3d. Failed to locate mapped directory in File_Map for JCLLIB library %s. File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: File_Map の必要なエントリを追加します。

MV0150(E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0151(W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of JOB statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d キーワードオペランドに対する所定外のグループの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0152(E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0153(E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0154(W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of JOB statement.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行にある JOB 文に所定外のグループ値を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0155(E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [MSGLEVEL] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の MSGLEVEL オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0156(E) Line=#%3.3d. EXEC statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0157(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [COND] of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND パラメータに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0158(E) Line=#%3.3d. Unexpected format of EXEC COND keyword. Operand partially ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードに対する所定外の形式を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0159(E) Line=#%3.3d. Unexpected format of EXEC COND keyword. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードに対する所定外の形式を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0160(E) Internal Error - [%d] unexpected lex state %d.

説明: ソース行 %d で、mvstrans のインクルードファイルを取り込む際に内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

MV0161(E) unexpected null character on line '%d', converted to
' ': '%s'

説明: 指定された行に無効な文字があります。文字はスペースに変換されます。

対処: 入力ストリームから無効な文字を削除し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0162(S) No input file path specified.

説明: 無効な入力コマンドです。

対処: コマンド行で入力ファイルを指定し、再実行します。

MV0163(S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or
JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0164(S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or
JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0165(S) Unable to open input file %s.

説明: 指定された入力ファイルを開く際のエラーです。

対処: ファイルが存在し、適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

MV0166(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0167(S) Illegal specification of option b.

説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。

対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。

- MV0168(S) Illegal specification of option R.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0169(S) Illegal specification of option J.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0170(S) Illegal specification of option i.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0171(S) Illegal specification of option L.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0172(S) Illegal specification of option L.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0173(S) Illegal specification of option r.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0174(S) Illegal specification of option t.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドパラメータを変更し、再実行します。
- MV0175(S) Illegal option %c.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドを変更し、再実行します。
- MV0176(S) Unexpected input arguments.
説明: 無効なオプションがコマンド行で指定されています。
対処: コマンドを変更し、再実行します。

MV0177(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0178(I) Trace file : %s

説明: 情報メッセージです。

MV0179(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: 情報メッセージです。

MV0180(W) Unable to access intermediate output file %s - errno %d. File contents not included.

説明: JCL ファイルの処理の場合で JCL リファレンスがインクルードファイルを参照するとき、mvstrans は一時出力ファイルを使用します。最後の mvstrans 出力ファイルの作成時に、これらのファイルは入力のために開かれます。この警告は、mvstrans が一時ファイルのいずれかにアクセスできないことを示します。インクルードファイルの一部のみを使用して、処理は続行します。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。詳細は、errno を調査します。

MV0181(I) Member %s included for INCLUDE statement in %s.

説明: 情報メッセージです。

MV0182(I) Member %s included for INCLUDE statement in member %s.

説明: 情報メッセージです。

MV0183(S) Unexpected end of input file %s.

説明: mvstrans プリプロセッサが、所定外の構文を検出しました。処理は停止します。

対処: JCL 構文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0184(I) Job %s include processing complete.

説明: 指定したジョブのインクルードプロセスが完了しました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0185(I) Procedure %s include processing complete.

説明: 指定したプロシージャのインクルードプロセスが完了しました。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0186(I) include processor: %s %s, %s %s, %d members included.

説明: 情報メッセージです。

MV0187(I) include processor: %s %s, %s %s, %d members included.

説明: 情報メッセージです。

MV0188(W) Unable to access INCLUDE member file %s. %s variable not set.

説明: ファイルメンバー取り込み時に、mvstrans が JCL ファイルでファイルメンバー %s への参照を検出しました。指定された環境変数にそのメンバーおよび他のすべてのメンバーを含むディレクトリパスが設定されていないので、mvstrans はこのファイル用のパス名を作成できません。

対処: すべてのインクルードファイルがあるディレクトリに変数を設定します。

MV0189(W) Unable to access INCLUDE member file %s - errno %d. Member not included.

説明: mvstrans は、処理のために現在の JCL ファイルで参照されるインクルードファイルに相当するファイルにアクセスできません。処理は、指定したファイルを取り込まずに続行します。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。詳細は、errno を調査します。

MV0190(W) Unable to open output %s for INCLUDE member %s - errno %d. Member not included.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0191(W) Unable to open output %s for INCLUDE member %s - errno %d. Member not included.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0192(W) Line=##%3.3d. Statement %s unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、今回のリリースでサポートされていない文、%s を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0193(S) Instream JOB statement not supported.

説明: インストリーム JOB 文はサポートされていません。

対処: 入力ストリームを修正し、再実行します。

MV0194(S) Instream PROC statement not supported.

説明: インストリーム PROC 文はサポートされていません。

対処: 入力ストリームを修正し、再実行します。

MV0195(W) Line=##%3.3d. Unable to represent %s statement.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の指定された文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0196(W) Line=##%3.3d. Unable to represent %s statement named %s.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の指定された文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0197(W) Line=##%3.3d. Unable to represent OUTPUT statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイル %3.3d 行の OUTPUT 文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0198(W) Line=##%3.3d. Unable to represent JES2 OUTPUT statement.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の JES2 OUTPUT 文を変換できません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0199(E) Line=##%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0200 ~ MV0299

MV0200(I)# MVS JCL Translator #

説明: 情報メッセージです。

MV0201(I)# JOB: %-14.14s #

説明: 情報メッセージです。

MV0202(I)# MVS JCL Translator Version : %-18.18s #

説明: 情報メッセージです。

MV0203(I)# JOB: %-14.14s Translated : %24.24s #

説明: 情報メッセージです。

MV0204(I)# MVS JCL Translator #

説明: 情報メッセージです。

MV0205(I)# PROCEDURE: %-14.14s #

説明: 情報メッセージです。

MV0206(I)# MVS JCL Translator Version : %-18.18s #

説明: 情報メッセージです。

MV0207(I)# PROCEDURE: %-14.14s Translated : %24.24s #

説明: 情報メッセージです。

MV0208(W) Line=#%3.3d. EXEC statement keyword operand [%s] will be converted to [%s].

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行の EXEC 文で検出したキーワードオペランド %s を %s に変換します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0209(W) Line=#%3.3d. EXEC statement keyword operand [%s] converted to [%s].

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行の EXEC 文で検出したキーワードオペランド %s を %s に変換しました。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0210(E) Line=#%3.3d. IBM Utility %s not fully supported in this version of mvstrans.

説明: 指定された IBM ユーティリティは、今回のリリースでサポートされていません。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0211(E) Line=#%3.3d. IBM Utility %s unsupported in this version of mvstrans.

説明: 指定された IBM ユーティリティは、今回のリリースでサポートされていません。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0212(W) Line=#%3.3d. %-8.8s DD statement unsupported in this version of mvstrans. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が DD 文、%-8.8s を見つけましたが、これは今回のリリースでサポートされません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0213(W) Line=#%3.3d. %-8.8s DD statement located in a procedure. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が DD 文、%-8.8s をプロシージャで検出しました。これはサポートされていません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0214(E) Line=#%3.3d. Invalid format of DD%s statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文が無効な形式を持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0215(E) Line=#%3.3d. Invalid format of JES2 OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、OUTPUT 文が無効な形式を持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0216(W) Line=#%3.3d. JES2 OUTPUT statement with repeated code value %s. Statement ignored.

説明: mvstrans は、%3.3d 行 で、繰り返されるコード値を持つ JES2 OUTPUT 文を検出しました。mvstrans は、このキーワードオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0217(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in JES2 OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 OUTPUT 文が無効な形式のコードパラメータを持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0218(W) Line=#%3.3d. JES2 OUTPUT statement is a continuation of a repeated code value. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JES2 OUTPUT 文の %3.3d 行がすでに定義されていた値であることを確認し、それを無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0219(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in JES2 OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 OUTPUT 文が無効な形式のコードパラメータを持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0220(E) Line=#%3.3d. Invalid format of ROUTE PRINT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、ROUTE PRINT 文が無効な形式を持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0221(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in ROUTE PRINT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、ROUTE PRINT 文がコードパラメータの無効な形式を持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0222(W) Line=#%3.3d. ROUTE PRINT statement is a continuation of a repeated code value. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、すでに定義されている値を持つ ROUTE PRINT 文が含まれていることを検出したため、これを無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0223(E) Line=#%3.3d. Invalid format of code parameter in ROUTE PRINT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、ROUTE PRINT 文がコードパラメータの無効な形式を持つことを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0224(E) Line=#%3.3d. Invalid format of OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式を持つ OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0225(E) Line=#%3.3d. Invalid format of OUTPUT statement. Statement ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な形式を持つ OUTPUT 文が含まれていることを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0226(S) mvstransi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0227(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0228(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0229(S) transi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0230(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0231(S) transi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0232(E) Line=#%3.3d. Invalid format of IF statement.
Statement ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、無効な形式を持つ IF 文を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL ファイルの %3.3d 行を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0233 (E) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] of %s statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 文の %s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0234 (E) Line=#%3.3d. Unexpected group element type at parameter %d, subparameter %d of %s statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 文のパラメータ %d、%d サブパラメータに対する所定外のグループ要素のタイプを検出しました。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0235 (E) Line=#%3.3d. Unexpected group element type at parameter %d, subparameter %d of %s statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 文のパラメータ %d、%d サブパラメータに対する所定外のグループ要素のタイプを検出しました。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0236 (W) Line=#%3.3d. Unexpected %s statement keyword operand [%s]. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 文に対する所定外の %s キーワードオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0237 (W) Line=#%3.3d. Unexpected %s statement keyword operand [%s]. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 文に対する所定外の %s キーワードオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0238 (W) Line=#%3.3d. Unexpected %s statement positional group operand in parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定した文の %d パラメータに対する所定外の定位置グループオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0239 (W) Line=#%3.3d. Unexpected %s statement positional operand [%s] in parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定した文のパラメータ %d に対する所定外の %s 定位置オペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0240 (W) Line=#%3.3d. Positional group operand [%s] of %s statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 定位置グループオペランドを持つ %s 文を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0241 (W) Line=#%3.3d. Positional group operand at parameter %d of %s statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、今回のリリースではサポートされていない、%d パラメータの定位置グループオペランドを持つ %d 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0242 (W) Line=#%3.3d. Positional operand [%s] of %s statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s 定位置グループオペランドを持つ %s 文を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0243 (W) Line=#%3.3d. %s operand at parameter %d of %s statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、今回のリリースでサポートされていないパラメータ、%s にオペランドを持つ文を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0244(I) Line=#%3.3d. %s operand in parameter %d of %s statement supported via the -R option.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の %s 文にあるパラメータ %d に、サポートされていない %s オペランドを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正します。

MV0245(W) Line=#%3.3d. %s operand in parameter %d of %s statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の %s 文にあるパラメータ %d に、このリリースでサポートされていない %s オペランドを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0246(I) Line=#%3.3d. %s statement keyword operand [%s] is not applicable.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、適用できない %s キーワードオペランドを持つ %s 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0247(E) Line=#%3.3d. %s statement keyword operand [%s] unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s キーワードオペランドを持つ %s 文を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0248(W) Line=#%3.3d. %s statement keyword operand [%s] unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s キーワードオペランドを持つ %s 文を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0249 (W) Line=#%3.3d. Positional operand [DYNAM] of DD statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DYNAM 定位置オペランドを持つ DD 構文を検出しました。これは、今回のリリースではサポートされません。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0250 (E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0251 (W) Line=#%3.3d. DUMMY DD statement omitted from concatenated dataset labelled %s.

説明: DUMMY DD 文は、%s データセットに含まれませんでした。処理は停止します。

対処: DUMMY DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0252 (E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0253 (W) Line=#%3.3d. NULLFILE DD statement omitted from concatenated %s library.

説明: NULLFILE DD 文は、%s データセットに含まれませんでした。処理は停止します。

対処: NULLFILE DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0254 (W) Line=#%3.3d. NULLFILE DD statement omitted from concatenated dataset %s.

説明: NULLFILE DD 文は、%s データセットに含まれませんでした。処理は停止します。

対処: NULLFILE DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0255(W) Line=#%3.3d. DD statement omitted from concatenated library labelled %s.

説明: DD 文は、%3.3d 行の %s データセット用に含まれませんでした。処理は停止します。

対処: DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0256(W) Line=#%3.3d. %-8.8s DD statement located in a procedure. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が DD 文、%-8.8s をプロシージャで検出しました。これは mvstrans にサポートされていません。mvstrans は、この文を無視します。

対処: 必要に応じて文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0257(W) Line=#%3.3d. DD statement omitted from concatenated dataset labelled %s.

説明: DD 文は、%3.3d 行の %s データセット用に含まれませんでした。処理は停止します。

対処: DD 文を追加し、mvstrans を再実行します。

MV0258(W) Line=#%3.3d. DD statement indicating a concatenated dataset occurs out of context.

説明: 連結データセットが、%3.3d 行の DD 文のコンテキストに合っていません。処理は停止します。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0259(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0260(W) Line=#%3.3d. Dataset defined by DDNAME [%s] is not fully supported in this version of mvstrans.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の %s DDNAME で定義されたデータセットは、今回のリリースで完全にはサポートされません。mvstrans は、このデータセットを無視します。

対処: %3.3d 行の構文を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0261(E) Line=#%3.3d. Unsupported character '%c' in ddname '%s'

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、指定された、サポートされていない特殊文字が見つかりました。%s は、特殊文字を含む ddname です。

対処: JCL を訂正し、再実行します。

MV0262(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0263(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0264(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0265(S) Unable to allocate dynamic storage for %d bytes - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0266 (W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type [%s] at parameter %d of %s statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定した文のパラメータ %d に対する所定外の %s オペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0267 (W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0268 (W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0269 (W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0270 (W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s(%s)] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0271(W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0272(W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand value [*] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータで、* の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0273(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0274(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0275(I) Line=#%3.3d. JOB statement keyword [MSGCLASS] will have asterisk value converted to plus sign(+).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。アスタリスク値は、プラス記号に変換されます。

対処: 情報メッセージです。

MV0276(I) Line=#%3.3d. JOB statement keyword [MSGCLASS] has asterisk value converted to plus sign(+).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。アスタリスク値は、プラス記号に変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0277(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0278(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、トランスレータ JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0279(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d に指定したキーワードに、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0280(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JOB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0281(W) Line=#%3.3d. Unexpected JOB statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0282(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JOB statement. Operand ignored

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0283(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JOB statement. Operand ignored

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0284(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of PROC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、PROC 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0285(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of SET statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、SET 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0286(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0287(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0288(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0289(W) Line=#%3.3d. Unexpected JCLLIB statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0290(W) Line=#%3.3d. Unexpected JCLLIB statement positional operand [*] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文の %d パラメータに対する所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0291(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JCLLIB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0292(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JCLLIB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0293(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of JCLLIB statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JCLLIB 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0294(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0295(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0296(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0297(W) Line=#%3.3d. Unexpected DD statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0298(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0299(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0300(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0301(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0302(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0303(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0304(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0305(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [%s] at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、%s キーワードに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0306 ~ MV0399

MV0306(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of DD statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、DD 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0307(W) Line=#%3.3d. Procedure step overrides unsupported in this version of mvstrans. [%s] operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、今回のリリースでサポートされていないプロシージャー優先設定を検出しました。mvstrans は、この優先設定を無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0308(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータで、所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0309(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0310(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement subparameter operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータで、所定外のサブパラメータオペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0311(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement subparameter operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータで、所定外のサブパラメータオペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0312(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [PARM] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の PARM キーワードの %d パラメータに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0313(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [COND] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードの %d パラメータに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0314(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータで、所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0315(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0316(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement operand for parameter %d, subparameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータの %d サブパラメータで、所定外のオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0317(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement operand for parameter %d, subparameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータの %d サブパラメータで、所定外のオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0318(W) Line=#%3.3d. Unexpected EXEC statement operand for parameter %d, subparameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の %d パラメータの %d サブパラメータで、所定外のオペランドを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0319(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [PARM] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の PARM キーワードの %d パラメータに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0320(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [COND] at parameter %d of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、トランスレータ JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードの %d パラメータに対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0321 (W) Line=#%3.3d. Unexpected JES2 OUTPUT statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 OUTPUT 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0322 (W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JES2 OUTPUT statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 OUTPUT 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0323 (W) Line=#%3.3d. Unexpected OUTPUT statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans は、OUTPUT 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0324 (W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of OUTPUT statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、OUTPUT 文のパラメータ %d で、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0325 (W) Line=#%3.3d. Unexpected JES2 JOBPARM statement positional operand [%s] for parameter %d. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 JOBPARM 文の %d パラメータで、%s の所定外の定位置オペランドの値を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0326 (W) Line=#%3.3d. JOB statement keyword [%s] value overrides equivalent JOBPARM statement value.

説明: mvstrans トランスレータは、JOBPARM 文の値の代わりに、%3.3d 行の JOB 文の %s キーワードの値を使用します。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0327(W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type at parameter %d of JES2 JOBPARM statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JES2 JOBPARM 文のパラメータ %d に対する所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0328(W) Line=#%3.3d. Internal reader INTRDR on SYSOUT writer subparameter not supported.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された演算子は、Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、mvstrans トランスレータに破棄されます。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0329(W) Line=#%3.3d. DD statement keyword [%s] has literal value(s) enclosed in square brackets([]).

説明: %3.3d 行の DD 文のキーワードは角括弧に入っているため、mvstrans トランスレータには認識されません。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0330(W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of DD statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、%s キーワードオペランドに所定外のグループ値割り当てを持つ DD 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0331(E) Line=#%3.3d. DD statement operand [OUTPUT] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行で、DD 文の OUTPUT オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0332(E) Line=#%3.3d. JCLLIB statement operand [ORDER] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行で、JCLLIB 文の ORDER オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0333 (W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of JCLLIB statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定されたキーワードオペランドに所定外のグループ値を持つ、JCLLIB 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0334 (E) Line=#%3.3d. JCLLIB statement operand [ORDER] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行で、JCLLIB 文の ORDER オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0335 (W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for open disposition of dataset. Default NEW assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、NEW を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0336 (W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for normal disposition of dataset. Default DELETE assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、DELETE を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0337 (W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for normal disposition of dataset. Default KEEP assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、KEEP を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0338 (W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for abnormal disposition of dataset. Default DELETE assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、DELETE を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0339(W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter for abnormal disposition of dataset. Default KEEP assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、KEEP を使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0340(W) Line=#%3.3d. Unable to resolve symbolic parameter value for dataset DISP operand. Defaults assumed.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、記号パラメータの値の定義が指定されませんでした。mvstrans は、システムデフォルトを使用します。

対処: 記号パラメータを定義し、mvstrans を再実行します。

MV0341(W) Line=#%3.3d. DSN parameter ignored for instream DD dataset.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行で、DSN パラメータを無視します。これは、インストリーム DD データセットの Sun MBM 環境でサポートされていないためです。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0342(W) Line=#%3.3d. DSN parameter ignored for DD SYSOUT dataset.

説明: %3.3d 行の DSN パラメータは、Sun MBM 環境で DD SYSOUT データセットのためにサポートされていないので、mvstrans トランスレータに無視されません。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0343(W) Line=#%3.3d. Dataset name %s converted to %s.

説明: Sun MBM での実行のために、mvstrans トランスレータは %s データセット名を %s に変更しました。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0344(E) references (type='BACKREF') not supported in this version

説明: 検査モードで実行するとき、逆方向参照が検出されると、エラーメッセージが表示されます。検査モードでない場合、逆方向参照は重大なエラーとして表示されます。

対処: type='BACKREF' を削除して、ジョブを再実行します。

MV0345(S) Backward references (type='BACKREF') not supported in this version

説明: 検査モードで実行するとき、逆方向参照が検出されると、エラーメッセージが表示されます。検査モードでない場合、逆方向参照は重大なエラーとして表示されます。

対処: type='BACKREF' を削除して、ジョブを再実行します。

MV0346(W) Line=#%3.3d. Dataset %s interpreted as a GDG instance from field six [%s] of File_Map entry.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される時に、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。現在の JCL ファイルの %3.3d 行で検出された %s データセットは、File_Map の 6 つめのフィールド %s を基にする GDG インスタンスとして解釈されることを示します。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、GDG が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0347(E) Line=#%3.3d. Dataset %s interpreted as a PDS member from field six [%s] of File_Map entry.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによって表示されます。現在の JCL ファイルの %3.3d 行のデータセット %s が、File_Map の 6 つめのフィールド %s を基にした PDS メンバーとして変換されたときに、このメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットが Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0348(W) Line=#%3.3d. Dataset %s interpreted as a GDG instance from field six [%s] of File_Map entry.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される時に、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。現在の JCL ファイルの %3.3d 行で検出された %s データセットは、File_Map の 6 つめのフィールド %s を基にする GDG インスタンスとして解釈されることを示します。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、GDG が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0349(I) Line=#%3.3d. Failed to locate file type in File_Map for library %s of ddname %s.

File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: File_Map の必要なエントリを追加します。

MV0350(I) Line=#%3.3d. Failed to locate file type in File_Map for dataset %s of ddname %s.
File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: File_Map の必要なエントリを追加します。

MV0351(W) Could not open %s for record parameters, using system defaults.

説明: mvstrans トランスレータは、指定したレコード属性ファイルを開き、レコードパラメータを取得できません。mvstrans は、システムのデフォルトを使用します。

対処: 指定したファイルが適切なアクセス権を持っていることを確認し、mvstrans を再実行します。

MV0352(W) Could not read %s for record parameters, using system defaults.

説明: mvstrans トランスレータは、指定したレコード属性ファイルを読み取り、レコードパラメータを取得できません。mvstrans は、システムのデフォルトを使用します。

対処: %d が適切なアクセス権を持っていることを確認し、mvstrans を再実行します。

MV0353(W) Recordv defined in %s, but record size is not defined, using system defaults.

説明: 指定したレコード属性ファイルで定義されている recordv ファイルのタイプに対するレコードサイズは定義されませんでした。mvstrans はシステムデフォルトを使用します。

対処: JCL ファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0354(W) Record defined in %s, but record size is not defined, using system defaults.

説明: 指定したレコード属性ファイルで定義されている record ファイルのタイプに対するレコードサイズは定義されませんでした。mvstrans はシステムデフォルトを使用します。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0355(E) Line=#%3.3d. Invalid VSAM filename '%s'. File: %s.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0356(S) Line=#%3.3d. Invalid VSAM filename '%s'. File: %s.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0357(I) Line=#%3.3d. Failed to locate filename in File_Map for dataset %s with ddname %s. File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: File_Map の必要なエントリを追加します。

MV0358(W) Line=#%3.3d. RLS option ignored due to Environment Variable \$BATCH_VSAM_RECORD_LOCK not being set.

説明: RLS オプションは、現在のサブシステムがこのオプションをサポートしていないため、無視されます。

対処: 必要に応じて、BAMの「Mainframe Compatibility」メニューで適切なオプションを設定して、サブシステムの設定を更新します。

MV0359(W) Line=#%3.3d. Dataset defined by DDNAME [%s] is not fully supported in this version of mvstrans.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の %s DDNAME で定義されたデータセットは、今回のリリースで完全にはサポートされません。mvstrans は、このデータセットを無視します。

対処: %3.3d 行の構文を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0360(I) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] will have %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されます。

対処: 情報メッセージです。

MV0361(I) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] has %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0362(I) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] will have %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されます。

対処: 情報メッセージです。

MV0363(I) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] has %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0364(W) Line=#%3.3d. %s statement keyword operand [%s] will have %s references prefixed with backslash(\\).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 文に対する %s 参照は、mvstrans 出力に表示されるリテラル文字列で接頭辞 \\ が付けられることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

MV0365(W) Line=#%3.3d. %s statement keyword operand [%s] has %s references prefixed with backslash(\\).

説明: %s 文が検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 参照が、mvstrans の出力で表示されるリテラル文字列の \\ に変換されることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

MV0366(W) Line=#%3.3d. %s statement literal operand will have %s references prefixed with backslash(\\).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 文に対する %s 参照は、mvstrans 出力に表示されるリテラル文字列で接頭辞 \\ が付けられることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

MV0367(W) Line=##3.3d. %s statement literal operand has %s references prefixed with backslash(\\).

説明: %s 文が検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 参照が、mvstrans の出力で表示されるリテラル文字列の \\ に変換されることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

MV0368(I) Line=##3.3d. %s statement %s [%s] will have %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されます。

対処: 情報メッセージです。

MV0369(I) Line=##3.3d. %s statement %s [%s] has %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0370(I) Line=##3.3d. %s statement positional operand will have %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されます。

対処: 情報メッセージです。

MV0371(I) Line=##3.3d. %s statement positional operand has %s converted to %s.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0372(I) Line=##%3.3d. %s statement keyword [%s] has '%s' value converted to '%s'.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0373(I) Line=##%3.3d. %s statement keyword [%s] has '%s(%s)' value converted to '%s.%s'.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0374(I) Line=##%3.3d. %s statement keyword [%s] has '%s(%s)' value converted to '%s.%s'.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文は、メッセージで示されているように変換されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0375(I) Line=##%3.3d. %s statement keyword [%s] will have asterisk converted to plus sign(+).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文のキーワードは、プラス記号に変換されるアスタリスクを持ちます。

対処: 情報メッセージです。

MV0376(I) Line=##%3.3d. %s statement keyword [%s] has asterisk converted to plus sign(+).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるときに、mvstrans トランスレータは、このメッセージを表示します。指定した文のキーワードは、プラス記号に変換されたアスタリスクを持ちます。

対処: 情報メッセージです。

MV0377(W) Line=##%3.3d. %s statement keyword [%s] has literal value(s) enclosed in square brackets([]).

説明: %3.3d 行の %s 文のキーワードは角括弧に入っているので、mvstrans トランスレータには認識されません。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0378 (W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of %s statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、キーワードオペランドが所定外のグループ値を持つ文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0379 (W) Line=#%3.3d. Library name %s converted to %s.

説明: Sun MBM での実行のために、mvstrans トランスレータは %s ライブラリ名を %s に変更しました。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、ライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0380 (I) Line=#%3.3d. Failed to locate mapped directory in File_Map for JCLLIB library %s. File: %s.

説明: File_Map に指定されたエントリが見つかりません。

対処: File_Map の必要なエントリを追加します。

MV0381 (E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0382 (W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of JOB statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定されたキーワードオペランドに所定外のグループ値割り当てを持つ、JOB 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0383 (E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0384 (E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0385 (W) Line=#%3.3d. Unexpected group value assignment for keyword operand [%s] of JOB statement.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、指定されたキーワードオペランドに所定外のグループ値割り当てを持つ、JOB 文を検出しました。mvstrans は、このオペランドを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0386 (E) Line=#%3.3d. JOB statement operand [MSGLEVEL] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、JOB 文の MSGLEVEL オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0387 (E) Line=#%3.3d. EXEC statement operand [COND] has invalid format. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND オペランドに対する無効な形式を検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0388 (W) Line=#%3.3d. Unexpected operand type for keyword [COND] of EXEC statement. Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードで、所定外のオペランドのタイプを検出しました。mvstrans は、この文を無視します。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0389 (E) Line=#%3.3d. Unexpected format of EXEC COND keyword. Operand partially ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードに対する所定外の形式を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0390(E) Line=#%3.3d. Unexpected format of EXEC COND keyword.
Operand ignored.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、EXEC 文の COND キーワードに対する所定外の形式を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0391(S) File %s exceeds pathname length limit %d

説明: mvstrans に対する入力ファイルとして指定されたパス名には、許容制限を超える文字数が含まれています。

対処: mvstrans が呼び出された現在の作業ディレクトリと同じレベルに存在する jmvms という名前のディレクトリにそのファイルを入れ、mvstrans を再実行します。

MV0392(S) Specified number of input files [%d] exceeds maximum allowed [%d]

説明: mvstrans に送信された複数の入力ファイル数が、制限を越えています。

対処: mvstrans の 1 回の呼び出しに指定する入力ファイル数を減らします。

MV0393(I)

MVS/ESA JCL Translator V%s

説明: 情報メッセージです。

MV0394(I) (c) Copyright Sun Microsystems, Inc.

説明: 情報メッセージです。

MV0395(S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0396(S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0397(S) Unable to access input procedure directory [%s].
[errno=%d].

説明: 値 %s は、mvstrans コマンドの呼び出し元である現作業ディレクトリからの、相対パス名を指定します。このディレクトリは、mvstrans コマンドで指定される JCL プロシージャファイルの所定位置です。stat() 呼び出しを使用して mvstrans がこのディレクトリに対して実行した状態チェックに、エラーが発生しました。

対処: ディレクトリが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

MV0398(S) Unable to access input job directory [%s].[errno=%d].

説明: 値 %s は、現在の作業ディレクトリに関連するディレクトリのパス名を指定します。mvstrans コマンドは、このディレクトリから実行されます。このディレクトリは、mvstrans コマンドで指定される JCL ジョブファイルの所定位置です。stat() 呼び出しを使用して mvstrans がこのディレクトリに対して実行した状態チェックに、エラーが発生しました。

対処: ディレクトリが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

MV0399(S) Environment variable %s must be set.

説明: FILEMAP 環境変数が設定されていないので、mvstrans は File_Map を検出できません。

対処: mvstrans を呼び出す前に、FILEMAP 環境変数にフルパス名を設定します。

MV0400 ~ MV0499

MV0400(S) Unable to access File_Map %s

説明: mvstrans によって FILEMAP 環境変数の設定から検出された %s File_Map を開けません。

対処: \$FILEMAP を File_Map のフルパス名に設定し、File_Map ファイルに適切なアクセス権が設定されていることを確認します。

MV0401(I) Validation Mode initiated.

説明: 情報メッセージです。

MV0402(S) Unable to retrieve PACK variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された PACK 変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0403(S) Unable to initiate retrieval of PACK variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM takepath コマンドを使用して Sun MBM 環境から PACK 変数を検出します。mvstrans が takepath プロセスを生成するために使用する popen() システムコールで、エラーが発生しました。

対処: mvstrans が呼び出されたときに、使用中のシステムに takepath が存在することを確認します。このコマンドは、Sun MBM インストールのシステムディレクトリに配置する必要があります。

MV0404(S) Unable to retrieve PUBLIC variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された PUBLIC 変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0405(S) to initiate retrieval of PUBLIC variable.

説明: mvstrans トランスレータでは、Sun MBM takepath コマンドを使用して Sun MBM 環境から Sun MBM PUBLIC 変数が検出されます。mvstrans が takepath プロセスを生成するために使用する popen() システムコールで、エラーが発生しました。

対処: mvstrans が呼び出されたときに、使用中のシステムに takepath が存在することを確認します。このコマンドは、Sun MBM インストールのシステムディレクトリに配置する必要があります。

MV0406(S) Unable to access output directory %s. [errno=%d].

説明: 値 %s は、mvstrans コマンドの呼び出し元である現作業ディレクトリからの、相対パス名を指定します。このディレクトリは、mvstrans コマンドによって生成される、変換済み JCL ジョブファイルの出力先です。stat() 呼び出しを使用して mvstrans がこのディレクトリに対して実行した状態チェックに、エラーが発生しました。

対処: ディレクトリが存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

MV0407(E) Invalid value specification for input file %s.

説明: JCL ファイル用の mvstrans コマンドで不正な値が指定されました。

対処: コマンドを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0408(E) Output file %s already exists: Use -f option to force output regeneration.

説明: 出力ファイルはすでに存在しています。変換は強制的に中止されました。

対処: mvstrans の -f オプションを使用して以前のファイルを上書きするか、-o オプションを使用して新規の出力ファイルを作成します。

MV0409(I) Output file %s not generated in validation mode: -f option is ignored.

説明: 情報メッセージです。

MV0410(I) examining %s

説明: 情報メッセージです。

MV0411(I) generating output file %s for %s ...

説明: 情報メッセージです。

MV0412(I) generating File_Map entries for %s ...

説明: 情報メッセージです。

MV0413(S) Illegal specification of option i.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0414(S) Illegal specification of option R.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0415(S) Illegal specification of option J.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0416(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0417(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0418(S) Illegal specification of option o.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0419(S) Maximum filename size [%d] exceeded by output file %s.

説明: 指定した出力ファイル名が長すぎます。

対処: 示されている最大ファイル名長よりも短くなるように、出力ファイル名を変更し、再実行します。

MV0420(S) Invalid specification of output file %s.

説明: 指定された出力ファイル名は、無効なファイル名です。

対処: 入力パラメータを変更し、再実行します。

MV0421(S) Invalid value specification for output file %s.

説明: 指定された出力ファイルを作成できません。

対処: 出力ファイル名を変更し、再実行します。

MV0422(S) Option -o should specify a filename only, no path expected.

説明: mvstrans への -o オプションは、引数としてのファイル名のみを受け入れます。

対処: オプションを修正し、再実行します。

MV0423(S) Option -o must not be specified with multiple input files.

説明: mvstrans への -o オプションは、引数としての単一のファイル名のみを受け入れます。

対処: オプションを修正し、再実行します。

MV0424(S) Value of environment variable %s exceeds maximum length [%d].

説明: 指定された環境変数値が長すぎます。

対処: 環境変数の値の長さを減らして、再実行します。

MV0425(W) Option %c used without qualification ignored by mvstrans.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0426(I) All warning messages are suppressed.

説明: 情報メッセージです。

MV0427(S) Illegal specification of option r.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0428(S) Illegal specification of option T.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0429(S) Illegal specification of option T.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0430(W) Option %c used without qualification ignored by mvstrans.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0431(S) Illegal option format specified.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0432(S) Illegal option %c

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0433(W) Option %c ignored by mvstrans.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0434(S) Unexpected command line arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0435(S) Option -c is only available during validation (-v option).

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0436(S) Environment variable %s must be set.

説明: 指定された環境変数が設定されていません。

対処: バッチノードの batchenv ファイルを使用して環境変数を設定し、再実行します。

MV0437(S) Options -M, -P and -I are mutually exclusive.

説明: オプションの無効な組み合わせが使用されていました。

対処: コマンドを修正し、再実行します。

MV0438(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0439(I) Trace file for mvstrans is %s

説明: トレースファイルを特定する情報メッセージです。

MV0440(I) Usage: mvstrans filename [-C] [-c] [-b nnn] [-E]
[-e] [-F] [-f] [-g]
[-k nn] [-M | -P | -I] -J[JCL | JES2 | JES3]
[-L n] [-l] [-N] [-m] [-n] [-o output_filename]
[-R] [-p] [-r (n | p | w)] [-u] [-V] [-v]

説明: mvstrans コマンドの構文を提供する使用法メッセージです。

```
MV0441(I) Usage: mvstrans filename [-C] [-c] [-b nnn] [-d]
        [-E] [-e] [-F] [-f]
        [-g] [-M | -P | -I] -j -J[JCL | JES2 | JES3] [-k nn] [-l]
        [-L n] [-N] [-m] [-n] [-o output_filename] [-p] [-R]
        [-r (n | p | w)]
        [-t (all | flow | entry | exit | jcl | lex | nnn
        [-mmm]) ]
        [-T (a | d | s | p | i)] [-u] [-V] [-v]
```

説明: mvstrans コマンドの構文を提供する使用法メッセージです。

MV0442(S) Invalid specification of input file %s.

説明: 入力ファイルが欠落しています。

対処: 入力オプションに入力ファイルを指定し、再実行します。

MV0443(S) Unable to retrieve input file list.

説明: 入力ファイルのリストが無効です。

対処: 入力パラメータを変更し、再実行します。

MV0444(S) Unable to retrieve input file list from %s.

説明: 入力ファイルのリストが無効です。

対処: 入力パラメータを変更し、再実行します。

MV0445(S) Maximum input file limit [%d] exceeded.

説明: 入力パラメータが無効です。入力ファイル名が長すぎます。

対処: 入力パラメータリストのサイズを減らし、再実行します。

MV0446(I)

including %s JCL members from %s ...

説明: 情報メッセージです。

MV0447(S) Unable to initiate JCL member inclusion.

説明: インクルードファイルへのアクセス時のエラーです。

対処: インクルードファイルディレクトリの適切なアクセス権を調査します。

MV0448(E) mvstrans : unable to execvp() %s - errno %d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0449(E) JCL member inclusion(mitrans) : signal exit status=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、終了状態を調査します。

MV0450(I) JCL member inclusion(mitrans) : exit status=%d.

説明: 情報メッセージです。

MV0451(I) Abnormal termination of mvstrans for %s.

説明: 変換は不正終了しました。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0452(I)
preprocessing %s ...

説明: 情報メッセージです。

MV0453(S) Unable to initiate preprocessor.

説明: ソース行 %d で、mvstrans のインクルードファイルを取り込む際に内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

MV0454(E) mvstrans : unable to execvp() %s - errno %d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0455(E) preprocessor(mvstransp) : signal exit status=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、終了状態を調査します。

MV0456(I) preprocessor(mvstransp) : exit status=%d.

説明: 情報メッセージです。

MV0457(I) Abnormal termination of mvstrans for %s.

説明: 変換は不正終了しました。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0458(I) File %s retained with JCL output listing.

説明: mvstrans が表示する情報メッセージです。

MV0459(S) Unable to initiate translator.

説明: mvstrans トランスレータは、mvstrans 制御プロセスによって生成された子プロセスです。mvstrans がトランスレータを生成するために使用する fork() 呼び出しにエラーが発生しました。

対処: システム管理者に失敗した fork() 呼び出しからの errno を連絡します。

MV0460(E) mvstrans : unable to execvp() %s - errno %d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0461(E) translator(mvstransi) : signal exit status=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、終了状態を調査します。

MV0462(I) Abnormal termination of mvstrans for %s.

説明: 変換は不正終了しました。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0463(I) Abnormal termination of validation mode for %s.

説明: 検査モードでの変換は不正終了しました。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0464(I) translator(mvstransi) : exit status=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、終了状態を調査します。

MV0465(I) Abnormal termination of mvstrans for %s.

説明: 変換は不正終了しました。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0466(I) Abnormal termination of validation mode for %s.

説明: 検査モードでの変換は不正終了しました。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0467(I) Job %s macro code generated successfully.

説明: 指定したジョブのマクロコードは正常に再生成されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0468(I) Job %s validated successfully.

説明: 指定したジョブは mvstrans によって正常に検証されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0469(I) Procedure %s macro code generated successfully.

説明: 指定したプロシージャーのマクロコードは正常に再生成されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0470(I) Procedure %s validated successfully.

説明: 指定したプロシージャーは mvstrans によって正常に検証されました。

対処: 情報メッセージです。

MV0471(E) Sequence error or premature end of input:

説明: 構文エラーです。

対処: 入力ファイルを更新し、再実行します。

MV0472(I) File: %s Line=%3.3d

説明: 情報メッセージです。

MV0473(I) [%s]

説明: 情報メッセージです。

MV0474(W) Line=#%3.3d. %s statement unsupported in this version of mvstrans. Associated instream dataset ignored.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行に、今回のリリースでサポートされていない文 %s を検出しました。mvstrans は、この文と関連するインストリームデータセットを無視します。

対処: 必要に応じて JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0475(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0476(S) JES2 OUTPUT statement in JCL mode, not supported in this version.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL 入力ストリームに所定外の JES2 OUTPUT 文を検出しました。

対処: JES2 オプションを指定する入力ファイルを変換します。

MV0477(S) JCL OUTPUT statement in JES2 mode, not supported in this version.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL 入力ストリームに所定外の JCL OUTPUT 文を検出しました。

対処: JES2 オプションの指定なしで入力ファイルを変換します。

MV0478(W) Line=#%3.3d. Unexpected end of a group [%s] in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドにグループ %s の所定外の終了を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0479(W) Line=#%3.3d. Unexpected end of a group [%s] in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドにグループ %s の所定外の終了を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0480(W) Line=#%3.3d. Unexpected %c levels of grouping in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドに所定外のグループ化レベルの数を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0481(W) Line=#%3.3d. Unexpected end of a group [%s] in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドにグループ %s の所定外の終了を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0482(W) Line=#%3.3d. Unexpected end of a group [%s] in parameter field.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行のパラメータフィールドで mvstrans トランスレータは、グループ %s の所定外の終了を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0483 (W) Line=##3.3d. Unexpected %c levels of grouping in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドに所定外のグループ化レベルの数を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0484 (W) Line=##3.3d. Unexpected end of a group [%s] in parameter field.

説明: JCL ファイル %3.3d 行のパラメータフィールドで mvstrans トランスレータは、グループ %s の所定外の終了を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0485 (W) Line=##3.3d. Unexpected end of a group [%s] in parameter field.

説明: JCL ファイル %3.3d 行のパラメータフィールドで mvstrans トランスレータは、グループ %s の所定外の終了を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0486 (W) Line=##3.3d. Unexpected %c levels of grouping in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドに所定外のグループ化レベルの数を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0487 (W) Line=##3.3d. Unexpected start of a group [%s] in parameter field.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行のパラメータフィールドでグループ %s の所定外の開始を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0488 (W) Line=##3.3d. Unexpected start of a group [%s] in parameter field.

説明: mvstrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行のパラメータフィールドでグループ %s の所定外の開始を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0489(W) Line=#%3.3d. Unexpected %c levels of grouping in parameter field.

説明: mvstrans は、JCL ファイルの %3.3d 行で、パラメータフィールドに所定外のグループ化レベルの数を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0490(S) input file path specified.

説明: mvstrans コマンドは、指定した入力ファイル名を持っていませんでした。

対処: 既存のファイル名を最初のパラメータとして指定し、mvstrans コマンドを再実行します。

MV0491(S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0492(S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0493(S) Environment variable %s must be set.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0494(S) Unable to access the File_Map %s.

説明: 無効な File_Map パス名です。

対処: ファイルが存在し、適切なアクセス権を持っているかどうかを調査します。

MV0495(S) Unable to retrieve PACK variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された PACK 変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0496(S) Unable to initiate retrieval of PACK variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM takepath コマンドを使用して Sun MBM 環境から PACK 変数を検出します。mvstrans が takepath プロセスを生成するために使用する popen() システムコールで、エラーが発生しました。

対処: mvstrans が呼び出されたときに、使用中のシステムに takepath が存在することを確認します。このコマンドは、Sun MBM インストールのシステムディレクトリに配置する必要があります。

MV0497(S) Unable to retrieve PUBLIC variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された PUBLIC 変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0498(S) Unable to initiate retrieval of PUBLIC variable.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM takepath コマンドを使用して Sun MBM 環境から PUBLIC 変数を検出します。mvstrans が takepath プロセスを生成するために使用する popen() システムコールで、エラーが発生しました。

対処: mvstrans が呼び出されたときに、使用中のシステムに takepath が存在することを確認します。このコマンドは、Sun MBM インストールのシステムディレクトリに配置する必要があります。

MV0499(W) Unable to retrieve \$FMROOT variable. Using '/tmp' as default value.

説明: FMROOT 環境変数が設定されていません。

対処: 必要に応じて、新規に作成された File_Map エントリを更新するか、あるいは新規に作成されたエントリをすべて File_Map から削除する必要があります。FMROOT を設定して、もう一度検査モードでトランスレータを開始します。

MV0500 ~ MV0599

MV0500(S) Unable to open input file %s - errno %d

説明: 指定された入力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0501(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0502(I) translator: %s %s, %s %s

説明: 情報メッセージです。

MV0503(I) validation processor: %s %s, %s %s

説明: 情報メッセージです。

MV0504(S) Illegal specification of option b.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0505(S) Illegal specification of option R.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0506(S) Illegal specification of option J.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0507(S) Illegal specification of option i.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0508(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0509(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0510(S) Value of environment variable %s exceeds maximum length [%d].

説明: 指定された環境変数値が長すぎます。

対処: 環境変数の値の長さを減らして、再実行します。

MV0511(S) Illegal specification of option r.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0512(S) Illegal specification of option t.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0513(S) Illegal option %c.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0514(S) Environment variable %s must be set.

説明: mvstransは、Sun MBM 環境から PUBLIC 変数を取得できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0515(S) Unexpected input arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0516(I) l_tracedir_ptr was set to: %s

説明: 情報メッセージです。

MV0517(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0518(I) Trace file : %s

説明: 情報メッセージです。

MV0519(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0520(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0521(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0522(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0523(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0524(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0525(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0526(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0527(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0528(W) Permanent indexed sequential datasets not supported in this version - %s(%s).

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された文は、Sun MBM 環境で適用もサポートもされないので、mvstrans トランスレータに破棄されます。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0529(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0530(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0531(W) Permanent indexed sequential datasets not supported in this version - %s(%s).

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された文は、Sun MBM 環境で適用もサポートもされないので、mvstrans トランスレータに破棄されます。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0532(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0533(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: 情報メッセージです。

MV0534 (W) =##%3.3d. DD statement redefines SYSIN dataset for step %s. Statement ignored.

説明: %3.3d 行の文は、ステップ %s の SYSIN データセットを再定義するため、mvstrans に無視されます。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0535 (I) Line=##%3.3d. Value of symbolic parameter %s of %s has [%s] characters replaced by '/xHH'.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境の実行準備において、%3.3d 行から /xHH で、%s 文の %s 記号パラメータの %s 文字を変換しました。HH は、16 進値です。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0536 (I) Line=##%3.3d. Value of symbolic parameter %s of %s has [%s] characters replaced by '/xHH'.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境の実行準備において、%3.3d 行から /xHH で、%s 文の %s 記号パラメータの %s 文字を変換しました。HH は、16 進値です。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0537 (I) Line=##%3.3d. Value of symbolic parameter %s of %s has [%s] characters replaced by '/xHH'.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境の実行準備において、%3.3d 行から /xHH で、%s 文の %s 記号パラメータの %s 文字を変換しました。HH は、16 進値です。

対処: 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

MV0538 (S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0539 (W) Line=##%3.3d. Job Entry Control Statement [MESSAGE] processed as a comment.

説明: mvstrans トランスレータは、サポートされていないジョブ入力制御文を %3.3d 行で検出し、これを出力ファイルのコメントとして変換しました。

対処: 出力ファイルを調査し、結果に応じて変更します。

MV0540(W) Line=#%3.3d. Job Entry Control Statement [MESSAGE]
processed as a comment.

説明: mvstrans トランスレータは、サポートされていないジョブ入力制御文を %3.3d 行で検出し、これを出力ファイルのコメントとして変換しました。

対処: 出力ファイルを調査し、結果に応じて変更します。

MV0541(W) Line=#%3.3d. Job Entry Control Statement [OPERATOR]
processed as a comment.

説明: mvstrans トランスレータは、サポートされていないジョブ入力制御文を %3.3d 行で検出し、これを出力ファイルのコメントとして変換しました。

対処: 出力ファイルを調査し、結果に応じて変更します。

MV0542(W) Line=#%3.3d. Job Entry Control Statement [OPERATOR]
processed as a comment.

説明: mvstrans トランスレータは、サポートされていないジョブ入力制御文を %3.3d 行で検出し、これを出力ファイルのコメントとして変換しました。

対処: 出力ファイルを調査し、結果に応じて変更します。

MV0543(W) Line=#%3.3d. Invalid continuation line for statement
%s.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行に %s 文の無効な継続行を検出しました。

対処: JCL 構文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0544(W) Line=#%3.3d. Invalid continuation line for statement
%s.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行に %s 文の無効な継続行を検出しました。

対処: JCL 構文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0545(W) Line=#%3.3d. Invalid continuation line for statement
%s.

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行に %s 文の無効な継続行を検出しました。

対処: JCL 構文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0546(I) Job %s preprocessed successfully.

説明: 情報メッセージです。

MV0547(I) Procedure %s preprocessed successfully.

説明: 情報メッセージです。

MV0548(I) File: %s Line=##%3.3d

説明: 情報メッセージです。

MV0549(I) [%s]

説明: 情報メッセージです。

MV0550(W) Line=##%3.3d. JCL following Null statement is ignored.

説明: JCL ファイルの行 %3.3d で、mvstrans が、end-of-job または Null 文に続く JCL 文を検出しました。この文は破棄され、JCL ジョブファイルの最初のジョブだけが mvstrans によって処理されます。

対処: 各ジョブ毎にファイルを作成します。

MV0551(E) Unexpected JCL input stream contents:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 入力ストリームを検出しました。

対処: 構文を確認し、JCL を訂正して mvstrans を再実行します。

MV0552(E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0553(E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0554(E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0555(E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0556 (E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0557 (E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0558 (E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0559 (E) Unexpected JCL statement continuation:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0560 (E) Unexpected JCL input stream contents:

説明: mvstrans トランスレータは、所定外の JCL 文の継続を検出しました。

対処: JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0561 (E) Premature end of JCL input:

説明: mvstrans トランスレータが、所定外の構文を検出しました。処理は停止します。

対処: JCL 構文を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0562 (E) Sequence error or premature end of input:

説明: 構文エラーです。

対処: 入力ファイルを更新し、再実行します。

MV0563 (W) Line=#%3.3d. Ignoring input line beginning with %c%c.
Located out of context.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行にある %c%c で始まる文は、不正なコンテキストで検出されました。mvstrans は、このメッセージを表示してその行を無視します。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、mvstrans を再実行します。

MV0564 (W) No PROC statement found in line one of procedure. No symbolic parameters initialized.

説明: JCL プロシーチャーファイルの mvstrans トランスレータによって検出された最初のジョブ制御文は、PROC 文ではありませんでした。

対処: PROC 文が入力プロシーチャーに存在する場合は、それがファイルに存在する最初の JCL 文であることを確認して、mvstrans を再実行します。

MV0565 (W) JOB statement not located as first JCL statement of Job stream. JOB parameter field ignored.

説明: JCL ジョブファイルで mvstrans が検出した、コメントではない最初のジョブ制御文および JCL 文は、JOB 文ではありませんでした。

対処: JOB 文は、コメントではない最初の JCL 文の中に存在する必要があります。JCL ジョブファイルを訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0566 (W) Line=##%3.3d. Job Control Statement unsupported in this version of mvstrans.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans がサポートされていないジョブ制御文を検出しました。この機能は Sun MBM で適用もサポートもされないため、この文は mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でのジョブ制御文の実装に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0567 (W) Line=##%3.3d. Job Control Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[%s].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が %s ジョブ制御文を検出しました。この機能は Sun MBM で適用もサポートもされないため、この文は mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でのジョブ制御文の実装に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0568 (W) Line=##%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[JES2 XMIT].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が XMIT 文を検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でのジョブ制御コマンドの実装に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0569(W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[JES3 Command].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が JES3 コマンドを検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境での JES3 サポートに関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0570(W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[JES2 Command].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が JES2 コマンドを検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境での JES2 サポートに関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0571(W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[JES3 NETACCT].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が JES3 コマンドを検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境での JES3 サポートに関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0572(W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[JES3 ROUTE].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が JES3 コマンドを検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境での JES3 サポートに関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0573(W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[ROUTE XEQ].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が ROUTE XEQ コマンドを検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0574 (W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[ROUTE PU].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が ROUTE PU コマンドを検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0575 (W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[%s].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が %s 文を検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、この文は mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされている文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0576 (W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[%s].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が %s 文を検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、この文は mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされている文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0577 (W) Line=#%3.3d. Job Entry Statement unsupported in this version of mvstrans. Statement=[%s].

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が %s 文を検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、この文は mvstrans によって破棄されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされている文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

MV0578 (W) Line=#%3.3d. %-4.4s statement with no operands unsupported in this version of mvstrans. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans がプログラム名またはプロシージャオペランドを持たない文を検出しました。この文は無視されます。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を訂正して再実行します。

MV0579(W) Line=#%3.3d. %-4.4s statement with no operands unsupported in this version of mvstrans. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans がプログラム名またはプロシージャオペランドを持たない文を検出しました。この文は無視されます。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を訂正して再実行します。

MV0580(W) Line=#%3.3d. EXEC statement with no operands unsupported in this version of mvstrans. Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans トランスレータがプログラム名またはプロシージャオペランドを持たない EXEC JCL 文を検出しました。この文は無視されます。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を訂正して再実行します。

MV0581(W) Line=#%3.3d. Non-JCL data interpreted as a DD SYSIN instream dataset.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、mvstrans が DD SYSIN インストリームデータセットに変換される非 JCL データを検出しました。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0582(E) A second JOB statement present in Job stream:

説明: mvstrans トランスレータは、1つの JCL ジョブファイルに複数のジョブを検出しました。最初のジョブだけは変換されます。このメッセージが表示されると、mvstrans は異常終了します。

対処: JCL ファイルの各ジョブを別の JCL ジョブファイルに入れ、ジョブファイルに対して mvstrans を実行します。

MV0583(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: 情報メッセージです。

MV0584(E) second PROC statement located in Procedure stream:

説明: JCL プロシージャファイルに複数の PROC 文が検出されました。このタイプのファイルは無効で、mvstrans は異常終了します。

対処: 入力プロシージャファイルの JCL を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0585(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: 情報メッセージです。

MV0586 (W) Line=##%3.3d. Unexpected operand format in parameter field. Context [%s%s].

説明: JCL ファイル %3.3d 行のパラメータフィールドで、mvstrans トランスレータは、所定外のオペランド形式を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0587 (W) Line=##%3.3d. Unexpected operand format in parameter field. Context [%s%s].

説明: JCL ファイル %3.3d 行のパラメータフィールドで、mvstrans トランスレータは、所定外のオペランド形式を検出しました。

対処: 形式を訂正し、mvstrans を再実行します。

MV0588 (W) Line=##%3.3d. Hexadecimal representation may require conversion [%s].

説明: mvstrans トランスレータは、%3.3d 行に、サポートされていない 16 進数テキストを検出しました。

対処: 16 進数テキストを調査し、その結果に応じて変更します。

MV0589 (S) No input file path specified.

説明: 無効な入力コマンドです。

対処: コマンド行に入力ファイルを追加し、再実行します。

MV0590 (S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0591 (S) Environment variable %s must be set to JCL, JES2 or JES3.

説明: mvstrans トランスレータは、Sun MBM 環境から指定された変数を検出できません。

対処: mvstrans コマンドを実行する前に、batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

MV0592 (S) Unable to open input file %s - errno %d

説明: 指定された入力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0593(S) Unable to open input file %s - errno %d

説明: 指定された入力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0594(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0595(S) Illegal specification of option b.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0596(S) Illegal specification of option R.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0597(S) Illegal specification of option J.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0598(S) Illegal specification of option i.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0599(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0600 ~ MV0699

MV0600(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0601(S) Illegal specification of option r.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0602(S) Illegal specification of option t.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0603(S) Illegal option %c.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0604(S) Unexpected input arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

MV0605(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0606(I) Trace file : %s

説明: 情報メッセージです。

MV0607(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: 情報メッセージです。

MV0608(I)preprocessor: %s %s, %s %s

説明: 情報メッセージです。

MV0609(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0610(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0611(E) Unable to process instream data from mitrans output file %s, return code='%d'.

説明: JCL 一覧ファイル %s を作成できません。

対処: %s で指定されているディレクトリパス名が存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

MV0612(E) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0613(E) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0614(E) Unable to create JCL listing file %s, return code='%d'.

説明: JCL 一覧ファイル %s を作成できません。

対処: %s で指定されているディレクトリパス名が存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

MV0615(E) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0616(E) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: 指定された出力ファイルを開く際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0617(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0618(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0619(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0620(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0621(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0622(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0623(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0624(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0625(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0626(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0627(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0628(W) Line=#%3.3d. Temporary dataset %s mapped to filename %s of length greater than 14 characters.

説明: mvstrans トランスレータは、一時データセット %s のために、このメッセージを表示します。これは、File_Map に挿入された %s ファイル名にマップされた現在の JCL ファイルで検出されたものです。

対処: mvstrans によって生成された File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、一時データセットが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0629(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0630(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0631(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0632(I) System command '%s' failure.

説明: 情報メッセージです。

対処: 詳細は、追加メッセージを調査します。

MV0633(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0634(E) Line=##%3.3d. Unable to build File_Map entry for key '%s %s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0635(I) System command '%s' failure, return code='%d'.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0636(E) Line=##%3.3d. Unable to retrieve new File_Map entry for key '%s %s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0637(I) System command '%s' failure.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0638(I) Line=#%3.3d. Default entry for temporary library %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定ライブラリの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0639(I) Line=#%3.3d. Default entry for temporary VSAM dataset %s with %s catalog added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行の DD 文で検出された VASM データセットの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットが Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0640(I) Line=#%3.3d. Default entry for temporary dataset %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0641(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0642(I) System command '%s' failure.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0643(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0644(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0645(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0646(E) Line=#%3.3d. Unable to build File_Map entry for key '%s %s'.

説明: mvstrans は、検査モード (-v オプション) で実行されると、JCL で検出されたデータセットとライブラリを Sun MBM 環境に適した出力先にマップしてデフォルトの File_Map エントリを作成します。mvstrans トランスレータは、キー %s %s を持つ新規エントリのためのエントリの作成に失敗しました。

MV0647(I) System command '%s' failure, return code='%d'.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0648(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve new File_Map entry for key '%s %s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0649(I) System command '%s' failure.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0650(W) Line=#%3.3d. Dataset name %s converted to %s for addition to File_Map.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されたときに、mvstrans トランスレータはこのメッセージを表示して、%3.3d 行のデータセット名 %s が %s に変換され、File_Map に追加されたことを示します。

対処: %3.3d 行のデータセット名が有効であることを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0651(I) Line=#%3.3d. Default entry for library %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定ライブラリの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0652(I) Line=#%3.3d. Default entry for VSAM dataset %s with %s catalog added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットが Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0653(I) Line=##%3.3d. Default entry for GDG %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定 GDG の File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、GDG が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0654(W) Line=##%3.3d. Default entry for dataset %s added to File_Map as a PDS member.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map で、PDS メンバーとしてデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、PDS が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0655(I) Line=##%3.3d. Default entry for PDS member %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定 PDS メンバーの File_Map で、デフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、PDS が Sun MBM 環境に正しくマップされるようにします。

MV0656(I) Line=##%3.3d. Default entry for dataset %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0657(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0658(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0659(W) Line=#%3.3d. Temporary dataset %s mapped to filename %s of length greater than 14 characters.

説明: mvstrans トランスレータは、一時データセット %s のために、このメッセージを表示します。これは、File_Map に挿入された %s ファイル名にマップされた現在の JCL ファイルで検出されたものです。

対処: mvstrans によって生成された File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、一時データセットが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0660(E) Line=#%3.3d. Unable to build File_Map entry for key '%s %s'.

説明: mvstrans は、検査モード (-v オプション) で実行されると、JCL で検出されたデータセットとライブラリを Sun MBM 環境に適した出力先にマップしてデフォルトの File_Map エントリを作成します。mvstrans トランスレータは、キー %s %s を持つ新規エントリのためのエントリの作成に失敗しました。

MV0661(I) System command '%s' failure, return code='%d'.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0662(E) Line=#%3.3d. Unable to retrieve new File_Map entry for key '%s %s'.

説明: mvstrans トランスレータは、%s のデータセットまたはライブラリの File_Map エントリを検出できません。

対処: %s に一致する最初の 2 つのフィールドを持つ、データセットまたはライブラリに有効な File_Map エントリが存在することを確認します。デフォルト File_Map エントリは、検証モード (-v オプション) で mvstrans を実行することで、データセットおよびライブラリ用に作成されます。

MV0663(I) System command '%s' failure.

説明: mvstrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: 追加のメッセージを調査し、エラーの原因を突き止めます。

MV0664 (W) Line=#%3.3d. Dataset name %s converted to %s for addition to File_Map.

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されたときに、mvstrans トランスレータはこのメッセージを表示して、%3.3d 行のデータセット名 %s が %s に変換され、File_Map に追加されたことを示します。

対処: %3.3d 行のデータセット名が有効であることを確認し、必要に応じて mvstrans を再実行します。

MV0665 (I) Line=#%3.3d. Default entry for temporary dataset %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map でデフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される mvstrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: mvstrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

MV0666 (S) ERROR locking File Map, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0667 (S) ERROR unlocking File Map, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0668 (S) ERROR opening File Map, errno=%d.

説明: 割り当てられた File_Map にアクセスする際のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

MV0669 (S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: mvstrans トランスレータは、%d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0670 (W) WARNING. Invalid Dataset Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0671(S) ERROR Dataset Name %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0672(W) WARNING. Invalid Catalog Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0673(S) ERROR Catalog Name %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0674(W) WARNING. Invalid Type Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0675(S) ERROR dataset type %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0676(W) WARNING. Invalid Mapped Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0677(S) ERROR Mapped Name %s exceeds the limit of %d. Command
aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0678(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: mvstrans トランスレータは、%d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0679(W) WARNING. Invalid Record Properties File Name in %s at line %d

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0680(S) ERROR Record Property File Name %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0681(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: mvstrans トランスレータは、%d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0682(W) WARNING. Invalid GDG number in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0683(S) ERROR GDG number %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0684(S) ERROR allocating %d bytes, <%s>. Errno=%d.

説明: mvstrans トランスレータは、文字列 %s の %d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0685(S) ERROR unexpected cmd string <%s>.

説明: ソース行 %d で、mvstrans の File_Map 検索の際に内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

MV0686(S) ERROR unexpected end of cmd string <%s>.

説明: ソース行 %d で、mvstrans の File_Map 検索の際に内部エラーが発生しました。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

MV0687(S) ERROR invalid key separator <%s>.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0688(S) ERROR field number not found <%s>.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

MV0689(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: mvstrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

MV0690(W) DSNNAME(%s) parameter of DCB is not supported in this version.

説明: このメッセージは、DCB パラメータがサポートされていないことを示します。
%s 変数は、DCB パラメータ内のコードであるデータセット名です。

対処: アクションは必要ありません。ただし、DD 文が別にコード化される必要がある場合は、JCL を確認してください。次に例を示します。

```
//INFILE1 DD DSN=TEST. ORDFILE,DISP=SHR,  
//DCB=(RECFM=V,LRECL=100)
```

MV0691(W) Line=#%3.3d. Length of symbolic parameter exceeded limit, symbolic truncated to '%s'.

説明: %s 文字列は、mvstrans が記号パラメータ識別子をどのように切り捨てたかを示します (SET 文で等号記号の左側にある文字)。文字列には、JCL で特殊文字から変換されたエスケープシーケンスを含む場合があります。MVS JCL は、パラメータ識別子の長さを 8 文字に制限していることに注意してください。

原因: JCL の行 %3.3d に、Sun MBM の 80 文字制限を越える値に変換された記号パラメータ識別子を持つ SET 文が含まれています。

対処: パラメータ識別子が 80 を超える文字数に変換されないように、JCL の %3.3d 行の SET 文をコーディングし直します。

第14章

VS 系メッセージ

VS 系メッセージは、dostrans トランスレータに関連しています。

VS0001 ~ VS0099

VS0001(W) Jobname is set to name of Job script, JNM ignored.

説明: ジョブ名がファイル名に設定されています。

対処: 別のジョブ名を使用する場合はファイルをリネームします。

VS0002(W) %s JOB operand is supported via unikixjob and subjob with the -c option.

説明: 指定されたパラメータは無視されます。

対処: -c オプションを使用して、ジョブを特定のジョブクラスにサブミットします。

VS0003(W) %s JOB operand is supported via unikixjob and subjob with the -d option.

説明: 指定されたパラメータは無視されます。

対処: -d オプションを使用して、ジョブを特定の設定でサブミットします。

VS0004(W) %s JOB operand is supported via unikixjob and subjob with the -p option.

説明: 指定されたパラメータは無視されます。

対処: -p オプションを使用して、特定の優先順位をジョブに割り当てます。

VS0005(W) %s JOB operand is supported via unikixjob and subjob with the -m option.

説明: 指定されたパラメータはサポートされていません。

対処: -m オプションを使用して、ジョブの補完をユーザーに通知します。

VS0006(W) %s operand not supported for \$\$ JOB statement in this version of dostrans.

説明: \$\$ JOB 文のオペランド %s は、Sun MBM の今回のリリースではサポートされません。

対処: オペランドが変換されていません。

VS0007(I)# DOS/VSE JCL Translator #

説明: 情報メッセージです。

VS0008(I)# JOB: %14.14s #

説明: 情報メッセージです。

VS0009(I)# DOS/VSE JCL Translator Version : %18.18s #

説明: 情報メッセージです。

VS0010(I)# JOB: %14.14s Translated : %24.24s #

説明: 情報メッセージです。

VS0011(I)# DOS/VSE JCL Translator #

説明: 情報メッセージです。

VS0012(I)# PROCEDURE: %8.8s #

説明: 情報メッセージです。

VS0013(I)# DOS/VSE JCL Translator Version : %18.18s #

説明: 情報メッセージです。

VS0014(I)# PROCEDURE: %8.8s Translated : %24.24s #

説明: 情報メッセージです。

VS0015(W) %s() No dest_unit_addr for an ASSGN on line %d : statement ignored.

説明: ASSGN 文は、出力先装置アドレスを指定していません。

対処: ASSGN 文が無視されない場合は、必要なパラメータを指定します。

VS0016(W) Line=##%3.3d. Non-unique CATALOG %s may be intended for duplicate datasets with same filename.

説明: %3.3d 行の DLBL 文に、記号パラメータを含む CATALOG オペランドの値があります。カタログ名が一意でないために同じデータセット名に異なる物理ファイルが割り当てられている場合でも、dostrans は、DLBL によって割り当てられるデータセットの File_Map にデフォルトエントリを 1 つだけ生成します。

対処: 同じ名前の異なるデータセットに別個のカタログが使用される場合は、File_Map で各データセットに一意のエントリが存在することを確認します。%s から解釈処理されたカタログ名の値をファイル名に含めることによって、Sun MBM 環境でマップされたファイルを一意にできます。

VS0017(I) Line=##%3.3d. Failed to locate file type in File_Map for dataset %s. File: %s.

説明: File_Map でデータセット %s またはライブラリ %s にマップされたファイル名の検出に失敗したときに、dostrans トランスレータによって表示されません。

対処: 検査モード (-v オプション) で JCL ファイルに対して dostrans を実行することによって、File_Map エントリが作成されることを確認します。さらに、必要な更新を手動で行います。また、変換に使用する正しい File_Map が \$FILEMAP に指定されていることも確認します。

VS0018(I) Line=##%3.3d. Failed to locate file type in File_Map for dataset %s. File: %s.

説明: File_Map でデータセット %s またはライブラリ %s にマップされたファイル名の検出に失敗したときに、dostrans トランスレータによって表示されません。

対処: 検査モード (-v オプション) で JCL ファイルに対して dostrans を実行することによって、File_Map エントリが作成されることを確認します。さらに、必要な更新を手動で行います。また、変換に使用する正しい File_Map が \$FILEMAP に指定されていることも確認します。

VS0019(W) Line=##%3.3d. Physical unit address of ASSGN statement refers to symbolic parameter(s).

説明: %3.3d 行の ASSGN 文の物理ユニットのデバイスアドレスオペランドが記号パラメータなので、dostrans は割り当てられているデータセットのタイプを確認できません。このメッセージは、検査モード (-v オプション) の dostrans によって表示され、表示 (印刷) 出力ファイルにデフォルトで割り当てられることを示しています。

対処: ASSGN 文が表示出力データセットを割り当てない場合、JCL ファイルでこの文を修正し、変換時に dostrans が文を正確に解釈するようにします。

VS0020(I) Logical unit %s from ASSGN statement will be assigned to SYSOUT.

説明: %3.3d 行の ASSGN 文の物理ユニットのデバイスアドレスオペランドが記号パラメータなので、dostrans は割り当てられているデータセットのタイプを確認できません。このメッセージは、検査モード (-v オプション) の dostrans によって表示され、表示 (印刷) 出力ファイルにデフォルトで割り当てられることを示しています。

対処: ASSGN 文が表示出力データセットを割り当てない場合、JCL ファイルでこの文を修正し、変換時に dostrans が文を正確に解釈するようにします。

VS0021(W) Line=##%3.3d. Physical unit address of ASSGN statement refers to symbolic parameter(s).

説明: %3.3d 行の ASSGN 文の物理ユニットのデバイスアドレスオペランドが記号パラメータなので、dostrans は割り当てられているデータセットのタイプを確認できません。このメッセージは、検査モード (-v オプション) の dostrans によって表示され、表示 (印刷) 出力ファイルにデフォルトで割り当てられることを示しています。

対処: ASSGN 文が表示出力データセットを割り当てない場合、JCL ファイルでこの文を修正し、変換時に dostrans が文を正確に解釈するようにします。

VS0022(I) Logical unit %s from ASSGN statement assigned to SYSOUT.

説明: %3.3d 行の ASSGN 文の物理ユニットのデバイスアドレスオペランドが記号パラメータなので、dostrans は割り当てられているデータセットのタイプを確認できません。このメッセージは、検査モード (-v オプション) の dostrans によって表示され、表示 (印刷) 出力ファイルにデフォルトで割り当てられることを示しています。

対処: ASSGN 文が表示出力データセットを割り当てない場合、JCL ファイルでこの文を修正し、変換時に dostrans が文を正確に解釈するようにします。

VS0023(I) Line=##%3.3d. Failed to locate Unix filename in File_Map for dataset %s. File: %s.

説明: File_Map でデータセット %s またはライブラリ %s にマップされたファイル名の検出に失敗したときに、dostrans トランスレータによって表示されます。

対処: 検査モード (-v オプション) で JCL ファイルに対して dostrans を実行することによって、File_Map エントリが作成されることを確認します。さらに、必要な更新を手動で行います。また、変換に使用する正しい File_Map が \$FILEMAP に指定されていることも確認します。

VS0024 (W) Line=#%3.3d. %-9.9s operand not supported for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: dostrans は、JCL ファイルの行 %3.3d で、JCL 文 %-7.7s のオペランド %-9.9s が見つかりましたが、これは Sun MBM ではサポートされていません。オペランドが変換されていません。

対処: JCL ファイルを修正し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0025 (W) Line=#%3.3d. First two characters of partition-related procedure name %-8.8s are not modified.

説明: プロシージャ名 %-8.8s の最初の 2 文字は、VSE によってプロシージャが呼び出されるパーティションに関連する値で置換されます。これによって、ジョブが実行されるプロシージャによっては、同じ JCL ジョブが異なるプロシージャを実行することが可能になります。dostrans は、プロシージャ名の最初の 2 文字の置換を実行しません。Sun MBM 環境では、動的なプロシージャ名はサポートされません。

対処: %3.3d 行の EXEC 文で使用されているプロシージャ名が JCL プロシージャディレクトリに存在するプロシージャの名前を参照していることを確認します。

VS0026 (W) Line=#%3.3d. operand not supported for LIBDEF statement - Operand is ignored.

説明: 行 %3.3d にある LIBDEF 文の最初のオペランドは、想定されるオペランド値のいずれかではありません。オペランドは、次の値のいずれかになります。*、DUMP、OBJ、PHASE、PROC、または SOURCE。PROC、PHASE、および * だけが Sun MBM 環境でサポートされます。

対処: JCL ファイルの LIBDEF 文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0027 (I) Line=#%3.3d. Failed to locate Unix filename in File_Map for dataset '%s'. File: %s.

説明: File_Map でデータセット %s またはライブラリ %s にマップされたファイル名の検出に失敗したときに、dostrans トランスレータによって表示されます。

対処: 検査モード (-v オプション) で JCL ファイルに対して dostrans を実行することによって、File_Map エントリが作成されることを確認します。さらに、必要な更新を手動で行います。また、変換に使用する正しい File_Map が \$FILEMAP に指定されていることも確認します。

VS0028(W) Line=#%3.3d. OBJ operand not supported for LIBDEF statement - Statement is ignored.

説明: OBJ オペランドの値は、その他のオペランドで指定されている検索チェーンが VSE リンケージエディタまたは言語トランスレータによって使用される検索チェーンに影響を与えることを示します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0029(W) Line=#%3.3d. SOURCE operand not supported for LIBDEF statement - Statement is ignored.

説明: SOURCE オペランドの値は、その他のオペランドで指定されている検索チェーンが VSE リンケージエディタまたは言語トランスレータによって使用される検索チェーンに影響を与えることを示します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0030(W) Line=#%3.3d. DUMP operand not supported for LIBDEF statement - Statement is ignored.

説明: DUMP オペランドは、ダンプが生成されSYSDUMP オプションが有効である場合、または CANCEL コマンドが SYSDUMP オペランドとともに実行された場合に、使用されるサブライブラリを定義します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0031(W) Line=#%3.3d. Type operand of LIBDEF statement not recognized - Statement is ignored.

説明: 行 %3.3d にある最初オペランドは、想定されるオペランド値のいずれかではありません。オペランドは、次の値のいずれかになります。*、DUMP、OBJ、PHASE、PROC、または SOURCE。PROC、PHASE、および * だけが Sun MBM 環境でサポートされます。

対処: JCL ファイルの LIBDEF 文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0032(W) Line=#%3.3d. LIBDEF statement has no search chain specified - Statement is ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行にある JCL 文 LIBDEF で、検索ライブラリが指定されていないことが、dostrans によって検出されました。

対処: JCL ファイルの LIBDEF 文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0033(W) Line=#%3.3d. CATALOG operand with no SEARCH operand does not affect batch search chain - LIBDROP statement is ignored.

説明: LIBDEF 文の CATALOG オペランドは、Sun MBM 環境でサポートされません。したがって、%3.3d 行の LIBDROP 文は Sun MBM によって使用される検索チェーンに影響を与えません。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0034(W) Line=#%3.3d. OBJ operand not supported for LIBDROP statement - Statement is ignored.

説明: OBJ オペランドは、オブジェクトモジュールの検索時にリンケージエディタによって使用されるサブライブラリチェーンを定義します。OBJ タイプのメンバーのみが検索されます。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0035(W) Line=#%3.3d. SOURCE operand not supported for LIBDROP statement - Statement is ignored.

説明: LIBDROP 文の SOURCE オペランドが、指定した検索チェーンがリセットされたことを示しています。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0036(W) Line=#%3.3d. DUMP operand not supported for LIBDROP statement - Statement is ignored.

説明: LIBDROP 文の DUMP オペランドが、ダンプファイルのサブライブラリ定義がリセットされるように指定します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0037(W) Line=#%3.3d. Type operand of LIBDROP statement not recognized - Statement is ignored.

説明: 行 %3.3d にある LIBDROP 文の最初のオペランドは、想定されるオペランド値のいずれかではありません。オペランドは、次の値のいずれかになります。*、DUMP、OBJ、PHASE、PROC、または SOURCE。PROC、PHASE、および * だけが Sun MBM 環境でサポートされます。

対処: JCL ファイルの文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0038(W) Line=#%3.3d. PERM operand not supported for LIBDROP statement - Operand is ignored.

説明: 行 %3.3d にある LIBDROP 文の PERM オペランドは、想定されるオペランド値のいずれかではありません。オペランドは、次の値のいずれかになります。*、DUMP、OBJ、PHASE、PROC、または SOURCE。PROC、PHASE、および * だけが Sun MBM 環境でサポートされます。

対処: JCL ファイルの文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0039(W) Line=#%3.3d. OBJ operand not supported for LIBLIST statement - Statement is ignored.

説明: OBJ が LIBLIST 文のタイプオペランドである場合は、LIBDEF OBJ 文によって確立された検索チェーンを表示します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0040(W) Line=#%3.3d. SOURCE operand not supported for LIBLIST statement - Statement is ignored.

説明: SOURCE が LIBLIST 文のタイプオペランドである場合は、LIBDEF SOURCE 文によって確立された検索チェーンを表示します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0041(W) Line=##3.3d. DUMP operand not supported for LIBLIST statement - Statement is ignored.

説明: DUMP が LIBLIST 文のタイプオペランドである場合は、LIBDEF DUMP 文によって確立された検索チェーンを表示します。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは dostrans によって破棄されます。

対処: JCL ファイルのジョブステップが、VSE リンケージエディタも言語トランスレータも呼び出さないことを確認します。これらの機能は Sun MBM ジョブの外部で言語コンパイラによって実行されます。

VS0042(W) Line=##3.3d. Type operand of LIBLIST statement not recognized - Statement is ignored.

説明: 行 %3.3d にある LIBLIST 文の最初のオペランドは、想定されるオペランド値のいずれかではありません。オペランドは、次の値のいずれかになります。*、DUMP、OBJ、PHASE、PROC、または SOURCE。PROC、PHASE、および * だけが Sun MBM 環境でサポートされます。

対処: JCL ファイルの文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0043(W) Line=##3.3d. SYSLOG operand not supported for LIBLIST statement - Operand is ignored.

説明: 行 %3.3d にある LIBLIST 文の最初のオペランドは、想定されるオペランド値のいずれかではありません。オペランドは、次の値のいずれかになります。*、DUMP、OBJ、PHASE、PROC、または SOURCE。PROC、PHASE、および * だけが Sun MBM 環境でサポートされます。

対処: JCL ファイルの文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0044(W) Line=##3.3d. No symbolic parameters defined by SETPARM.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行の SETPARM 文のオペランドで、記号パラメータの値の定義が指定されていません。

対処: SETPARM 文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0045(S) transi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、出力ファイルとして指定されたファイルを開けません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0046(S) transi : Unable to open output file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。 dostrans は、出力ファイルとして指定されたファイルを開けません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。 dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0047(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。 このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。 メッセージの情報は、次の順番で表示されます。 %s はソースファイルの名前、 %d はソースファイルの行、 %d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0048(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。 このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。 メッセージの情報は、次の順番で表示されます。 %s はソースファイルの名前、 %d はソースファイルの行、 %d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0049(W) Line=##%3.3d. CONTINUE action not valid with \$ABEND or \$CANCEL condition - ON statement ignored.

説明: dostrans は、CONTINUE アクションの単一 \$ABEND または \$CANCEL 条件を持つ JCL 文 ON に対して変換を行いません。これは無効な JCL 構文です。

対処: JCL ファイルを訂正し、dostrans を再実行します。

VS0050(W) Line=##%3.3d. \$CANCEL operand not supported for ON statement - Second ON condition is ignored.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に存在するすべての条件は、\$CANCEL キーワードを参照します。 abtjob コマンドを使用して Sun MBM 環境でジョブがキャンセルされたあと、dostrans はそのジョブ内から明示的なアクションを実行できません。変換済みジョブが Sun MBM で実行されるときに、abtjob コマンドがジョブをキャンセルすると、デフォルトのアクションとして制御を end-of-job に引き渡します。

対処: abtjob コマンドでジョブがキャンセルされた場合は、ON 文によって実行されるはずだった明示的なアクションをジョブから抽出し、実行します。

VS0051(W) Line=#%3.3d. \$CANCEL operand not supported - ON statement is ignored.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に存在するすべての条件は、\$CANCEL キーワードを参照します。abtjob コマンドを使用して Sun MBM 環境でジョブがキャンセルされたあと、dostrans はそのジョブ内から明示的なアクションを実行できません。変換済みジョブが Sun MBM で実行されるときに、abtjob コマンドがジョブをキャンセルすると、デフォルトのアクションとして制御を end-of-job に引き渡します。

対処: abtjob コマンドでジョブがキャンセルされた場合は、ON 文によって実行されるはずだった明示的なアクションをジョブから抽出し、実行します。

VS0052(W) Line=#%3.3d. \$RC condition for ON statement ignored. Superseded by \$ABEND condition.

説明: %3.3d 行の ON 文には AND 演算子で分離された 2 つの条件が含まれています。条件の 1 つは、JCL キーワード \$ABEND を含んでいます。この条件が当てはまり、他の条件にキーワード \$RC が含まれる場合、\$RC 条件の値は不正終了の条件に関係ないので無視されます。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0053(W) Line=#%3.3d. \$CANCEL operand not supported for ON statement - Second ON condition is ignored.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に存在するすべての条件は、\$CANCEL キーワードを参照します。abtjob コマンドを使用して Sun MBM 環境でジョブがキャンセルされたあと、dostrans はそのジョブ内から明示的なアクションを実行できません。変換済みジョブが Sun MBM で実行されるときに、abtjob コマンドがジョブをキャンセルすると、デフォルトのアクションとして制御を end-of-job に引き渡します。

対処: abtjob コマンドでジョブがキャンセルされた場合は、ON 文によって実行されるはずだった明示的なアクションをジョブから抽出し、実行します。

VS0054(W) Line=#%3.3d. \$RC condition for ON statement ignored. Superseded by \$ABEND condition.

説明: %3.3d 行の ON 文には AND 演算子で分離された 2 つの条件が含まれています。条件の 1 つは、JCL キーワード \$ABEND を含んでいます。この条件が当てはまり、他の条件にキーワード \$RC が含まれる場合、\$RC 条件の値は不正終了の条件に関係ないので無視されます。

対処: %3.3d 行を確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0055(W) Line=#%3.3d. \$CANCEL operand not supported for ON statement - ON condition is ignored.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に存在するすべての条件は、\$CANCEL キーワードを参照します。abtjob コマンドを使用して Sun MBM 環境でジョブがキャンセルされたあと、dostrans はそのジョブ内から明示的なアクションを実行できません。変換済みジョブが Sun MBM で実行されるときに、abtjob コマンドがジョブをキャンセルすると、デフォルトのアクションとして制御を end-of-job に引き渡します。

対処: abtjob コマンドでジョブがキャンセルされた場合は、ON 文によって実行されるはずだった明示的なアクションをジョブから抽出し、実行します。

VS0056(W) Line=#%3.3d. \$CANCEL operand not supported for ON statement - First ON condition is ignored.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に存在するすべての条件は、\$CANCEL キーワードを参照します。abtjob コマンドを使用して Sun MBM 環境でジョブがキャンセルされたあと、dostrans はそのジョブ内から明示的なアクションを実行できません。変換済みジョブが Sun MBM で実行されるときに、abtjob コマンドがジョブをキャンセルすると、デフォルトのアクションとして制御を end-of-job に引き渡します。

対処: abtjob コマンドでジョブがキャンセルされた場合は、ON 文によって実行されるはずだった明示的なアクションをジョブから抽出し、実行します。

VS0057(W) %s operand not supported in this version of dostrans.

説明: 指定されたオペランドは、このバージョンでサポートされていません。

対処: オペランドを削除し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0058(W) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] will have %s converted to %s.

説明: dostrans が検査モード (-v オプション) で実行され、変換された出力が生成されない場合に、このメッセージが表示されます。

対処: 元の文字がアプリケーションプログラムへの入力として必要でないことを確認します。

VS0059(W) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] has %s converted to %s.

説明: dostrans が検査モード (-v オプション) で実行され、変換された出力が生成されない場合に、このメッセージが表示されます。

対処: 元の文字がアプリケーションプログラムへの入力として必要でないことを確認します。

VS0060(W) Line=##%3.3d. %s statement %s [%s] will have %s converted to %s.

説明: dostrans が検査モード (-v オプション) で実行され、変換された出力が生成されない場合に、このメッセージが表示されます。

対処: 元の文字がアプリケーションプログラムへの入力として必要でないことを確認します。

VS0061(W) Line=##%3.3d. %s statement %s [%s] has %s converted to %s.

説明: dostrans が検査モード (-v オプション) で実行され、変換された出力が生成されない場合に、このメッセージが表示されます。

対処: 元の文字がアプリケーションプログラムへの入力として必要でないことを確認します。

VS0062(W) Line=##%3.3d. %s statement keyword operand [%s] will have %s references prefixed with backslash(\\).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるトランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 文に対する %s 参照は、dostrans 出力に表示されるリテラル文字列で接頭辞 \\ が付けられることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0063(W) Line=##%3.3d. %s statement keyword operand [%s] has %s references prefixed with backslash(\\).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるトランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 文に対する %s 参照は、dostrans 出力に表示されるリテラル文字列で接頭辞 \\ が付けられることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0064(W) Line=##%3.3d. %s statement literal operand will have %s references prefixed with backslash(\\).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるトランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 文に対する %s 参照は、dostrans 出力に表示されるリテラル文字列で接頭辞 \\ が付けられることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0065(W) Line=#%3.3d. %s statement literal operand has %s references prefixed with backslash(\\).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行されるトランスレータによって表示されます。JCL ファイル %3.3d 行の %s 文に対する %s 参照は、dostrans 出力に表示されるリテラル文字列で接頭辞 \\ が付けられることを示します。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0066(W) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] will have %s converted to %s.

説明: dostrans が検査モード (-v オプション) で実行され、変換された出力が生成されない場合に、このメッセージが表示されます。

対処: 元の文字がアプリケーションプログラムへの入力として必要でないことを確認します。

VS0067(W) Line=#%3.3d. %s statement %s [%s] has %s converted to %s.

説明: ハッシュ文字は、出力ファイルの実行に使用される Sun MBM バッチシェル環境で特別な意味を持っているので、生成された dostrans の出力ファイルに入れられません。dostrans は、指定された文字を代替りの文字で置き換えます。

対処: dostrans が処理する前に、JCL ファイルを手動で更新して、ハッシュ文字を置換する必要がある場合があります。dostrans がハッシュ文字をダッシュ文字に変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0068(W) Line=#%3.3d. %s statement positional operand will have %s converted to %s.

説明: dostrans が検査モード (-v オプション) で実行され、変換された出力が生成されない場合に、このメッセージが表示されます。

対処: 元の文字がアプリケーションプログラムへの入力として必要でないことを確認します。

VS0069(W) Line=#%3.3d. %s statement positional operand has %s converted to %s.

説明: 表示された文字は、出力ファイルの実行に使用される Sun MBM バッチシェル環境で特別な意味を持っているので、生成された dostrans の出力ファイルに入れられません。dostrans は、指定された文字を代替りの文字で置き換えます。

対処: dostrans が処理する前に、JCL ファイルを手動で更新して、特殊文字を置換する必要がある場合があります。dostrans が文字を変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0070(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0071(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0072(I) DOS/VSE JCL Translator V%s

説明: 情報メッセージです。

VS0073(I) (c) Copyright Sun Microsystems, Inc.

説明: 情報メッセージです。

VS0074(S) File %s exceeds pathname length limit %d

説明: 指定されたパス名が長すぎます。

対処: パス名のサイズを減らします。

VS0075(S) Specified number of input files [%d] exceeds maximum allowed [%d]

説明: 入力ファイルが多すぎます。

対処: 入力ファイルの数を減らします。

VS0076(S) Option '-m' only valid during validation('-v').

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0077(S) Environment variable %s must be set.

説明: 指定された環境変数が設定されていないか、不正確に設定されています。

対処: トランスレータを呼び出す前に、指定された環境変数に適切なパス名を設定します。

VS0078(S) Unable to access File_Map %s

説明: トランスレータは、環境変数 FILEMAP で定義されているパス名から File_Map %s を開くことができません。

対処: \$FILEMAP が File_Map のフルパス名に設定されていることおよび File_Map が存在して適切なアクセス権を持っていることを確認します。

VS0079(I) Validation Mode initiated.

説明: 情報メッセージです。

VS0080(S) Unable to retrieve PACK variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PACK 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0081(S) Unable to initiate retrieval of PACK variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PACK 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0082(S) Unable to retrieve PUBLIC variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PUBLIC 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0083(S) Unable to initiate retrieval of PUBLIC variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PUBLIC 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0084(S) Unable to access input procedure directory [%s].
[errno=%d].

説明: dosp ディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0085(S) Unable to access input job directory [%s]. [errno=%d].

説明: jdos ディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0086(S) Unable to access output directory %s. [errno=%d].

説明: 指定された出力ディレクトリへのアクセス時のエラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0087(E) Invalid value specification for input file %s.

説明: JCL ファイル用の dostrans コマンドで不正確な値が指定されました。

対処: コマンドを訂正し、dostrans を再実行します。

VS0088(E) Output file %s already exists: Use -f option to force output regeneration.

説明: 出力先ファイルはすでに存在しています。

対処: dostrans コマンドに -f オプションを使って、出力ファイルの上書きを強制します。

VS0089(I) Output file %s not generated in validation mode: -f option is ignored.

説明: 情報メッセージです。

VS0090(I) examining %s

説明: 情報メッセージです。

VS0091(I) including %s SLI members from %s ...

説明: dostrans の SLI メンバー取り込み処理を指定する情報メッセージです。

VS0092(S) Unable to initiate SLI member inclusion.

説明: dostrans の SLI メンバー取り込みフェーズは、dostrans 制御プロセスによって生成される子プロセスです。dostrans が、この子プロセスを生成するために使用する fork() 呼び出しにエラーが発生しました。

対処: システム管理者に失敗した fork() からの errno の値を連絡します。

VS0093(E) dostrans : unable to execvp() %s - errno %d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0094 (E) SLI member inclusion(slitrans) : signal exit status=%d.

説明: JCL メンバー取り込みを実行する dostrans の子プロセスがシグナルの割り込みのために事前に終了した場合に、その制御プロセスによってこのメッセージが表示されます。

対処: シグナルの終了状態 %d を調査し、子プロセスが事前に終了した原因を突き止めます。

VS0095 (I) SLI member inclusion(slitrans) : exit status=%d.

説明: 情報メッセージです。

VS0096 (I) Abnormal termination of dostrans for %s.

説明: 処理できなかった JCL ファイルの名前を示す dostrans が表示する情報メッセージです。このメッセージは、異常終了の原因を示すエラーメッセージのあとに表示されます。

VS0097 (I)
preprocessing %s ...

説明: 情報メッセージです。

VS0098 (S) Unable to initiate preprocessor.

説明: dostrans プリプロセッサは、dostrans 制御プロセスによって生成された子プロセスです。dostrans がプリプロセッサを生成するために使用する fork() 呼び出しにエラーが発生しました。

対処: システム管理者に失敗した fork() 呼び出しからの errno を連絡します。

VS0099 (E) dostrans : unable to execvp() %s - errno %d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0100 ~ VS0199

VS0100 (E) preprocessor(transp) : signal exit status=%d.

説明: dostrans のプリプロセッサの子プロセスがシグナル割り込みのために事前に終了した場合に、その制御プロセスによってこのメッセージが表示されます。

対処: シグナルの終了状態 %d を調査し、プリプロセッサの子が事前に終了した原因を突き止めます。

VS0101(I) `preprocessor(transp) : exit status=%d.`

説明: 情報メッセージです。

VS0102(I) `Abnormal termination of dostrans for %s.`

説明: 処理できなかった JCL ファイルの名前を示す `dostrans` が表示する情報メッセージです。このメッセージは、異常終了の原因を示すエラーメッセージのあとに表示されます。

VS0103(I) `generating output file %s for %s ...`

説明: 情報メッセージです。

VS0104(I) `generating File_Map entries for %s ...`

説明: 情報メッセージです。

VS0105(S) `Unable to initiate translator.`

説明: `dostrans` トランスレータは、`dostrans` 制御プロセスによって生成された子プロセスです。`dostrans` がトランスレータを生成するために使用する `fork()` 呼び出しにエラーが発生しました。

対処: システム管理者に失敗した `fork()` からの `errno` を連絡します。

VS0106(E) `dostrans : unable to execvp() %s - errno %d.`

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0107(E) `translator(transi) : signal exit status=%d.`

説明: `dostrans` のトランスレータの子プロセスがシグナル割り込みのために事前に終了した場合に、その制御プロセスによってこのメッセージが表示されます。

対処: シグナルの終了状態 `%d` を調査し、トランスレータの子プロセスが事前に終了した原因を突き止めます。

VS0108(I) `Abnormal termination of dostrans for %s.`

説明: 処理できなかった JCL ファイルの名前を示す `dostrans` が表示する情報メッセージです。

VS0109(I) `Abnormal termination of validation mode for %s.`

説明: `-v` (検査モード) オプション付きで呼び出されたときに、`dostrans` の制御プロセスによって表示される情報メッセージです。このメッセージは、トランスレータの子プロセスがエラーのために事前に終了したことを示します。終了状態によって、トランスレータプロセス内のエラーの位置が示されます。

対処: このメッセージの前にトランスレータから表示されたエラーメッセージを調査します。そのエラーメッセージに終了の原因が示されています。

VS0110(I) translator(transi) : exit status=%d.

説明: 情報メッセージです。

VS0111(I) Abnormal termination of dostrans for %s.

説明: 処理できなかった JCL ファイルの名前を示す dostrans が表示する情報メッセージです。

VS0112(I) Abnormal termination of validation mode for %s.

説明: -v (検査モード) オプション付きで呼び出されたときに、dostrans の制御プロセスによって表示される情報メッセージです。このメッセージは、トランスレータの子プロセスがエラーのために事前に終了したことを示します。終了状態によって、トランスレータプロセス内のエラーの位置が示されます。

対処: このメッセージの前にトランスレータから表示されたエラーメッセージを調査します。そのエラーメッセージに終了の原因が示されています。

VS0113(S) Illegal specification of option b.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0114(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0115(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0116(S) Illegal specification of option o.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0117(S) Maximum filename size [%d] exceeded by output file %s.

説明: ファイル名が長すぎます。

対処: ファイル名の長さを減らします。

VS0118(S) Invalid specification of output file %s.

説明: dostrans -o オプションで、出力ファイル名が指定されませんでした。

対処: -o オプションを使用して出力ファイル名を指定し、dostrans を再実行します。

VS0119(S) Invalid value specification for output file %s.

説明: dostrans -o オプションで、無効な出力ファイル名が指定されました。

対処: -o オプションを使用して有効な出力ファイル名を指定し、dostrans を再実行します。

VS0120(S) Option -o should specify a filename only, no path expected.

説明: dostrans への -o オプションは、引数としてのファイル名のみを受け入れます。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0121(S) Option -o should not be used for multiple input files.

説明: dostrans への -o オプションは、引数としての単一のファイル名のみを受け入れます。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0122(S) Value of environment variable %s exceeds maximum length [%d].

説明: パス名が長すぎます。

対処: 表示された環境変数で指定されたパス名のサイズを減らします。

VS0123(S) Environment variable %s must be set.

説明: 指定された環境変数が設定されていないか、不正確に設定されています。

対処: トランスレータを呼び出す前に、指定された環境変数に適切なパス名を設定します。

VS0124(I) Warning messages are suppressed.

説明: 情報メッセージです。

VS0125(S) Illegal specification of option T.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0126(S) Illegal specification of option t.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0127(S) Illegal option format specified.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0128(S) Illegal option %c

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0129(S) Unexpected command line arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0130(S) Options -P, -O and -S are mutually exclusive.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0131(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: Source Library Include (SLI) メンバー取り込み処理に対してトレースが要求されたときに、%s ファイルを開けませんでした。

対処: \$DOSTRANS にトレースファイルのディレクトリを定義する場合、このディレクトリが存在し、ファイルへの書き込み権が割り当てられていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

VS0132(I) Trace file for dostrans is %s

説明: dostrans の変換処理のためにトレースメッセージの保存に使用されるトレースファイルを指定する情報メッセージです。

VS0133(I) Usage: dostrans filename

[-b nnn] [-f] [-S | -P | -I]

[-L filename_level] [-l] [-m] [-n] [-o output_filename]

[-p] [-s] [-u] [-V] [-v]

説明: 情報メッセージです。

```
VS0134(I) Usage: dostrans filename
      [-b] [-d] [-f] [-I | -P | -S]
      [ -L filename_level ] [-l] [-m] [-n] [-o output_filename]
      [-p] [-s] [-t (all | flow | entry | exit | jcl | lex |
      nnn[-mmm])]
      [-T (a | d | s | p | i)] [-u] [-V] [-v]
```

説明: 情報メッセージです。

```
VS0135(S) Invalid specification of input file %s.
```

説明: 入力ファイルを指定する際のエラーです。

対処: 入力コマンドを変更し、再実行します。

```
VS0136(S) Unable to retrieve input file list.
```

説明: 入力ファイルの指定が無効です。

対処: 入力コマンドを変更し、再実行します。

```
VS0137(S) Unable to retrieve input file list from %s.
```

説明: 入力ファイルの指定が無効です。

対処: 入力コマンドを変更し、再実行します。

```
VS0138(S) Maximum input file limit [%d] exceeded.
```

説明: ファイル名が長すぎます。

対処: 入力ファイル名を変更し、再実行します。

```
VS0139(I) Job %s macro code generated successfully.
```

説明: JCL ジョブファイルが、Sun MBM マクロジョブスクリプトに正常に変換されました。

対処: 情報メッセージです。

```
VS0140(I) Job %s validated successfully.
```

説明: JCL ジョブファイルが、検証モードを正常に完了しました (-v オプション)。

対処: 情報メッセージです。

```
VS0141(I) Procedure %s macro code generated successfully.
```

説明: JCL プロシージャファイルが、Sun MBM マクロプロシージャスクリプトに正常に変換されました。

対処: 情報メッセージです。

VS0142(I) Procedure %s validated successfully.

説明: JCL プロシージャファイルが、検証モードを正常に完了しました (-v オプション)。

対処: 情報メッセージです。

VS0143(I) Unable to generate macro code from null input for %s.

説明: dostrans トランスレータが空のファイルを受け取ったことを示す情報メッセージです。

対処: ファイルが変換用の JCL を含んでいることを確認します。

VS0144(I) Unable to perform validation on null input from %s.

説明: 空の入力ファイルを受け取ったときに検査モード (-v オプション) である場合に、dostrans トランスレータでこのメッセージが表示されます。

対処: ファイルが検証用の JCL を含んでいることを確認します。

VS0145(S) Sequence error or premature end of input:

File: %s Line=%3.3d

[%s]

説明: SLI メンバー取り込み処理時に、dostrans は、ファイル %s の %3.3d 行で所定外の JCL 構文 %s を検出しました。処理は停止します。

対処: JCL 構文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0147(S) Unsupported JCL operation %s:

File: %s Line=%3.3d

[%s]

説明: dostrans トランスレータは、JCL ファイル %s の %3.3d 行に所定外の JCL 演算を検出しました。

対処: %3.3d 行の構文を確認します。JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0150(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、出力ファイルとして指定されたファイルを開けません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0151(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、出力ファイルとして指定されたファイルを開けません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0152(W) Line=##%3.3d. Single quote in literal operand of %s operation will be prefixed with \\. .

説明: JCL ファイル %3.3d 行のリテラル文字列を持つオペランドが 2 つの単一引用符で表される場合に、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。単一引用符は、dostrans 出力で表示されるリテラル文字列で \ ' に変換されます。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0153(W) Line=##%3.3d. Single quote in literal operand of %s operation prefixed with \\. .

説明: リテラル文字列の単一引用符 1 つが、2 つの単一引用符で表現されます。この表現は dostrans の出力に表示されるリテラル文字列で、\ ' に変換されます。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0154(W) Line=##%3.3d. Single quote in literal operand of %s operation will be prefixed with \\. .

説明: JCL ファイル %3.3d 行のリテラル文字列を持つオペランドが 2 つの単一引用符で表される場合に、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。単一引用符は、dostrans 出力で表示されるリテラル文字列で \ ' に変換されます。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0155(W) Line=##%3.3d. Single quote in literal operand of %s operation prefixed with \\. .

説明: JCL ファイル %3.3d 行のリテラル文字列を持つオペランドが 2 つの単一引用符で表される場合に、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。単一引用符は、dostrans 出力で表示されるリテラル文字列で \ ' に変換されます。

対処: Sun MBM 環境のリテラル文字列は、JCL 表現から解釈された値と同じ値に解釈されます。

VS0156(S) No input file path specified.

説明: コマンドで処理用の入力ファイルが指定されませんでした。

対処: JCL トランスレータの最初のパラメータとしてファイル名を指定し、再実行します。

VS0157(S) Option '-m' only valid during validation('-v').

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0158(S) Environment variable %s must be set.

説明: 指定された環境変数が設定されていないか、不正確に設定されています。

対処: トランスレータを呼び出す前に、指定された環境変数に適切なパス名を設定します。

VS0159(S) Unable to access the File_Map %s.

説明: 指定された File_Map ファイルが存在しないか、あるいは適切なアクセス権を持っていません。

対処: ファイルの存在を調査し、適切なアクセス権を確認します。

VS0160(S) Unable to retrieve PACK variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PACK 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0161(S) Unable to initiate retrieval of PACK variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PACK 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0162(S) Unable to retrieve PUBLIC variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PUBLIC 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0163(S) Unable to initiate retrieval of PUBLIC variable.

説明: トランスレータは、Sun MBM 環境から PUBLIC 変数を検出できません。

対処: コマンドを実行する前に、Sun MBM 環境を継承するための batchenv スクリプトのソースを調査し、Sun MBM 環境が設定されていることを確認します。

VS0164 (W) Unable to retrieve \$FMROOT variable. Using '/tmp' as default value.

説明: デフォルトの File_Map エントリを生成しているときに、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータは \$FMROOT の値を使用します。\$FMROOT の値の検出に失敗した場合に、このメッセージが表示されます。

対処: \$FMROOT をパス名への接頭辞として使用する値に設定します。それ以外の場合は、/tmp が使用されます。

VS0165 (S) Unable to open input file %s - errno %d

説明: 指定された入力ファイル %s を開くことができません。

対処: ディレクトリパスなしで入力ファイルを指定した場合は、そのファイルが現在の作業ディレクトリ下にあるサブディレクトリ jdos に存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

VS0166 (S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: 指定された入力ファイル %s を開くことができません。

対処: ディレクトリパスなしで入力ファイルを指定した場合は、そのファイルが現在の作業ディレクトリ下にあるサブディレクトリ jdos に存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

VS0167 (I) translator: %s %s, %s %s

説明: 情報メッセージです。

VS0168 (I) validation processor: %s %s, %s %s

説明: 情報メッセージです。

VS0169 (S) Illegal specification of option b.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0170 (S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0171 (S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0172(S) Value of environment variable %s exceeds maximum length [%d].

説明: パス名が長すぎます。

対処: 指定された環境変数のパス名の長さを短くします。

VS0173(S) Environment variable %s must be set.

説明: 指定された環境変数が設定されていないか、不正確に設定されています。

対処: トランスレータを呼び出す前に、指定された環境変数に適切なパス名を設定します。

VS0174(S) Illegal specification of option t.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0175(S) Unexpected input arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0176(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: dostrans のトランスレータフェーズに対してトレース (-t オプションおよび -T オプションのどちらかまたは両方) が要求されたときに、%s ファイルを開くことができませんでした。

対処: \$DOSTRANS が dostrans トレースファイルのディレクトリの定義に使用される場合、このディレクトリが存在し、%s ファイルへの適切なアクセス権を持っていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

VS0177(I) Trace file : %s

説明: dostrans の変換処理のためにトレースメッセージの保存に使用されるトレースファイルの名前を示します。

対処: 情報メッセージです。

VS0178(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: %s ファイルの構文解析で、dostrans SLI メンバー取り込み処理時に、構文解析部がエラーを報告しました。このエラーは、JCL ファイルの %3.3d、列 %d 行に所定外の JCL 構文またはサポートされていない JCL 構文があることを示します。

対処: JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0179(S) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: 指定されたデータセット名は、File_Map で定義されていません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行して、必要なエントリを作成します。

VS0180(I) System command '%s' failure.

説明: dostrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: errno を調査し、エラーの原因を突き止めます。

VS0181(S) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: 指定されたデータセット名は、File_Map で定義されていません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行して、必要なエントリを作成します。

VS0182(I) System command '%s' failure.

説明: dostrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: errno を調査し、エラーの原因を突き止めます。

VS0183(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0184(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0185(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0186(S) Line=##%3.3d. Unable to build File_Map entry for key '%s %s'.

説明: dostrans は、検査モード (-v オプション) で実行されると、JCL で検出されたデータセットとライブラリを Sun MBM 環境に適した出力先にマップしてデフォルトの File_Map エントリを作成します。dostrans トランスレータは、キー %s %s を持つ新規エントリのためのエントリの作成に失敗しました。

対処: system() 呼び出しでデフォルトの File_Map エントリを作成するために、Sun MBM コマンド crtflm が使用されます。情報メッセージ DV3115(I) が、このメッセージとともに表示されます。crtflm コマンドを使用して、DV3115(I) に表示されている errno の値から障害の原因を突き止めます。

VS0187(I) System command '%s' failure, return code='%d'.

説明: dostrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: errno を調査し、エラーの原因を突き止めます。

VS0188(S) Line=##%3.3d. Unable to retrieve new File_Map entry for key '%s %s'.

説明: 指定されたデータセット名は、File_Map で定義されていません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行して、必要なエントリを作成します。

VS0189(I) System command '%s' failure.

説明: dostrans トランスレータによるシステムコマンドの実行時のエラーです。

対処: errno を調査し、エラーの原因を突き止めます。

VS0190(I) Line=##%3.3d. Default entry for library %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定ライブラリの File_Map で、デフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: dostrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

VS0191(I) Line=##%3.3d. Default entry for VSAM dataset %s with %s catalog added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定 VSAM データセットの File_Map で、デフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: dostrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

VS0192(I) Line=##%3.3d. Default entry for VSAM dataset %s with %s catalog added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定 VSAM データセットの File_Map で、デフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: dostrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

VS0193(I) Line=##%3.3d. Default entry for dataset %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map で、デフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: dostrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

VS0194(I) Line=##%3.3d. Default entry for dataset %s added to File_Map.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された指定データセットの File_Map で、デフォルトエントリが作成される場合、検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによってこのメッセージが表示されます。

対処: dostrans によって生成されたデフォルトの File_Map エントリを調査して必要な更新を行い、データセットまたはライブラリが Sun MBM 環境で正しくマップされるようにします。

VS0195(S) Line=#%3.3d. Unable to retrieve File_Map entry for key '%s'.

説明: 指定されたデータセット名は、File_Map で定義されていません。

対処: 検査モードでトランスレータを実行して、必要なエントリを作成します。

VS0196(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0197(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0198(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0199(S) ERROR locking File Map, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0200 ~ VS0299

VS0200(S) ERROR unlocking File Map, errno=%d.

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0201(S) ERROR opening File Map, errno=%d.

説明: 指定された File_Map にアクセスできません。

対処: 適切なアクセス権を調査します。

VS0202(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: dostrans トランスレータは、%d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0203(W) WARNING. Invalid Dataset Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新します。

VS0204(S) ERROR Dataset Name %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新します。

VS0205(W) WARNING. Invalid Catalog Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0206(S) ERROR Catalog Name %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0207(W) WARNING. Invalid Type Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0208(S) ERROR dataset type %s exceeds the limit of %d.
Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0209(W) WARNING. Invalid Mapped Name in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0210(S) ERROR Mapped Name %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0211(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: dostrans トランスレータは、%d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0212(W) WARNING. Invalid Record Properties File Name in %s at line %d

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0213(S) ERROR Record Property File Name %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0214(S) ERROR allocating %d bytes. Command aborted.

説明: dostrans トランスレータは、%d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0215(W) WARNING. Invalid GDG number in %s at line %d.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0216(S) ERROR GDG number %s exceeds the limit of %d. Command aborted.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0217(S) ERROR allocating %d bytes, <%s>. Errno=%d.

説明: dostrans トランスレータは、文字列 %s 用の %d バイトの記憶領域の割り当てに失敗しました。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0218(S) ERROR unexpected cmd string <%s>.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

VS0219(S) ERROR unexpected end of cmd string <%s>.

説明: 内部エラーです。

対処: ご購入先に連絡してください。

VS0220(S) ERROR invalid key separator <%s>.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0221(S) ERROR field number not found <%s>.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0222(W) Warning %d: invalid field number <%s>.

説明: 無効な File_Map エントリです。

対処: 指定された File_Map エントリを更新し、もう一度トランスレータを開始します。

VS0223(I) Job %s preprocessed successfully.

説明: 情報メッセージです。

VS0224(I) Procedure %s preprocessed successfully.

説明: 情報メッセージです。

VS0225(S) Sequence error or premature end of input:

File: %s Line=##3.3d

[%s]

説明: SLI メンバー取り込み処理時に、dostrans は、ファイル %s の %3.3d 行で所定外の JCL 構文 %s を検出しました。処理は停止します。

対処: JCL 構文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0227(W) Line=##3.3d. JCL following end-of-job Statement is ignored.

説明: dostrans トランスレータが、end-of-job または空文に続く JCL 文を検出しました。この文は破棄され、JCL ジョブファイルの最初のジョブだけが dostrans によって処理されます。

対処: 各ジョブに独立したファイルを作成します。

VS0228(W) Line=##3.3d. JCL following end-of-procedure Statement is ignored.

説明: dostrans トランスレータが、end-of-procedure 文に続く JCL 文を検出しました。この文は dostrans によって破棄されます。

対処: end-of-procedure 文の後ろにある、変換に必要な JCL 文は、dostrans による処理のために別個のジョブファイルまたはプロシージャファイルに入れる必要があります。

VS0229 (W) Line=#%3.3d. A /* statement located out of EXEC statement context - /* ignored.

説明: /* 文は、EXEC 文に続くインストリームデータを終了することになっていません。そのコンテキストではない場合は、dostrans はこのメッセージを表示し、JCL ファイル %3.3d 行の /* を無視します。

対処: JCL ファイルに必要な訂正を行い、dostrans を再実行します。

VS0230 (W) A PROC statement was not found in line one of procedure. No symbolic parameters initialized.

説明: JCL プロシージャファイルの dostrans トランスレータによって検出された最初のジョブ制御文は、PROC 文ではありませんでした。

対処: PROC 文が入力プロシージャに存在する場合は、それがファイルに存在する最初の JCL 文であることを確認して、dostrans を再実行します。

VS0231 (W) JOB statement not located as first Job Control statement of Job stream

説明: JCL ジョブファイルで dostrans が検出した、コメントではない最初のジョブ制御文および JCL 文は、JOB 文ではありませんでした。

対処: JOB 文は、コメントではない最初の JCL 文である必要があります。JCL ジョブファイルを訂正し、dostrans を再実行します。

VS0232 (W) A PROC statement was not found in line one of procedure. No symbolic parameters initialized.

説明: JCL プロシージャファイルの dostrans トランスレータによって検出された最初のジョブ制御文は、PROC 文ではありませんでした。

対処: PROC 文が入力プロシージャに存在する場合は、それがファイルに存在する最初の JCL 文であることを確認して、dostrans を再実行します。

VS0233 (W) JOB statement not located as first Job Control statement of Job stream

説明: JCL ジョブファイルで dostrans トランスレータが検出した、コメントではない最初のジョブ制御文および JCL 文は、JOB 文ではありませんでした。

対処: JOB 文は、コメントではない最初の JCL 文である必要があります。JCL ジョブファイルを訂正し、dostrans を再実行します。

VS0234(W) A PROC statement was not found in line one of procedure. No symbolic parameters initialized.

説明: JCL プロシーチャーファイルの dostrans トランスレータによって検出された最初のジョブ制御文は、PROC 文ではありませんでした。

対処: PROC 文が入力プロシーチャーに存在する場合は、それがファイルに存在する最初の JCL 文であることを確認して、dostrans を再実行します。

VS0235(W) JOB statement not located as first Job Control statement of Job stream

説明: JCL ジョブファイルで dostrans トランスレータが検出した、コメントではない最初のジョブ制御文および JCL 文は、JOB 文ではありませんでした。

対処: JOB 文は、コメントではない最初の JCL 文である必要があります。JCL ジョブファイルを訂正し、dostrans を再実行します。

VS0236(W) Line=#%3.3d. EXEC statement with no operands is unsupported - Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans がプログラム名またはプロシーチャーオペランドを持たない EXEC JCL 文を検出しました。この文は無視されません。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を訂正して再実行します。

VS0237(W) Line=#%3.3d. %s statement with no operands is unsupported - Statement ignored.

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans が %s ジョブ制御文を検出しました。この機能は Sun MBM で適用もサポートもされないため、この文は無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0238(W) Line=#%3.3d. Job Control Statement unsupported
- Statement=[%s]

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans が %s ジョブ制御文を検出しました。この機能は Sun MBM で適用もサポートもされないため、この文は無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0239(W) Line=#%3.3d. Job Control Command unsupported
- Command=[%s]

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans がジョブ制御コマンド %s を検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0240(W) Line=#%3.3d. Job Entry Control Language Statement unsupported - Statement=[%s]

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans がジョブ制御文 %s を検出しました。この文は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブエントリ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0241(W) Line=#%3.3d. Unrecognized JCL statement is ignored
- Statement=[%s]

説明: dostrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な JCL 文を検出しました。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された %s JCL 文を確認して再実行します。

VS0242(W) Line=#%3.3d. Unsupported OVEND delimits %d override statements - Overrides Ignored

説明: EXEC 文に続く JCL ファイルで、dostrans トランスレータが上書き文を検出しました。この文は OVEND 文で区切られています。プロシージャーの JCL 文の上書きは Sun MBM 環境でサポートされていないので、上書き文は dostrans に無視されます。

対処: EXEC 文で参照されるプロシージャーファイルを別のファイルにコピーし、プロシージャーの変換前に手動で上書き文を適用します。実行するプロシージャーとして、EXEC 文の新しいファイルを参照します。

VS0243(W) Line=#%3.3d. Job Control Statement unsupported
- Statement=[%s]

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans が %s ジョブ制御文を検出しました。この機能は Sun MBM で適用もサポートもされないため、この文は dostrans によって無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0244(W) Line=#%3.3d. Job Control Command unsupported
- Command=[%s]

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans がジョブ制御コマンド %s を検出しました。この機能は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0245(W) Line=#%3.3d. Job Entry Control Language Statement unsupported - Statement=[%s]

説明: JCL ファイルの %3.3d 行で、dostrans がジョブ制御文 %s を検出しました。この文は Sun MBM 環境で適用もサポートもされないため、このコマンドは無視されます。

対処: Sun MBM 環境でサポートされているジョブ制御文に関する詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

VS0246(W) Line=#%3.3d. Unrecognized JCL statement is ignored
- Statement=[%s]

説明: dostrans トランスレータは、JCL ファイルの %3.3d 行に無効な JCL 文を検出しました。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行で検出された %s JCL 文を確認して再実行します。

VS0247(W) Line=#%3.3d. An instream dataset located out of EXEC statement context - Dataset is ignored.

説明: * \$\$ DATA JECL 文でもなく、OPTION 文でもなく、EXEC 文でもない JCL 文のあとに、/* で区切られたインストリームデータが検出されました。インストリームデータセットは、dostrans トランスレータに無視されます。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を確認し、dostrans を再実行します。

VS0248(W) Line=#%3.3d. An instream dataset located out of EXEC statement context - Dataset is ignored.

説明: * \$\$ DATA JECL 文でもなく、OPTION 文でもなく、EXEC 文でもない JCL 文のあとに、/* で区切られたインストリームデータが検出されました。インストリームデータセットは、dostrans トランスレータに無視されます。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を確認し、dostrans を再実行します。

VS0249(W) Line=#%3.3d. An instream dataset located out of EXEC statement context - Dataset is ignored.

説明: * \$\$ DATA JECL 文でもなく、OPTION 文でもなく、EXEC 文でもない JCL 文のあとに、/* で区切られたインストリームデータが検出されました。インストリームデータセットは、dostrans トランスレータに無視されます。

対処: JCL ファイルの %3.3d 行を確認し、dostrans を再実行します。

VS0250(S) A second JOB statement present in Job stream:
File: %s Line=%3.3d Column=%d
[%s]

説明: dostrans トランスレータは、1つの JCL ジョブファイルに複数のジョブを検出しました。最初のジョブだけは変換されます。このメッセージが表示されると、dostrans は異常終了します。

対処: %s ファイルの各ジョブを別の JCL ジョブファイルに入れ、個々のジョブファイルに対して dostrans を実行します。

VS0253(S) A second PROC statement located in Procedure stream:
File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: JCL プロシーチャーファイルに複数の PROC 文が検出されました。このタイプのファイルは無効で、dostrans は異常終了します。

対処: 入力プロシーチャーファイルの JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0255(W) Line=#%3.3d. Hash character(s) in operand [%s] of %s statement will be converted to dash(es).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによって、このメッセージが表示されます。ハッシュ文字は、出力ファイルの実行に使用される Sun MBM バッチシェル環境で特別な意味を持っているので、生成された dostrans の出力ファイルに入れられません。dostrans は、ハッシュ文字をダッシュ (ハイフン) 文字で置換します。

対処: dostrans が処理する前に、JCL ファイルを手動で更新して、ハッシュ文字を置換する必要がある場合があります。dostrans がハッシュ文字をダッシュ文字に変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0256(W) Line=##%3.3d. Hash character(s) in operand [%s] of %s statement converted to dash(es).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによって、このメッセージが表示されます。ハッシュ文字は、出力ファイルの実行に使用される Sun MBM バッチシェル環境で特別な意味を持っているので、生成された dostrans の出力ファイルに入れられません。dostrans は、ハッシュ文字をダッシュ (ハイフン) 文字で置換しました。

対処: dostrans が処理する前に、JCL ファイルを手動で更新して、ハッシュ文字を置換する必要がある場合があります。dostrans がハッシュ文字をダッシュ文字に変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0257(W) Line=##%3.3d. Operand with double ampersands of %s statement will be converted to a single dash character.

説明: VSE JCLでは、二重のアンパサンドは1つのアンパサンドとして解釈されます。dostrans は、これをダッシュ文字に変換します。アンパサンドは、出力ファイルの実行に使用される Sun MBM バッチシェル環境で特別な意味を持っています。

対処: コンテキストによっては、dostrans が処理する前に、手動で JCL ファイルの二重のアンパサンドを置換する必要があります。dostrans トランスレータが二重のアンパサンドをダッシュ文字に変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0258(W) Line=##%3.3d. Operand with double ampersands of %s statement converted to a single dash character.

説明: VSE JCLでは、二重のアンパサンドは1つのアンパサンドとして解釈されます。dostrans は、これをダッシュ文字に変換しました。アンパサンドは、出力ファイルの実行に使用される Sun MBM バッチシェル環境で特別な意味を持っています。

対処: コンテキストによっては、dostrans が処理する前に、手動で JCL ファイルの二重のアンパサンドを置換する必要があります。dostrans が二重のアンパサンドをダッシュ文字に変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0259(S) No input file path specified.

説明: コマンドで処理用の入力ファイルが指定されませんでした。

対処: JCL トランスレータの最初のパラメータとしてファイル名を指定し、再実行します。

VS0260(S) Unable to open input file %s - errno %d

説明: 指定された入力ファイルを開くことができません。

対処: ディレクトリパスなしで入力ファイルを指定した場合は、そのファイルが現在の作業ディレクトリ下にあるサブディレクトリ jdos に存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

VS0261(S) Unable to open input file %s - errno %d

説明: 指定された入力ファイルを開くことができません。

対処: ディレクトリパスなしで入力ファイルを指定した場合は、そのファイルが現在の作業ディレクトリ下にあるサブディレクトリ jdos に存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

VS0262(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、出力ファイルとして指定されたファイルを開けません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0263(S) Illegal specification of option b.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0264(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0265(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0266(S) Illegal specification of option t.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0267(S) Illegal option %c.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0268(S) Unexpected input arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0269(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: Source Library Include (SLI) メンバー取り込み処理に対してトレースが要求されたときに、%s ファイルを開けませんでした。

対処: \$DOSTRANS にトレースファイルのディレクトリを定義する場合、このディレクトリが存在し、ファイルへの書き込み権が割り当てられていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

VS0270(I) Trace file : %s

説明: dostrans の変換処理のためにトレースメッセージの保存に使用されるトレースファイルを指定します。

対処: 情報メッセージです。

VS0271(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: %s ファイルの構文解析で、SLI メンバー取り込み処理時に、構文解析部がエラーを報告しました。このエラーは、JCL ファイルの %3.3d 行に所定外の JCL 構文またはサポートされていない JCL 構文があることを示します。

対処: JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0272(I) warning

説明: 情報メッセージです。

VS0273(I) warnings

説明: 情報メッセージです。

VS0274(I) error

説明: 情報メッセージです。

VS0275(I) errors

説明: 情報メッセージです。

VS0276(I)preprocessor: %s %s, %s %s

説明: 情報メッセージです。

VS0277(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0278(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0279(W) Line=##%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0280(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0281(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0282(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for
%-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0283(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0284(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for
%-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0285(W) Line=#%3.3d. %-9.9s operand not supported for %-7.7s
statement - Operand is ignored.

説明: JCL 文 %-7.7s のオペランド %-9.9s は、Sun MBM でサポートされていません。

対処: このオペランドは dostrans 出力ファイルに変換されません。

VS0286(W) Line=#%3.3d. Space(s) in PARM operand of %s statement
will be converted to underscore(s).

説明: 検査モード (-v オプション) で実行される dostrans トランスレータによって、このメッセージが表示されます。Sun MBM 環境では、PARM の値をアプリケーションプログラムに渡す際に、スペースは下線で表される必要があります。Sun MBM 環境で実行する準備として、dostrans は、PARM オペランドの値を %3.3d 行の EXEC 文のために変換します。

対処: dostrans トランスレータによって下線に変換された PARM の値のスペースは、実行時にアプリケーションプログラムにスペースとして受け入れられます。

VS0287(W) Line=#%3.3d. Space(s) in PARM operand of %s statement converted to underscore(s).

説明: dostrans トランスレータは、Sun MBM 環境で実行できるように、%3.3d 行で EXEC 文の PARM オペランド値を下線に変換します。

対処: dostrans が処理する前に、JCL ファイルを手動で更新して、特殊文字を置換する必要がある場合があります。dostrans が文字を変換するときに、JCL の機能が正常であれば、事前に更新する必要はありません。

VS0288(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0289(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0290(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0291(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0292(W) Line=#%3.3d. PERM operand not supported for
ASSGN statement - TEMP default operand assumed.

説明: PERM オペランドが指定されていても、ASSGN 文によって実行される論理 I/O 割り当ては、Sun MBM 環境で一時的な割り当てとして dostrans によって変換されます。変換されたジョブの終わりに、論理ユニットは解放されます。

対処: ASSGN 文は、ジョブ内で実行されたアプリケーションプログラムに使用される論理ユニットの個々の JCL ジョブファイルに記述する必要があります。

VS0293(W) Line=#%3.3d. PERM operand not supported for
LIBDEF statement - TEMP default operand assumed.

説明: PERM オペランドが指定されていても、ASSGN 文によって実行される論理 I/O 割り当ては、Sun MBM 環境で一時的な割り当てとして dostrans によって変換されます。変換されたジョブの終わりに、論理ユニットは解放されます。

対処: ASSGN 文は、ジョブ内で実行されたアプリケーションプログラムに使用される論理ユニットの個々の JCL ジョブファイルに記述する必要があります。

VS0294(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for
%-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0295(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for
%-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0296(W) Line=#%3.3d. No value defined for symbolic parameter
[%s] of %s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %s は、記号パラメータです。dostrans は、パラメータ %s に値が代入されていないことを確認しました。

対処: 記号パラメータ %s に値を代入し、dostrans を再実行します。

VS0297(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0298(W) Line=##3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0299(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0300 ~ VS0399

VS0300(W) Line=##3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0301(W) Line=##3.3d. Unable to interpret operand [%s] for %s statement - ON statement is ignored.

説明: dostrans トランスレータは、JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に、所定外のオペランド %s を検出しました。

対処: ON 文の JCL 構文が有効であることを確認し、dostrans を再実行します。

VS0302(W) Line=#%3.3d. \$CANCEL operand not supported - ON statement is ignored.

説明: JCL ファイル %3.3d 行の ON 文に存在するすべての条件は、\$CANCEL キーワードを参照します。abtjob コマンドを使用して Sun MBM 環境でジョブがキャンセルされたあと、dostrans はそのジョブ内から明示的なアクションを実行できません。変換済みジョブが Sun MBM で実行されるときに、abtjob コマンドがジョブをキャンセルすると、デフォルトのアクションとして制御を end-of-job に引き渡します。

対処: abtjob コマンドでジョブがキャンセルされた場合は、ON 文によって実行されるはずだった明示的なアクションをジョブから抽出し、実行します。

VS0303(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0304(W) Line=#%3.3d. Invalid operand value [%s] for %s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %s の終わりに、実際のパラメータ名のない記号パラメータの参照が検出されました。dostrans は記号の参照を変換できません。

対処: オペランドの値 %s を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0305(W) Line=#%3.3d. Too many symbolic parameters in operand [%s] for %s statement - Operand is ignored.

説明: 1つのオペランドで dostrans が変換できる記号パラメータの最大数は 10 です。

対処: オペランド %s の記号パラメータの参照数を減らし、dostrans を再実行します。

VS0306(W) Line=#%3.3d. Tape device assignment in ASSGN statement - data expected on disk at runtime.

説明: ASSGN 文で論理ユニットを割り当てる物理ユニットのアドレスは、テープデバイスのアドレスを指定します。dostrans トランスレータは、論理ユニットにダミーファイルを割り当てます。

対処: I/O 用のテープデバイスを Sun MBM 環境のディスクデバイスで置換します。dostrans がデータセットをディスクファイルに変換するように指定する DLBL 文で、ASSGN 文を置換します。

VS0307(W) Line=#%3.3d. No value defined for symbolic parameter [%s] of %s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %s は、記号パラメータです。dostrans は、パラメータ %s に値が代入されていないことを確認しました。

対処: 記号パラメータ %s に値を代入し、dostrans を再実行します。

VS0308(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0309(W) Line=#%3.3d. Unable to interpret operand %-7.7s for %-7.7s statement - Operand is ignored.

説明: オペランド %-7.7s は、Sun MBM 環境でサポートされていないか、適切ではありません。

対処: JCL ファイルを確認し、必要に応じて dostrans を再実行します。

VS0310(W) Line=#%3.3d. PERM operand not supported for LIBDROP statement - TEMP default operand assumed.

説明: PERM オペランドが指定されていても、ASSGN 文によって実行される論理 I/O 割り当ては、Sun MBM 環境で一時的な割り当てとして dostrans によって変換されます。変換されたジョブの終わりに、論理ユニットは解放されます。

対処: ASSGN 文は、ジョブ内で実行されたアプリケーションプログラムに使用される論理ユニットの個々の JCL ジョブファイルに記述する必要があります。

VS0311(W) Unable to access intermediate output file %s - errno %d. File contents not included.

説明: 指定された JCL ファイルの処理の場合で JCL ファイルが SLI メンバーファイルを参照するとき、特に、* \$\$ DATA JECL 文を処理する場合は、dostrans は一時出力ファイルを使用します。最後の dostrans 出力ファイルの作成時に、これらのファイルは入力のために開かれます。この警告は、dostrans が一時ファイルのいずれかにアクセスできないことを示します。含まれている SLI メンバーファイルの一部のみを使用して、処理は続行します。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。詳細は、errno を調査します。

VS0312(I) SLI Member %s included.

説明: dostrans SLI メンバー取り込み処理によって表示され、SLI メンバーが正常に取り込まれたことを示します。dostrans 出力ファイルには、インラインで変換された SLI メンバーが含まれます。

対処: 情報メッセージです。

VS0313(I) SLI Member %s included.

説明: dostrans SLI メンバー取り込み処理によって表示され、SLI メンバーが正常に取り込まれたことを示します。dostrans 出力ファイルには、インラインで変換された SLI メンバーが含まれます。

対処: 情報メッセージです。

VS0314(S) Internal Error - [%d] unexpected lex state %d.

説明: ソース行 %d の、dostrans の SLI メンバー取り込み処理時の内部エラーです。

対処: ご購入先にメッセージの全文を連絡してください。

VS0315(S) Internal Error - [%d] unexpected lex state %d.

説明: ソース行 %d の、dostrans の SLI メンバー取り込み処理時の内部エラーです。

対処: ご購入先にメッセージの全文を連絡してください。

VS0316(S) Internal Error - [%d] unexpected lex state %d.

説明: ソース行 %d の、dostrans の SLI メンバー取り込み処理時の内部エラーです。

対処: ご購入先にメッセージの全文を連絡してください。

VS0317(S) Unable to allocate dynamic storage - [%s-%d-%d].

説明: dostrans トランスレータは、動的な記憶領域の割り当てに失敗しました。このメッセージは、ソースファイル内のどこでエラーが発生したかを示します。メッセージの情報は、次の順番で表示されます。%s はソースファイルの名前、%d はソースファイルの行、%d はバイト数です。

対処: malloc() または calloc() からの errno を調査し、障害の原因を突き止めます。

VS0318(S) Sequence error or premature end of input:
File: %s Line=[#%3.3d]
[%s]

説明: SLI メンバー取り込み処理時に、dostrans は、ファイル %s の %3.3d 行で所定外の JCL 構文 %s を検出しました。処理は停止します。

対処: JCL 構文を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0320(S) No input file path specified.

説明: コマンドで処理用の入力ファイルが指定されませんでした。

対処: JCL トランスレータの最初のパラメータとしてファイル名を指定し、再実行します。

VS0321(S) Unable to open input file %s

説明: 指定された入力ファイル %s を開くことができません。

対処: ディレクトリパスなしで入力ファイルを指定した場合は、そのファイルが現在の作業ディレクトリ下にあるサブディレクトリ jdos に存在し、適切なアクセス権を持っていることを確認します。

VS0322(S) Unable to open output file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。 dostrans は、出力ファイルとして指定されたファイルを開けません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。 dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0323(S) Illegal specification of option b.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0324(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0325(S) Illegal specification of option L.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0326(S) Illegal specification of option t.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0327(S) Illegal option %c.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0328(S) Unexpected input arguments.

説明: オプションが無効です。

対処: 入力オプションを変更し、再実行します。

VS0329(I) Unable to open output trace file %s - errno %d. Using stdout instead.

説明: Source Library Include (SLI) メンバー取り込み処理に対してトレースが要求されたときに、%s ファイルを開けませんでした。

対処: \$DOSTRANS にトレースファイルのディレクトリを定義する場合、このディレクトリが存在し、ファイルへの書き込み権が割り当てられていることを確認します。詳細は、errno を調査します。

VS0330(I) Trace file : %s

説明: dostrans の変換処理のためにトレースメッセージの保存に使用されるトレースファイルを示します。

対処: 情報メッセージです。

VS0331(I) File: %s Line=%3.3d Column=%d

説明: %s ファイルの構文解析で、dostrans SLI メンバー取り込み処理時に、構文解析部がエラーを報告しました。このエラーは、JCL ファイルの %3.3d、列 %d 行に所定外の JCL 構文またはサポートされていない JCL 構文があることを示します。

対処: JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0332(W) Unable to access intermediate output file %s - errno %d. File contents not included.

説明: 指定された JCL ファイルの処理の場合で JCL ファイルが SLI メンバーファイルを参照するとき、特に、* \$\$ DATA JECL 文を処理する場合は、dostrans は一時出力ファイルを使用します。最後の dostrans 出力ファイルの作成時に、こ

これらのファイルは入力のために開かれます。この警告は、dostrans が一時ファイルのいずれかにアクセスできないことを示します。含まれている SLI メンバーファイルの一部のみを使用して、処理は続行します。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。詳細は、errno を調査します。

VS0333(I) SLI Member %s included.

説明: dostrans SLI メンバー取り込み処理によって表示され、SLI メンバーが正常に取り込まれたことを示します。dostrans 出力ファイルには、インラインで変換された SLI メンバーが含まれます。

対処: 情報メッセージです。

VS0334(I) SLI Member %s included.

説明: dostrans SLI メンバー取り込み処理によって表示され、SLI メンバーが正常に取り込まれたことを示します。dostrans 出力ファイルには、インラインで変換された SLI メンバーが含まれます。

対処: 情報メッセージです。

VS0335(S) Unexpected end of input file %s.

説明: dostrans トランスレータが、所定外の構文を検出しました。処理は停止します。

対処: JCL 構文を訂正し、再実行します。

VS0336(I) warning

説明: 情報メッセージです。

VS0337(I) warnings

説明: 情報メッセージです。

VS0338(I) error

説明: 情報メッセージです。

VS0339(I) errors

説明: 情報メッセージです。

VS0340(I) SLI member processor: %s %s, %s %s, %d members included

説明: dostrans SLI メンバー取り込み処理によって表示され、SLI メンバーが正常に取り込まれたことを示します。dostrans 出力ファイルには、インラインで変換された SLI メンバーが含まれます。

対処: 情報メッセージです。

VS0341(W) Unable to include SLI member file %s. %s variable not set.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans が JCL ファイルで SLI メンバー %s への参照を検出しました。SLIDIR 環境変数にその SLI メンバーおよび他のすべての SLI メンバーを含むディレクトリパスが設定されていないので、dostrans はその SLI メンバーのファイル用のパス名を作成できません。

対処: \$SLIDIR が設定されていない場合、dostrans トランスレータは、\$SLIDIR の代わりに sli と呼ばれるデフォルトディレクトリで SLI メンバーファイルを検索します。sli は、現在の作業ディレクトリと同じレベルのサブディレクトリとして存在する必要があります。\$SLIDIR が設定されていないときは、すべての SLI メンバーファイルを sli ディレクトリに配置します。

VS0342(S) Unable to access SLI member file %s - errno %d.
Member not included.

説明: dostrans トランスレータは、処理のために現在の JCL ファイルで参照される SLI メンバーファイルに相当するファイルにアクセスできません。処理は、参照される SLI メンバーを含まないで続行します。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。詳細は、errno を調査します。

VS0343(S) Unable to access SLI member file %s - errno %d.
Member not included.

説明: dostrans トランスレータは、処理のために現在の JCL ファイルで参照される SLI メンバーファイルに相当するファイルにアクセスできません。処理は、参照される SLI メンバーを含まないで続行します。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。詳細は、errno を調査します。

VS0344(S) No matching DATA statement found for SLI member %s
DATA statement name %s.

説明: dostrans の SLI メンバー取り込み処理時に、名前オペランド %n を持つ * \$\$ DATA JECL 文が、入力 SLI メンバーファイル %m に検出されました。このメッセージが表示されるのは、dostrans が一次 JCL ファイルに、同じ名前オペランドを持つ、対応する * \$\$ DATA 文を検出できない場合です。

対処: JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0345(S) DATA statement name %s does not match SLI member %s
DATA statement name %s.

説明: dostrans の SLI メンバー取り込み処理時に、名前オペランド %n を持つ * \$\$ DATA JECL 文が、入力 SLI メンバーファイル %m に検出されました。このメッセージが表示されるのは、dostrans が一次 JCL ファイルに、同じ名前オペランドを持つ、対応する * \$\$ DATA 文を検出できない場合です。

対処: JCL を訂正し、dostrans を再実行します。

VS0346(S) Internal Error - [%d] unexpected parent lex state [%d].

説明: ソース行 %d の、dostrans の SLI メンバー取り込み処理時の内部エラーです。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

VS0347(W) Unable to open output %s for SLI member %s - errno %d. Member not included.

説明: SLI メンバーの入力ファイルの処理時に、dostrans トランスレータが一時出力ファイル %s を開けません。処理は、SLI メンバーを取り込まずに続行します。

対処: パス名の各コンポーネントのアクセス権を確認し、再実行します。詳細は、errno を調査します。

VS0348(W) Unable to open output %s for SLI member %s - errno %d. Member not included.

説明: SLI メンバーの入力ファイルの処理時に、dostrans トランスレータが一時出力ファイル %s を開けません。処理は、SLI メンバーを取り込まずに続行します。

対処: パス名の各コンポーネントのアクセス権を確認し、再実行します。詳細は、errno を調査します。

VS0349(S) Internal Error - [%d] unexpected parent lex state [%s].

説明: ソース行 %d の、dostrans の SLI メンバー取り込み処理時の内部エラーです。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

VS0350(S) Internal Error - [%d] unexpected current lex state [%s].

説明: ソース行 %d の、dostrans の SLI メンバー取り込み処理時の内部エラーです。

対処: ご購入先にメッセージ本文を連絡してください。

VS0351(S) Unable to update SLI member output file %s, return code='%d'.

説明: %s 出力ファイルは、SLI メンバー取り込み時に dostrans によって使用される一時ファイルです。システムコマンドを使用して、このファイルにアクセスする際にエラーが発生しました。

対処: 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査して dostrans を再実行します。

VS0352(S) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、%s で示される入力ファイルまたは出力ファイルのうちの 1 つを開くことができません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0353(S) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、%s で示される入力ファイルまたは出力ファイルのうちの 1 つを開くことができません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0354(W) Unable to apply JCL update statement to SLI Member output file %s

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一次 JCL ファイルにある更新文を JCL ファイルに含まれていなければならない SLI メンバーファイルに適用しようとします。この警告は、更新文が 2 行以上の場合に表示されます。

対処: 一次 JCL ファイルを訂正してすべての更新文が複数の行にわたって継続していないことを確認し、dostrans を再実行します。

VS0355(S) Unable to write to intermediate output file %s - puts() errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。これらの一時ファイルの 1 つで書き込みエラーが発生しました。

対処: errno を調査し、書き込みエラーの原因を突き止めます。dostrans 実行時に変更が行われていないことを確認します。

VS0356(S) Unable to access /INCLUDE file %s - errno %d. File not included.

説明: ファイル名が無効です。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0357(S) Unable to access /INCLUDE file %s - errno %d. File not included.

説明: ファイル名が無効です。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

VS0358(S) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、%s で示される入力ファイルまたは出力ファイルのうちの 1 つを開くことができません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0359(S) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、%s で示される入力ファイルまたは出力ファイルのうちの 1 つを開くことができません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0360(S) Unable to open %s file %s - errno %d.

説明: SLI メンバー取り込み時に、dostrans は、一定しない間隔でアクセスする複数の一時ファイルを使用します。dostrans は、%s で示される入力ファイルまたは出力ファイルのうちの 1 つを開くことができません。

対処: errno を使用して、ファイルアクセスの障害の原因を突き止めます。dostrans の実行時にファイルシステムコンポーネントが変更されていないことを確認します。

VS0361(S) An error %d occurred doing fputs

説明: 内部エラーです。

対処: 詳細は、エラーテーブルを調査します。

第15章

KIX 系メッセージ

この章では、KIX 接頭辞を持つメッセージについて説明します。通常、このメッセージは、Sun MBM および Sun MTP の両方に共通するルーチンによって表示されます。

KIX0001～KIX9999

KIX0277F Password invalid for this version of software

説明: このメッセージは、ライセンスファイル (\$KIXLICDIR/hostname.lic) にあるソフトウェア使用許可キーが無効である場合に表示されます。Sun MBM ノードは起動できません。

原因: ソフトウェアの使用許可キーの期限が切れているか、不正に入力された可能性があります。または、環境が、現バージョンではなく、ソフトウェアの前のバージョンに対して有効なライセンスファイルを指している可能性があります。

対処: ライセンスファイルに、正しく入力されたキーが含まれ、ライセンスが使用している Sun MBM のバージョンに対して有効であることを確認してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

用語集

B

Batch Administration
Manager (BAM)

(名詞) Sun MBM ノードやサブシステムを設定したり管理したりするために使用されるツール。

batchenv ファイル

(名詞) ノードの実行方法を制御する環境変数を含む設定ファイル。各ノードは固有の batchenv ファイルを持ち、それらを実行しないとノードが開始されない。

bqgm 「バッチキューマネージャー」を参照。

D

dostrans (名詞) VSE JCL トランスレータ。

E

ebmmd 「メッセージデーモン」を参照。

errno (名詞) UNIX エラー番号を参照。

F

`File_Map` (名詞) IBM データセット、ライブラリ、および世代別データグループ (GDG) と、対応する UNIX パス名とを関連付けるエントリを含む特別ファイル。このファイルは、Sun MBM JCL トランスレータおよびサブシステムによって、メインフレーム JCL ストリームの変換時やマクロジョブスクリプトの実行時に使用される。サブシステムはそれぞれ 1 つの `File_Map` に関連付けられている。

I

`.install` ファイル (名詞) インストールされたノードおよびそれに関連付けられたサブシステムすべての情報を含んだグローバル Sun MBM 設定ファイル。`.install` ファイルは、ノードをインストールディレクトリにインストールするときに作成される。`.install` ファイルは、ノードを開始するたびに読み込まれる。

J

`jon` (名詞) ジョブのオカレンス番号。ジョブがサブミットされると、Sun MBM は一意の 3 桁のオカレンス番号を割り当てる。`jon` は多くのコマンドに参照される。

K

`KIXSYS` (名詞) システムテーブルが位置する Sun MTP 領域のディレクトリをポイントする環境変数。Sun MBM はこの値を使用して領域に接続する。

M

`mvstrans` (名詞) MVS JCL トランスレータ。

P

psg_daemon

「プロセスグループデーモン」を参照。

S

Sun Mainframe Batch
Manager ソフトウェア
(Sun MBM)

(名詞) 制御された環境でバッチジョブを実行するための機能を提供するバッチマネージャー製品。Sun MBM は、バッチ生産負荷を処理し、開始時刻やバッチプロセスの最大数、およびジョブの優先順位といった割り当てられたパラメータによってジョブをスケジューリングする。

Sun Mainframe
Transaction Processing
ソフトウェア (Sun MTP)

(名詞) プロセス間通信サービス、ソケット、および COBOL、C、PL/I などの機能を使用してアプリケーションを実行するユーザーアプリケーション。クライアント以外の Sun MTP のすべてのコンポーネントは、メインサーバープロセスである unikixmain によって起動する。

Sun MTP 領域

(名詞) システム上の異なるアプリケーションを定義するプロセス変数、リソース変数、および環境変数のセット。

SYSIN ファイル

(名詞) システム入力ファイル。このファイルには、サブミットされたジョブのうち実行待ちのものすべてが格納される。

V

VSAM 構成テーブル
(VCT)

(名詞) 基本の Sun MTP 構成パラメータを定義する制御テーブル。

あ

アクティビティー

(名詞) ジョブを実行する共有メモリーのセグメント。アクティビティーはジョブクラスに割り当てられる。1 つのクラスに 99 までのアクティビティーを割り当てることができる。

え

- エラー表** (名詞) オペレーティングシステムに付属するインクルードファイルのこと。このファイルへのアクセス方法が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。
- エラーログ** (名詞) Sun MBM が Sun MBM デーモンおよびジョブの実行に含まれるバッチプロセスからのデバッグメッセージを収集するファイル。

か

- 仮想記憶アクセス方式 (VSAM)** (名詞) さまざまなアクセス方式によってレコードにアクセスする方式。
- ESDS (入力順データセット)。レコードは順次に記録され、アクセスされる。
- RRDS (相対レコードデータセット)。レコードは、データセット内で占める位置番号によって検索される。
- KSDS (キー順データセット)。レコードは索引またはキーによって検索される。
- 仮想コンソール機能 (vcf)** (名詞) バッチジョブ実行によるすべての出力メッセージを処理するデーモン (vcf)。
- 環境変数** (名詞) プログラムファイルおよびアプリケーションの位置を定義する変数。クライアントとサーバーは、どちらも環境変数を使用する。

き

- 許可ファイル** (名詞) ユーザーの、ノードを開始、管理、停止する権限、サブシステムを管理する権限、およびクラスやアクティビティーを作成、変更、削除する権限を制御するファイル。

く

クラス (名詞) 1 つまたは複数のアクティビティーを含む概念エンティティ。ジョブはクラスにサブミットされ、アクティビティーが利用可能な場合、ジョブは実行される。1 つのノードで 26 クラスをサポートできる。

け

検査する (動詞) MVS または VSE トランスレータのどちらかを使用して JCL ジョブを実行し、ファイルやプログラムがすべて存在するか検査すること。検査モードでジョブを実行すると、File_Map が 1 つ作成される (既にファイルが存在している場合は、追加される)。

こ

コンソール端末 (名詞) ノードにオペレータコンソールとして定義される端末デバイス。さまざまなタイプのエラーメッセージを設定して、コンソール端末に表示できる。

コンソールファイル (名詞) Sun MBM コンソール端末に表示されるものと同じメッセージタイプを格納する連続したファイル。

さ

サブシステム (名詞) 特定のノードに従属する環境であり、ここで特定のタイプのジョブが実行される。たとえば、Sun MTP 領域の VSAM データセットにアクセスするジョブを実行するために使用するサブシステムを作成することができる。

サブシステム設定ファイル (名詞) サブシステムの作成時、BAM は 2 つの設定ファイルを作成する。1 つは読み取り専用ファイルで、サブシステム作成時に設定される環境変数を含んでいる。もう 1 つはユーザー編集可能ファイルで、他の環境変数を追加できる。これらのファイルはそれぞれ、\$SETUP および \$USER_SETUP として参照される。

し

シグナル表 (名詞) オペレーティングシステムに付属するインクルードファイルのこと。このファイルへのアクセス方法が分からない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

ジョブクラス 「クラス」を参照。

ジョブの履歴ファイル (名詞) バッチジョブの実行中に収集されるシステムおよびアプリケーションメッセージを含むファイル。ジョブリスト出力ファイルとも呼ばれる。

す

スレッド 「アクティビティ」を参照。

せ

世代別データグループ (GDG) (名詞) 生成データセットとして参照される、複数の物理ファイルから構成される単一の論理ファイル。IBM のファイルタイプ。

て

デフォルトのサブシステム (名詞) ジョブのサブミット時にサブシステムが指定されていない場合に、ジョブが実行されるサブシステム。

の

ノード (名詞) Sun MBM ソフトウェアの一意のインストール。

は

バッチキュー
マネージャー

(名詞) Sun MBM サブシステムにサブミットされたジョブを管理するデーモン (bqm)。

ふ

ファイルシステム

(名詞) 物理ディスクドライブをパーティションと呼ぶ小単位の領域に分割する機能。パーティションには、ファイルシステム、スワップ空間、ブートセクタその他の情報を含めることができる。

ファイルのアクセス権
(またはモード)

(名詞) オペレーティングシステムの定義に従って、ファイルへのアクセスを制御する。

プロセスグループ
デーモン

(名詞) bqm デーモンから要求を受け取り、実行されるバッチジョブについての情報を取得したり、バッチジョブをサブミットしたりするデーモン。

ま

マクロ文

(名詞) MVS または VSE JCL ジョブおよびプロシーチャーの変換によって生成される文。

マニュアルページ

(名詞) man コマンドを使用して、コマンドの使用方法を表示できる。たとえば、grep コマンドについて表示するときは、プロンプトで man grep と入力する。

め

メッセージデーモン

(名詞) Sun MBM プロセスのメッセージ交換サーバーとして機能するデーモン (ebmmd)。

ゆ

優先順位 (名詞) ジョブがサブミットされると、明示的または暗黙的に優先順位が割り当てられる。有効な値は 0 ～ 9 までで、9 が最優先となる。

り

履歴ファイル (名詞) ジョブの開始およびジョブの終了メッセージを含む循環ファイル。

る

ルートファイルシステム (名詞) オペレーティングシステムと関連のファイルが入っている。ルートファイルシステムは、完全なファイル名の最初の文字としてスラッシュ (/) をつけて、参照される。

索引

B

BAM 系メッセージ, 1
BS 系メッセージ, 47
BX 系メッセージ, 153

C

CB 系メッセージ, 187
COBOL 実行時システムメッセージ, 283

D

dostrans トランスレータメッセージ, 515
DV 系メッセージ, 515

F

File_Map メッセージ, 193
FM 系メッセージ, 193

I

IF マクロ, 397
IP 系メッセージ, 219

K

KIX 系メッセージ, 575

M

mail-box names, x
mvstrans トランスレータメッセージ, 401
MV 系メッセージ, 401

N

nlsmsg ファイル, 51

O

OS 系メッセージ, 273
Output Writer メッセージ, 269
OW 系メッセージ, 269

R

RTS 系メッセージ, 283

S

sortx メッセージ, 317, 327
SORT マクロ, 397

T

THEN マクロ, 398
TP 系メッセージ, 297

U

UT 系メッセージ, 317

V

VS 系メッセージ, 515

え

エラー表, x
エラーメッセージの形式, xi

き

起動およびシャットダウンメッセージ, 273

し

シグナル表, x
実行時システム、COBOL, 283

は

バッチシェルメッセージ, 219

ま

マクロメッセージ, 333

め

メッセージ
BAM 系, 1
BS 系, 47

BX 系, 153
CB 系, 187
COBOL, 187
COBOL 実行時システム, 283
dostrans トランスレータ, 515
DV 系, 515
File_Map, 193
FM 系, 193
IF マクロ, 397
IP 系, 219
KIX 系, 575
mvstrans トランスレータ, 401
MV 系, 401
OS 系, 273
Output Writer, 269
OW 系, 269
RTS 系, 283
sortx, 317, 327
SORT マクロ, 397
THEN マクロ, 398
TP 系, 297
UT 系, 317
VS 系, 515
起動およびシャットダウン, 273
形式, xi
バッチシェル, 219
マクロ, 333
ユーティリティー, 317
ライセンスエラー, 575
メッセージの形式, xi